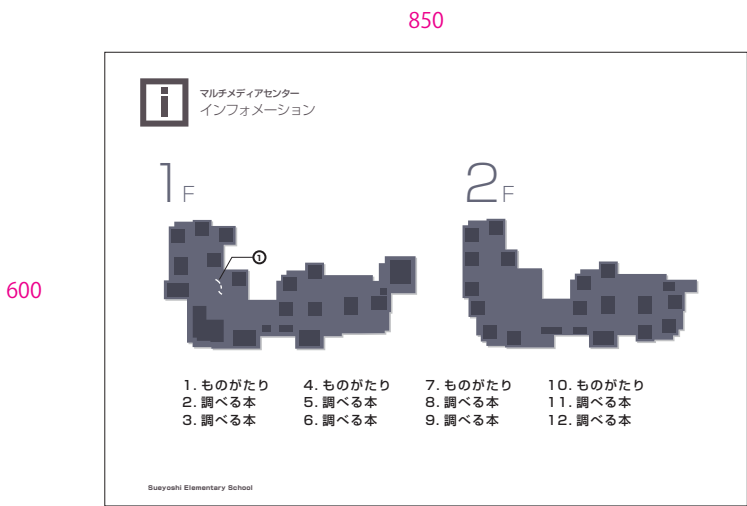


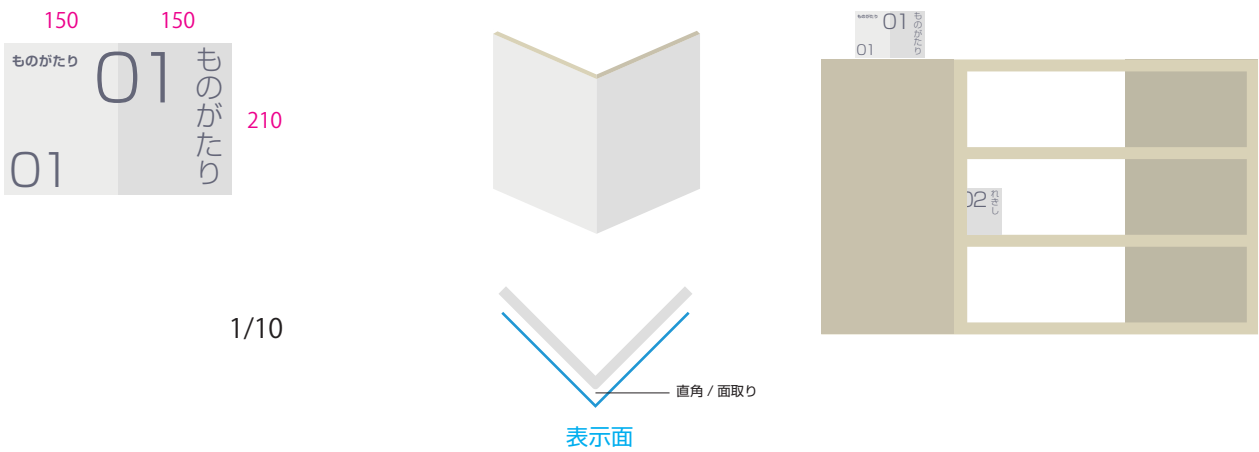
F-1 配架案内サイン ×1

仕様：ボード面→シナベニヤ（共芯合板） t=15mm 小口あらわし 5mm 捨て板貼り（5mm 浮かし）
表示面→インクジェットシート ラミネート仕上げ



F-2 書架番号サイン ×50

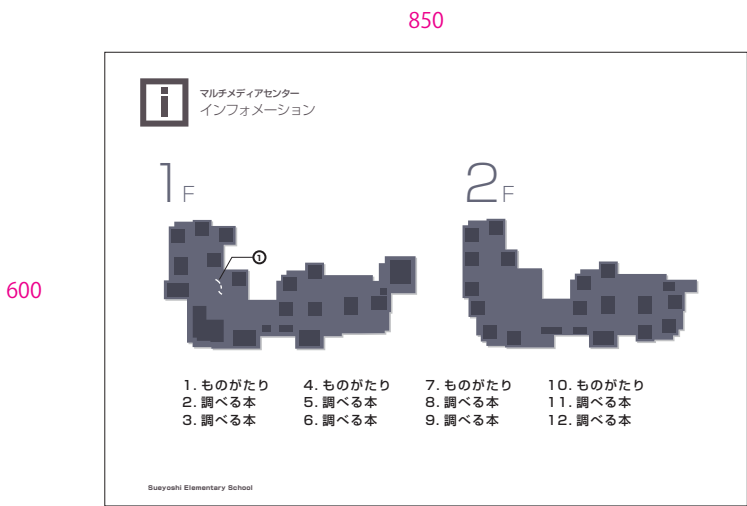
仕様：シナベニヤ（共芯合板） t=9mm 小口あらわし
表示面→インクジェットシート ラミネート仕上げ



1/10

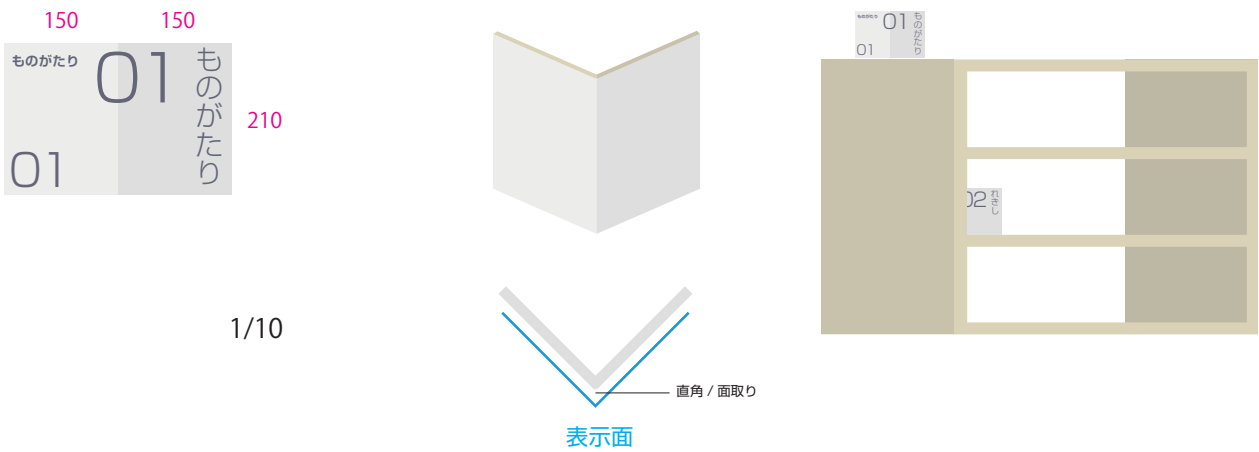
F-1 配架案内サイン ×1

仕様：ボード面→シナベニヤ（共芯合板） t=15mm 小口あらわし 5mm 捨て板貼り（5mm 浮かし）
表示面→インクジェットシート ラミネート仕上げ



F-2 書架番号サイン ×50

仕様：シナベニヤ（共芯合板） t=9mm 小口あらわし
表示面→インクジェットシート ラミネート仕上げ



1/10

G-1 児童クラブ名称サイン ×2

仕様：文字部 SUSPL t=3 塗装仕上げ 5mm 浮かし

塗装色: DIC: ○○ (別途指示)

720

200

x2

1/10

G-3 室名サイン ×1

A パターン仕様: 文字部 シルクスクリーン

B パターン仕様: 文字部 シート (3M スコッチカル XL シリーズ)

30

155

1/2

G-2 屋外トイレサイン ×2

A パターン仕様: 文字部 シルクスクリーン

B パターン仕様: 文字部 シート (3M スコッチカル XL シリーズ)

200

1/20

×2

1500

×2

1375

×2

■仕様：シート品番は別途指示 ■仕様：シート品番は別途指示
■仕様：シート品番は別途指示

×2

1/50

1/50

エレベーター仕様			
基本仕様	号 機 名	NO.1	
	型 式	機械室レス標準型エレベーター	
	用 途	人荷用兼車いす用	
	定格積載質量/定員	1150kg/17人乗	
	定 格 速 度	45m/min	
	運 転 方 式	乗合全自動方式 (基準階復帰方式)	
	制 御 方 式	インバータ制御方式 (マイコン制御)	
	停 止 階	2箇所 (1,2 階)	
	か ご 寸 法	開口1800mm 奥行1500mm 天井高さ2250mm	
	出入口寸法	幅1000mm 高さ2100mm	
	戸 型 式	2枚戸中央開き	
	電 動 機	AC 5.3kW	
	動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz	
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz		
連絡装置	同時通話式インターホン		
設置場所	設置場所：1階エレベーターホール、()		
監 視 装 置	リモートメンテナンスインターフェース付 (リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約をしていただく必要があります)		
管制運転	地 震	有り (P波およびS波感知) (リスタート機能付)	
	火 災	有り (火報と連動した接点による自動式)	
	停 電	有り	
	自家発電	無し	
乗場仕様	三 方 枠	1,2階 大枠 化粧鋼板	
	乗 場 戸	1,2階 化粧鋼板	
	精 板	1,2階 無し	
	敷 居	1,2階 硬質アルミ	
	ホールファンタム	1,2階 無し	
	インジケーター	1階	カラー液晶表示 (背景色：白) カバー：ステンレスヘアフィン仕上
		2階	縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアフィン仕上
	ホールボタン	1,2階	抗菌凸文字ボタン (φ45) (S I A A 認証) インジケーターに組込
かご仕様	天 井	スタンダード (メーカー標準) (天井照明色：白色)	
	前 側 板	化粧鋼板	
	側 板	化粧鋼板	
	戸	化粧鋼板	
	出入口上部	化粧鋼板	
	床	荷重用樹脂タイル (2T)	
	幅 木	化粧鋼板	
	敷 居	硬質アルミ	
	操 作 盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン (φ33) (S I A A 認証) カバー ステンレスヘアフィン仕上	
	インジケーター	カラー液晶表示 (背景色：白) 操作盤に組込	
車いす用	ボタン 抗菌凸文字ボタン (φ33) (S I A A 認証)		
操作盤	カバー ステンレスヘアフィン仕上		
気くばり	ボタン 無し		
操作盤	カバー 無し		
鏡	ガラス製		
ハンドル	ステンレスパイプ：ステンレスヘアフィン仕上		
監視盤	無し		
耐震クラス	A14		

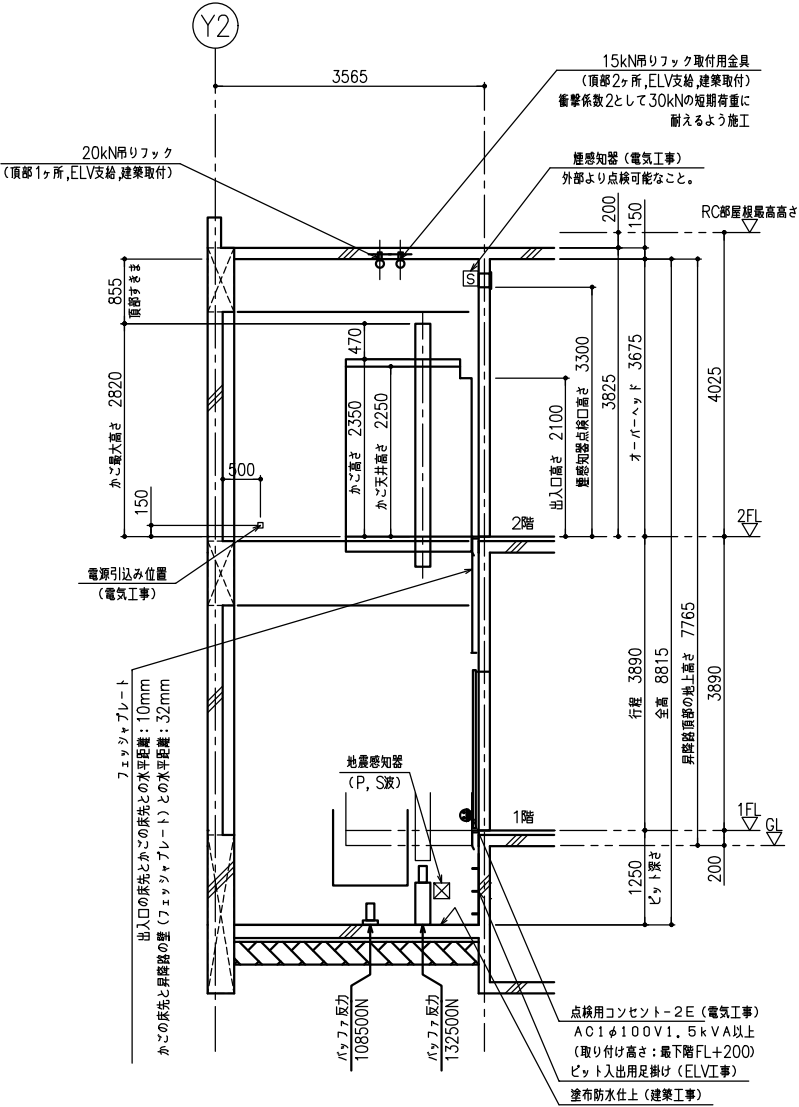
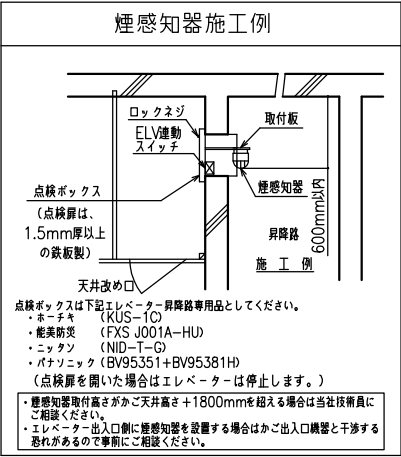
NO.1	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
250kg超台車搬出対応	
音声案内装置 (福祉のまちづくり条例対応) 付	
点字注意銘板付 (横型)	
車いす仕様付	
視覚障がい者仕様付 (全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付)	
壁埋込形インターホンボックス付 (ステンレスヘアフィン仕上) (1個)	
インターホン箱増設 (1個)	
運転停止スイッチ (1階に取付)	
フェッシャプレート付	
昇降路内同軸ケーブル付 (昇降路外は電気工事)	
かご内防犯カメラ付 (記録装置はエレベーター除外工事)	
車いす呼び戸開き時間延長	
一般呼び戸開き時間延長	
発音式ボタン (かご)	
非常放送用スピーカー付 (かご天井上)	
かご床強度増し対応	
かご内荷重 (ステンレスヘアフィン仕上, 床からH=300mm)	
かご側板保護マット (高さ：床面から1800mm) 付	
かご床マット付	
人荷用銘板付	
警報ブザーをかご上に取付	
出発階復帰運転	
非常ボタン連動 無電圧接点支給	
4mレール使用	
ステンレス材一式：SUS304	
低行程対応 (標準)	
多光軸ドァセンサー (お知らせサイン付)	
痴り場側利用者検知機能付	
かご戸袋引き込まれ低減機能付	
空気清浄機能付 (イオン発生機能同等品)	
戸開き時間延長ボタン付	
ピット冠水避難運転 (基本仕様)	
	-W-

工事区分		建築	電気	空調	ELV
号機名	NO.1				
項目	昇降路の築造と誤差修正工事				
1	1) 壁または囲いは隙間なきものとする 2) 昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm ² の面にこれと直交方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3) コンクリート厚さは150mm以上とする 4) コンクリート基準圧縮強度 21N/mm ² 以上とする	○			
2	各階出入口床の敷居取り付け用かき込み または敷居受け持ち出し工事		○		
3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事		○		
4	エレベーター据付後の出入口壁 および床その他建築仕上及び補修工事		○		
5	三方枠、インジケーターなどと壁間の防火区画処理		○		
6	三方枠、インジケーターなどと壁間のすきま塞ぎ工事 (ふさぎ板またはフス材)				○
7	ピット内防水工事 (ピット仕上面の水平度は1/200以下)		○		
8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の ピット圍仕切り工事 (H=1800以上)		○		
9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合の はつり・埋め戻し工事		○		
10	ピット点検用フリップまたは梯子の設置工事				○
11	ピット点検用コンセント設置工事 (1ヶ/台)		○		
昇降路	インターホンならびにその他の機器 (放送 (一般・非常) ・ 自家発電用電源識別接点・火災時警報用接点・防犯カメラ等) 用 配管・配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備規による)		○		
13	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源および アース線の引き込みならびにつなぎ工事 (配線サイズ、本数は電気設備規による)		○		
14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事 (監視盤設置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み)		○		
15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事 (昇降路外部から保守点検可能な構造) (点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製)		○		
16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	リモートメンテナンス用として電話中継機から				
17	昇降路最上階までの配管 (最小径25mm) ・配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備規による)		○		
18	昇降路出入口側内壁 (敷居下および出入口上部) とかご前壁が 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付下地設置工事	○			
19	昇降路出入口側内壁 (敷居下および出入口上部) とかご前壁が 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
20	昇降路内配管工事に伴う区画兼酒部の耐火処理工事		○		
21	昇降路頂部への吊りフックの設置工事	○			
22	昇降路内への中継ビーム設置工事 (コンクリート階)				○
23	PC構造に於けるインサート埋め込み工事またはプレート設置工事	○			
24	不停止階の昇降路出入口扉の設置工事 (施行令129条の7の1による)	○			
25	かごドレン式クーラー設置時のピット排水工事	○			
26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガリリ設置工事	○			
27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1 エレベーター部品搬入経路の確保 (必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事)	○			
	2 エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の貸与	○			
	3 エレベーター据付工事現場諸所および材料置場の確保	○			
	4 エレベーター据付工事に伴う電力の供給 (動力用および照明用電源)	○	○		
	5 エレベーター運転調整用電力の供給 (動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに 本設電源配管経路で引き込み)	○	○		
	6 医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの 電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7 昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8 昇降路内建築工事仮設床 (水平養生) 用の 金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9 エレベーター着工前の各階出入口り口開口部の差ぎ材支給および撤工	○			
	10 出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事 (庇、水切り等)	○			
	11 昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12 エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13 昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14 ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパルト (Pコン) の撤去	○			
	15 非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○			
	16 非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○			
	17 監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

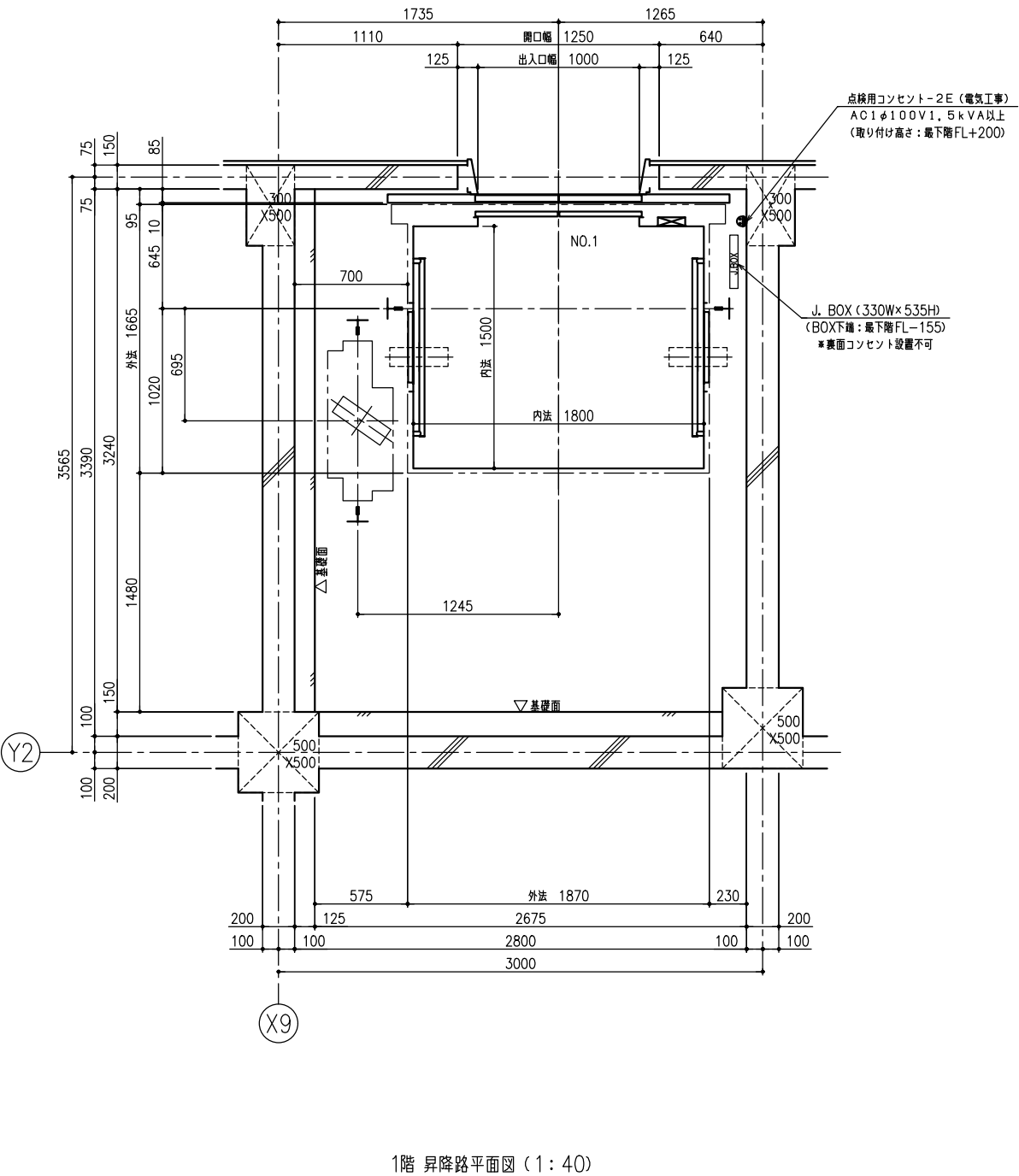
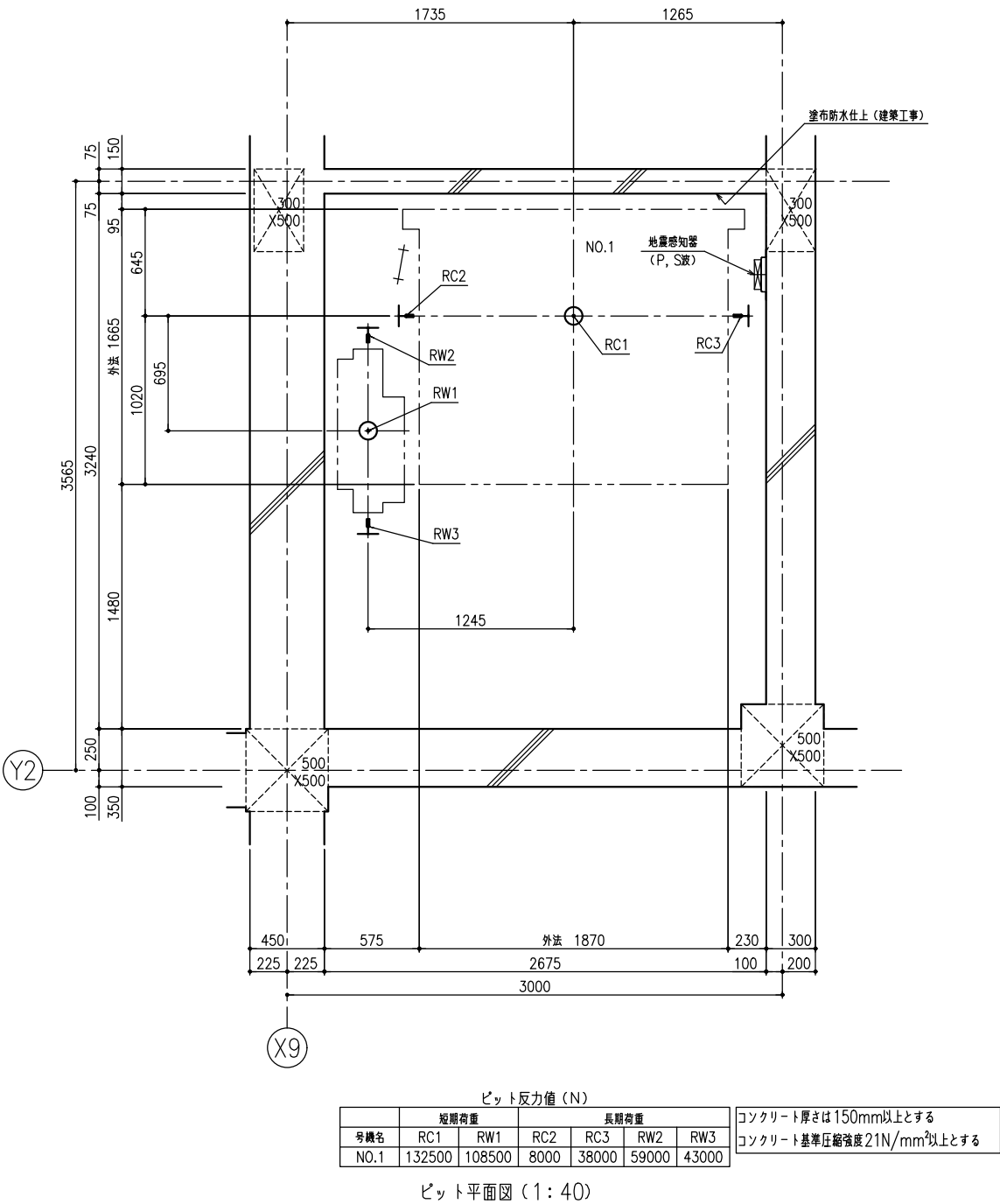
電気設備				
号機名	NO.1			
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz 14mm ² ×1回路 (CV) /台			
	線サイズ (mm ²)	8	14	22
	最大引込距離 (m)	54	93	143
	M C B 容量	40A/台		
	トランス容量	6kVA/台		
照明用電源	起動KVA	19kVA/台		
	AC 1φ 100V 60Hz 5.5mm ² ×1回路 /台			
アース線	3.5mm ² (D値) /台			
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-5P/台 (200mまで)			
リモートメンテナンス用配管配線 (電話線)	CPEV0.9-1P, 配管サイズφ25/台 (MDF~昇降路間)			
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 (最下階FL+200の出入口付近に設置)			
インターホン連動用の無電圧α接点支給 及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下			
火災報知信号無電圧α接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台			
非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-2C/台			
防犯カメラ用配管配線 (昇降路外)	同軸ケーブル 5C-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引き込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引き込み			

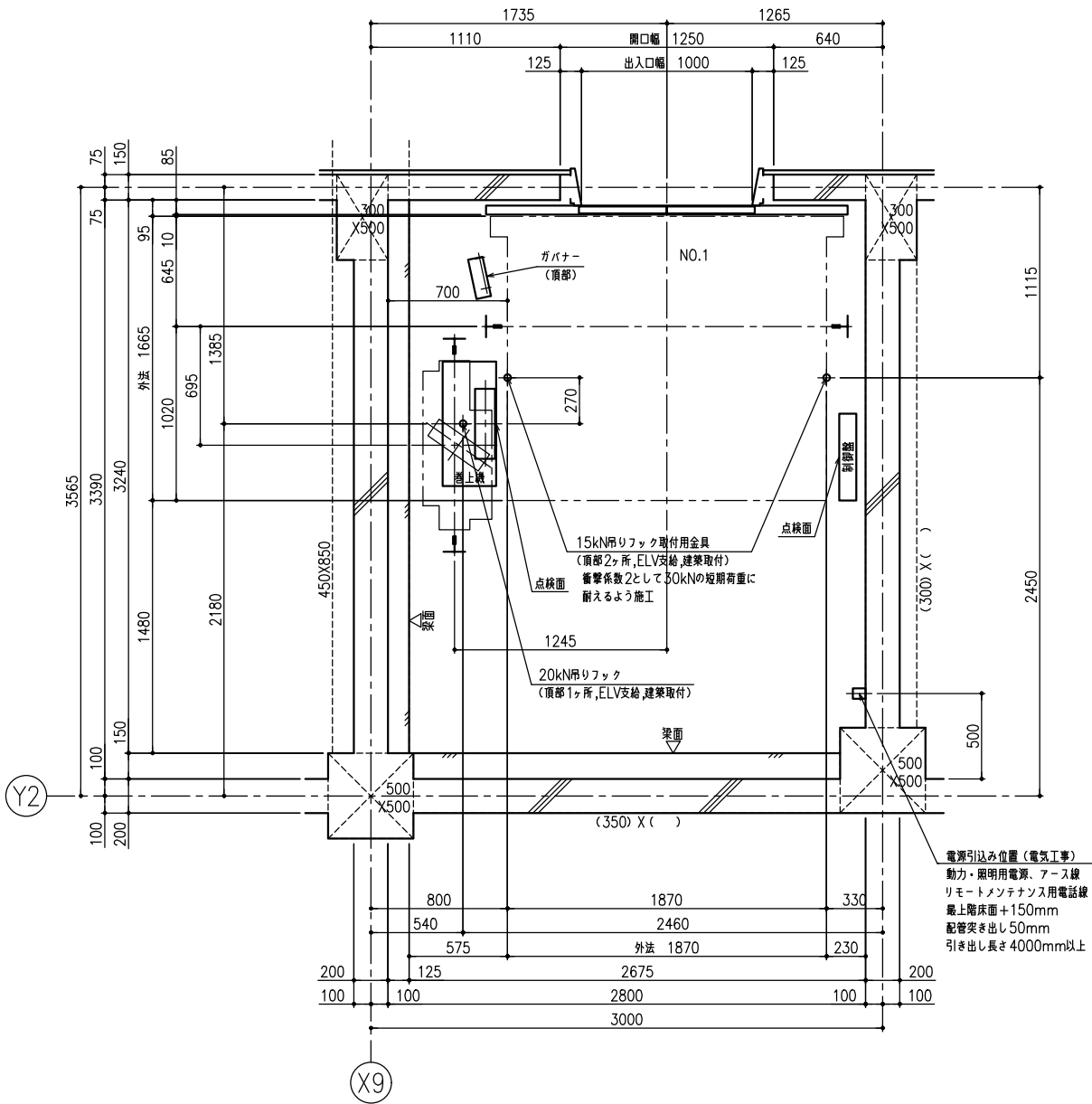
労基法適用 (本設用)： 有 (設置品・設置報告) ・ ㊟

人荷用エレベーターの荷役制限について
・荷物積み込み質量は、台車等を含めて500kg以下/回。



NO.1 昇降路断面図 (1:100)





PX

PY

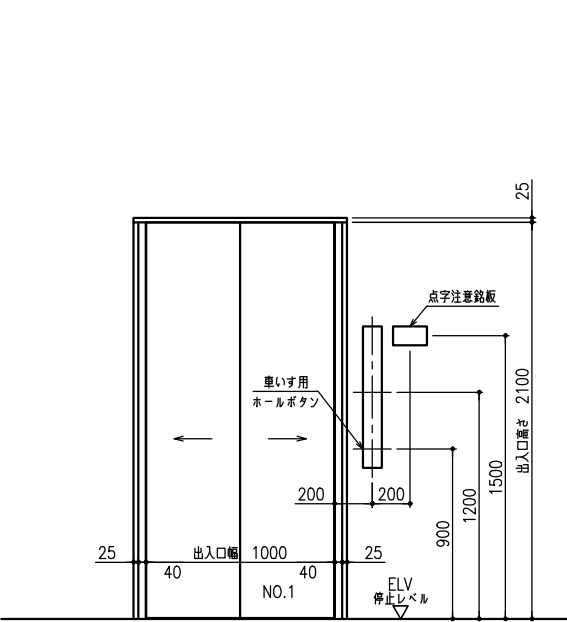
PX

PY

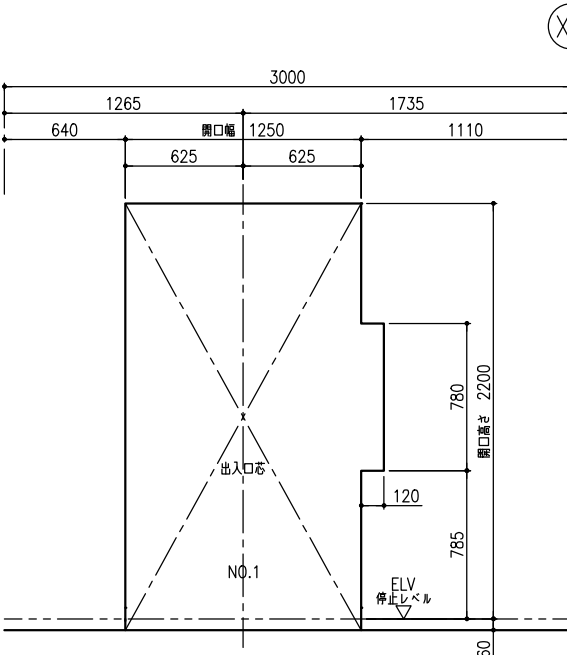
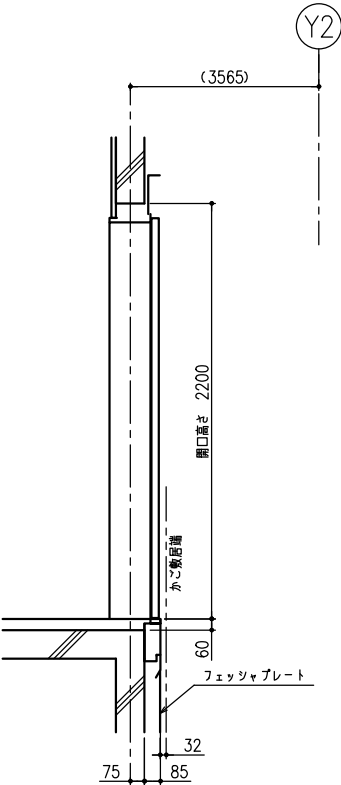
ガイドレール	かご側		ウェート側	
部分荷重 (N)	PX	PY	PX	PY
NO.1	7050	4300	11000	5500

注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは5mm以下になるよう部材を設計のこと

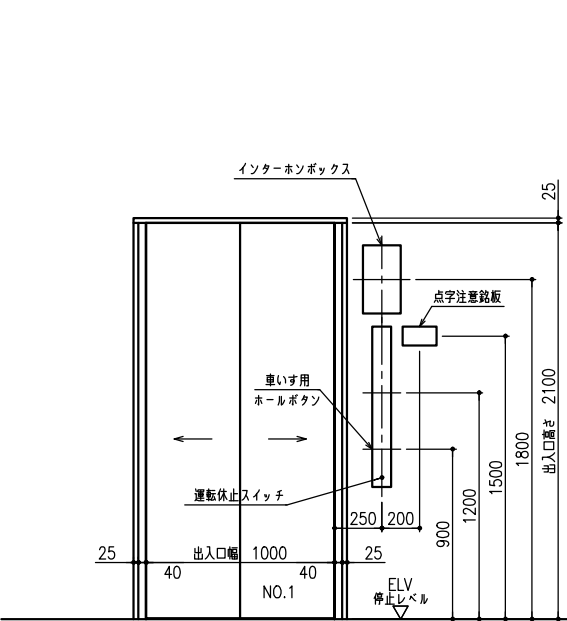
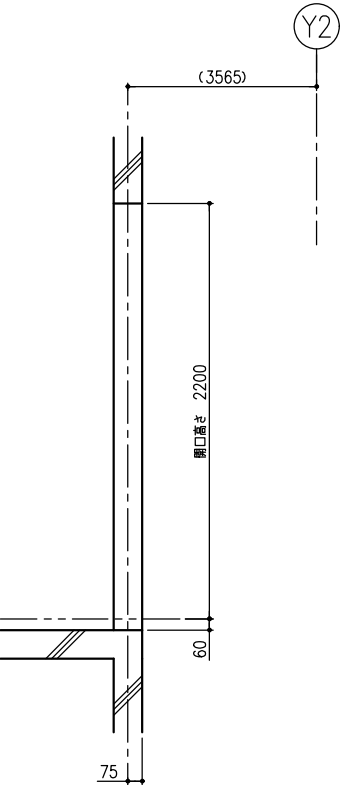
地震時建物に掛る荷重



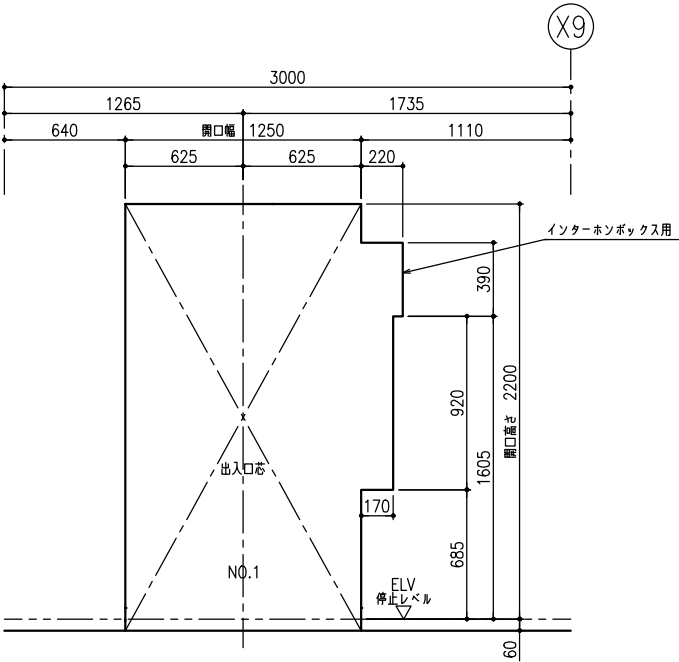
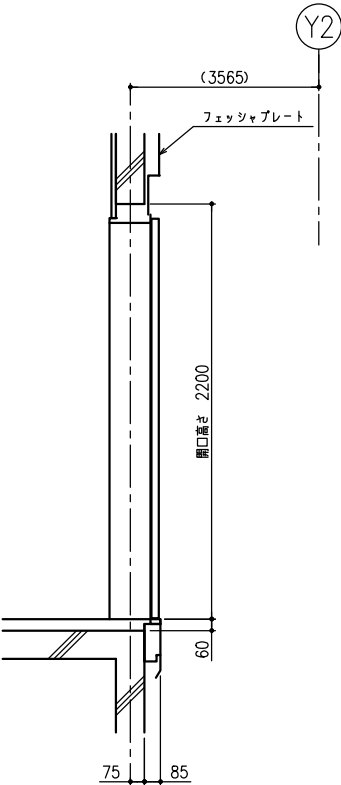
2階 出入口正面及断面図 (1:40)



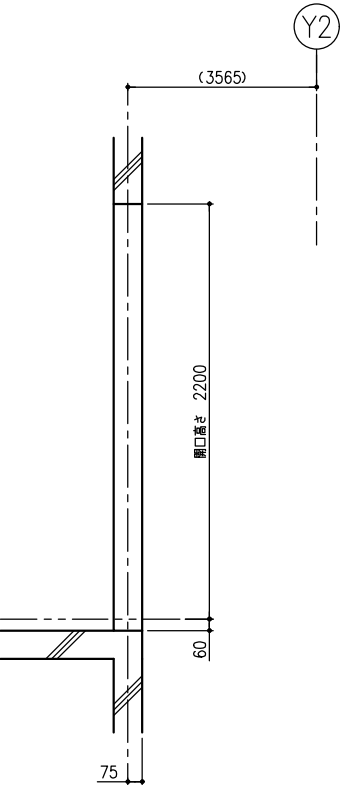
2階 出入口穴明図 (1:40)

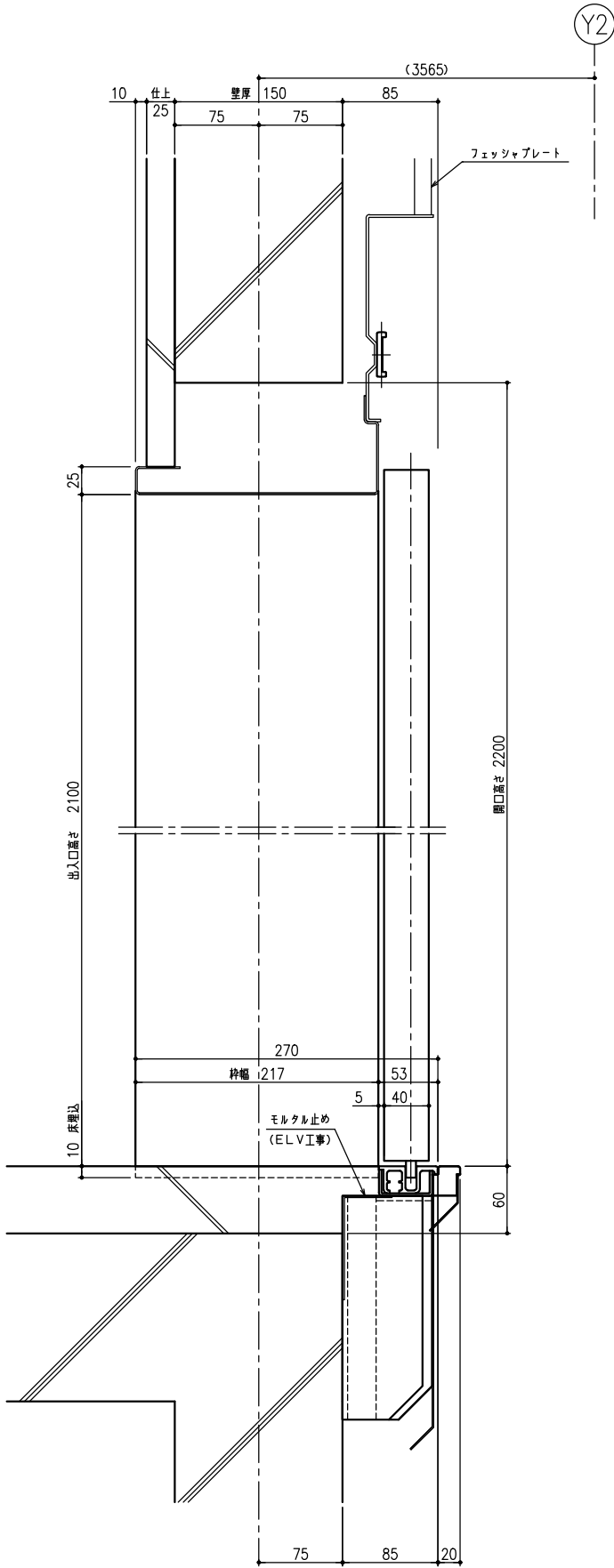


1階 出入口正面及断面図 (1:40)

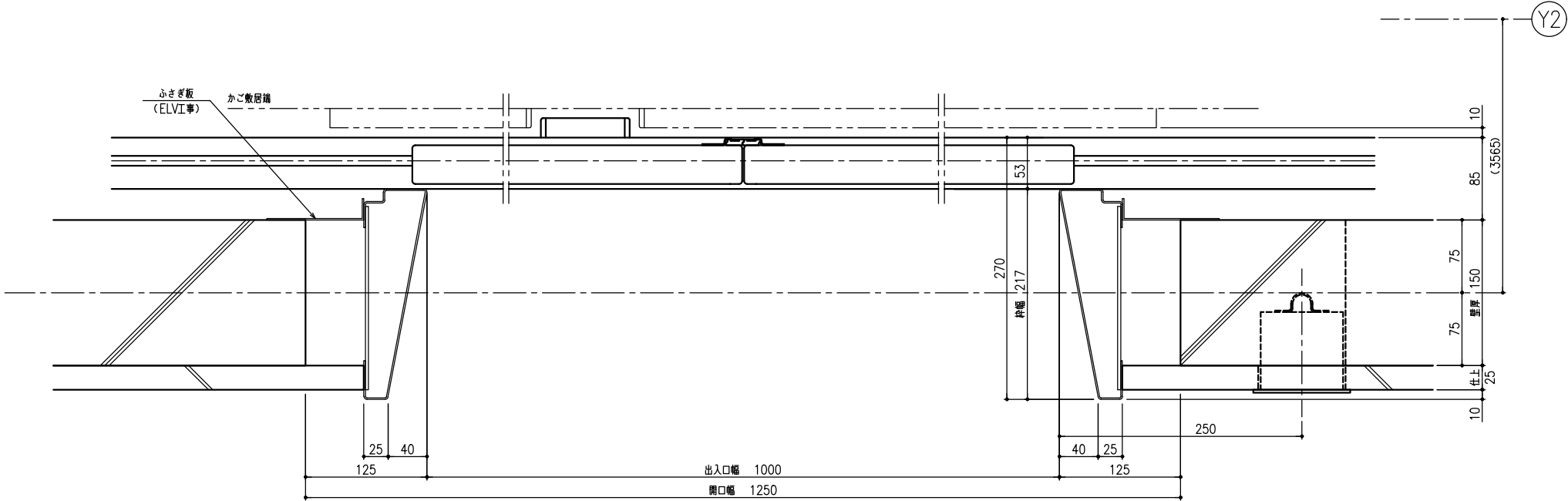


1階 出入口穴明図 (1:40)

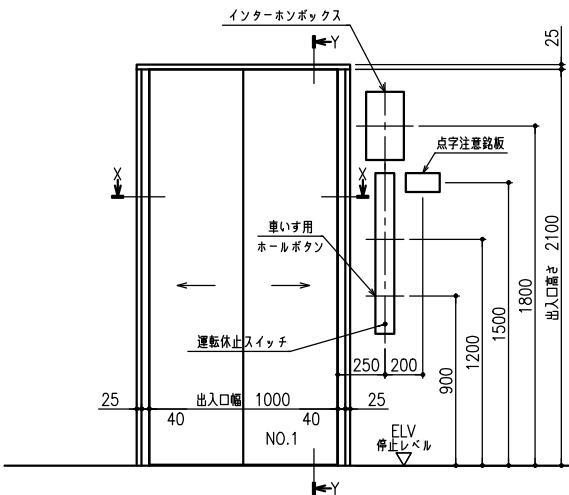




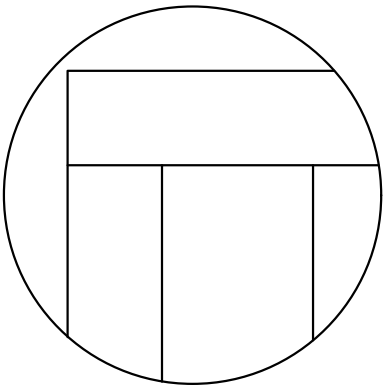
断面図【断面YY】 (1:6)



平面図【断面XX】 (1:6)

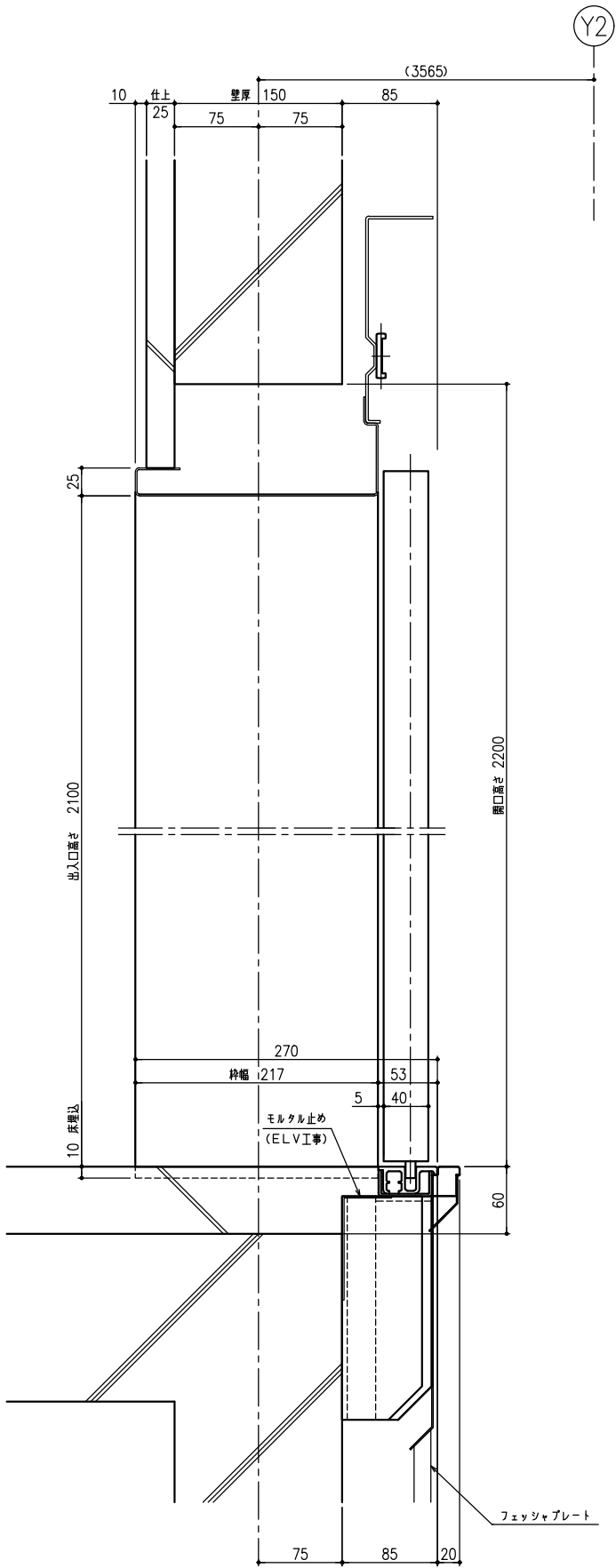


正面図 (1:40)

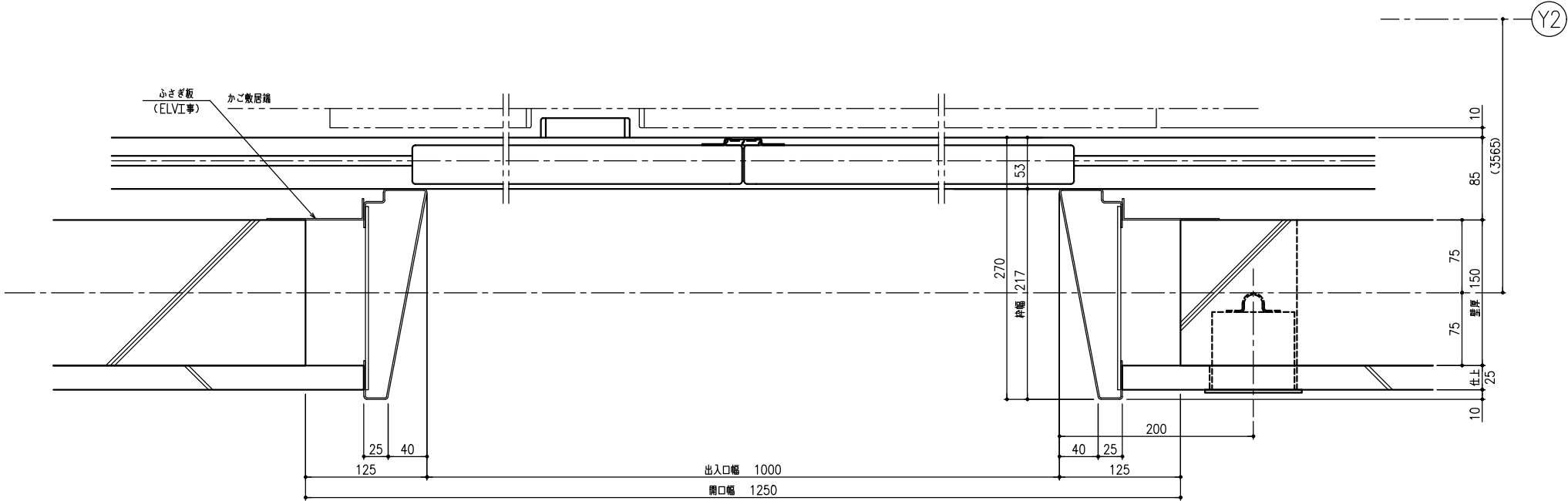


三方枠取合図 (1:2)

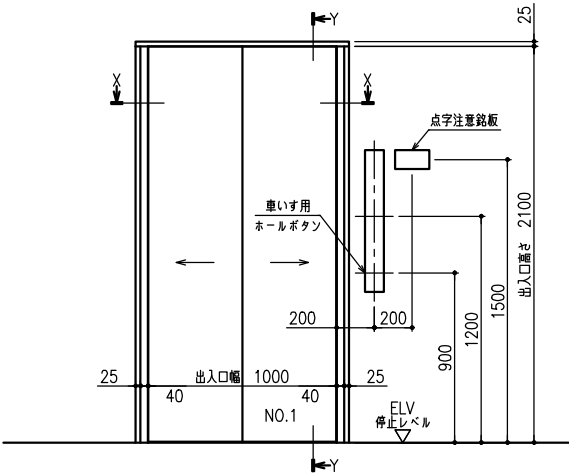
1階 仕様	
三方枠	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
敷居	硬質フルミ



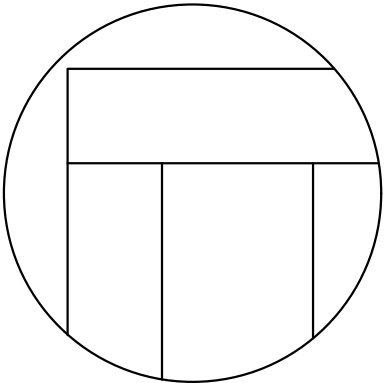
断面図【断面YY】 (1:6)



平面図【断面XX】 (1:6)

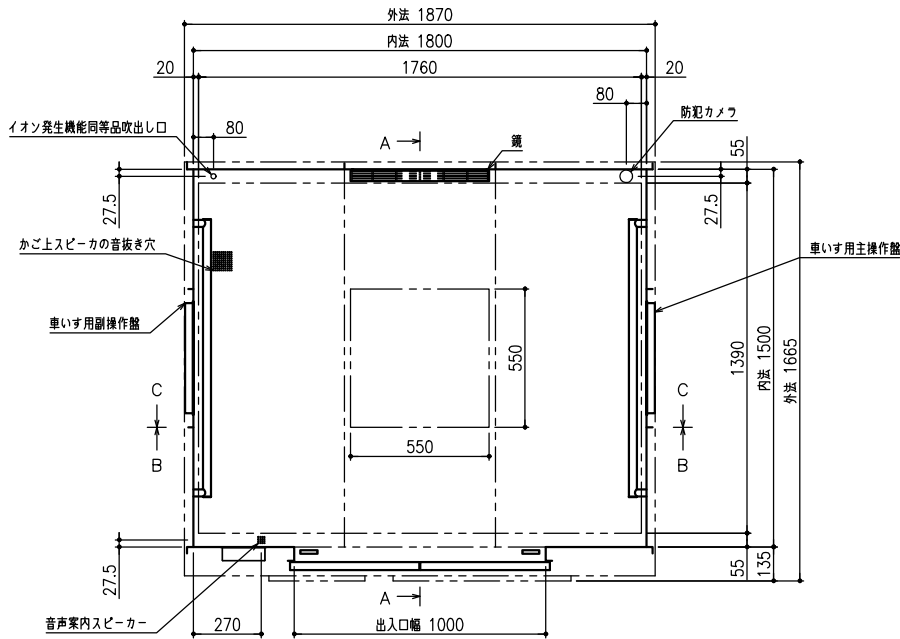
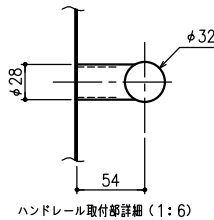
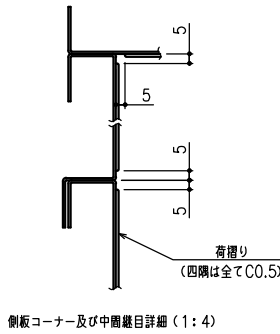
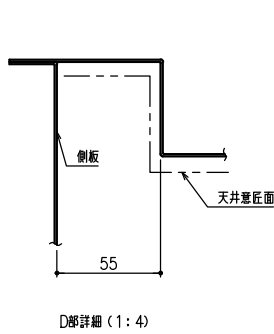
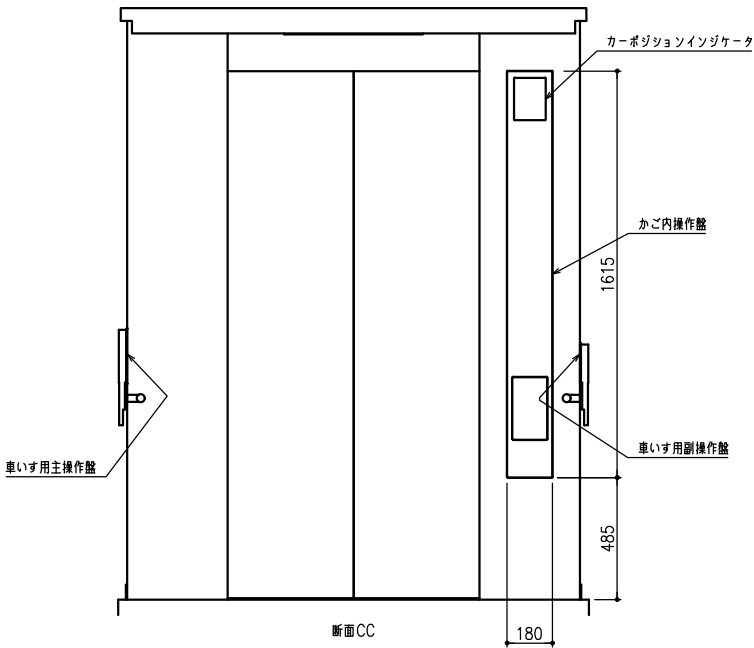
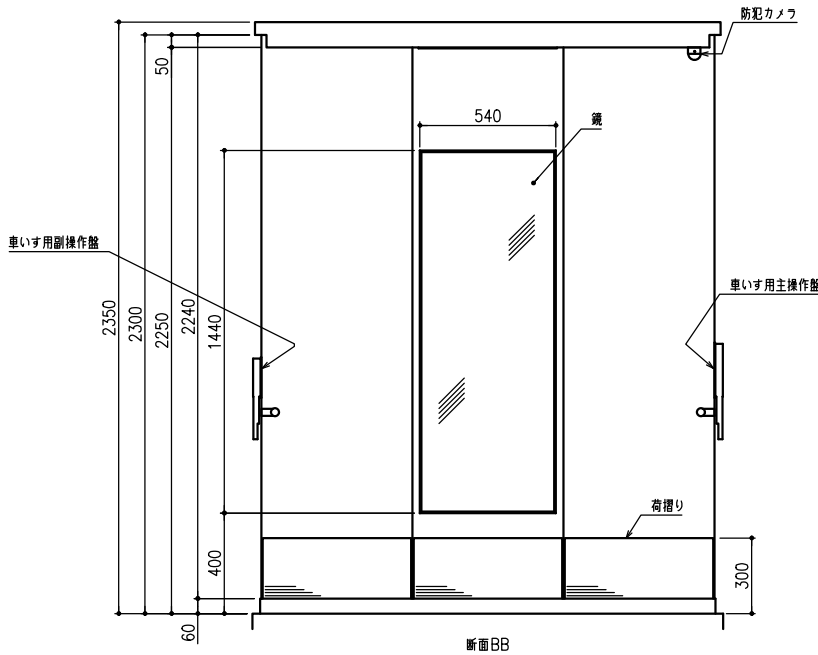
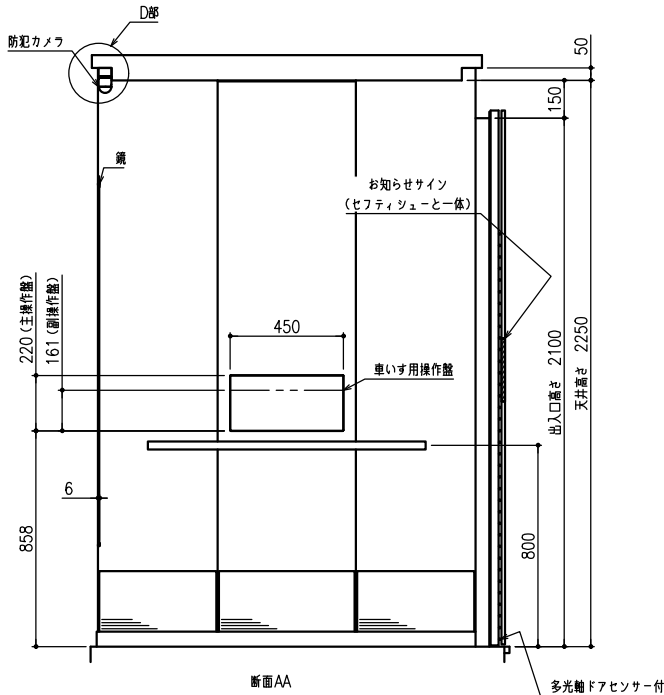


正面図 (1:40)



三方枠取合図 (1:2)

2階 仕様	
三方枠	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
敷居	硬質フルミ



品 名	仕 様
前創板、出入口上額枠	化粧鋼板
幅 木	化粧鋼板
創板、戸	化粧鋼板
天井	鋼板塗装仕上 (半ツヤ)
照 明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照明色: 白色)
停電灯	LED
換 気	ファン
床	荷重用樹脂タイル (2T)
敷 居	硬質アルミ
鏡	額縁付 ガラス製鏡
ハンドレール	ステンレスパイプ (ヘアライン仕上)
光電装置	多光軸ドアセンサー (お知らせサイン付)
天井換気ルーバー	ABS樹脂
荷棚り	ステンレスヘアライン仕上 (床から300mm)
付属品	車いす仕様付, 視覚障がい者仕様付, 防犯カメラ付 乗り場創利用者検知機能付, かが戸袋引き込まれ低減機能付 空気清浄機能付 (イオン発生機能同等品) 非常放送用スピーカー付, 音声案内装置付 かが創板保護マット (高さ: 床面から1800mm) 付 かが床マット付

A1 (原寸) 時 = 1:15, A3 (縮小) 時 = 1:30

曾於市末吉小学校

図面番号	Sheet Name	A1縮尺	A3縮尺	status	図面番号	Sheet Name	A1縮尺	A3縮尺	status
S- 000	表紙・図面リスト	－	－	●	S- 301	杭・基礎・ 耐圧版リスト	－	－	●
S- 001	構造関係 特記仕様書-1	－	－	●	S- 302	基礎梁リスト	1/50	1/100	●
S- 002	構造関係 特記仕様書-2	－	－	●	S- 303	柱芯線図・柱リスト	1/50,1/200	1/100,1/400	●
S- 003	構造関係 特記仕様書-3	－	－	●	S- 304	RC大梁リスト	1/50	1/100	●
S- 004	構造関係 特記仕様書-4	－	－	●	S- 305	RC小梁リスト・RC壁リスト ・スラブリスト	1/50	1/100	●
S- 005	鉄筋コンクリート 構造標準図-1	－	－	●	S- 306	木部材リスト	1/40	1/80	●
S- 006	鉄筋コンクリート 構造標準図-2	－	－	●					
S- 007	鉄筋コンクリート 構造標準図-3	－	－	●	S- 401	架構詳細図-1	－	－	●
S- 008	鉄筋コンクリート 構造標準図-4	－	－	●	S- 402	架構詳細図-2	－	－	●
S- 009	鉄筋コンクリート 構造標準図-5	－	－	●	S- 403	部分詳細図-1	－	－	●
S- 010	鉄筋コンクリート 構造標準図-6	－	－	●	S- 404	部分詳細図-2	－	－	●
S- 011	鉄骨標準図-1	－	－	●	S- 405	部分詳細図-3	－	－	●
S- 012	鉄骨標準図-2	－	－	●	S- 406	階段詳細図	－	－	●
S- 013	溶接基準図	－	－	●	S- 407	屋根勾配構面詳細図	1/100	1/200	●
S- 014	木造 構造標準図-1	－	－	●					
S- 015	木造 構造標準図-2	－	－	●					
S- 016	木造 構造標準図-3	－	－	●					
S- 017	木造 構造標準図-4	－	－	●					
S- 018	ボーリング柱状図-1	－	－	●					
S- 019	ボーリング柱状図-2	－	－	●					
S- 101	杭伏図	1/200	1/400	●					
S- 102	基礎伏図	1/200	1/400	●					
S- 103	1階伏図	1/200	1/400	●					
S- 104	2階伏図	1/200	1/400	●					
S- 105	R階伏図	1/200	1/400	●					
S- 111	木造A 2階伏図	1/25	1/50	●					
S- 112	木造B 2階伏図	1/25	1/50	●					
S- 113	木造B R階伏図	1/25	1/50	●					
S- 114	木造C 2階伏図	1/25	1/50	●					
S- 115	木造C R階伏図	1/25	1/50	●					
S- 116	木造D 2階伏図	1/25	1/50	●					
S- 117	木造D R階伏図	1/25	1/50	●					
S- 118	木造E 2階伏図	1/25	1/50	●					
S- 119	木造E R階伏図	1/25	1/50	●					
S- 201	軸組図-1	1/200	1/400	●					
S- 202	軸組図-2	1/200	1/400	●					
S- 203	軸組図-3	1/200	1/400	●					
S- 204	軸組図-4	1/200	1/400	●					
S- 205	軸組図-5	1/200	1/400	●					

[illegible]

12. 木 質 工 事	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
木工事は特記なき限り下記による。設計図書に相違がある場合の優先順位は下記による。 1. 「公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版」国土交通大臣官庁省庁官轄部 2. 「木造計画・設計基準 平成23年度」国土交通大臣官庁庁営轄部 3. 「木造住宅工事仕様書」住宅金融支援機構 4. 日本建築学会 JASS11-2005 上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。 項目欄〇の数字は「木造工事標準仕様書」の該当項目番号を示す。 防耐火設計の区分 ・耐火建築物 ○ルートA(仕様基準) ・ルートB(性能検証) ・ルートC(高度な検証) ○準耐火建築物 ○イ準耐火建築物 (木質部材: ○被覆型 ○燃えしろ設計) ○ロ準耐火建築物 一号 ○その他建築物 鉛直荷重を支持しない木質部材については特記による。 本章は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。	③ 接合具 (12.2.4) (12.2.5) (12.2.6) 接合具の仕様は下記による。 特記なき限り接合具は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用する場合は監理者の承諾を得る。 接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板: Z27(JIS G 3302)、電気亜鉛めっき: Ep-Fe/Zn5/CM2とする。 くぎ、木ねじ くぎはJIS A 5508の規格に、木ねじはJIS B 1112 1195、JIS B 1135 1195の規格による。 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th colspan="2">材 質</th><th>径</th><th>長さ</th><th>使用箇所</th><th>頭部・胴部形状</th></tr><tr><td>＊ N 釘</td><td>鉄</td><td>JIS G 3532</td><td>SWM-N</td><td></td><td></td><td>耐力壁、床板、屋根</td><td>血頭綱目付き/スムース</td></tr><tr><td></td><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4309</td><td>SUS304</td><td></td><td>耐力壁、床板、屋根</td><td>平頭フラット及び綱目付き/スムース</td></tr><tr><td>○ CN 釘</td><td>鉄</td><td>JIS G 3532</td><td>SWM-N</td><td>リストによる</td><td>リストによる</td><td>耐力壁、床板、屋根</td><td>平頭フラット</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造用ビス <table><tr><th colspan="4">製品名</th><th>径</th><th>長さ</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>＊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ボルト、ナット、座金 ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格による。 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th colspan="2">材 質</th><th>径</th><th>長さ</th><th>防錆処理、使用箇所</th></tr><tr><td>＊呼び径六角ボルト</td><td>鉄</td><td>JIS G 3101</td><td>SS400</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊有効径六角ボルト</td><td></td><td>JIS G 3505</td><td>SWRM8～10</td><td></td><td></td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊全ネジボルト</td><td></td><td>JIS G 3507-1</td><td>SWRCH8～10</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4303</td><td>SUS304</td><td></td><td></td><td>生地</td></tr><tr><td>○アンカーボルト</td><td>鉄</td><td>JIS G 3101</td><td>SS400</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS G 3138</td><td>SNR400B</td><td></td><td></td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS G 3505</td><td>SWRM8～10</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS G 3507-1</td><td>SWRCH8～10</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4303</td><td>SUS304</td><td></td><td></td><td>生地</td></tr><tr><td>＊角座金</td><td>鉄</td><td>JIS G 3131</td><td>SPHC</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊丸座金</td><td></td><td>JIS G 3131</td><td>SS400</td><td></td><td></td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td>ステンレス</td><td>JIS G 4303</td><td>SUS304</td><td></td><td></td><td>生地</td></tr></table> 座金は用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。 <table><tr><th>座金の大きさ</th><th colspan="7">ボルト径</th></tr><tr><td></td><td>8</td><td>10</td><td>12</td><td>16</td><td>20</td><td>24</td><td></td></tr><tr><td>引張りを受けるボルト</td><td>厚さ</td><td>4.5</td><td>4.5</td><td>6</td><td>9</td><td>9</td><td>13</td></tr><tr><td></td><td>角座金の一辺</td><td>40</td><td>50</td><td>60</td><td>80</td><td>105</td><td>125</td></tr><tr><td></td><td>丸座金の直径</td><td>45</td><td>60</td><td>70</td><td>90</td><td>120</td><td>140</td></tr><tr><td>せん断を受けるボルト</td><td>厚さ</td><td>3.2</td><td>3.2</td><td>3.2</td><td>4.5</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td></td><td>角座金の一辺</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>50</td><td>60</td><td>70</td></tr><tr><td></td><td>丸座金の直径</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>60</td><td>70</td><td>80</td></tr></table> ドリフトピン、ラグスクリュー(コーチボルト)、ジベル(スプリットリング、シアプレート)、木栓 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th colspan="2">材 質</th><th>径</th><th>長さ</th><th>防錆処理、使用箇所</th></tr><tr><td>○ドリフトピン</td><td>鉄</td><td>JIS G 3101</td><td>SS400</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS G 3505</td><td>SWRM8～10</td><td>12</td><td>75</td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS G 4051</td><td>S10C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊ラグスクリュー(コーチボルト)</td><td>鉄</td><td>JIS B 1180</td><td>強度区分4.6</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td></td><td></td><td>JIS B 1051</td><td>又は4T1に適合する炭素鋼</td><td></td><td></td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊スプリットリング</td><td>鉄</td><td>JIS G 3101</td><td>SS400</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊シアプレート</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>＊溶融亜鉛めっき</td></tr><tr><td>＊木栓</td><td>堅木</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 木栓はナラ・ケヤキ・カン等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとし、先端は3～5mm程度面取りをすること。 ドリフトピンにはテーパーを設け、テーパー部の長さは10mm以下とする。 ラグスクリューボルト(LSB) <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th colspan="2">材 質</th><th>径</th><th>長さ</th><th>防錆処理</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td>＊ラグスクリューボルト</td><td></td><td>SWCH45K</td><td>(JIS G 3507-2)</td><td></td><td></td><td>＊電気亜鉛めっき</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 接合金物、鋼材 <table><tr><th colspan="2">種 類</th><th>材 質</th><th>短期許容接合耐力</th><th>タイプ、メーカー、品名、防錆処理等</th></tr><tr><td>＊筋交端部の接合部</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ＊柱頭・柱脚接合部* ＊横架材接合部 ＊ ＊ ＊製作金物 リスト参照	種 類		材 質		径	長さ	使用箇所	頭部・胴部形状	＊ N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	血頭綱目付き/スムース			ステンレス	JIS G 4309	SUS304		耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び綱目付き/スムース	○ CN 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	リストによる	リストによる	耐力壁、床板、屋根	平頭フラット																																																	製品名				径	長さ	使用箇所	＊							＊							＊							種 類		材 質		径	長さ	防錆処理、使用箇所	＊呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき	＊有効径六角ボルト		JIS G 3505	SWRM8～10			＊溶融亜鉛めっき	＊全ネジボルト		JIS G 3507-1	SWRCH8～10					ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地	○アンカーボルト	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき			JIS G 3138	SNR400B			＊溶融亜鉛めっき			JIS G 3505	SWRM8～10						JIS G 3507-1	SWRCH8～10					ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地	＊角座金	鉄	JIS G 3131	SPHC			＊電気亜鉛めっき	＊丸座金		JIS G 3131	SS400			＊溶融亜鉛めっき		ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地	座金の大きさ	ボルト径								8	10	12	16	20	24		引張りを受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13		角座金の一辺	40	50	60	80	105	125		丸座金の直径	45	60	70	90	120	140	せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6		角座金の一辺	25	30	35	50	60	70		丸座金の直径	30	35	40	60	70	80	種 類		材 質		径	長さ	防錆処理、使用箇所	○ドリフトピン	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき			JIS G 3505	SWRM8～10	12	75	＊溶融亜鉛めっき			JIS G 4051	S10C				＊ラグスクリュー(コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6			＊電気亜鉛めっき			JIS B 1051	又は4T1に適合する炭素鋼			＊溶融亜鉛めっき	＊スプリットリング	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき	＊シアプレート						＊溶融亜鉛めっき	＊木栓	堅木						種 類		材 質		径	長さ	防錆処理	使用箇所	＊ラグスクリューボルト		SWCH45K	(JIS G 3507-2)			＊電気亜鉛めっき																																																																										種 類		材 質	短期許容接合耐力	タイプ、メーカー、品名、防錆処理等	＊筋交端部の接合部																																																		④ 材料品質の検査方法 構造用木質材料 現場または加工工場に搬入された構造用木質材料は、加工に先立ち下記の項目の受け入れ検査を実施し、速やかに管理者に報告する。 <table><tr><th colspan="2">木質材料</th><th colspan="2">確認項目</th><th colspan="2">確認の方法</th></tr><tr><td>＊目視等級区分</td><td>樹種、種類、等級、含水率、寸法、保存処理、表面仕上げ</td><td>＊製造工場の認定書等の写し</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊構造用製材</td><td>樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法</td><td>＊日本農林規格(JAS)表示の確認</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊構造用集成材</td><td>樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法</td><td>＊日本工業規格(JIS)表示の確認</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊構造用 LVL</td><td>樹種、品名、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法</td><td>＊材面の確認</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊直交集成材 (CLT)</td><td>樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊構造用 単板</td><td>単板の樹種、品名、等級、接着の程度、材面の品質、板面の品質、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>＊構造用パネル (OSB)</td><td>品名、等級、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ＊必要項目を満たさない材料は用いない。 無等級製材 現場または加工工場に搬入された無等級製材は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。 <table><tr><th>部材</th><th>確認する仕様</th><th>確認者</th><th>材種等級</th><th>外観検査</th><th>寸法検査</th><th>表示</th><th>含水率測定</th><th>ヤング係数測定</th><th>静的試験</th><th>動的試験</th></tr><tr><td>＊無等級材</td><td>社内</td><td>材種100</td><td>100</td><td>100</td><td>＊1</td><td>100</td><td>＊1</td><td>100</td><td>＊1</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td>監理者</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table> ＊含水率測定の場合は、監理者の指示による。 ＊1:1荷口(樹種・伏採地が同じであれば1:1荷口)につき確認する試験本数を示す。 1. 監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。 2. 材種は表示または出荷証明書を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。 3. 全乾法や静的ヤング係数試験は、含水率計は生木センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。 4. 全乾法や静的ヤング係数実際に用する同一部材の中から抽出し、製材の日本農林規格に規定される曲げ試験に準ずる。 5. ヤング係数の動的試験結果の等級区分は、日本農林規格の構造用製材の機械等級区分に準じる 6. 特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。 7. 特記無き場合は、動的試験は製材後(継手などの工場加工前)に行う。	木質材料		確認項目		確認の方法		＊目視等級区分	樹種、種類、等級、含水率、寸法、保存処理、表面仕上げ	＊製造工場の認定書等の写し				＊構造用製材	樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊日本農林規格(JAS)表示の確認				＊構造用集成材	樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊日本工業規格(JIS)表示の確認				＊構造用 LVL	樹種、品名、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊材面の確認				＊直交集成材 (CLT)	樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ					＊構造用 単板	単板の樹種、品名、等級、接着の程度、材面の品質、板面の品質、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ					＊構造用パネル (OSB)	品名、等級、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ					部材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	表示	含水率測定	ヤング係数測定	静的試験	動的試験	＊無等級材	社内	材種100	100	100	＊1	100	＊1	100	＊1	100		監理者	○	○	○		○				○	⑤ 木材の加工 (5.4.2) (5.4.3) (6.4.5) (9.4.4) 加工時の注意 製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。 加工寸法の精度 図面寸法は仕上がり寸法とする。 下記を除き、2木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、無等級材の寸法許容差が構造用製材の農林規格の寸法許容差に準ずる。また上限値が制限なしとなっている場合には、協議による。 材種:() () 1. 構造用製材、化粧ばり構造用集成材の材長 ＊軸組み工法の継手仕口の場合: ±1.0mm以下 ＊ボルト接合法の場合: ±1.0mm以下 2. 構造用集成材、構造用単板集成材の材長 ＊軸組み工法の継手仕口の場合: ±1.0mm以下 ＊ボルト接合法の場合: 材長の±0.4%以下 3. ボルト孔径(dはボルト径) ＊集成材等: d+1.0mm(d≤M12)、d+2.0mm(d≥M16) ＊接合金物等: d+1.0mm(d≤M12)、d+1.5mm(d≥M16) 4. ドリフトピンの孔径(dはドリフトピン径) ＊集成材等: d±0mm ＊接合金物等: d+1.0mm(d≤φ12)、d+1.5mm(d≥φ16) 木質材料に示す構造用面材の寸法許容差は各々の日本農林規格または日本工業規格の寸法許容差に準ずる。 表面仕上げ <table><tr><th>材料</th><th>表面仕上げ</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 塗装 素地調整: 汚れ付着物を除去する 下地塗り: 品名(), 塗装部位・範囲() 面取り ＊柱: ()mm ＊梁: ()mm 加工状況の検査 ○立ち会い検査 ＊外観検査 ○施工者自主検査記録の提出	材料	表面仕上げ																					⑥ 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理) (4.2.1) (4.2.2) (4.2.3) (4.2.4) 木材の防腐・防蟻処理 ○高耐久材(心持ち材または集成材)の使用 ＊心材のみ使用 ＊工場処理材(注: 現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準ずる) JAS保存処理材: K5 K4 K3 K2 K1 AQ認証保存処理材: 1種 2種 3種 ＊現場処理(注: 接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は特に入念な処理を行う。給排水塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。処理方法は、日本しろあり対策境界の標準仕様書に準ずる。) ＊塗布 ＊吹付 ＊含漬 特記なき場合は、処理量: 300ml/m ² 、処理階数: 上記塗布量の範囲で2回処理 使用薬剤: 日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。 <table><tr><th>使用部位</th><th>高耐久材</th><th>工場処理材</th><th>現場処理材</th></tr><tr><td>土台</td><td>＊ひば</td><td>＊K3</td><td>＊()</td></tr><tr><td>＊塗布</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外周柱下部1m</td><td>＊ひのき</td><td>＊K3</td><td>＊()</td></tr><tr><td>＊塗布</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>水回り</td><td>＊()</td><td>＊K3</td><td>＊()</td></tr><tr><td>＊塗布</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>＊()</td><td>＊K</td><td>＊()</td></tr><tr><td>＊塗布</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 耐候処理 ＊建築関係図書及び建築関係仕様書による。 ＊下記による。 <table><tr><th>部位</th><th>塗布の種類</th><th>色の有無</th></tr><tr><td></td><td>＊造膜型</td><td>＊含侵型</td><td>＊着色(色)</td><td>＊透明</td></tr><tr><td></td><td>＊造膜型</td><td>＊含侵型</td><td>＊着色(色)</td><td>＊透明</td></tr><tr><td></td><td>＊造膜型</td><td>＊含侵型</td><td>＊着色(色)</td><td>＊透明</td></tr><tr><td></td><td>＊造膜型</td><td>＊含侵型</td><td>＊着色(色)</td><td>＊透明</td></tr></table>	使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理材	土台	＊ひば	＊K3	＊()	＊塗布				外周柱下部1m	＊ひのき	＊K3	＊()	＊塗布				水回り	＊()	＊K3	＊()	＊塗布				その他	＊()	＊K	＊()	＊塗布				部位	塗布の種類	色の有無		＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明		＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明		＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明		＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明
種 類		材 質		径	長さ	使用箇所	頭部・胴部形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
＊ N 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	血頭綱目付き/スムース																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		ステンレス	JIS G 4309	SUS304		耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び綱目付き/スムース																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ CN 釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	リストによる	リストによる	耐力壁、床板、屋根	平頭フラット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
製品名				径	長さ	使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
＊																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
＊																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類		材 質		径	長さ	防錆処理、使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊有効径六角ボルト		JIS G 3505	SWRM8～10			＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊全ネジボルト		JIS G 3507-1	SWRCH8～10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○アンカーボルト	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		JIS G 3138	SNR400B			＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		JIS G 3505	SWRM8～10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		JIS G 3507-1	SWRCH8～10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊角座金	鉄	JIS G 3131	SPHC			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊丸座金		JIS G 3131	SS400			＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
座金の大きさ	ボルト径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	8	10	12	16	20	24																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
引張りを受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類		材 質		径	長さ	防錆処理、使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ドリフトピン	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		JIS G 3505	SWRM8～10	12	75	＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		JIS G 4051	S10C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
＊ラグスクリュー(コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		JIS B 1051	又は4T1に適合する炭素鋼			＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊スプリットリング	鉄	JIS G 3101	SS400			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊シアプレート						＊溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
＊木栓	堅木																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 類		材 質		径	長さ	防錆処理	使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
＊ラグスクリューボルト		SWCH45K	(JIS G 3507-2)			＊電気亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類		材 質	短期許容接合耐力	タイプ、メーカー、品名、防錆処理等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
＊筋交端部の接合部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
木質材料		確認項目		確認の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
＊目視等級区分	樹種、種類、等級、含水率、寸法、保存処理、表面仕上げ	＊製造工場の認定書等の写し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
＊構造用製材	樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊日本農林規格(JAS)表示の確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
＊構造用集成材	樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊日本工業規格(JIS)表示の確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
＊構造用 LVL	樹種、品名、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法	＊材面の確認																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
＊直交集成材 (CLT)	樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
＊構造用 単板	単板の樹種、品名、等級、接着の程度、材面の品質、板面の品質、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
＊構造用パネル (OSB)	品名、等級、ホルムアルデヒド放散量、寸法、反り・ねじれ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
部材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	表示	含水率測定	ヤング係数測定	静的試験	動的試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
＊無等級材	社内	材種100	100	100	＊1	100	＊1	100	＊1	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	監理者	○	○	○		○				○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
材料	表面仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
土台	＊ひば	＊K3	＊()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
＊塗布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
外周柱下部1m	＊ひのき	＊K3	＊()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
＊塗布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
水回り	＊()	＊K3	＊()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
＊塗布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
その他	＊()	＊K	＊()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
＊塗布																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
部位	塗布の種類	色の有無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	＊造膜型	＊含侵型	＊着色(色)	＊透明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

 MARU. architecture	有限会社マル・アーキテクチャ 一級建築士事務所 東京都千代田区豊59575号	 DAI ARCHITECTURAL, INC.	株式会社Da建築DESIGN 一級建築士事務所 鹿児島県知事登録第1461号	 ARUP	オープ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド 一級建築士登録第355621号 構造設計一級建築士登録第10495号 東京都知事登録第355711号	富岡 良大 一級建築士登録第318575号 構造設計一級建築士登録第4096号	菅 健太郎 一級建築士登録第318575号 設備設計一級建築士登録第4451号	向井 一将 一級建築士登録第328591号 設備設計一級建築士登録第4451号	Project Title 教7-12 末吉小学校校舎改築本体内工事	Client 曾於市	Name of Drawing 構造関係 特記仕様書-4	Scale A1:- A3:-	Architect Drawn by Checked by	Date 2025.07.08	S- 004
--	--	---	--	--	--	---	---	---	---------------------------------------	---------------	---------------------------------	-----------------------	-------------------------------------	--------------------	--------

3. 杭

(1)場所打ちコンクリート杭

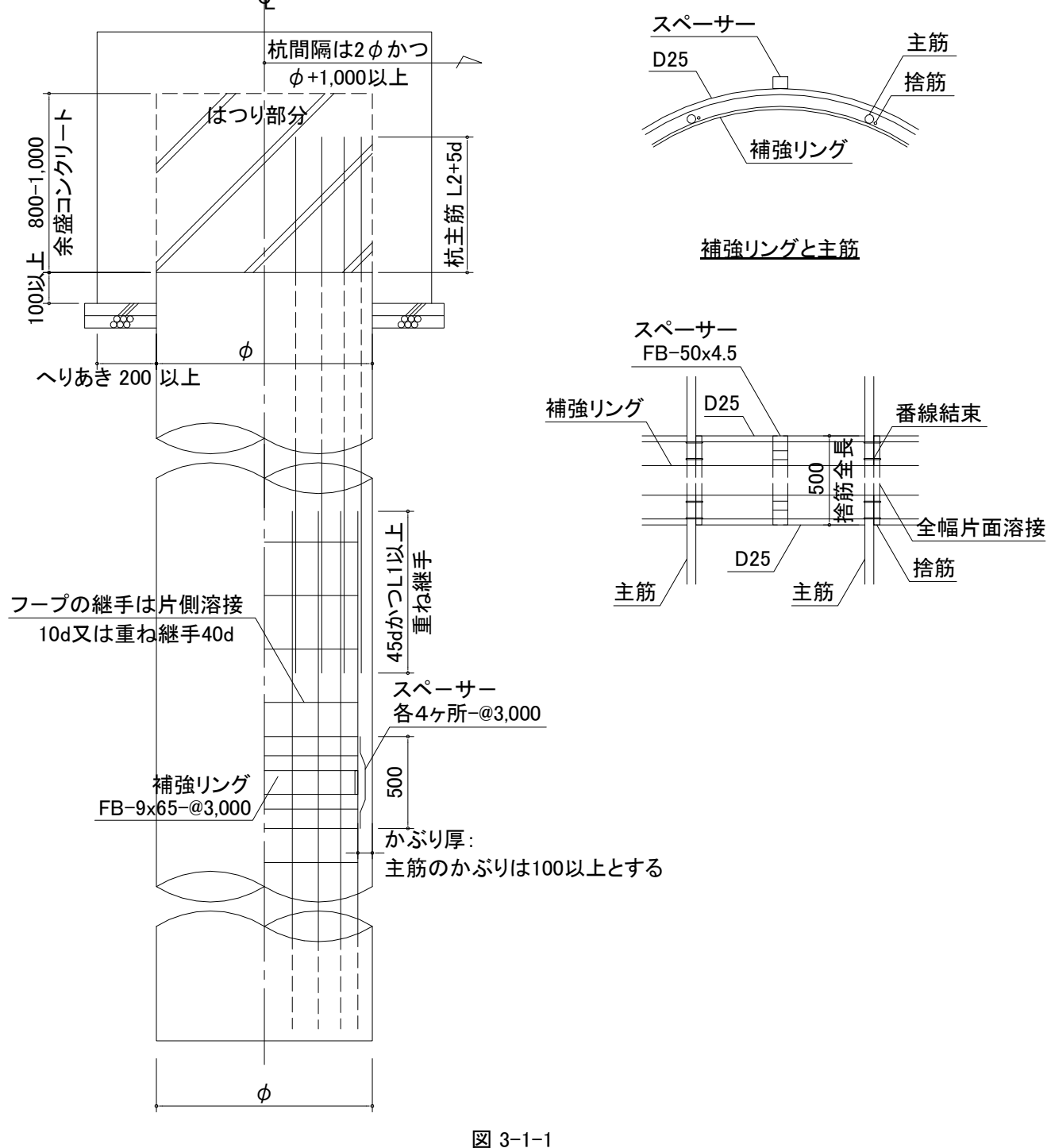


図 3-1-1

4. 基礎

(1)基礎接合部の補強

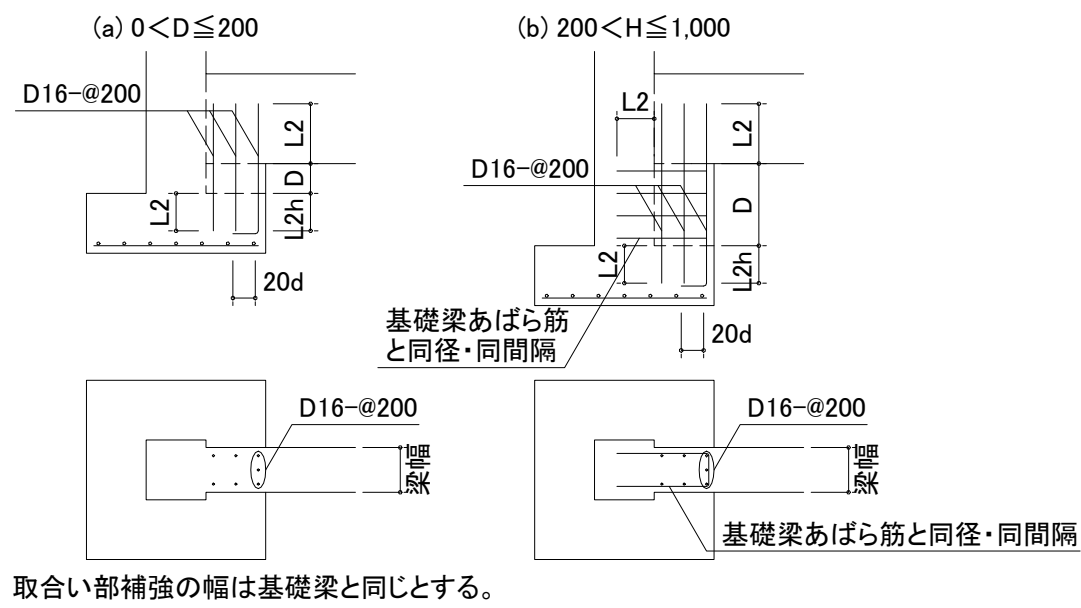


図 4-1-1

(2)基礎配筋要領

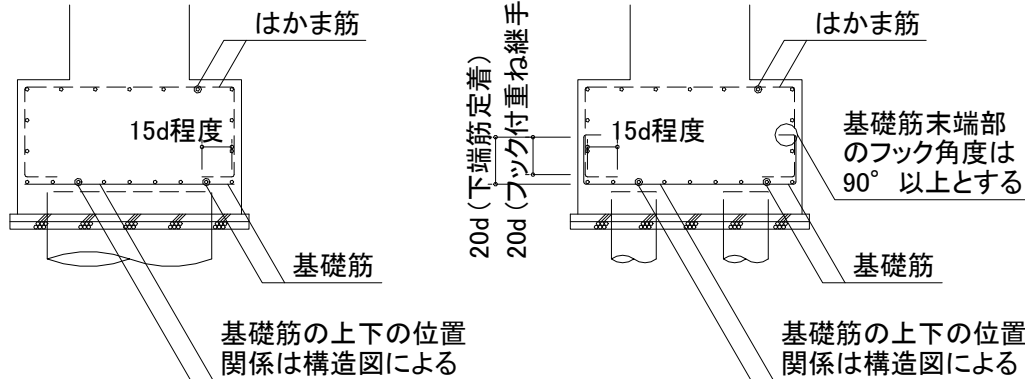


図 4-1-2

5. 地中梁

(1)基礎大梁の定着・カットオフ筋長さおよび継手位置

1. 柱を介して連続する基礎梁の主筋本数が異なる場合は、通し筋以外の基礎梁主筋を柱内に定着する。
または柱コンクリート面より定着長さをとって反対側の梁内に定着する。
2. カットオフ筋長さは、構造図による。構造図に記載のない場合は、図 5-1-1、図 5-1-2、図 5-1-3による。

A1. 接地圧等により決まる場合

- (i) 定着およびカットオフ筋長さ(タイプA1)

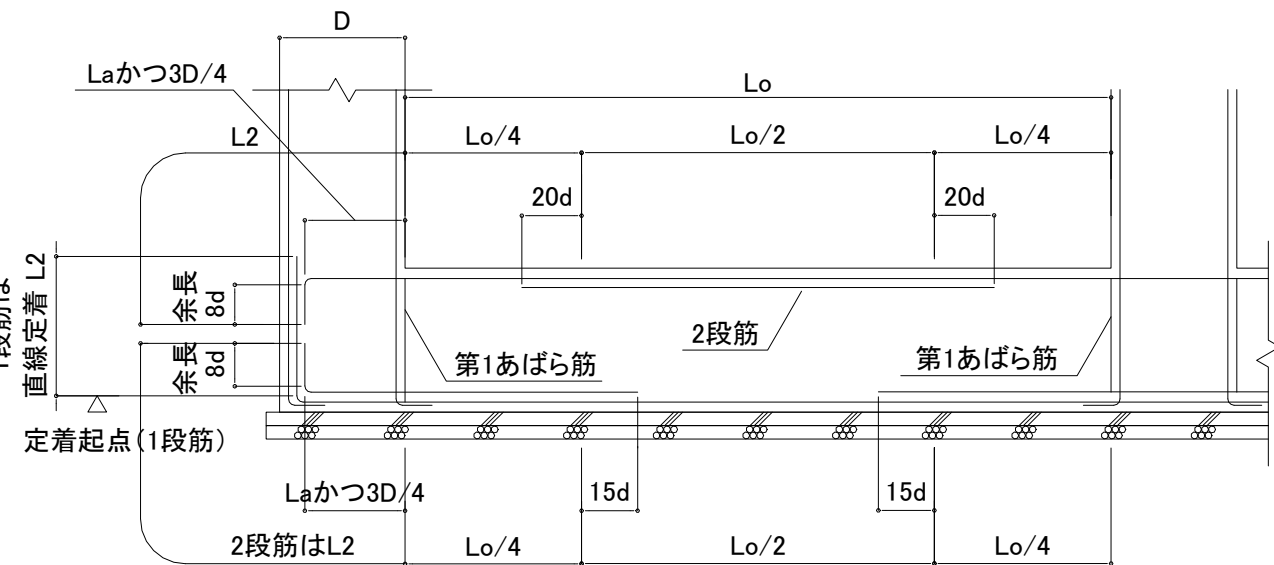


図 5-1-1

(ii) 継手位置

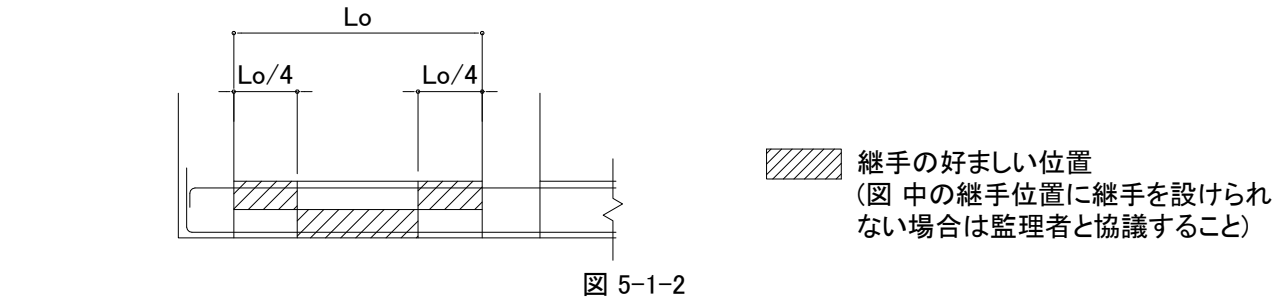


図 5-1-2

B1/B2. 上載荷重により決まる場合

- (i) 定着およびカットオフ筋長さ(タイプB1)

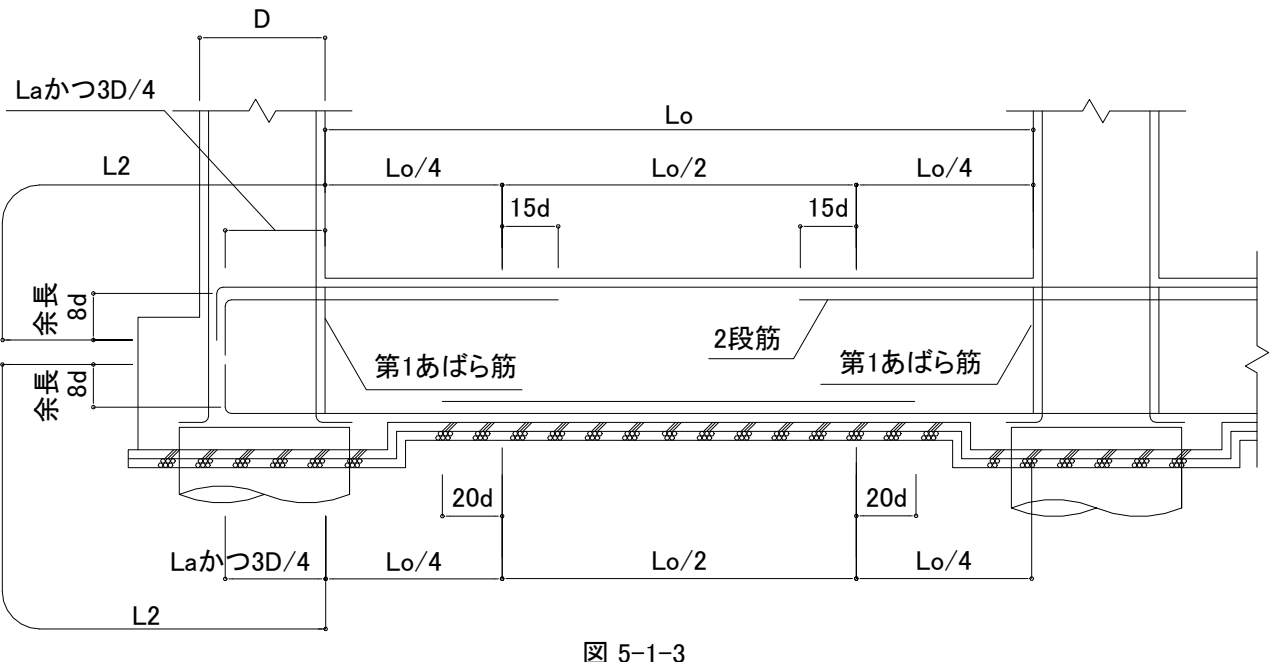


図 5-1-3

(ii) 定着およびカットオフ筋長さ(タイプB2)

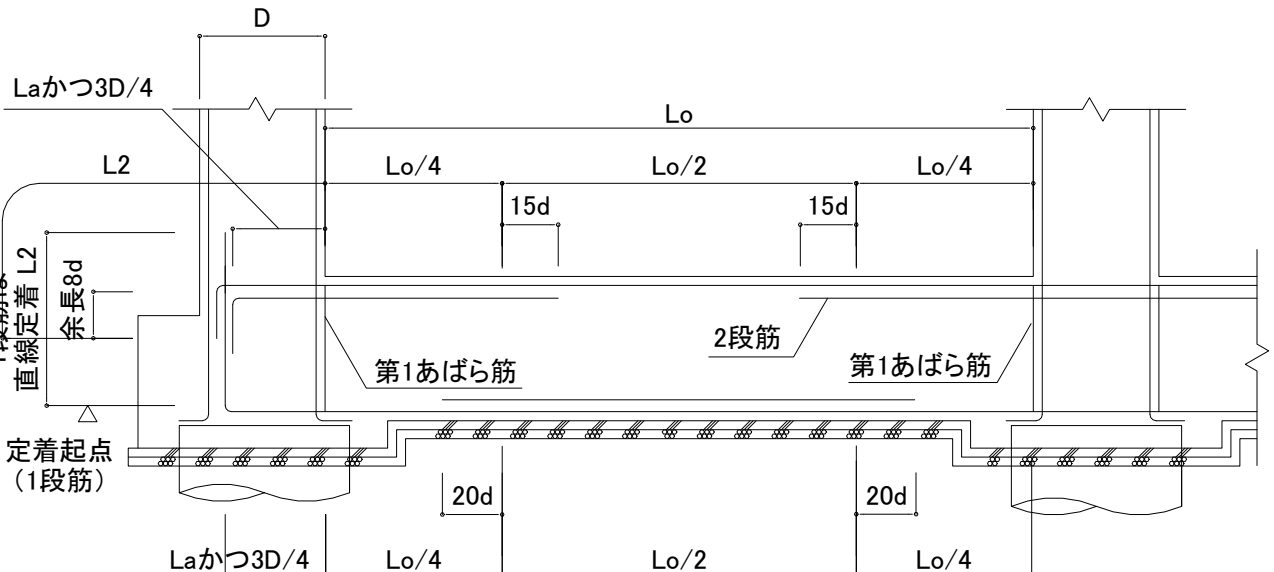


図 5-1-4

(iii) 継手位置

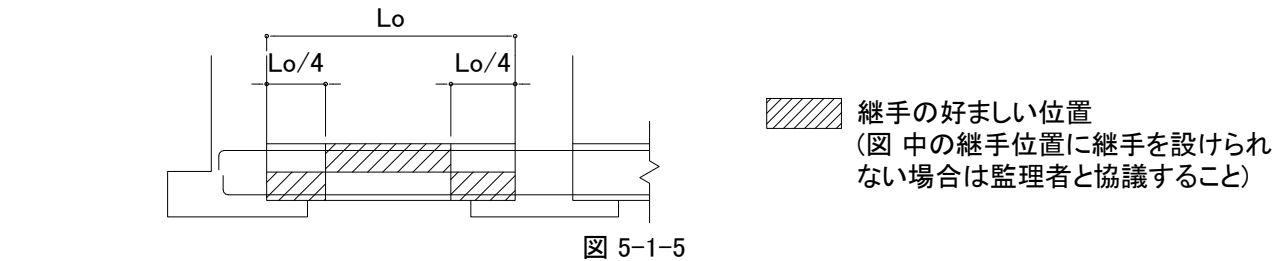


図 5-1-5

C1/C2. 地震力により決まる場合

- (i) 定着およびカットオフ筋長さ(タイプC1)

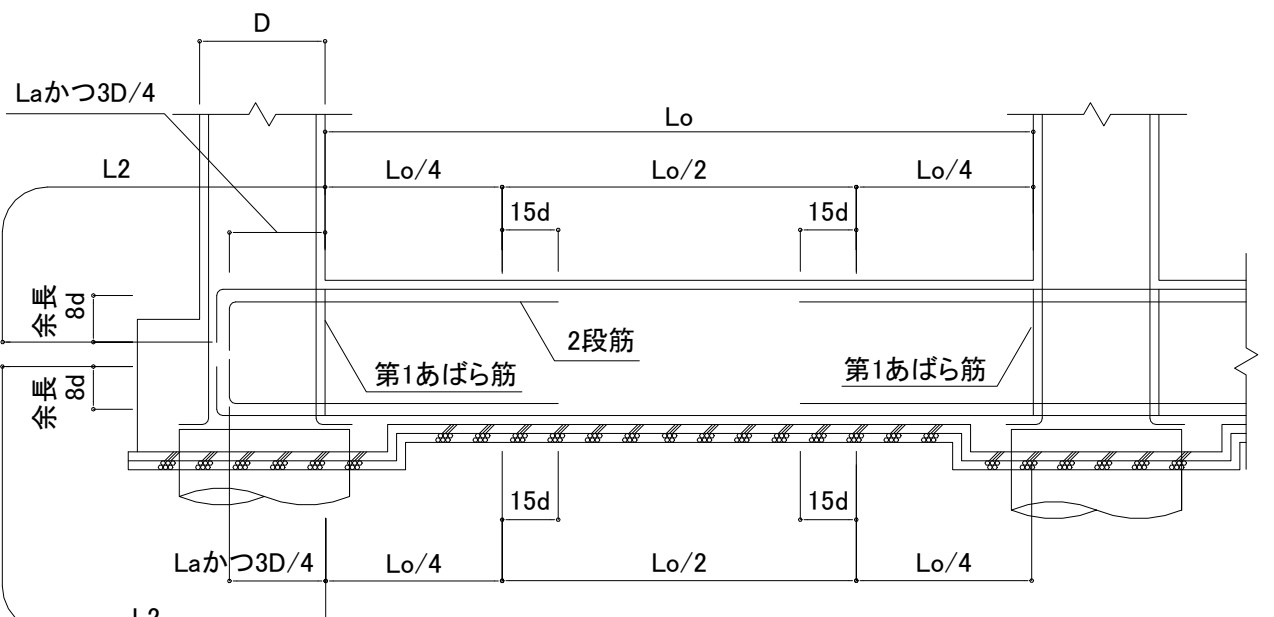


図 5-1-6

(ii) 定着およびカットオフ筋長さ(タイプC2)

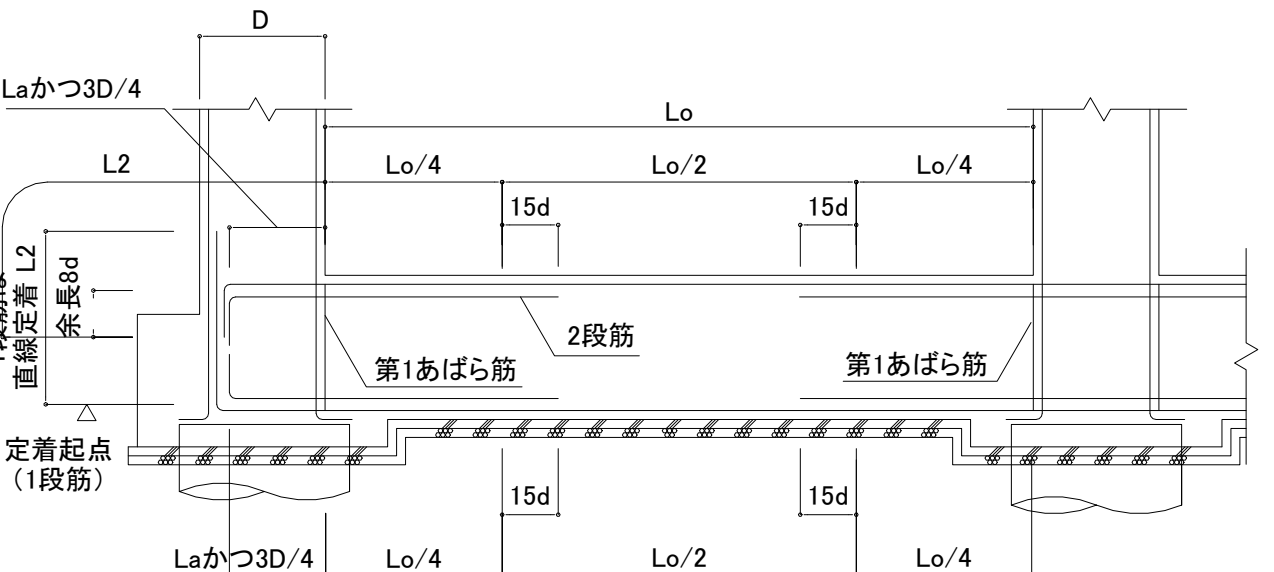


図 5-1-7

(iii) 継手位置

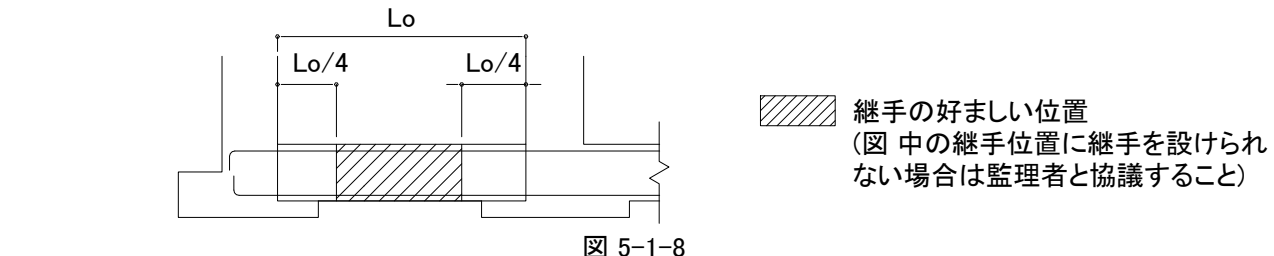


図 5-1-8

(2)基礎小梁の定着・カットオフ筋長さおよび継手位置

A. 接地圧等により決まる場合

- (i) 定着およびカットオフ筋長さ

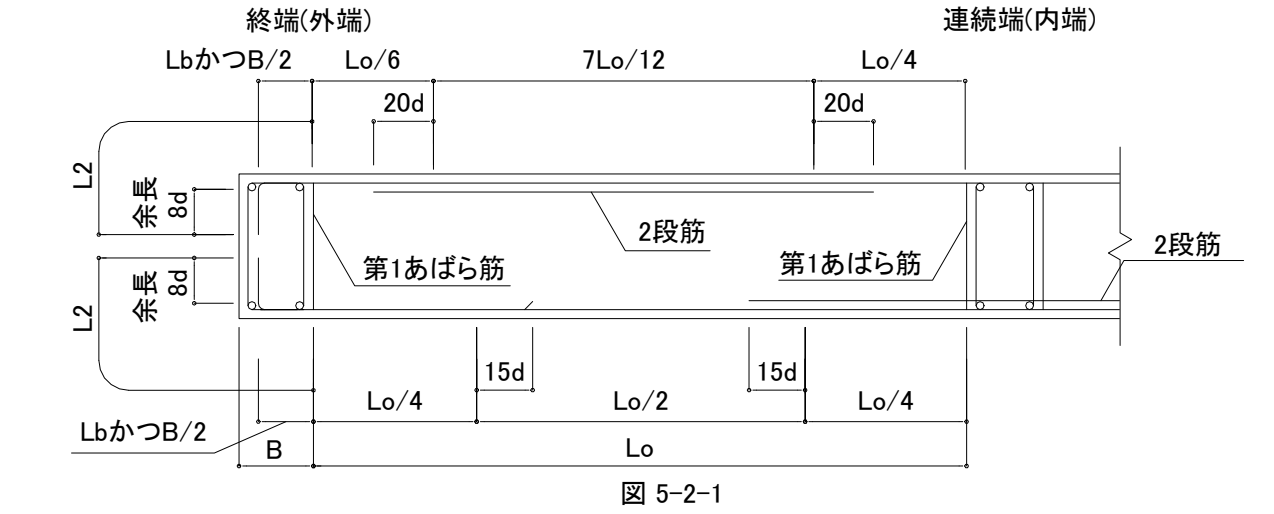


図 5-2-1

(ii) 継手位置

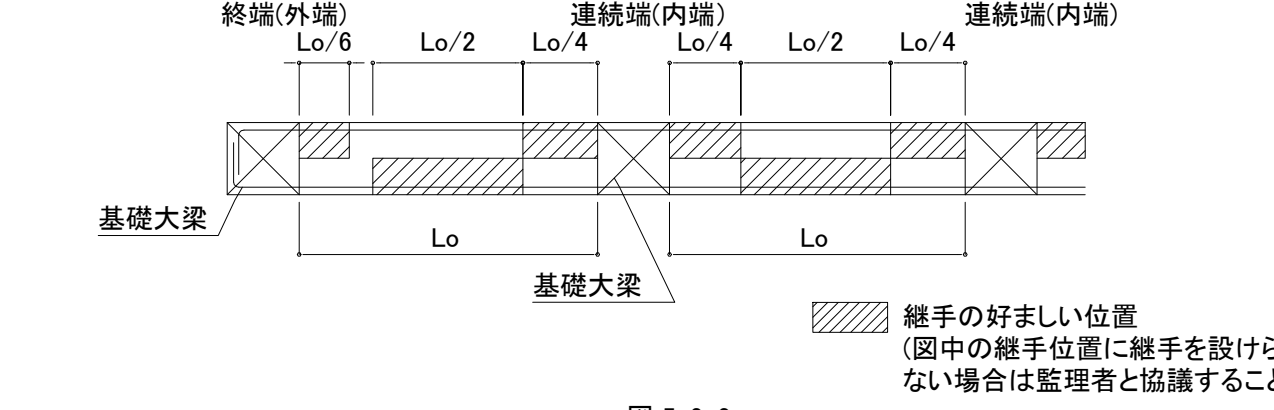


図 5-2-2

B. 上載荷重により決まる場合

- (i) 定着およびカットオフ筋長さ

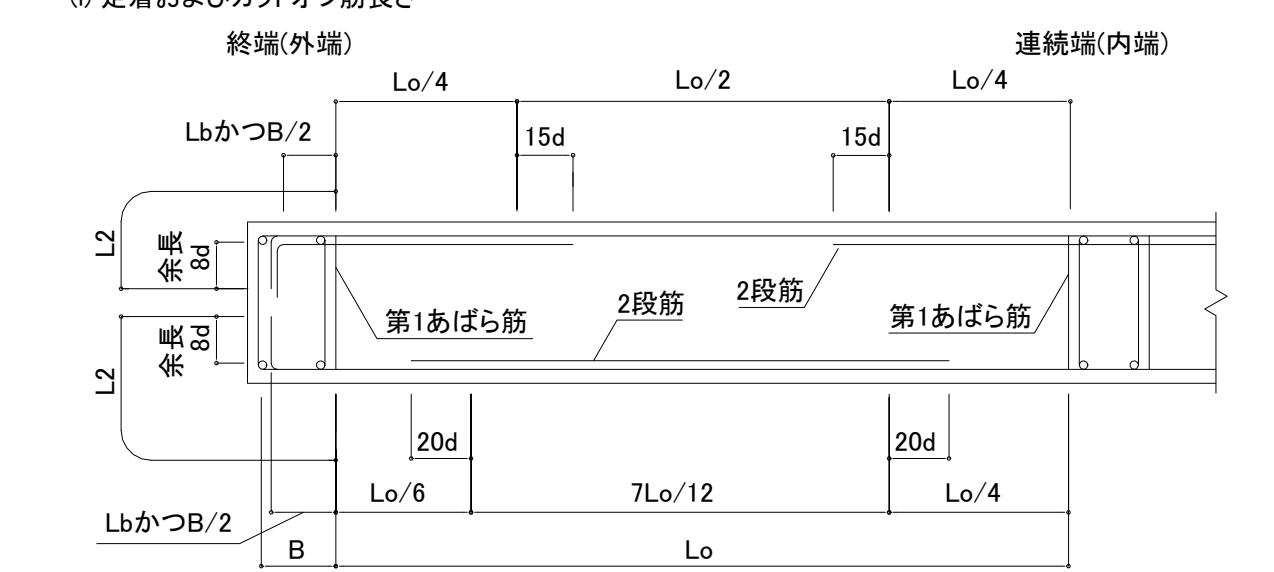


図 5-2-3

(ii) 継手位置

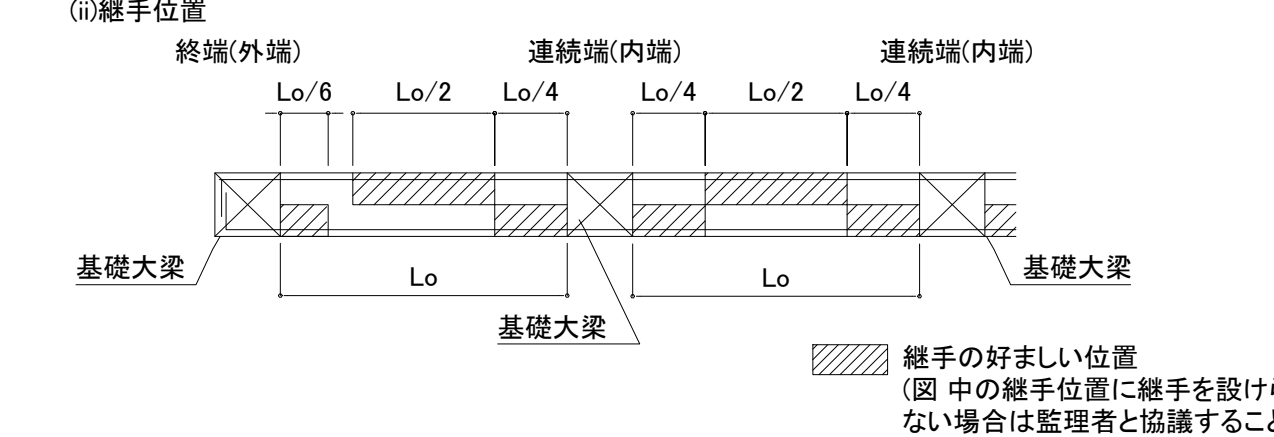


図 5-2-4

(3)水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

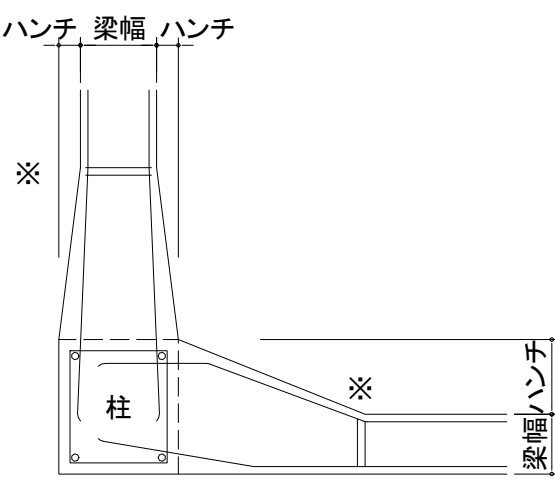
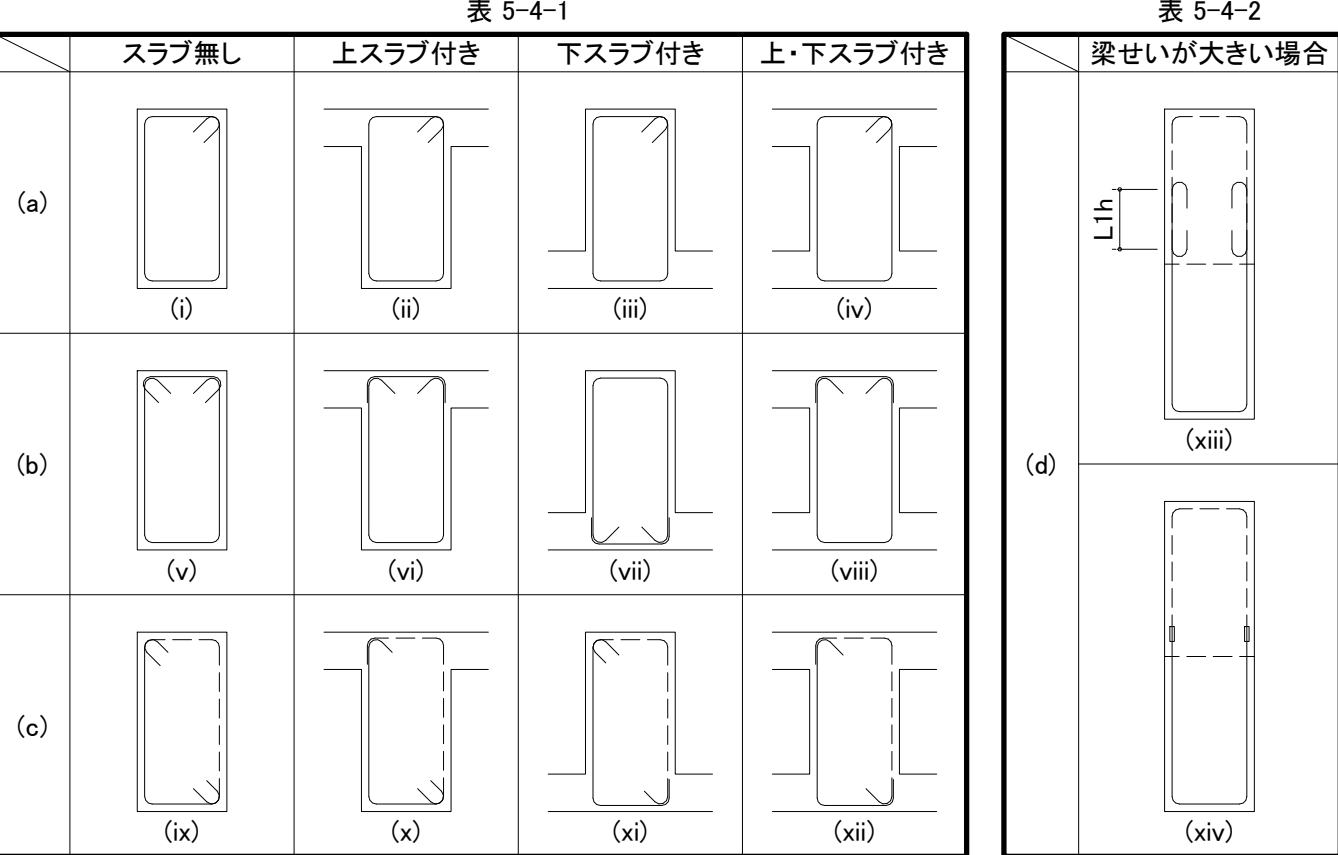


図 5-3-1

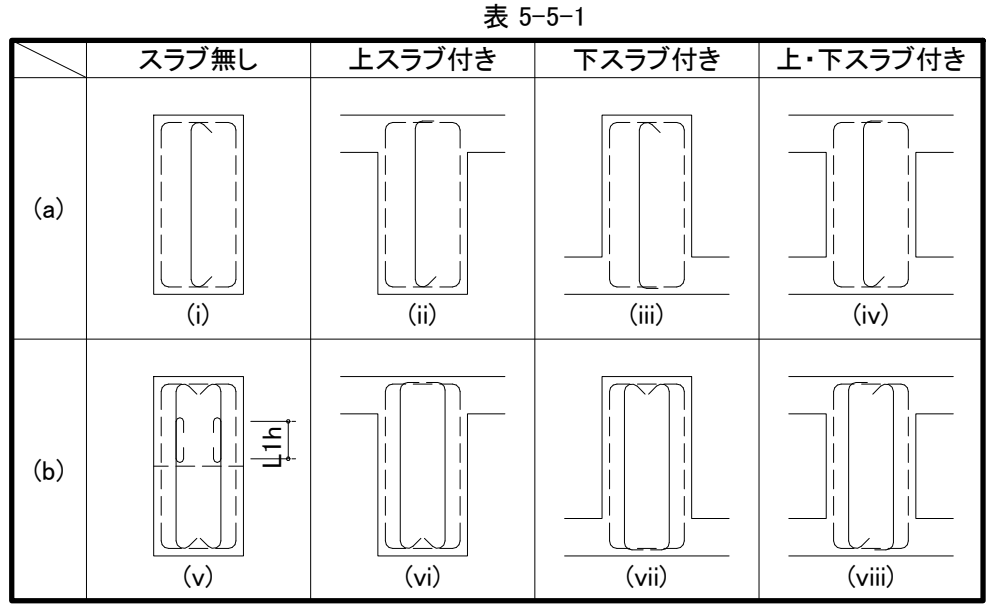
(4)あばら筋の形状

1. (a)を標準とする。



(5)副あばら筋の形状

1. (a)を標準とする。



(6)基礎大梁と最下階柱の取合い部配筋要領

- (a) 基礎大梁幅が柱幅より大きい柱脚の場合 (b) 基礎大梁幅が柱幅より小さい柱脚の場合

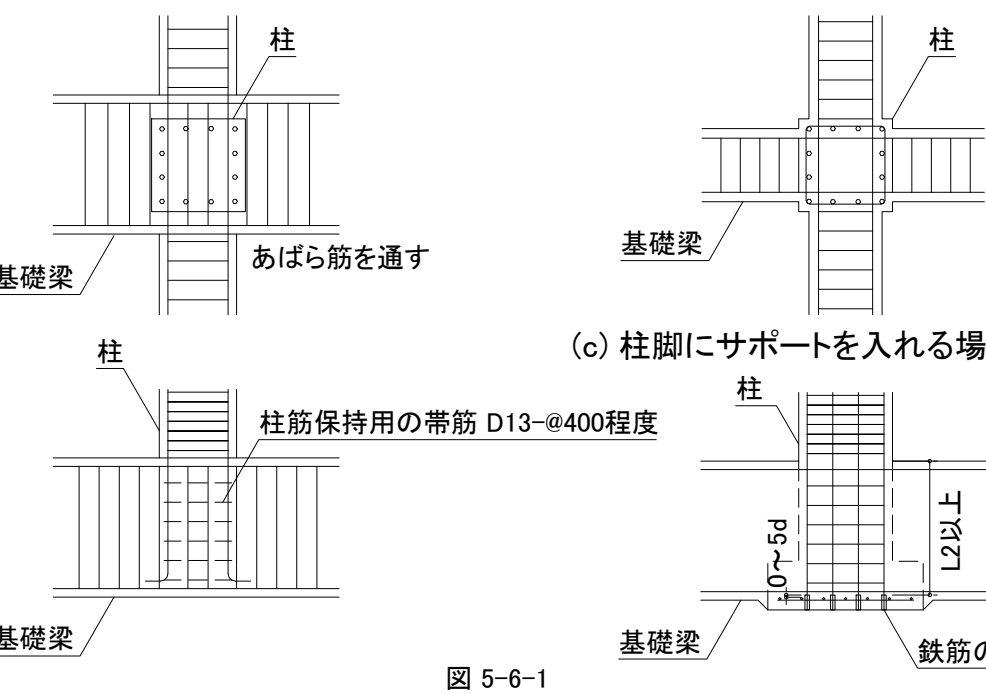


図 5-6-1

(7)基礎梁外端部の納まり

1. 構造図に基礎梁外端部の指定がある場合に限る。

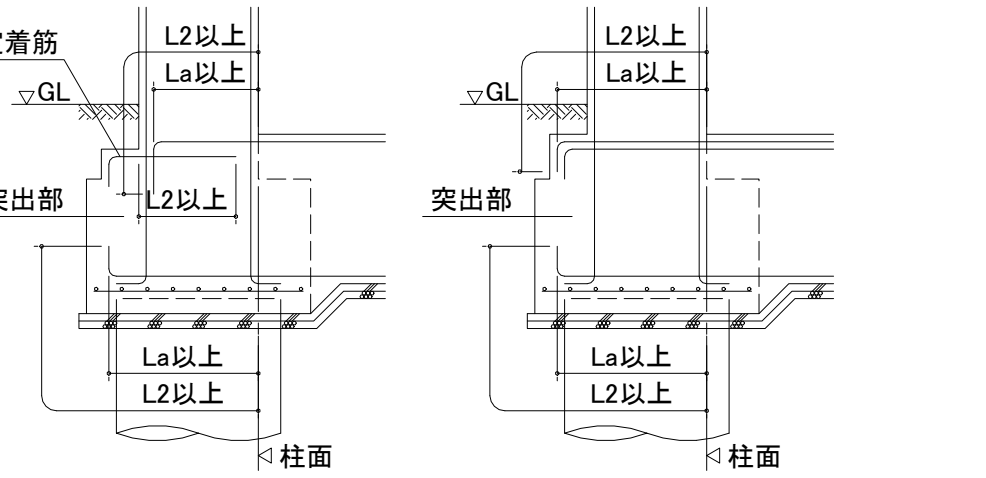


図 5-7-1

(8)基礎梁腹筋の本数

	表 5-8-1	
	D < 600	不要
腹筋	600 ≤ D < 1,050	2-D10 (1 段) または 2-D13
	1,050 ≤ D < 1,500	4-D10 (2 段) または 4-D13
	1,500 ≤ D < 1,950	6-D13 (3 段)
	1,950 ≤ D < 2,400	8-D13 (4 段)
幅止め筋	D10-@1,000 以下	

6. 柱

(1) 柱主筋の継手位置

- 継手の好ましい位置以外に設ける場合でベンジの生じない場合はA級以上、ベンジの生じる場合はSA級の継手性能とする。
- ベンジの有無は監理者に確認すること。
- 上下階で異なる主筋径を使用している場合、下階の継手位置から上階の継手位置までの主筋は上階の主筋径のうち大きい径のものとする。

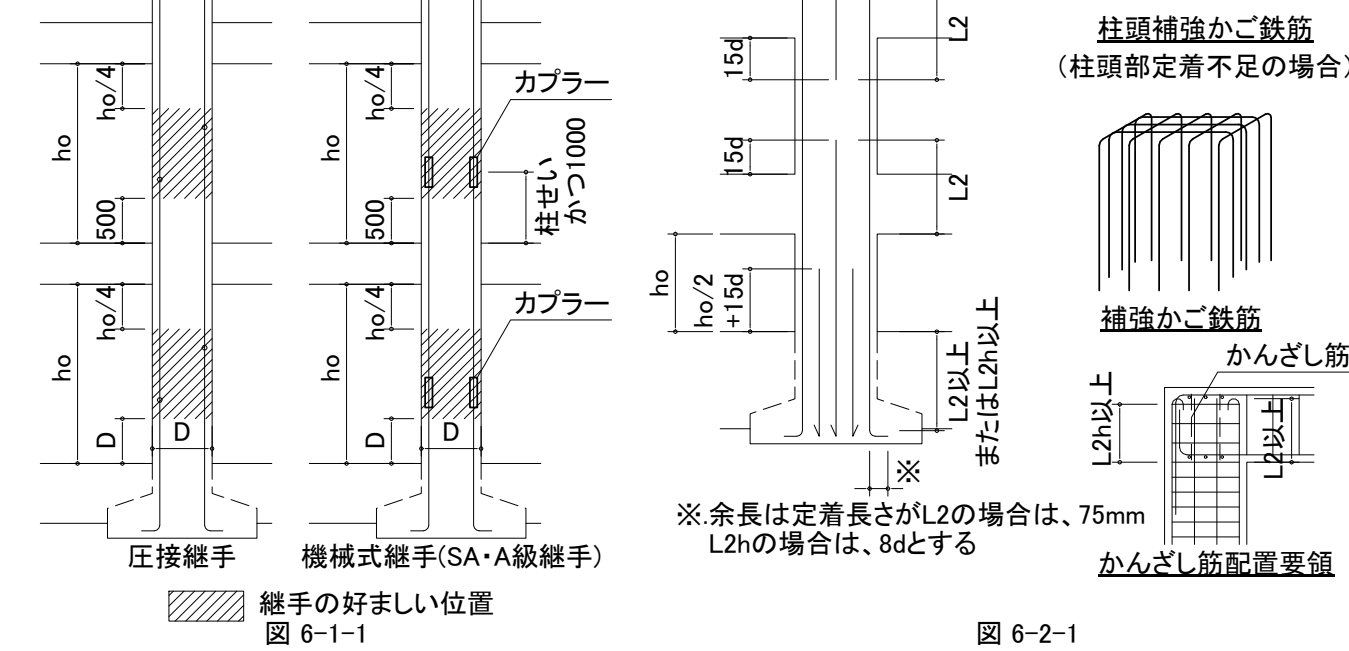
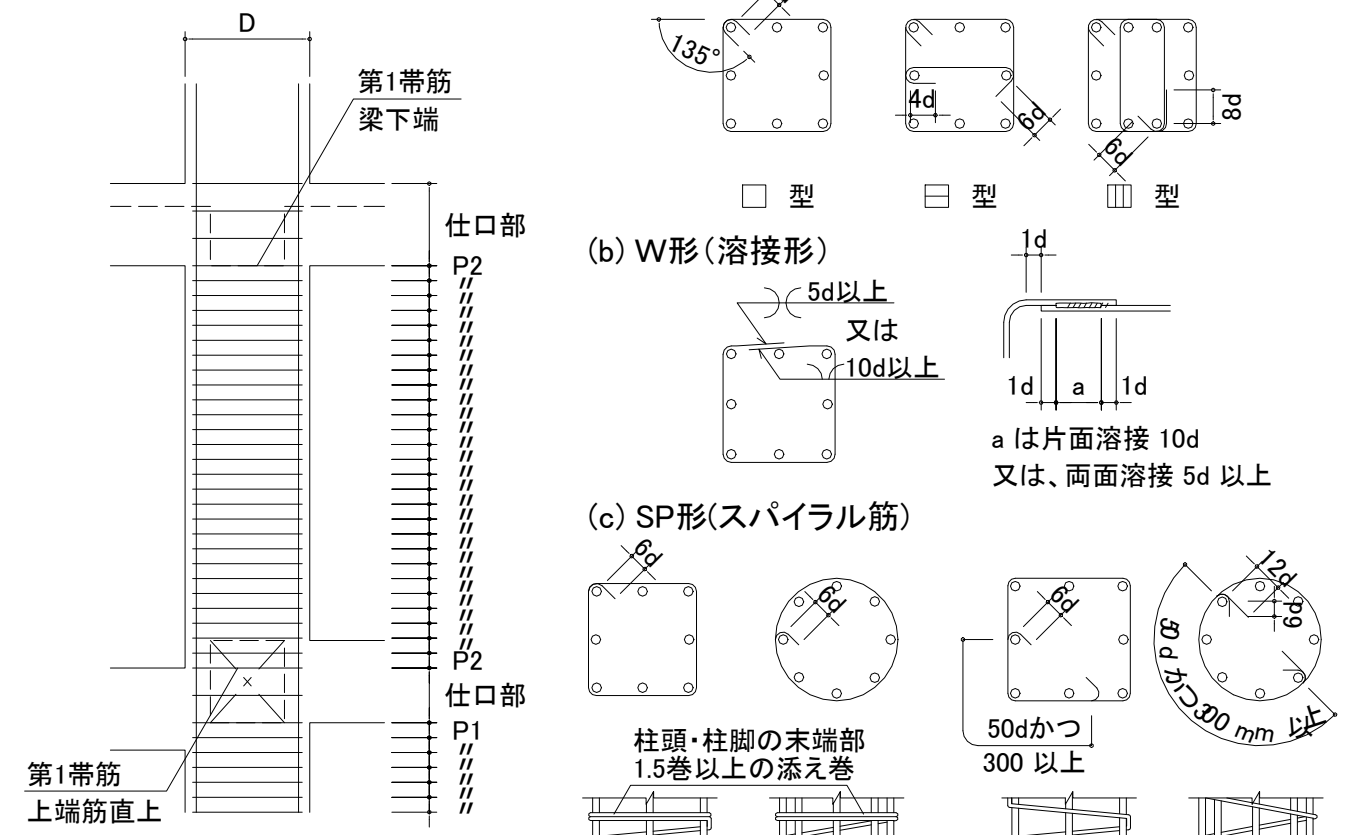


図 6-1-1

(3) 帯筋



- P1, P2は帯筋比0.2%以上とする。
- 仕口部は直下の柱帯筋間隔の1.5倍以下かつ@150以下かつ横補強筋比0.3%以上とする。
- W型で現場溶接をする場合は主筋の位置を極力さける。
- フックおよび継手の位置は交互とする。
- 直交側の梁がない場合、仕口部の帯筋は直下の柱帯筋間隔とする。

(4) 斜め柱

- 1.5Dの範囲の柱のフープは1サイズ太い鉄筋、又は2本巻きとし@100以下とする。
- ①の鉄筋はフープの1サイズ太い鉄筋を2本巻きとする。

- (a) 柱幅と斜材 (柱又は梁) 幅が同一 (b) 柱幅と斜材幅が異なる (c) 柱脚で斜材となる

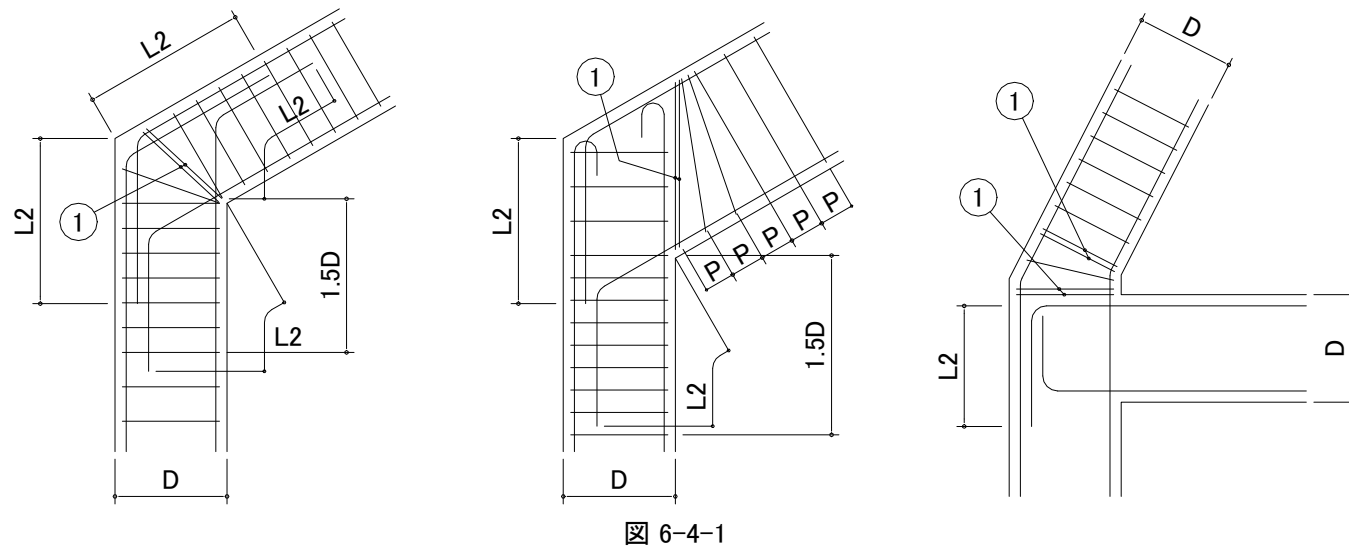


図 6-4-1

(5) 絞り

- 柱主筋を折り曲げて通し筋とする場合の梁上第1帯筋(※)は、上階柱帯筋と同径の帯筋を2組重ねる。
- eが150を超える場合は、構造図による。

- (a) $e \leq j/6$ かつ 150 (b) $j/6 < e \leq 150$

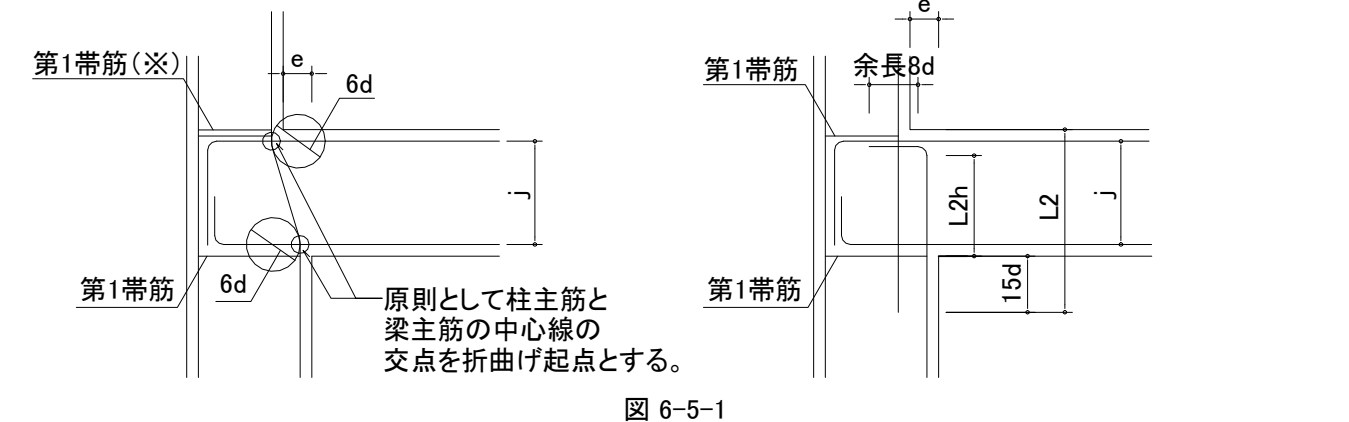


図 6-5-1

(6) 寄筋の保持

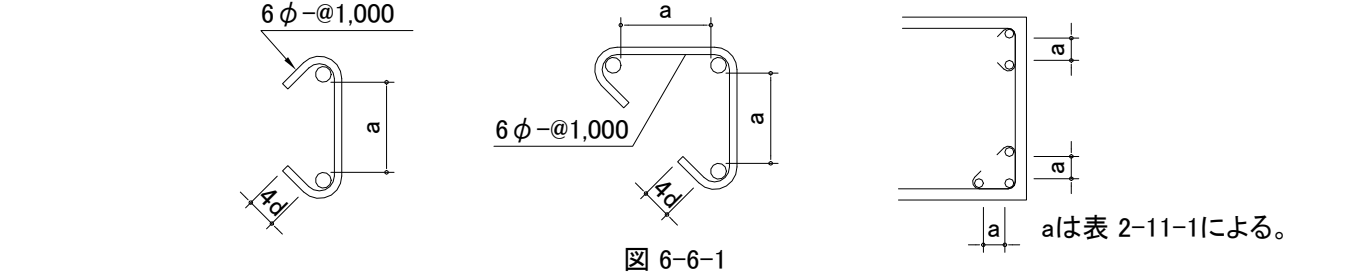


図 6-6-1

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

- (a) 一般
- 梁主筋の柱への定着は原則として折曲げ定着とする。
 - 折曲げ起点は、原則として3D/4を超える位置とする。
 - 下端筋の定着は原則として曲下げとする。点線で示す曲下げとする場合は、監理者と協議すること。

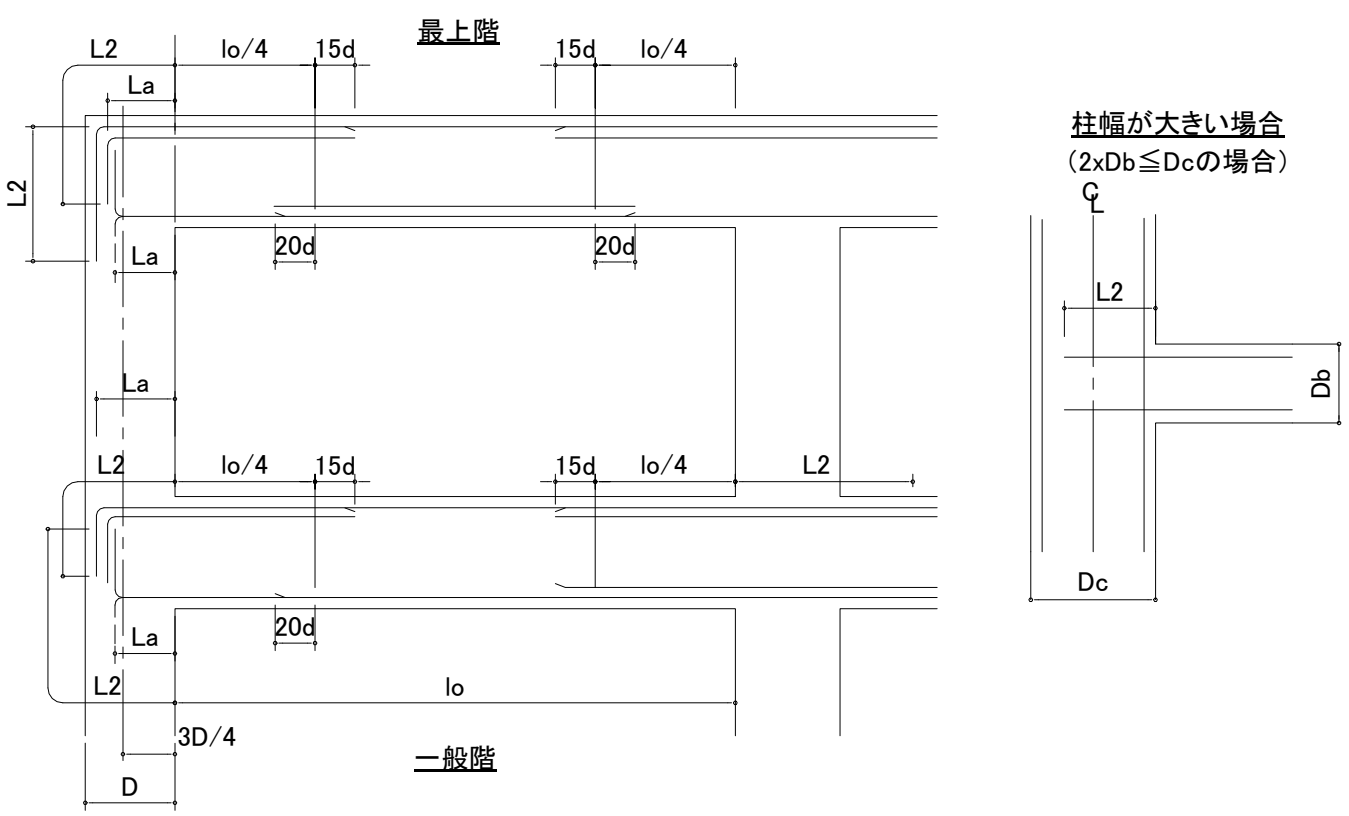


図 7-1-1

(b) ハンチのある場合

- つり上げ筋は、スターラップより1サイズ太い鉄筋、又は同サイズの鉄筋を2本巻きとする。

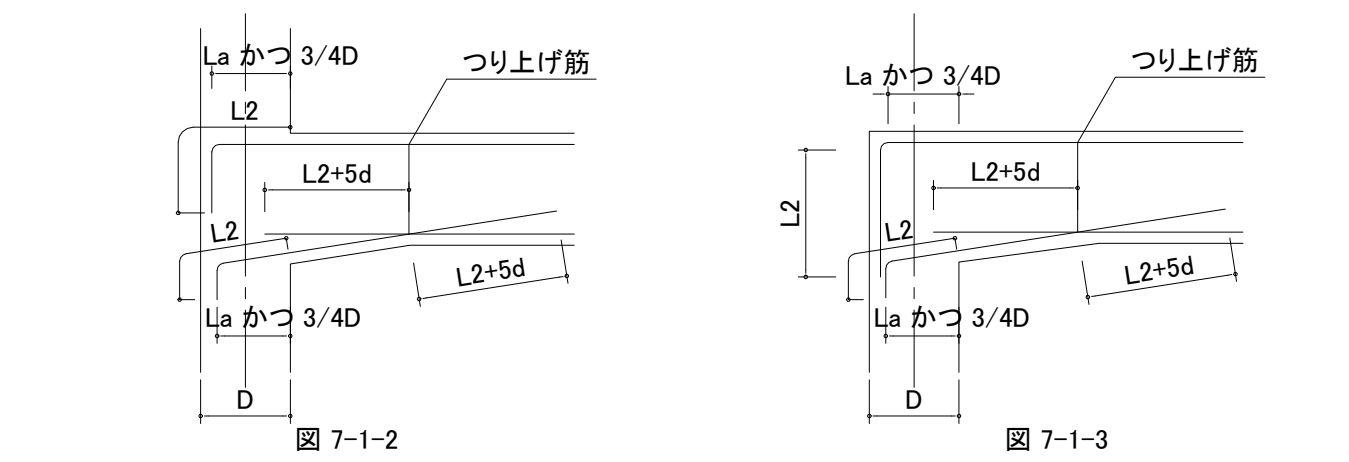


図 7-1-3

(2) 大梁主筋の継手

- 継手の好ましい位置以外に設ける場合でベンジの生じない場合はA級以上の継手性能とする。
- 継手の好ましい位置以外に設ける場合でベンジの生じる場合はSA級継手性能とする。
- ベンジの有無は監理者に確認すること。

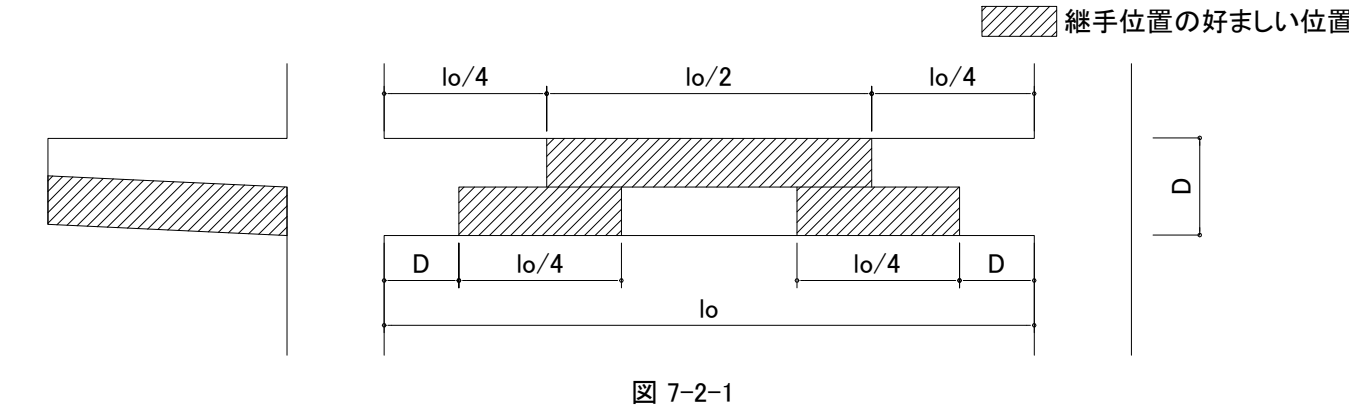


図 7-2-1

(3) あばら筋、腹筋、幅止め筋の配置

- ねじれを受ける梁の場合の腹筋定着長さは、構造図による。
- 腹筋の継手長さは150mm以上とする。

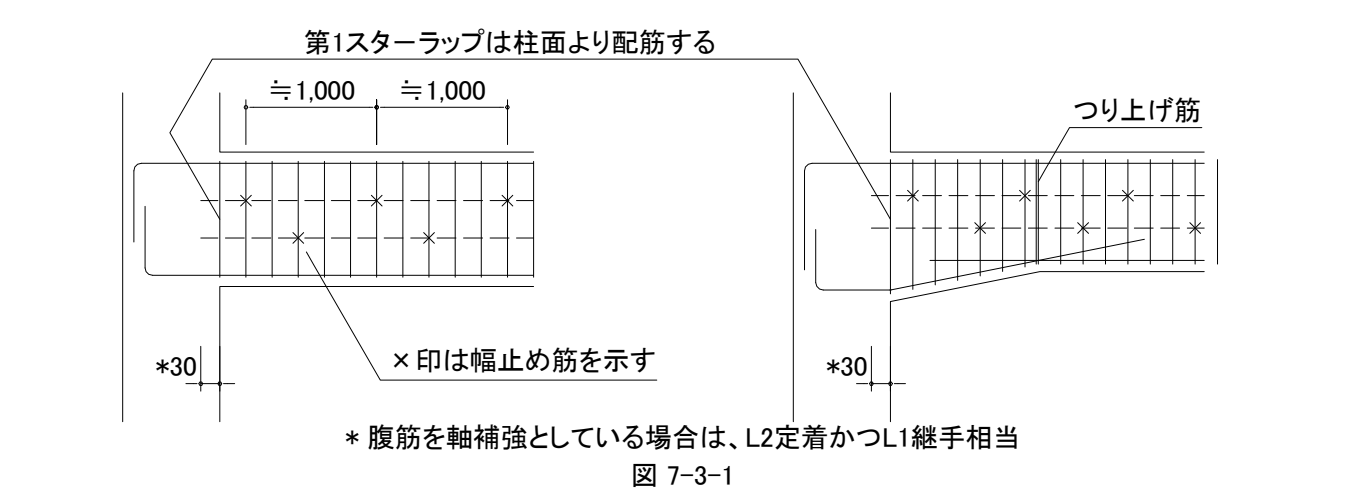


図 7-3-1

(4) あばら筋の型

- 床版がない場合135°以上のフックとする。
- 原則として先曲げとする。スラブが取り付く場合は取り合うスラブの状況に応じて(f)~(h)とすることができる。
- フックの位置は(a)又は(e)の場合は交互、(f)~(h)の場合はスラブ付き側とする。

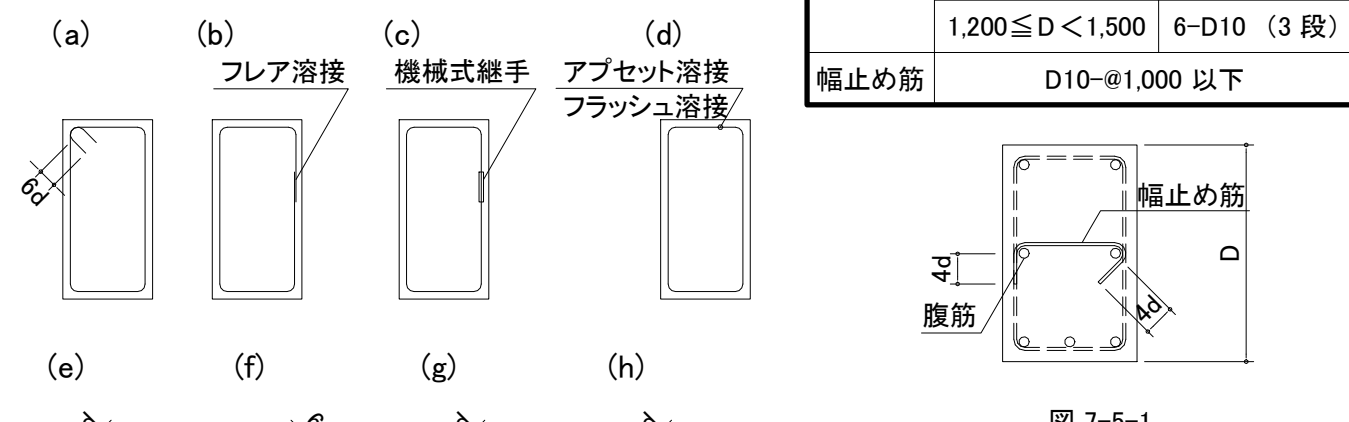


図 7-4-1

(5) 幅止め筋の本数、加工

	D < 600	不要
腹筋	600 ≤ D < 900	2-D10 (1段)
	900 ≤ D < 1,200	4-D10 (2段)
	1,200 ≤ D < 1,500	6-D10 (3段)
幅止め筋	D10-@1,000 以下	

図 7-5-1

(6) 梁主筋の定着

(a) 直線定着

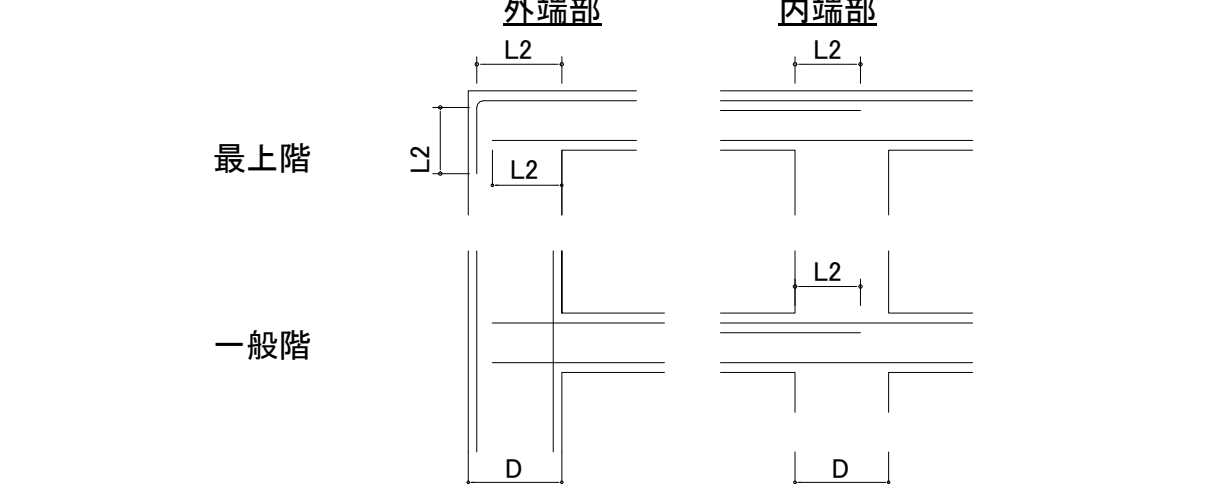


図 7-6-1

(b) 90° フック付直線定着

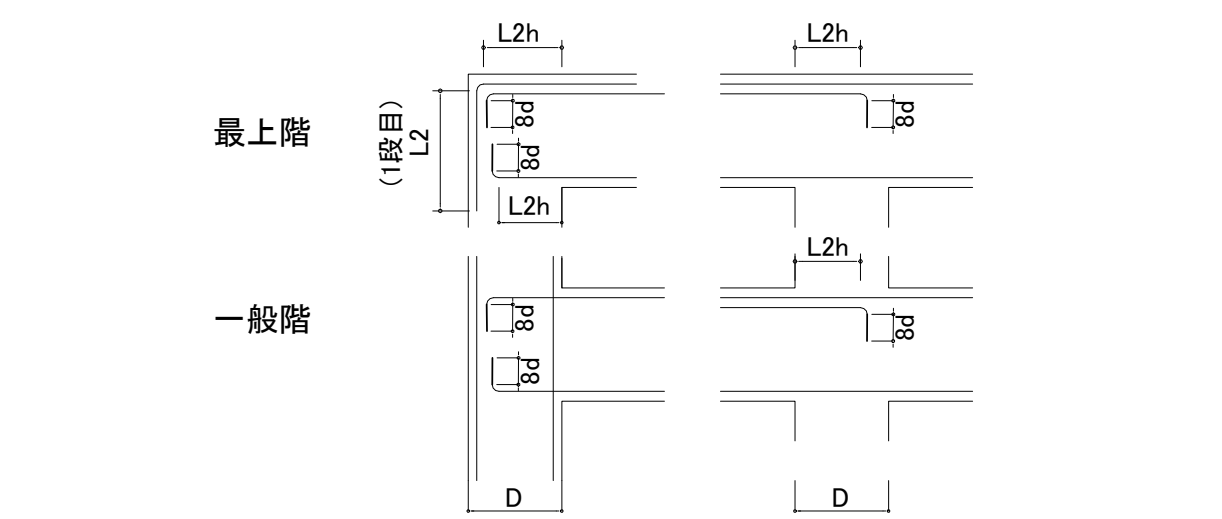


図 7-6-2

(c) 折り曲げ定着

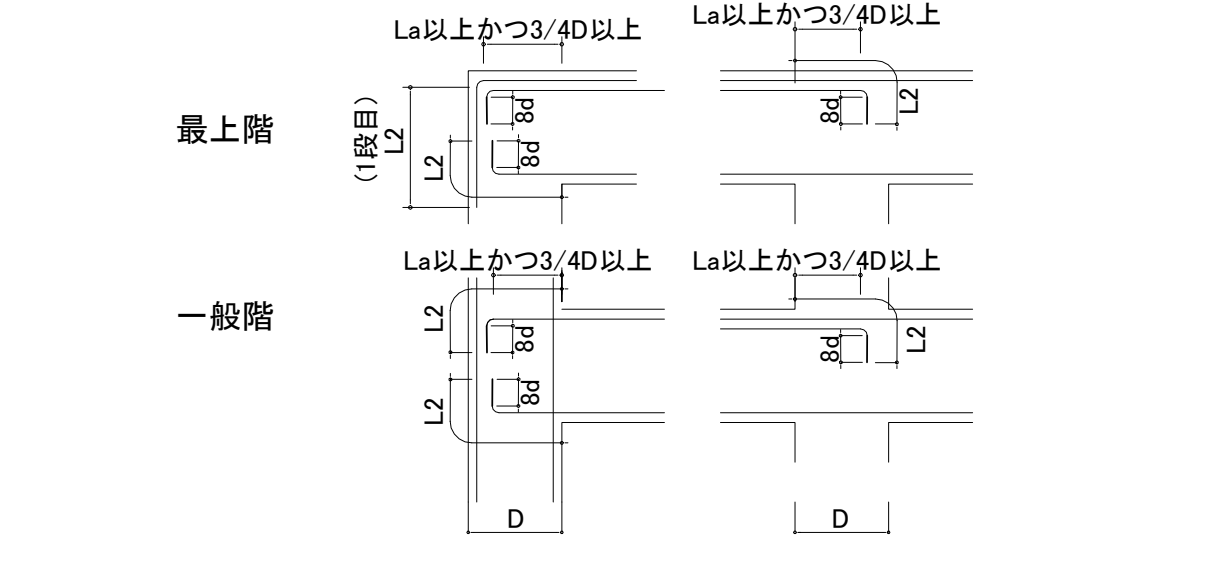


図 7-6-3

(7) 梁主筋が真直ぐ通らない場合のおさまり

- 梁主筋は原則として通し筋とするが、鉄筋のあき寸法が確保できる場合は折曲げ定着としてもよい。
- 直線定着とする場合は、監理者と協議すること。

(a) 鉛直方向にずれのある場合

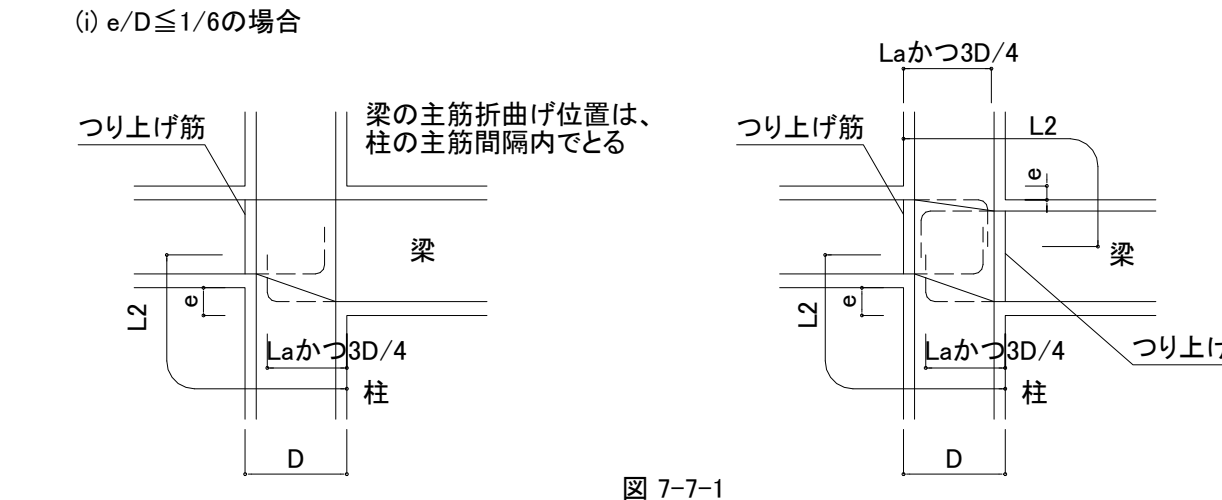


図 7-7-1

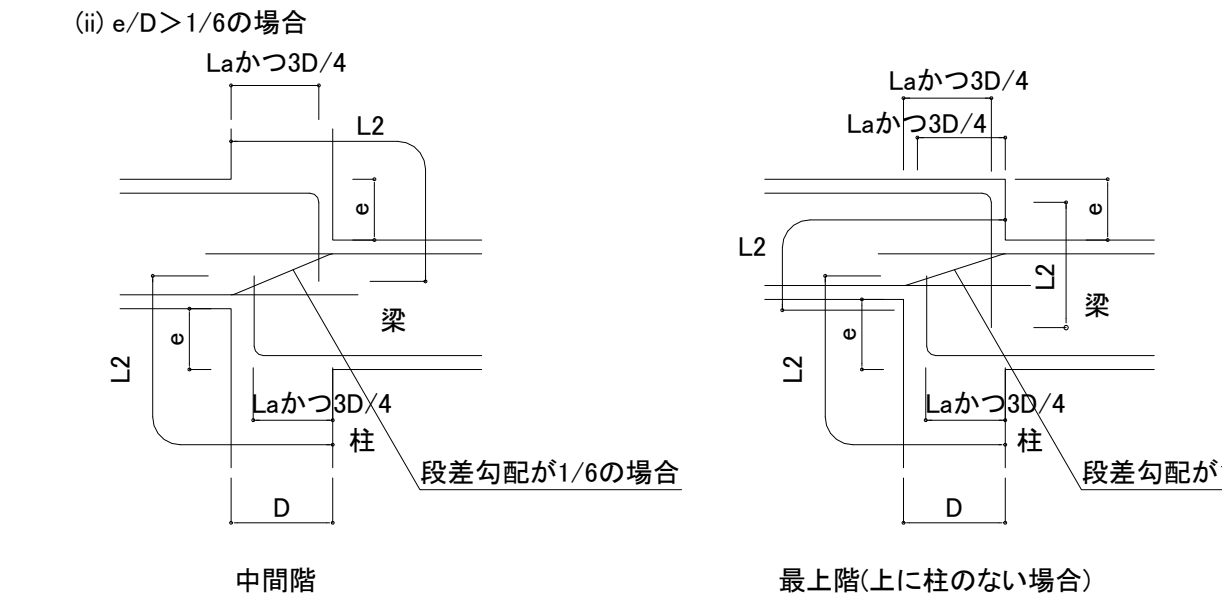


図 7-7-2

(b) 水平方向にずれのある場合

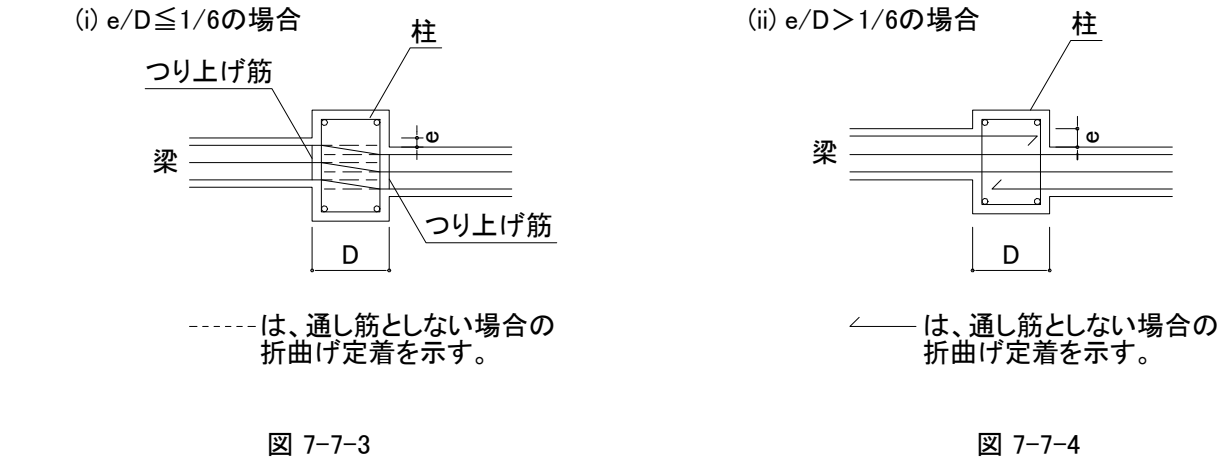


図 7-7-3

図 7-7-4

(8) 小梁・片持ち梁

(a) 小梁の定着

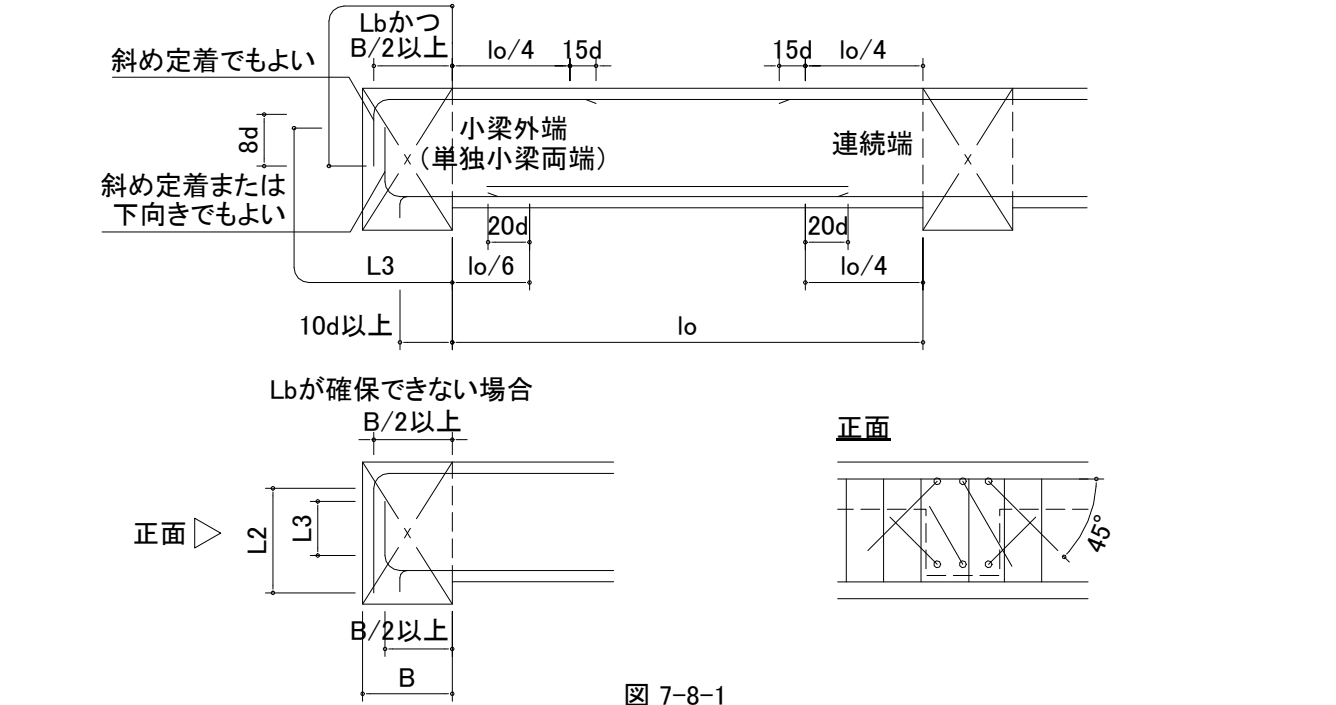


図 7-8-1

(b) 段差小梁の配筋 (連続端の場合)

- (i) 主筋の定着長さで小梁の応力を伝達 (e/D > 1/6)
- (ii) 終端と同じ定着方法として、あばら筋に力を伝達 (e/D ≤ 1/6)

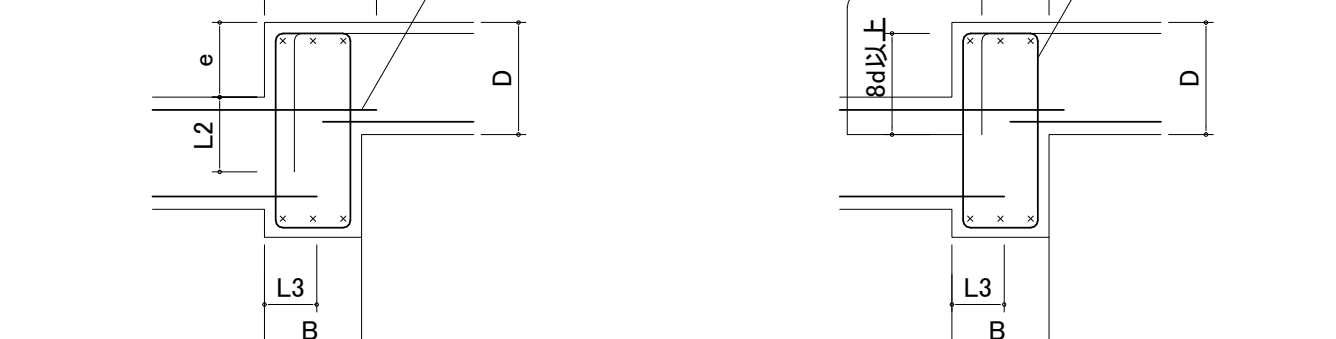


図 7-8-2

(iii) 段差部でハンチを設ける例

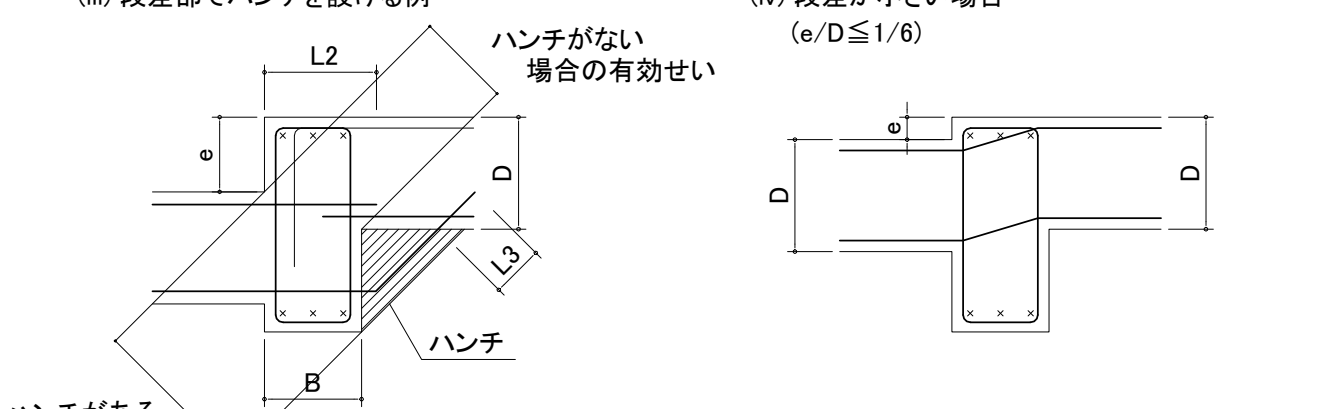


図 7-8-3

(iv) 段差が小さい場合 (e/D ≤ 1/6)

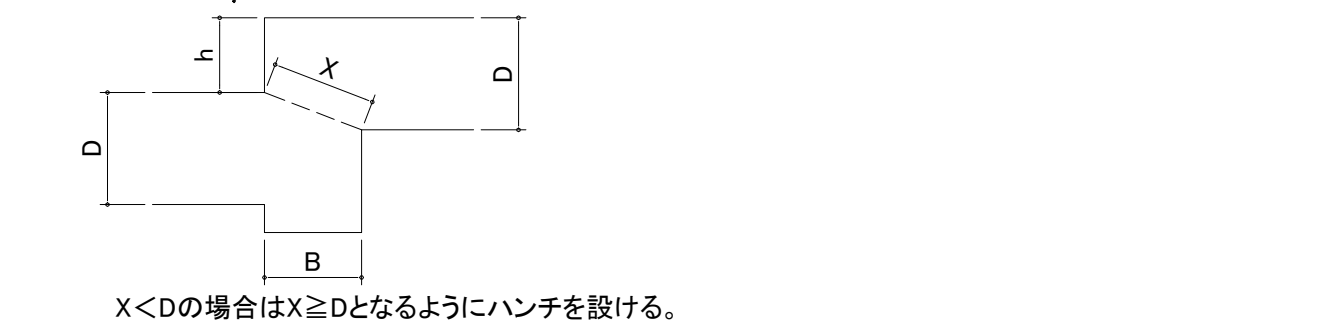


図 7-8-4

(c) 小梁筋の継手位置

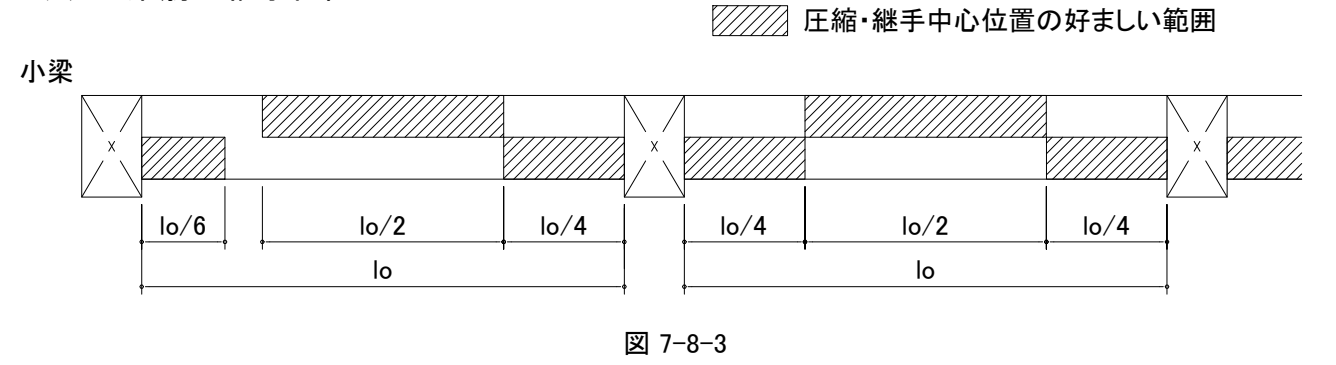


図 7-8-5

(d) 片持ち梁の定着

- 上端筋の柱内への定着は3D/4以上とすること。
- 先端部の範囲とカットオフ位置

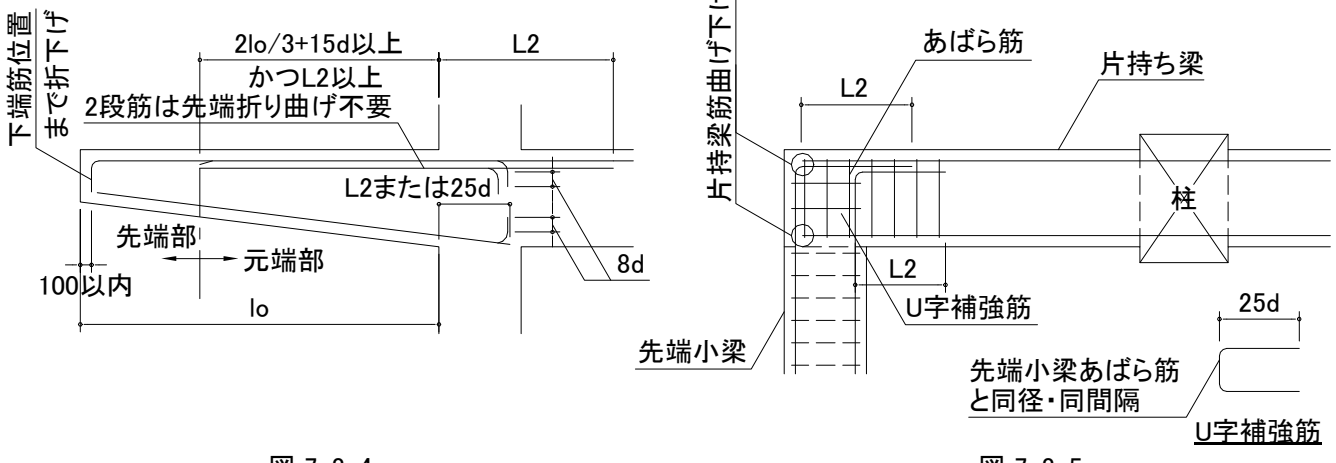


図 7-8-6

(iii) 隣接する梁がある場合で柱定着又は、隣接する梁へ定着する場合

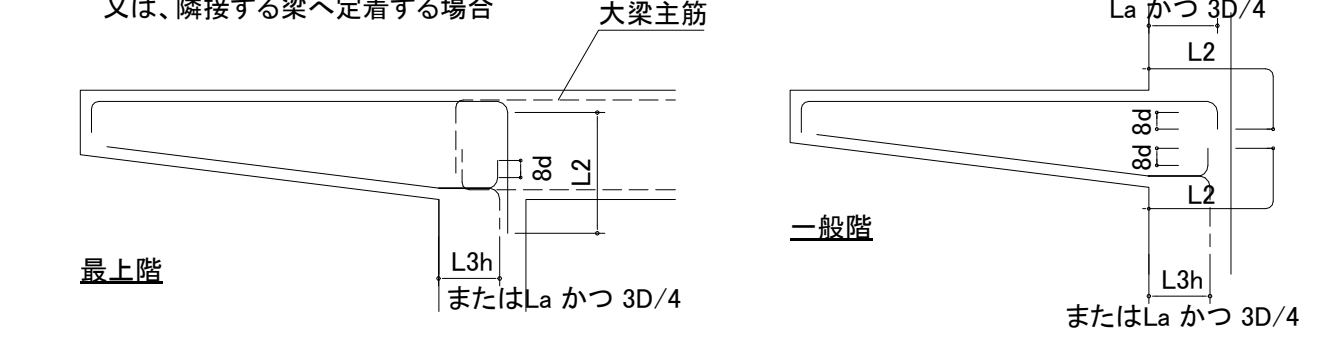


図 7-8-7

(iv) 柱へ定着する場合

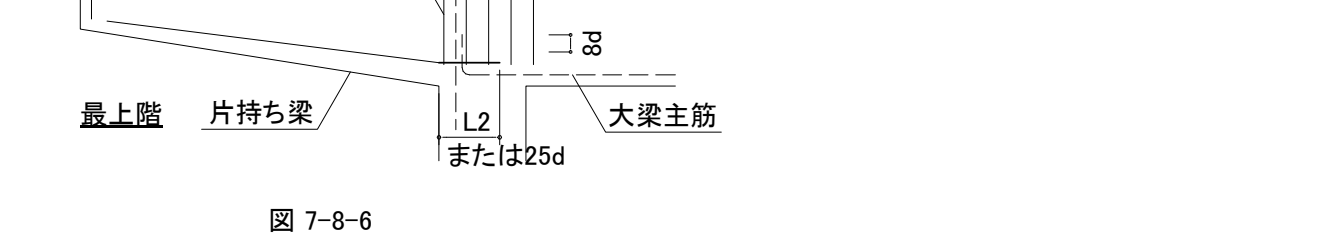


図 7-8-8

8. スラブ

(1) スラブ筋の定着

(a) 一般スラブの定着

1. スラブの配筋が梁左右で同じ場合は通し筋としてもよい。

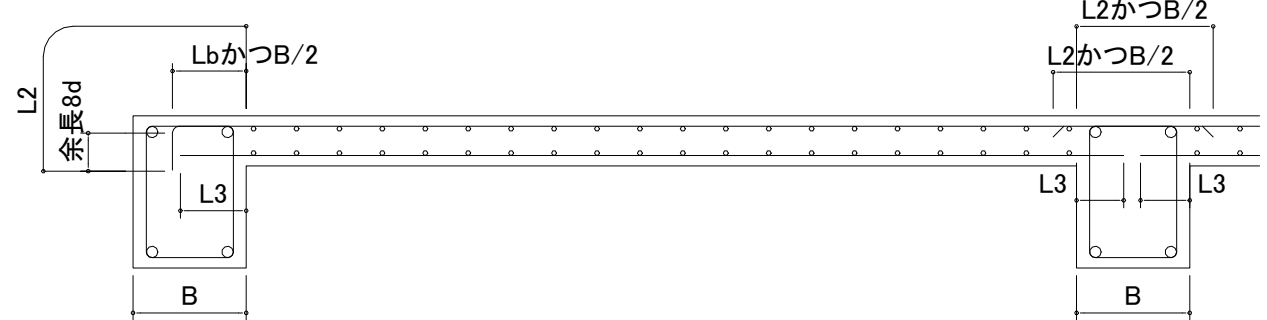


図 8-1-1

(b) 幅の小さい梁への定着 (Lbが確保できない場合)

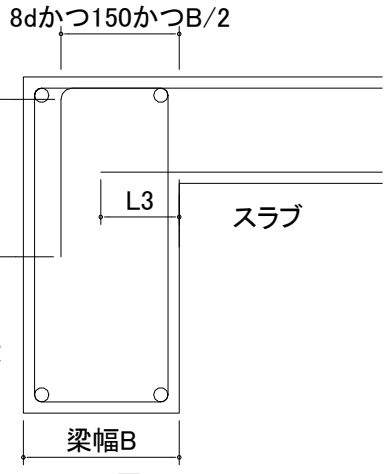


図 8-1-2

(c) 片持ちスラブの梁への定着

1. 以下の配筋とする場合、連続スラブの配筋に留意すること。
2. 片持ちスラブ主筋には原則として継手を設けないこと。

i) 隣接スラブと同一レベルの場合

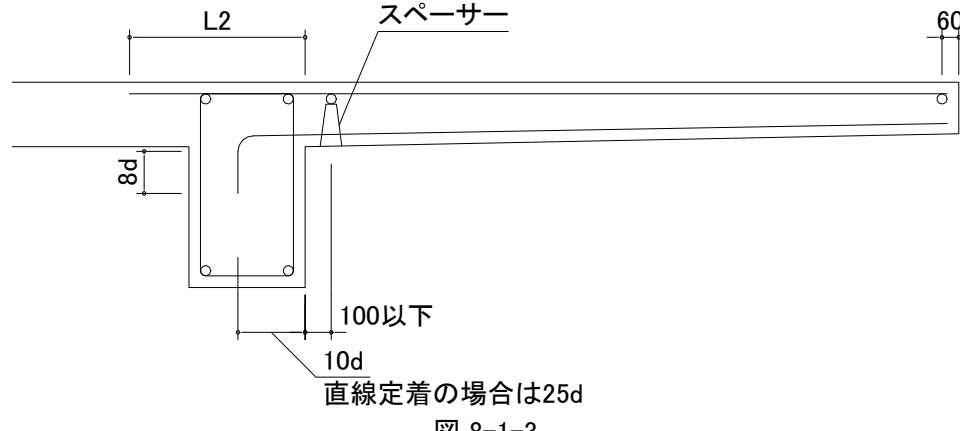


図 8-1-3

ii) 梁の中間にスラブが付く場合

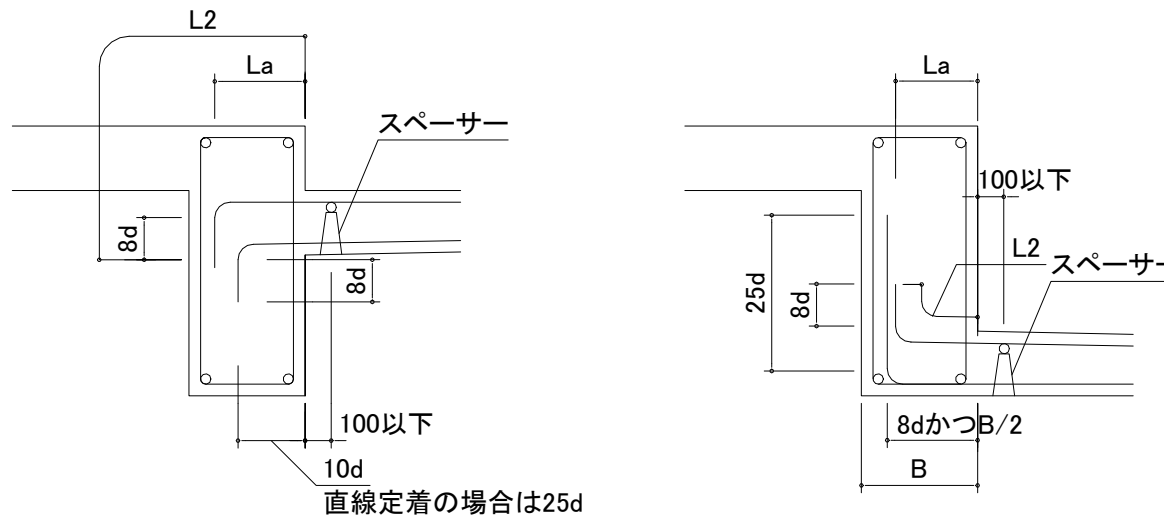


図 8-1-4

(d) 先端部に荷重が作用する場合の納まり例

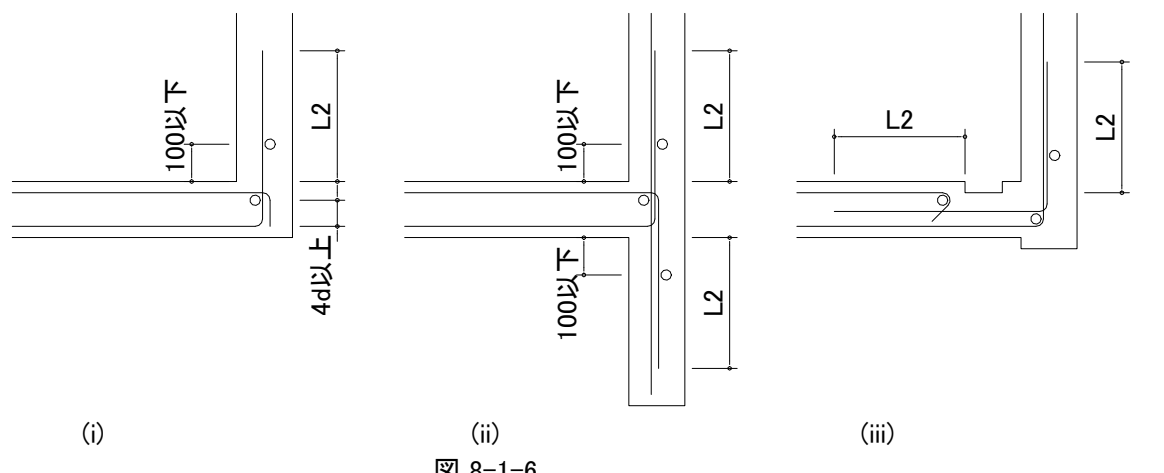
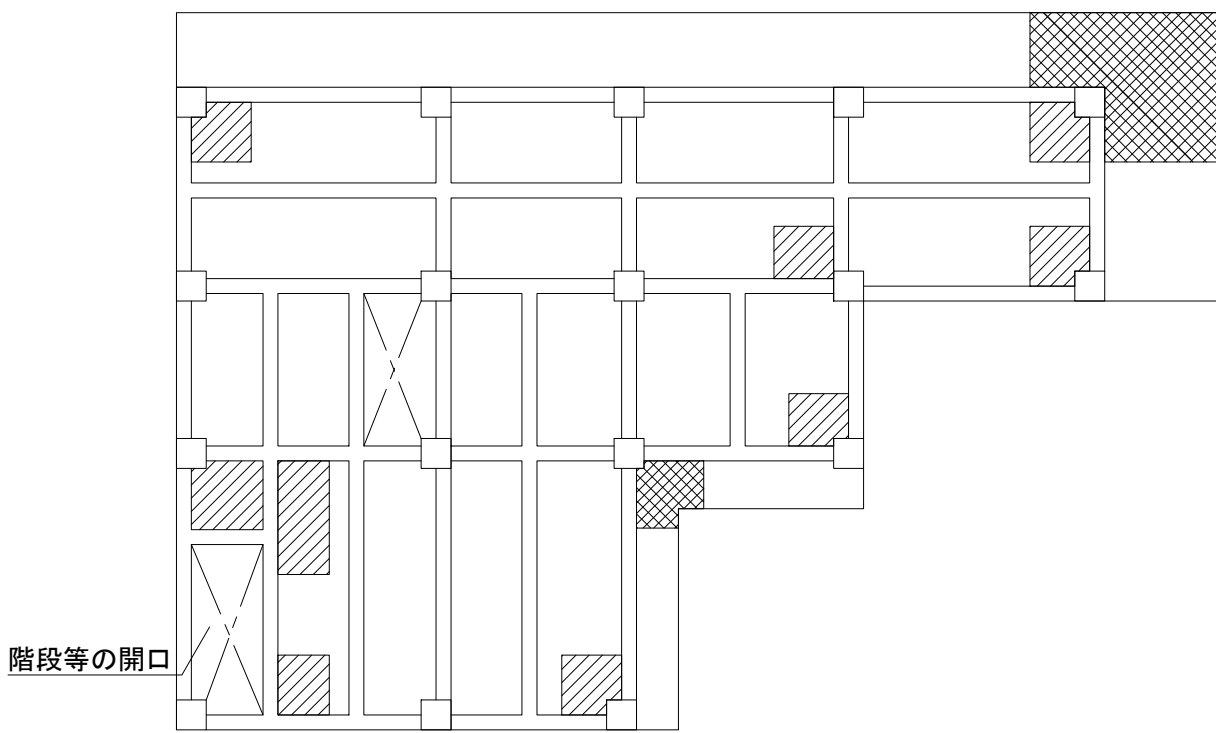


図 8-1-6

(2) 屋根スラブ入隅出隅部の補強要項



1. 斜線部分のスラブは上端筋の間隔が @100 以下となる様に、スラブ筋と同径筋により補強する。
その範囲はlx/2以上とする。(lx:短辺有効スパン長さ)
2. 点線部分: 出隅・入隅の片持ちスラブは上記と同様に補強する。

(3) カットオフ筋長さおよび継手位置

(a) カットオフ筋長さ

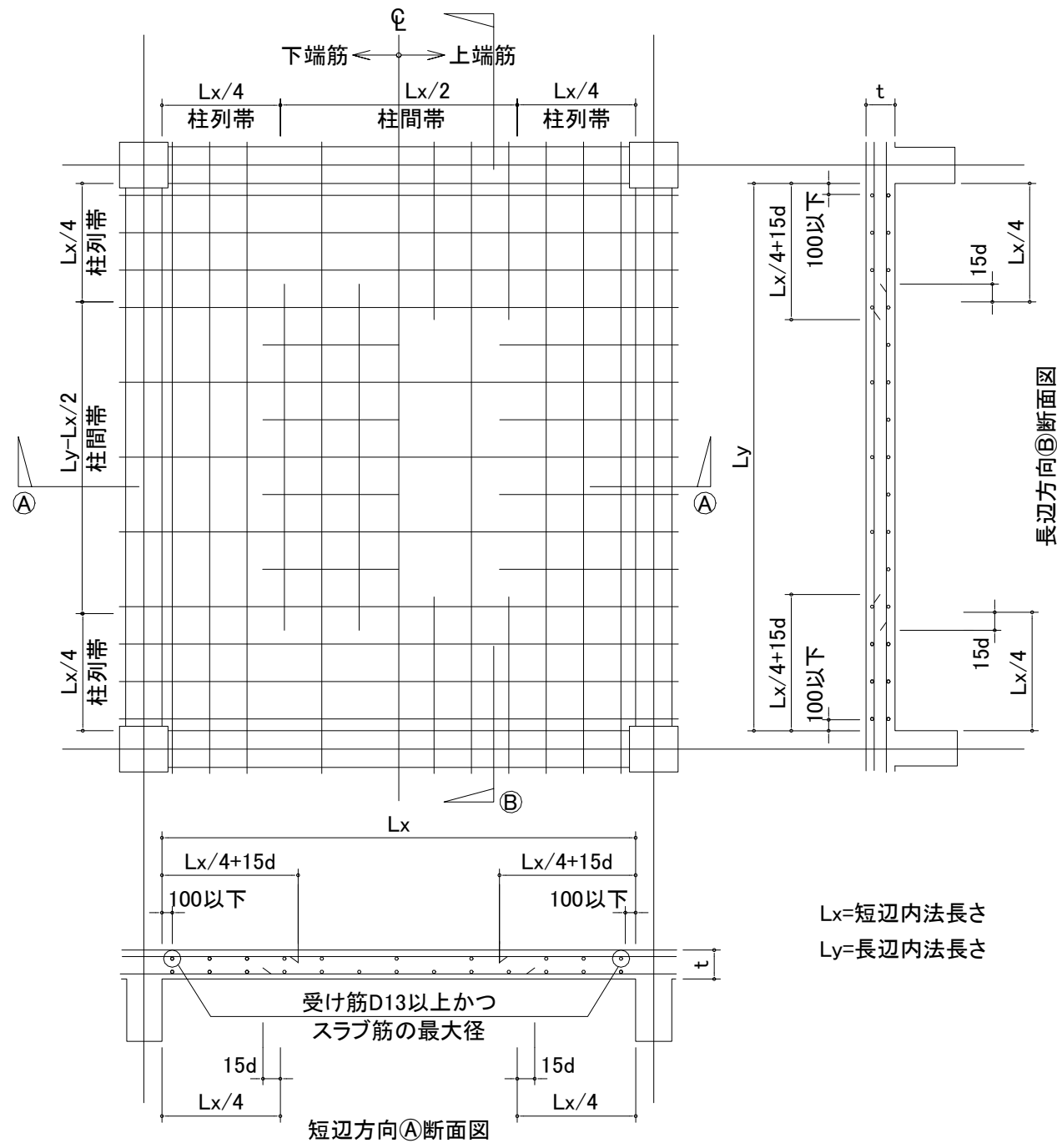


図 8-2-1

(b) 継手位置

1. 耐圧版の場合は下図の逆とする。

継手の好ましい位置
(図中の継手位置に継手を設けられない場合は監理者と協議すること)

i) 上端筋の継手

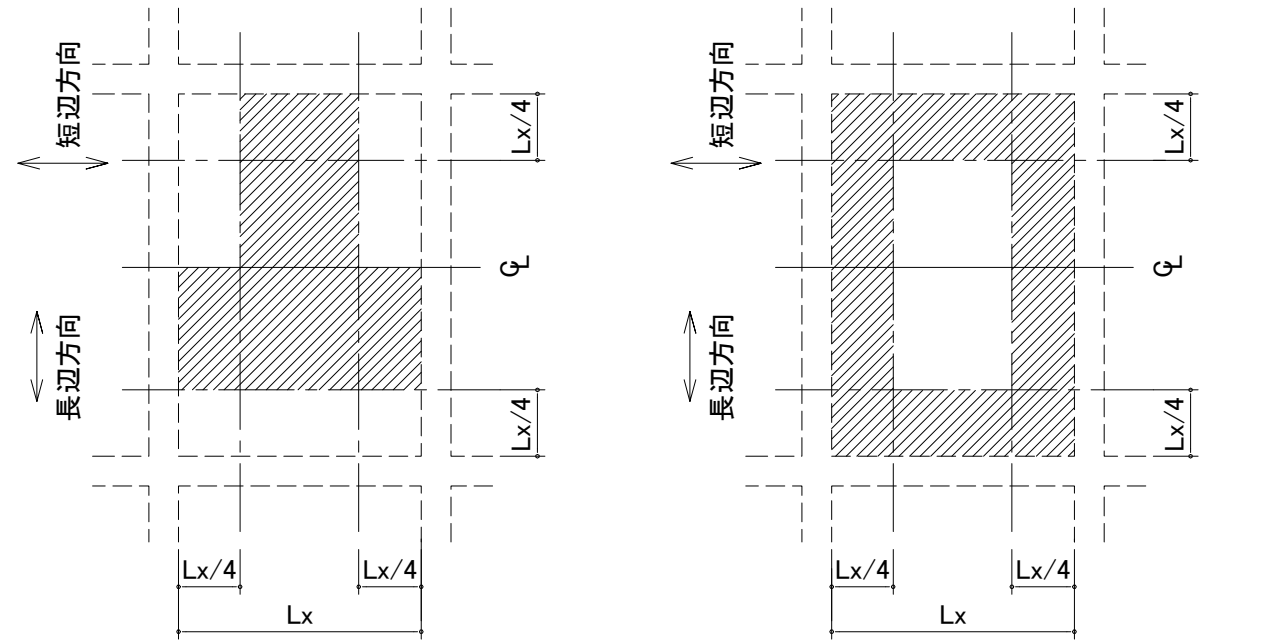


図 8-2-2

(4) 高低差のある場合のスラブ筋のおさまり

(a) スラブが梁側面に付く場合

- i) h>50mm かつスラブ下端筋が梁主筋の上を通る場合

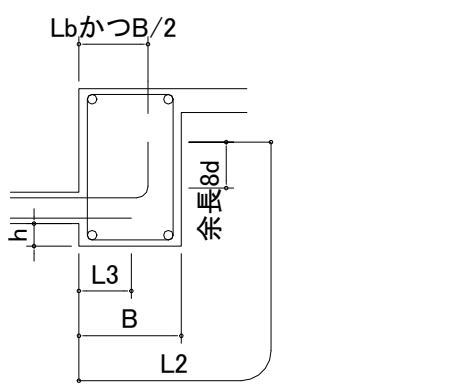


図 8-3-1

(b) 片側スラブが梁より上がる場合

1. (i) ~ (iii) は壁がない場合を、(iv) は壁がある場合を示す。

- (i) 0<h≤50mm かつスラブ下端筋が梁主筋の下を通る場合

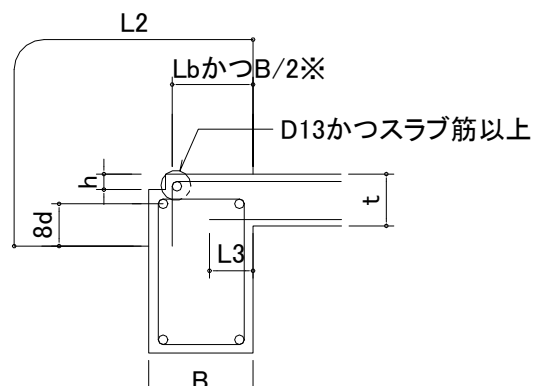


図 8-3-3

- (ii) 50mm<h かつスラブ下端筋が梁主筋の下を通る場合

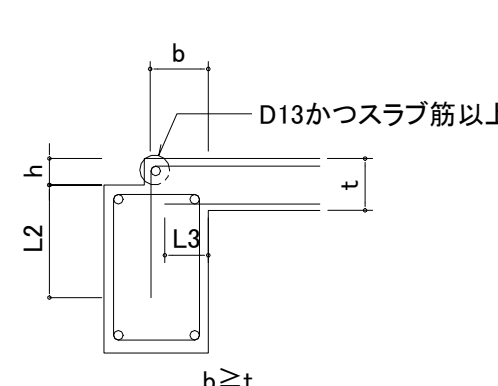


図 8-3-4

- (iii) h<t+70mm かつスラブ下端筋が梁主筋の上を通る場合 (iv) h<3t1 かつ t2>t1

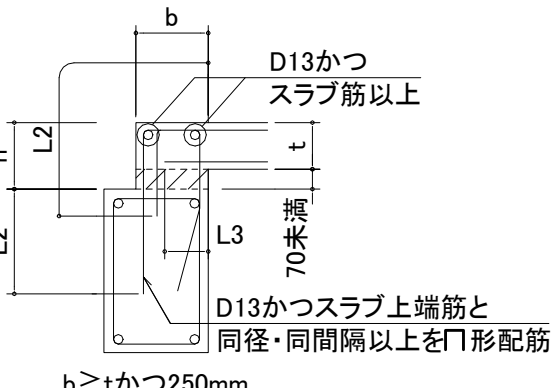


図 8-3-5

(c) 梁の両側のスラブが上がる場合

- (i) h≥0 かつスラブ下端筋が梁主筋の下を通る場合

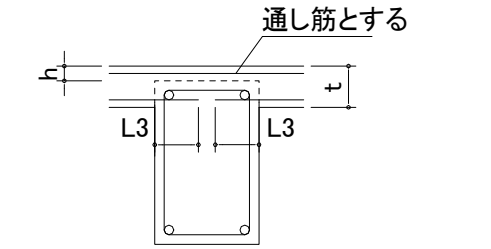


図 8-3-7

- (ii) スラブ下端筋が梁主筋の上を通る場合

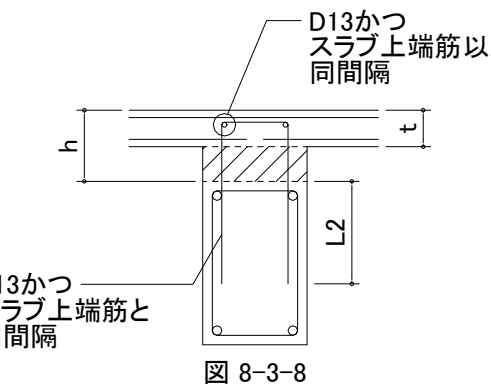


図 8-3-8

(d) スラブ中間部に高低差のある場合

1. 下記以外の場合は構造図による。

- (i) 段差が小さい場合 (H≤t/2)

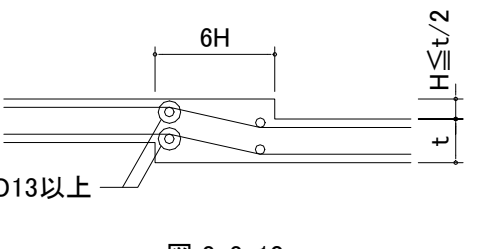


図 8-3-10

- (ii) 段差がスラブ厚程度の場合 (t/2<H≤2t)

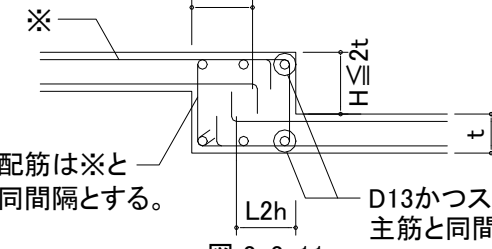


図 8-3-11

(5) 釜場

1. t: 底盤と同厚以上。

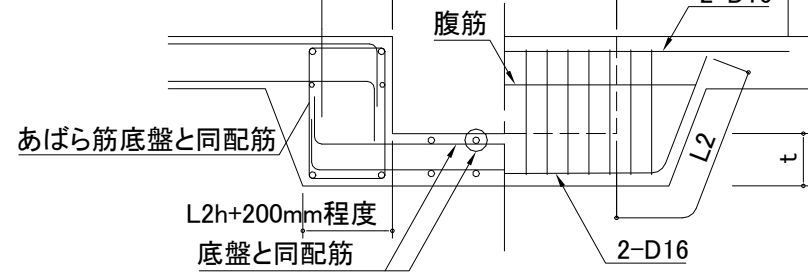


図 8-4-1

9. 壁

(1) 一般壁

(a) 壁と柱・梁との収まり

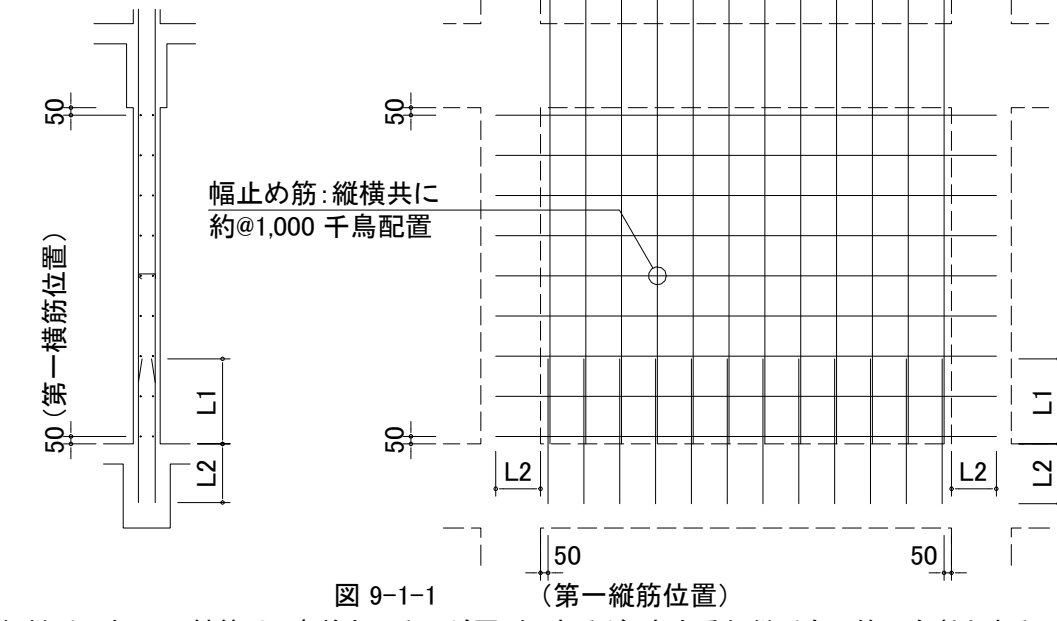
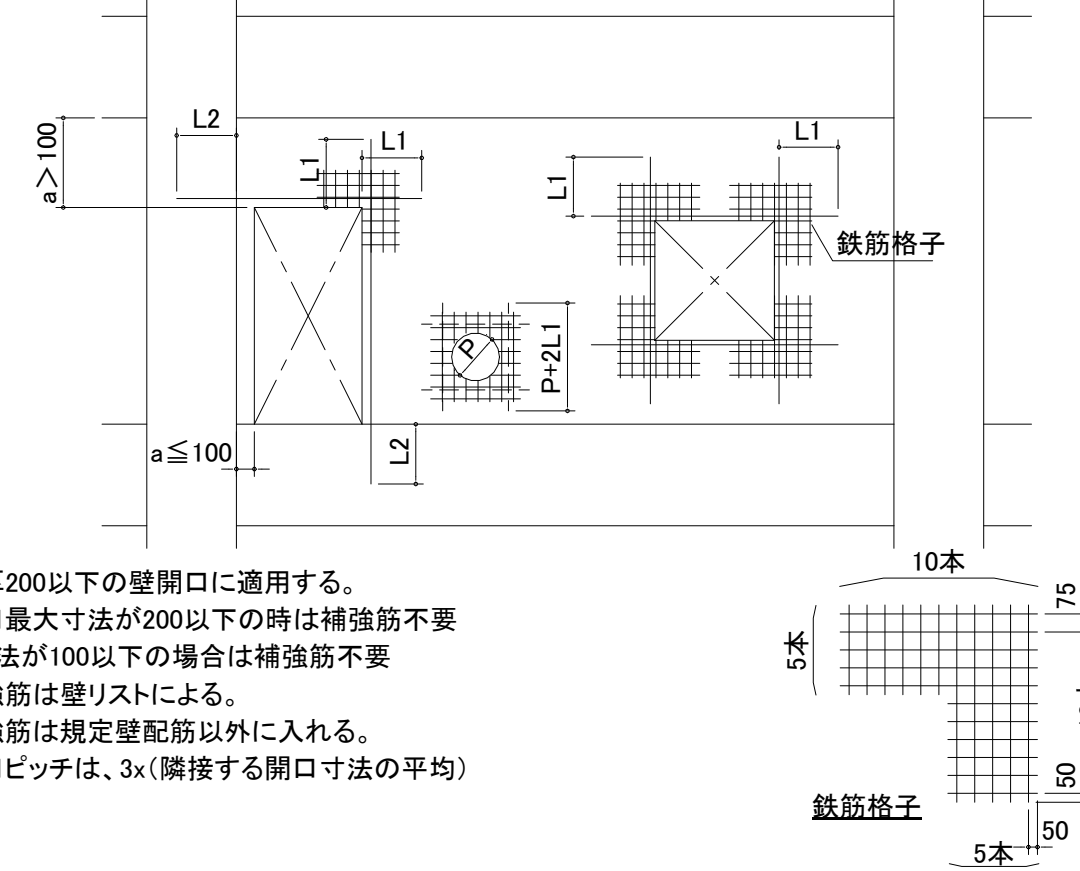


図 9-1-1

1. 壁筋の重ね継手の相互の鉄筋は、密着させるのが原則であるが、あき重ね継手も同等に有効とすること。

(2) 壁の開口補強要領

a) 鉄筋格子の場合



1. 壁厚200以下の壁開口に適用する。
2. 開口最大寸法が200以下の時は補強筋不要
3. a寸法が100以下の場合は補強筋不要
4. 補強筋は壁リストによる。
5. 補強筋は規定壁配筋以外に入れる。
6. 開口ピッチは、3x(隣接する開口寸法の平均)

(b) 各部の定着

(i) 壁-柱

1. a 区間の部分は通し配筋でもよい。
2. (エ)、(オ) は増打ちコンクリートのある非耐力壁の場合、耐力壁の場合は構造図による。
3. ※1、※2 鉄筋の径及び間隔は、13(2)の柱打増し要領による。

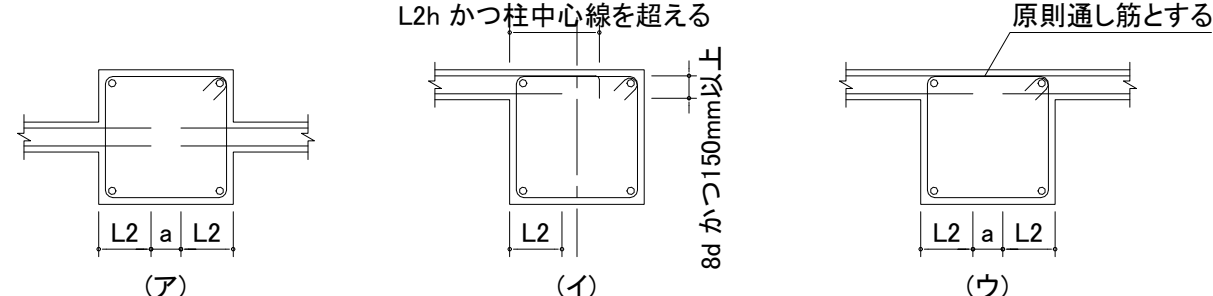


図 9-1-3

(ii) 壁-梁

1. a 区間の部分は通し配筋でもよい。
2. (エ) は増打ちコンクリートのある非耐力壁の場合、耐力壁の場合は設計図書の特記による。
3. ※1 鉄筋の径及び間隔は、13(2)の柱打増し要領による。

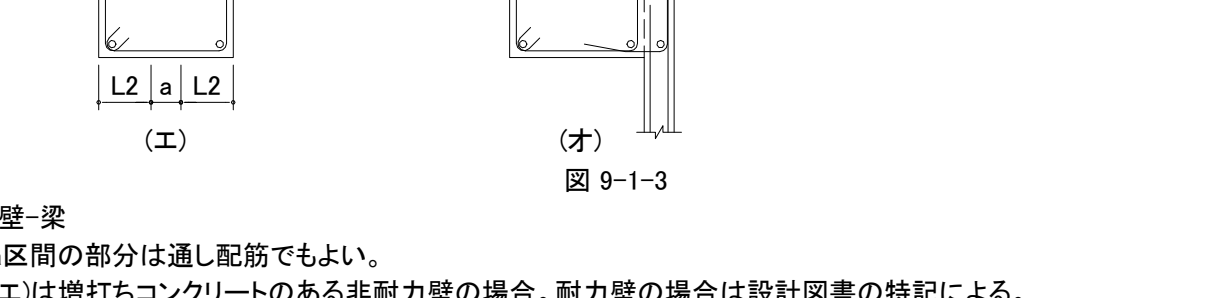


図 9-1-4

(iii) 壁-スラブ (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

(ア) スラブ上端筋がある場合

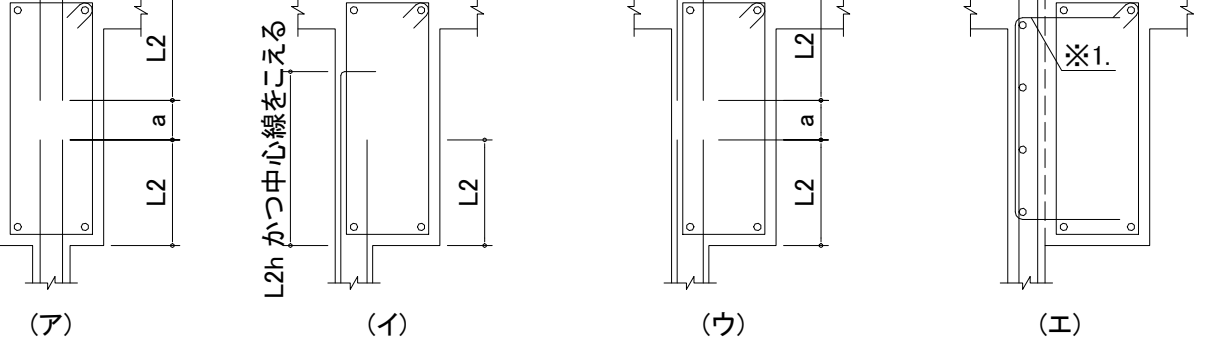


図 9-1-5

(イ) スラブ上端筋がない場合

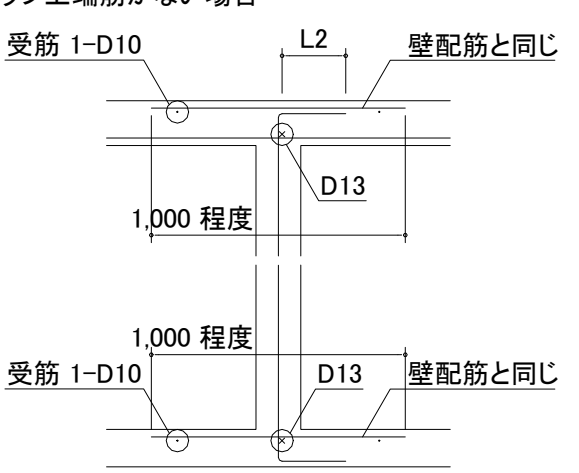


図 9-1-6

(iv) 壁-壁 (平面)

(ア) シングル配筋

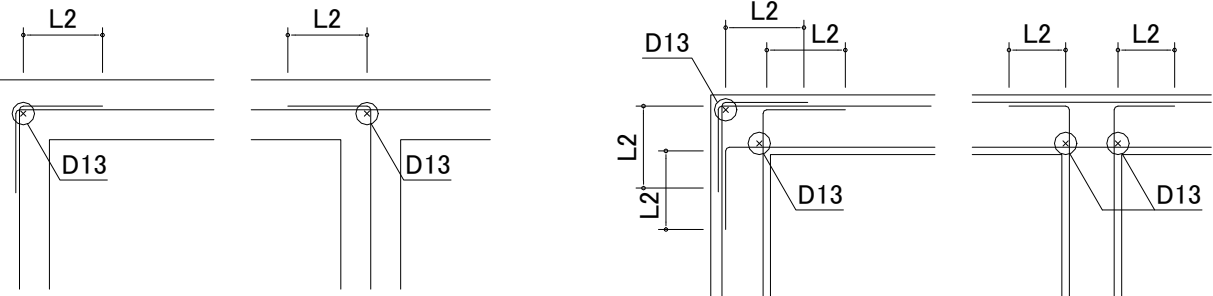
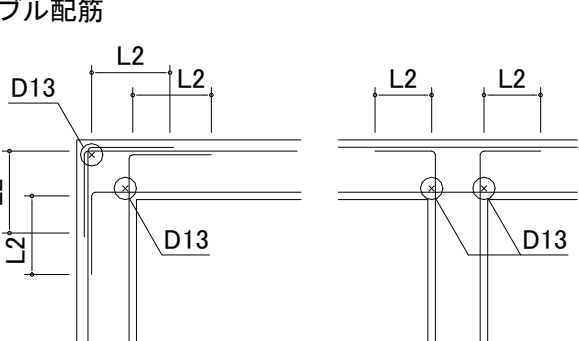


図 9-1-7

(イ) ダブル配筋



(2) 壁端部・開口部小口補強

1. 耐震壁の場合、コ形補強筋は壁筋と同径・同間隔とする。
2. L寸法は構造図による。構造図に記載がない場合は15dとする。
3. 壁筋にフックを設けた壁で、壁厚が250mm以下の場合、開口部小口補強は省略とすることができる。

(a) コ形補強筋が外側の場合

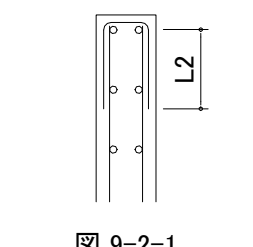


図 9-2-1

(b) コ形補強筋が内側の場合

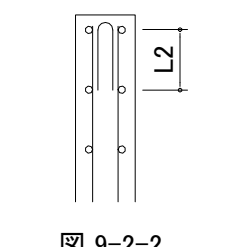


図 9-2-2

(c) 壁筋にフックを設けた場合

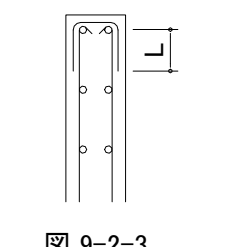


図 9-2-3

(3) スリット

1. 鉛直方向のスリット幅は壁高さの1/100以上、水平方向のスリット幅は30mm程度かつ梁スパンの1/250程度とする。
(a) 在来工法を用いる場合

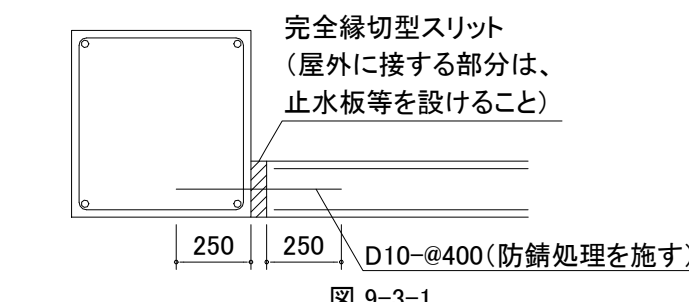


図 9-3-1

(b) 既製品を用いる場合

1. 耐震スリットの要領図を作成し、管理者に提出のこと。
2. 旧都市基盤整備公団の品質判定基準に合格していること。(耐火性・水密性)
3. スリット材は耐火仕様とすること。(耐火が求められる場合)

10. 梁貫通孔補強

梁貫通補強は、指定がない限りダイヤレンを使用する。

(1) 梁貫通孔の補強

1. 梁貫通孔補強筋の名称は下図による。

2. 孔の径は、梁せいの 1/3 以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。

3. 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より 1/3D の範囲には設けてはならない。

4. 孔は、柱面から、原則として 1.5D 以上離す。但し、地中梁、壁付帯梁は除く。

5. 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。

6. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

7. 補強筋は、主筋の内側とする。また鉄筋の定着長さ、及び孔の上下の位置は下図による。

* 部分について計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらずとも良い。

孔補強の有効範囲と定着長さのとり方

RCの場合
SRCの場合

8. 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(2) 梁貫通孔の補強筋

1. 表の補強は前記(1)の条件のもとで算定したものであり、現場施工に当たってはシャースパン比 $\ell/2D$ を考慮し、終局耐力計算書を作成のうえ監理者の承認を得ること。
2. スターラップがD16以上の時は、縦補強筋をスターラップと同径とする。
3. 防火区画に位置する貫通スリーブは鋼管(STK400)とする。
4. RCスリーブは硬質塩ビ管とする。
5. 上記のほか、貫通孔の水処理は設備工事施工管理要領による。
6. 地中梁用の欄にない貫通孔径の補強は大梁用と同じとする。
7. 土に接する梁の貫通孔スリーブはステンレス製(つば付)とする。
8. 縦補強筋の一巻とは、梁リストに示すスターラップ形状を一巻とみなす。
9. 既製の補強筋を用いる場合は、監理者の承認を得ること。但し、孔径が200mmを超える場合は上縦筋および下縦筋を省略しないこと。
10. 梁貫通孔補強筋凡例を参照のこと。

	貫通孔径	縦補強筋	横補強筋	斜め補強筋	備 考
大 梁 用	100Φ以下	—	—	—	
	125Φ				
	150Φ				
	175Φ				
	200Φ				
	250Φ				
	300Φ				
小 梁 用	100Φ以下	—	—	—	
	125Φ				
	150Φ				
	175Φ				
	200Φ				
	250Φ				
	300Φ				
地中梁用	350Φ				
	600Φ				人通孔

(注) 1. 設計図面図示以外に上表の数量を見込むこと。上表には建築用開口及び地中梁湧水連通管等の個数は含まれていない。これらの位置及び個数は意匠図による。

2. 壁スラブの貫通孔で鉄筋を切断しない場合は、開口補強筋は不要とする

3. 貫通孔を設ける部位には各要領図に従い開口補強を設ける。

梁貫通孔補強筋凡例

2-D13
1巻-D13
2-D13
2-D13
2-D13
2-D13

貫通孔径	縦補強筋	横補強筋	斜め補強筋
200φ	1巻-D13	各2-D13	各2-D13

11. 開口補強

(1) スラブおよび非耐力壁

1. 開口が連続するスラブの場合および片持ちスラブに開口を設ける場合の補強は構造図による。
2. スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下の場合、鉄筋を1/6以下の勾配で曲げること、または50mm以下でずらすことにより補強筋を省略することができる。ただし、開口部から設計かぶりを確保すること。
3. 壁開口、スラブ開口が柱または梁に接する場合、接する柱・梁の部分には補強筋を省略できる。
4. 壁開口の最大径が両方向の配筋間隔以下の場合、鉄筋を1/6以下の勾配で曲げること、または50mm以下でずらすことにより補強筋を省略することができる。ただし、開口部から設計かぶりを確保すること。
5. 開口幅700mmを超える場合は、監理者に開口補強要領を確認すること。

(a) スラブ開口補強

1. 開口寸法がスラブの配筋間隔以下の小開口の補強は、図11-1-3による。

(i) 角形開口(一辺の最大寸法が700mm以下)

(ii) 円形開口(直径700mm以下)

2-D13かつ切断鉄筋と同種・同径かつ同本数の1/2

D13 上端筋の下に入れる

2. 小開口を連続して設けた例

斜め補強筋D13かつスラブ筋と同径以上

※・開口により切断された鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強すること。

・孔と孔のへりあきは、スラブ厚以上とすること。

(b) 非耐力壁の開口補強

1. 開口寸法が壁の配筋間隔以下の小開口の補強は、図 11-1-3による。

(i) 角形開口(一辺の最大寸法が700mm以下)

(ii) 円形開口(直径700mm以下)

壁筋同径2本

ダブル配筋 シングル配筋

壁筋同径1本

(c) 単独円形小開口の配筋要領 (開口の大きさが、床壁の配筋間隔以下の場合)

1/6以下の勾配で鉄筋を曲げてよい

ずらしてもよい(50mm以下)

鉄筋を切断した場合は切断した鉄筋量以上を開口脇に配筋する

図 11-1-3

(d) スラブ開口部が柱または梁に接する場合の配筋要領

(i) 角形開口

(ii) 円形開口

図 11-1-4

(e) 壁開口部が柱または梁に接する場合の配筋要領 (耐震壁を含む)

(i) 角形開口

(ii) 円形開口

図 11-1-5

(f) 壁開口部が連続する場合の配筋要領 (耐力壁の場合)

1. 円形連続開口まわりの補強筋の定着長さは図 11-1-5に準ずる。

図 11-1-6

(g) 壁開口部が連続する場合の配筋要領 (非耐力壁)

図 11-1-7

12. 階段

(1) 1方向スラブ階段

主筋

イナズマ筋 D10-@200

1-D13

受筋1-D10

1-D13

上下計4-D13 梁又は壁にL2定着する

主筋

主筋

配力筋

肩筋1-D13

※ 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4以上かつ L_a 以上)

図 12-1-1

表 12-1-1

階段種別	厚さ t	配 筋	
		主 筋	配力筋

(2) 片持ち階段

肩筋1-D13

主筋A 配力筋

主筋B

イナズマ筋 D10-@200

1-D13

D10-@200

※ 先端に手摺がある場合は、8(1)(d)を参照

上下計4-D13 梁又は壁に定着する

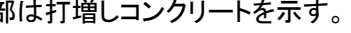
図 12-1-1

表 12-1-1

階段種別	厚さ t	配 筋		
		主 筋 A	主 筋 B	配力筋

13. 柱・梁・壁・スラブ打増し部配筋要領

(1) 一般事項

1. 構造図に記載のない打増しを行う場合は事前に監理者と協議すること。
2. 柱・梁の打増し部に耐力壁が取り付く場合の打増し配筋要領は構造図による。
3. 打増し寸法a1, a2が70mm未満の場合は補強筋不要とする。
4. 部は打増しコンクリートを示す。
5. ふかし部分のFc強度は、監理者と協議すること。

(2) 柱

1. 梁、耐力壁およびスラブの鉄筋の定着長さは、柱躯体内で確保し、打増し部は定着長さに算定しない。

(a) 柱補強筋

表 13-2-1

補強主筋	D16-@300程度
補強帯筋	D13-@100程度

(b) 柱の打増し要領

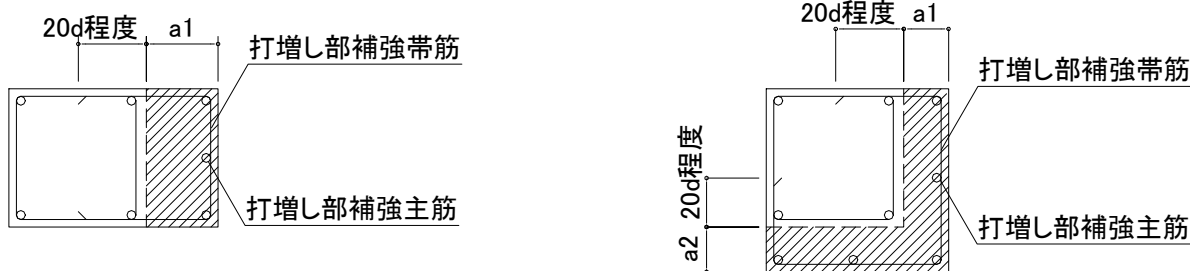


図 13-2-2

(c) 柱の打増し部の補強主筋の定着要領

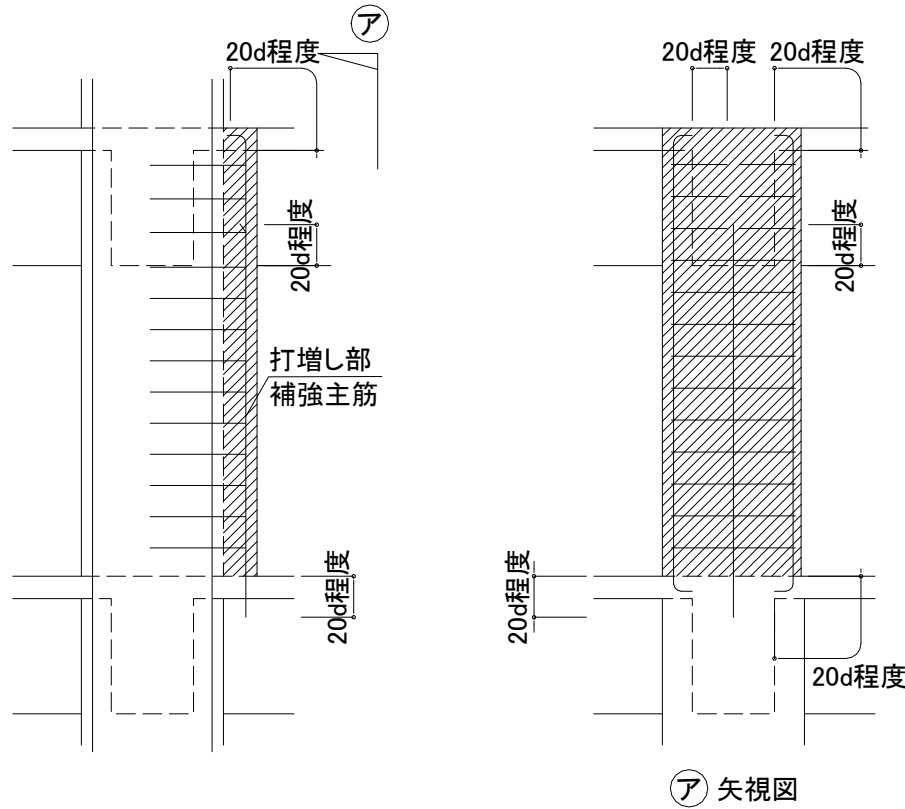


図 13-2-3

(3) 梁

1. 小梁・耐力壁およびスラブの鉄筋の定着長さは、梁躯体内で確保し、打増し部は定着長さに算定しない。
2. 梁の打増し部配筋要領は表13-3-1、表13-3-2、図13-3-1、図13-3-2、図13-3-3による。
3. 打増し部腹筋は梁と同径・同段数とする。

(a) 梁補強筋

(i) 梁側面補強筋

(ii) 梁上下面補強筋

補強主筋	D16
補強あばら筋	梁あばら筋と同径、 間隔200mm以下

梁幅	B ≤ 350mm	350mm < B
補強主筋	2-D16	D16-@250以下
補強あばら筋	梁あばら筋と同径、間隔200mm以下	

(b) 梁の打ち増し要領

(i) 梁側面を打増しする場合

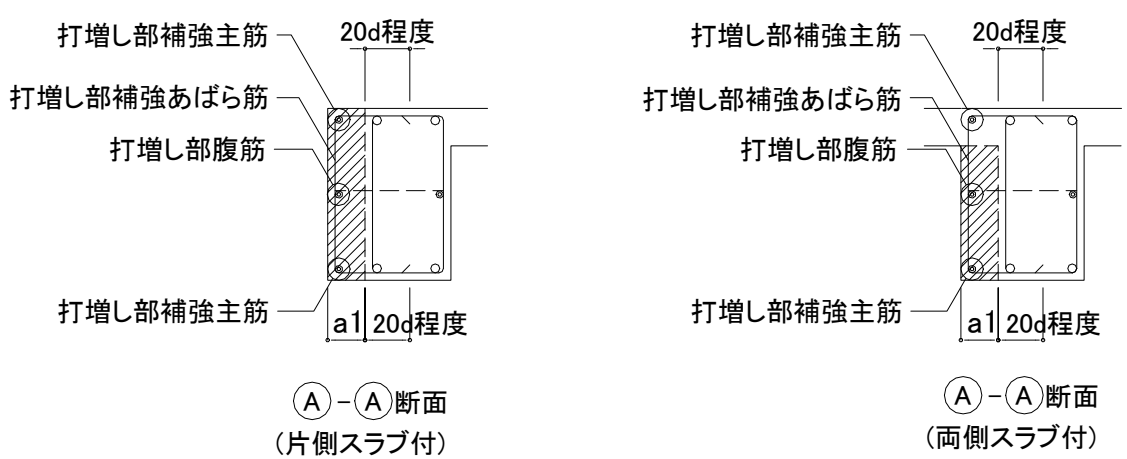


図 13-3-1

(ii) 梁側面および梁下面を打増しする場合

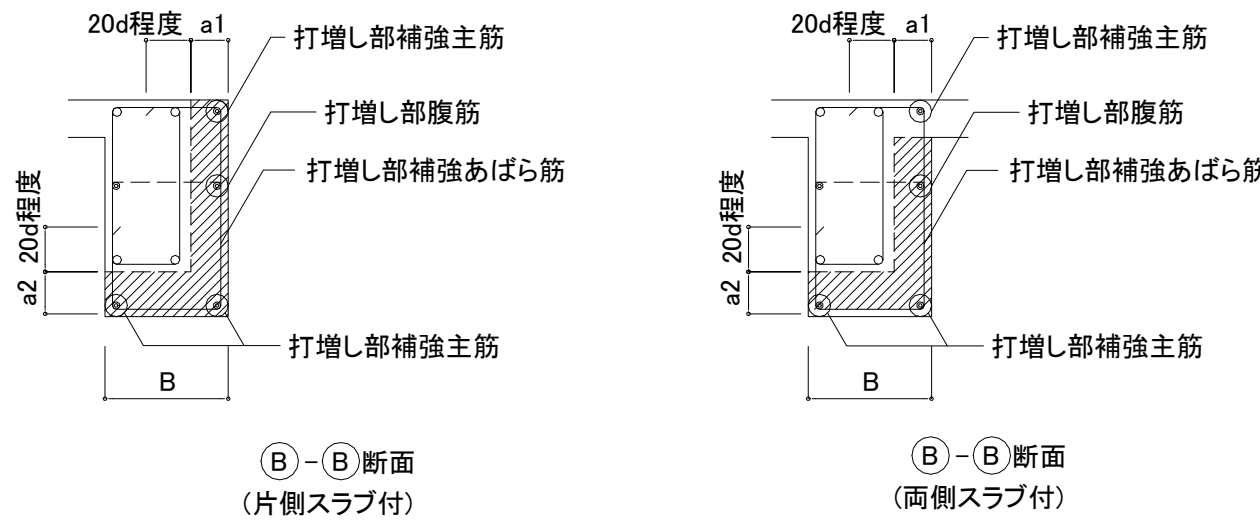


図 13-3-2

(iii) 梁上面を打増しする場合 (スラブなし)

1. スラブが取付く場合は図 8-3-5から図 8-3-9を参照。

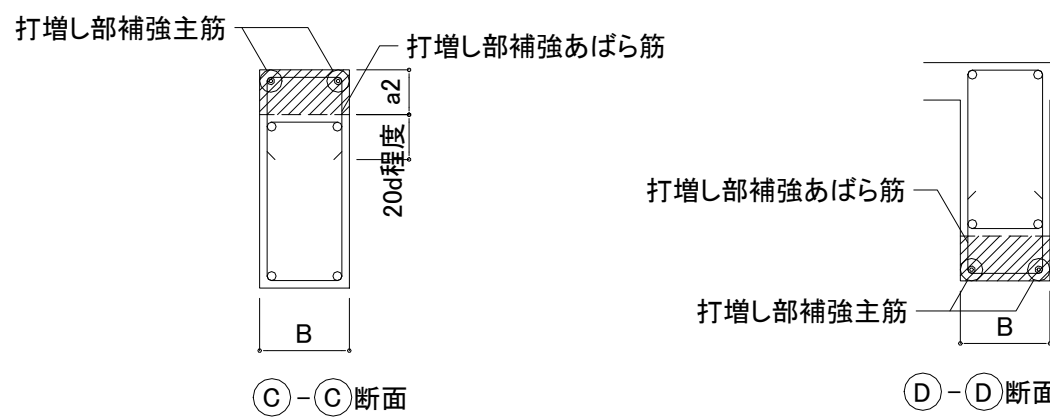


図 13-2-3

(c) 梁打増し部の補強主筋の定着

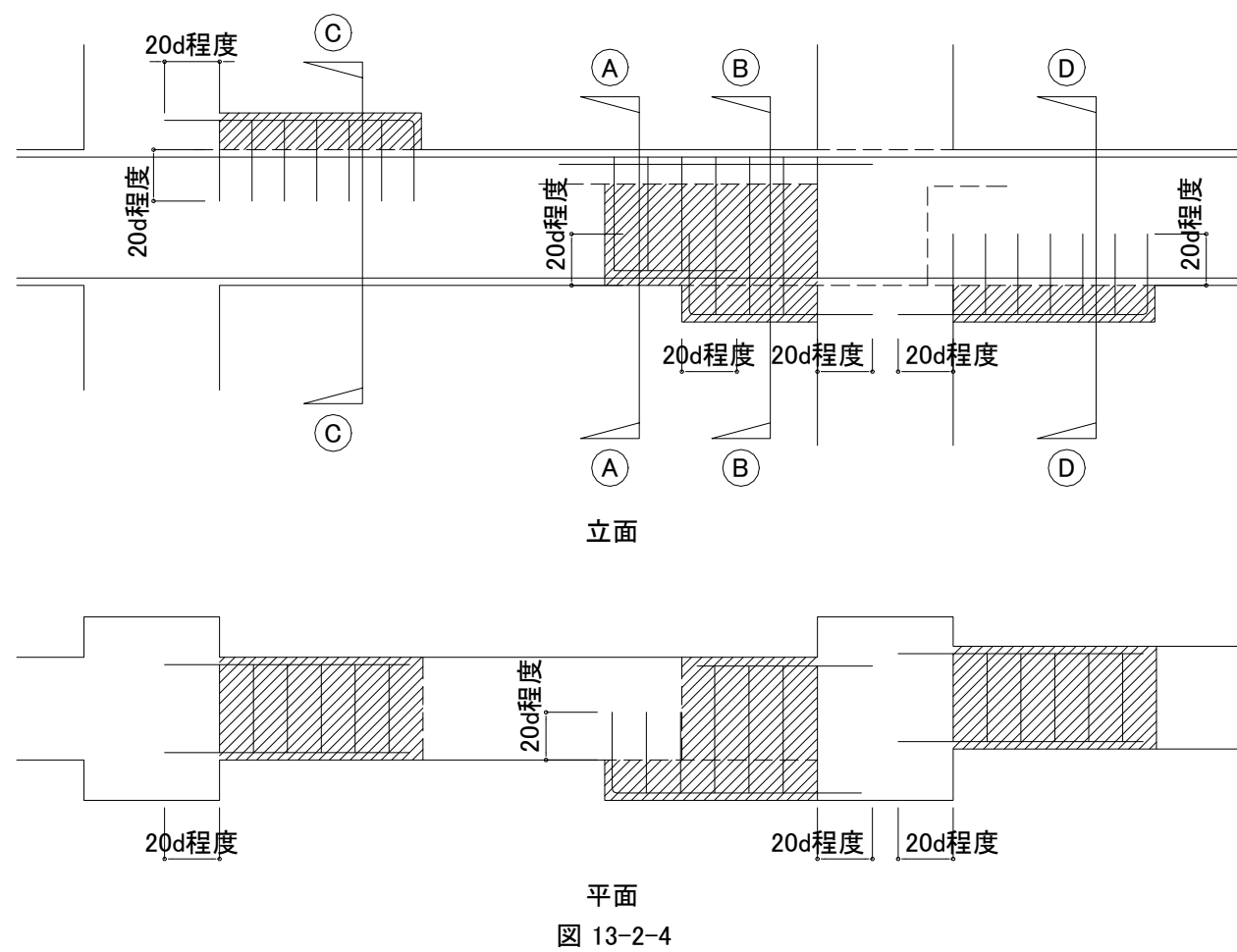


図 13-2-4

(4) 壁・スラブ

(a) 壁の打増し要領

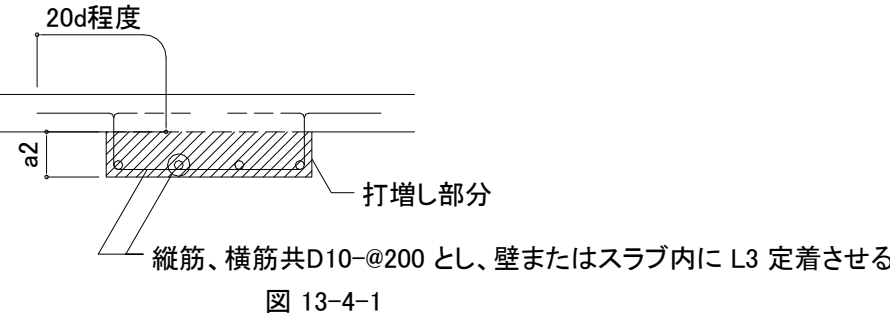


図 13-4-1

(b) スラブの打増し要領

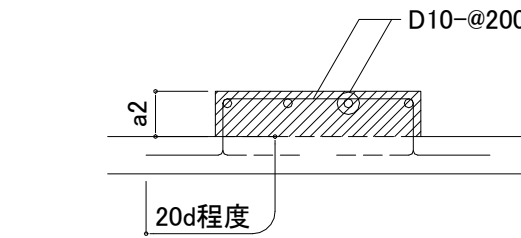


図 13-4-2

14. その他

(1) 手すり、パラベット

(a) 手すり

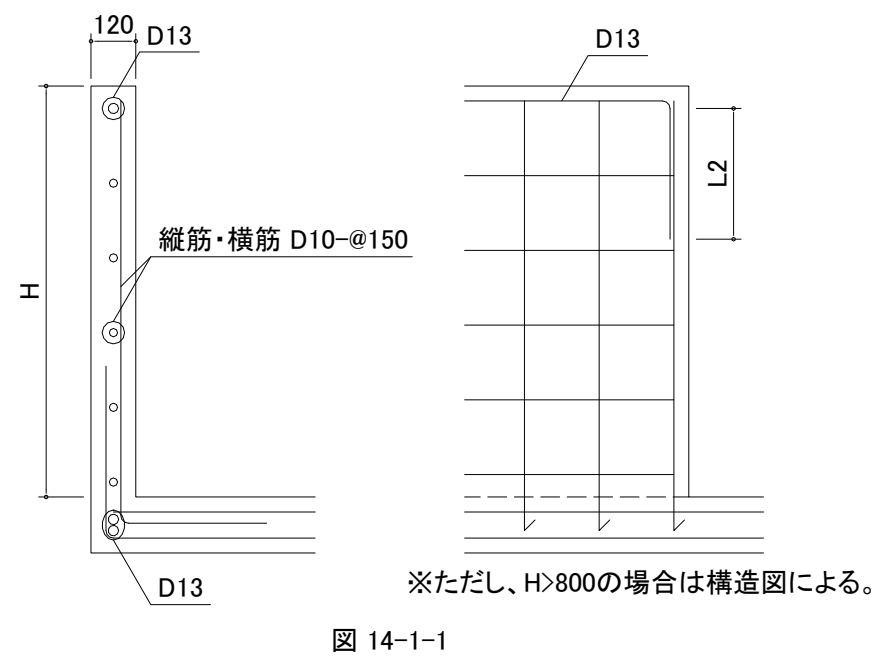


図 14-1-1

(b) パラベット

(i) 片持ちスラブの先端 (ii) 梁付きの場合

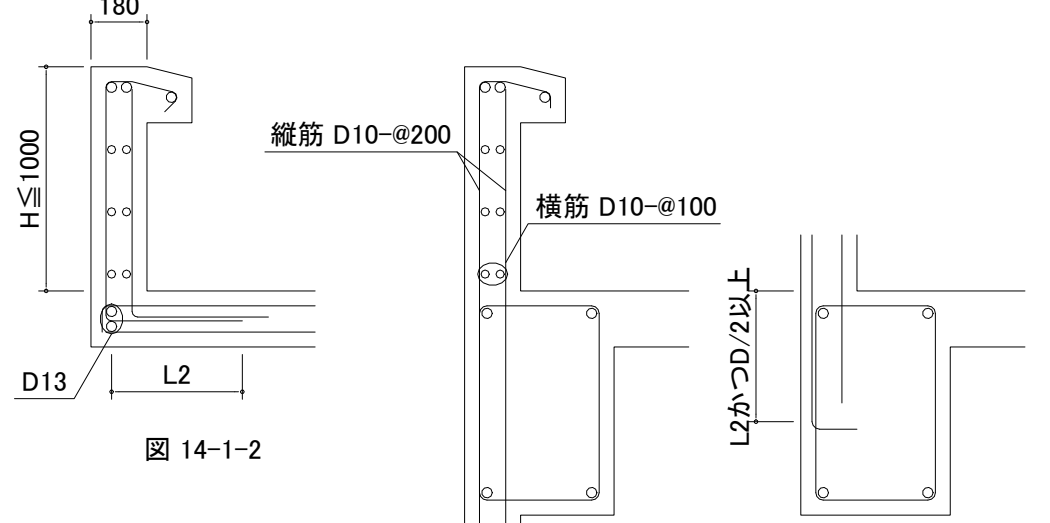
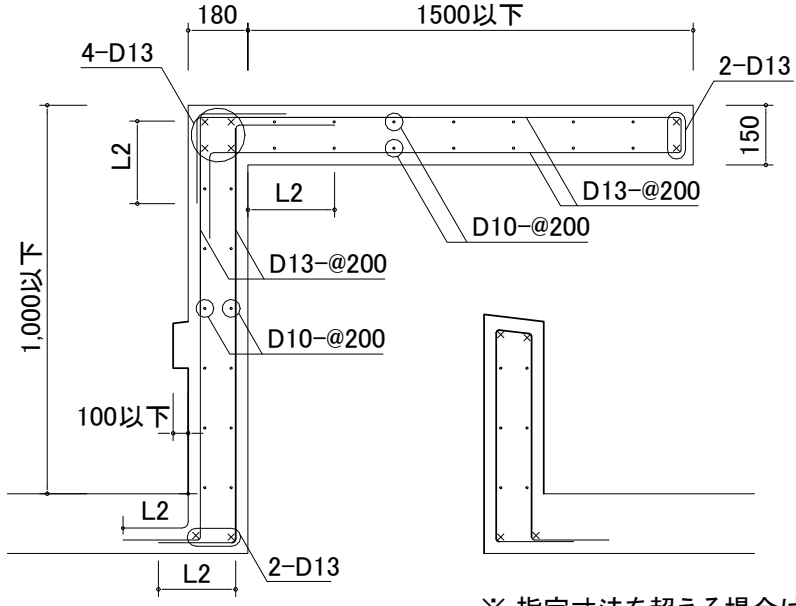


図 14-1-2

図 14-1-3 梁外端のかぶり大きい場合があるので先端を折り曲げるのがよい。

(2) ハト小屋詳細図



※ 指定寸法を超える場合は、構造図による。

図 14-2-1

(3) 設備基礎

(a) TYPE A (H ≤ 150)

1. 図 13-4-2による。

(b) TYPE A (H > 150)

1. H>150の場合はスタイロフォームにて高さ調整を行う
2. BまたはDが2000を超える場合は、超えるごとにt=200のRCリブを設ける

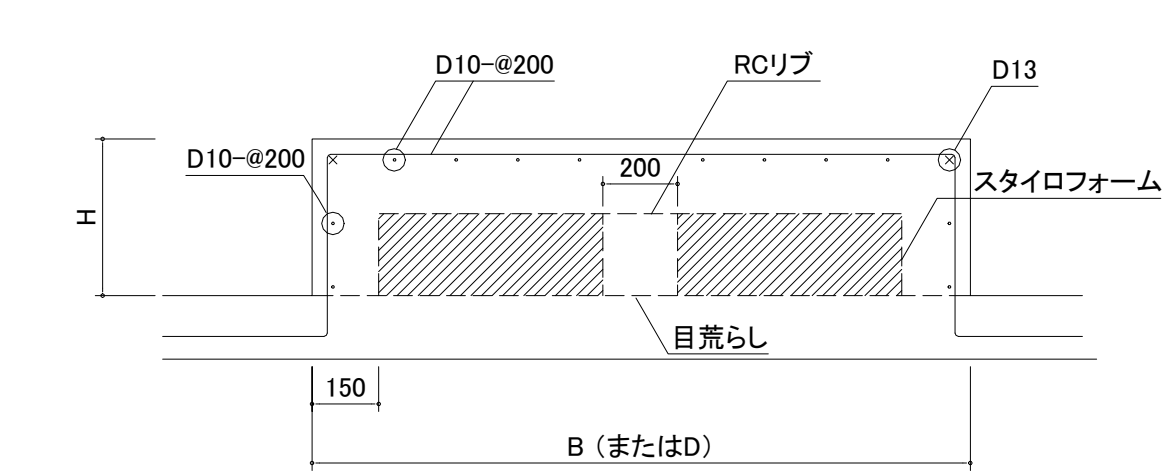


図 14-3-1

(c) TYPE B (屋外)

1. cLは2Hを最大とする。
2. H>1000の場合は監理者の指示による。
3. 基礎はスラブ上で止めず、鉄骨小梁間をスパンする。ただし、マットスラブ上は配置自由とする。

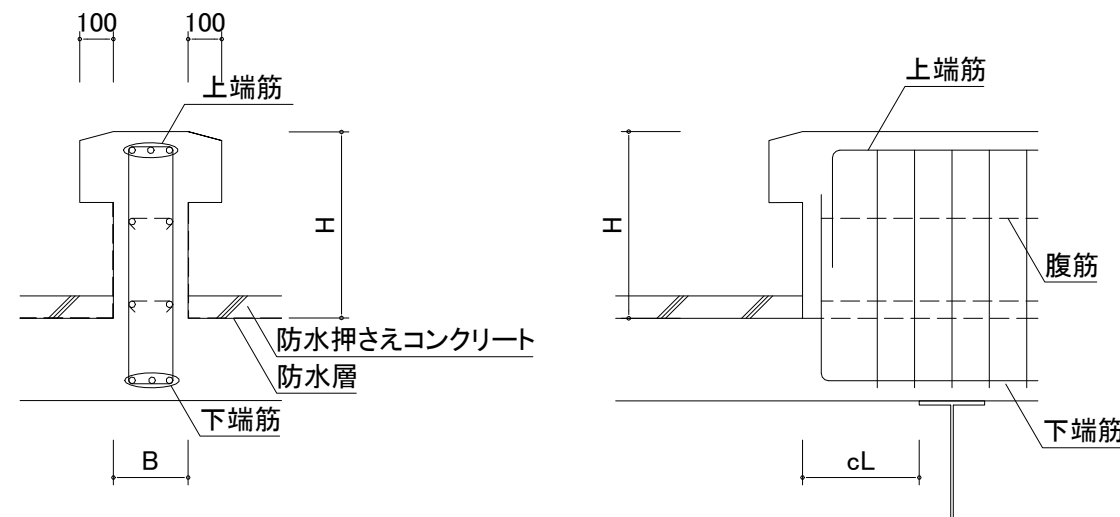


図 14-3-2

表 14-3-1

H	H < 600	600 ≤ H ≤ 1000
上端筋	3-D19	3-D22
下端筋	3-D19	3-D22
あばら筋	D10-@200	D13-@200
腹筋	-	2-D10

(d) TYPE B (屋内)

1. cLは2Hを最大とする。
2. H>1000の場合は監理者の指示による。
3. 基礎はスラブ上で止めず、鉄骨小梁間をスパンする。ただし、マットスラブ上は配置自由とする。

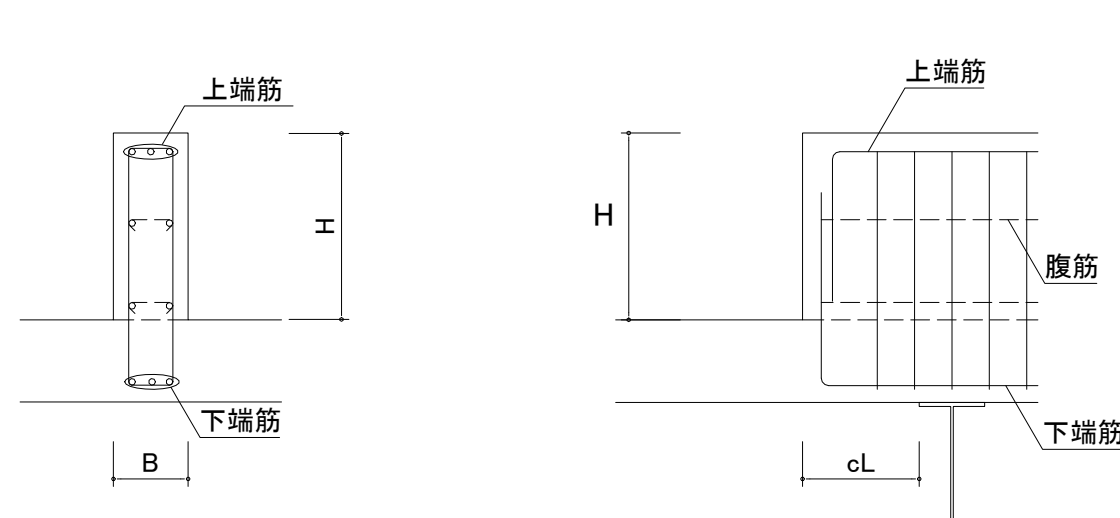


図 14-3-3

表 14-3-2

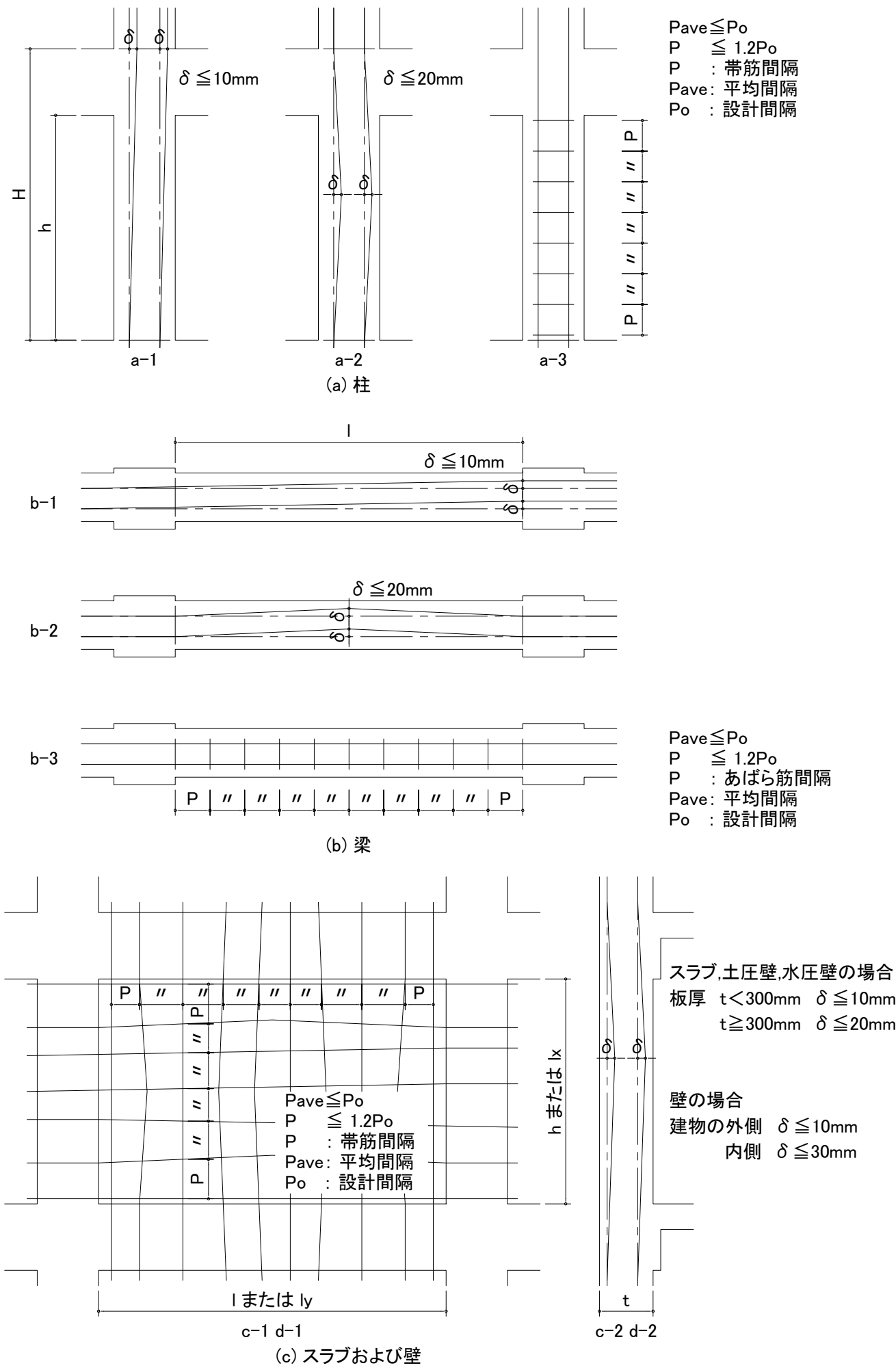
H	H < 600	600 ≤ H ≤ 1000
上端筋	3-D19	3-D22
下端筋	3-D19	3-D22
あばら筋	D10-@200	D13-@200
腹筋	-	2-D10

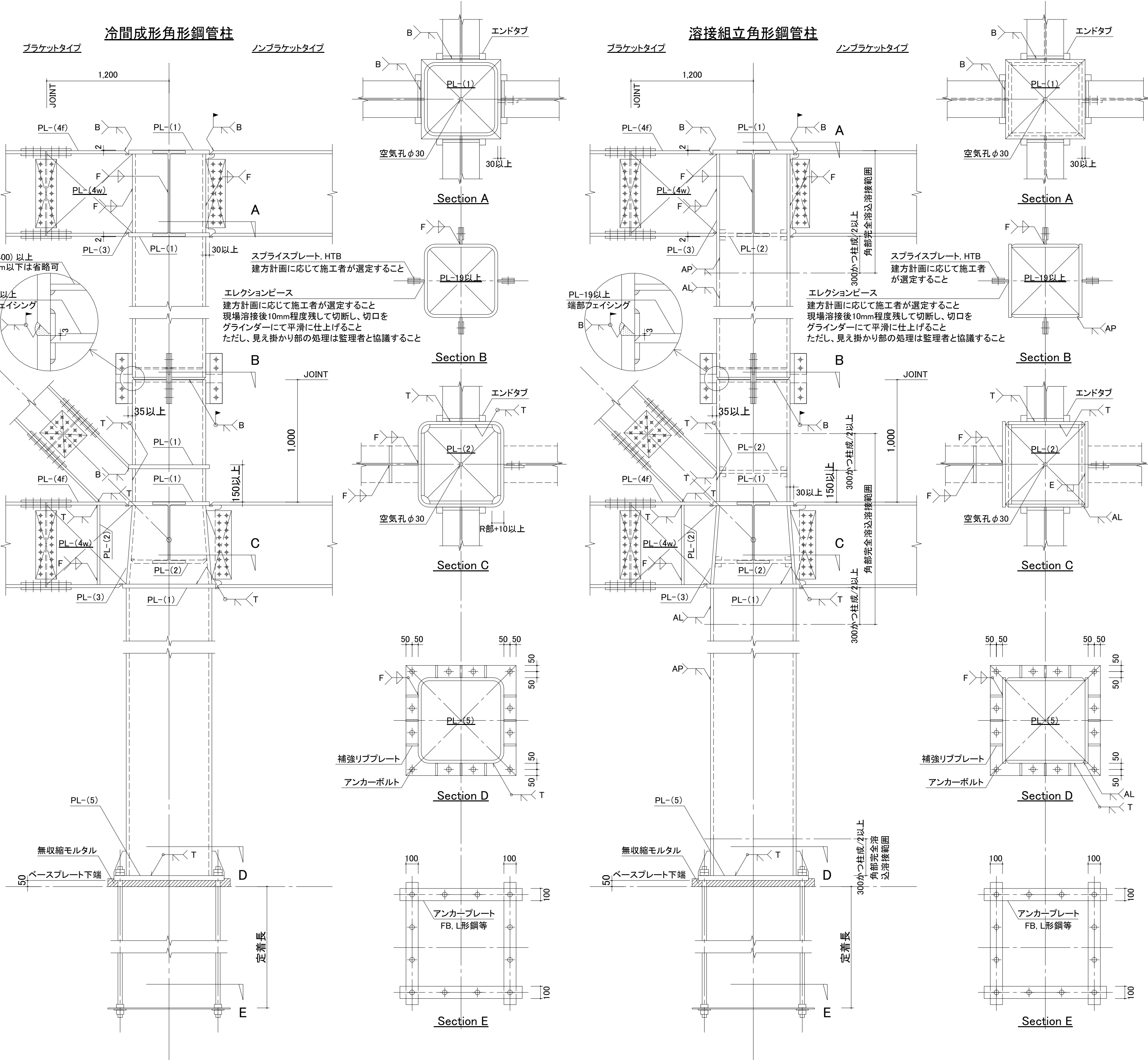
(4) 配筋精度

表 14-4-1

部位	符号	項目	許容値 δ または P
柱	a-1	柱の鉛直鉄筋(柱筋)の上下端間の倒れ	10mm
	a-2	柱の鉛直鉄筋(柱筋)の上下端間の曲がり	20mm
	a-3	帯筋の間隔	所定間隔(ピッチ)の 20% 以内
柱	b-1	梁筋の柱内法間の上下・左右方向の移動量	10mm
	b-2	梁筋の柱内法間の上下・左右方向の曲がり	20mm
	b-3	あばら筋の間隔	所定間隔(ピッチ)の 20% 以内
スラブ 土圧・水圧 壁	c-1	スラブおよび壁の鉄筋間隔	所定間隔(ピッチ)の 20% 以内
	c-2	スラブおよび壁の板厚方向の鉄筋位置 板厚 30cm 未満の場合 板厚 30cm 以上の場合	所定の位置から 10mm 所定の位置から 20mm
壁	d-1	壁の鉄筋間隔	所定間隔(ピッチ)の 20% 以内
	d-2	壁の板厚方向の鉄筋位置 建物の外部側 建物の内部側	10mm 30mm
その他	e	a~d 以外の鉄筋	上記に準ずる

- ※ ・ 配筋間隔あ上記規定を満し、さらに平均間隔を設計値以下とする必要がある。
・ 倒れや曲がり以上上記規定を満足し、さらに所定のかぶり厚さも守る必要がある。
・ 監理者による配筋検査の時期・頻度は監理者と協議の上、決定する。



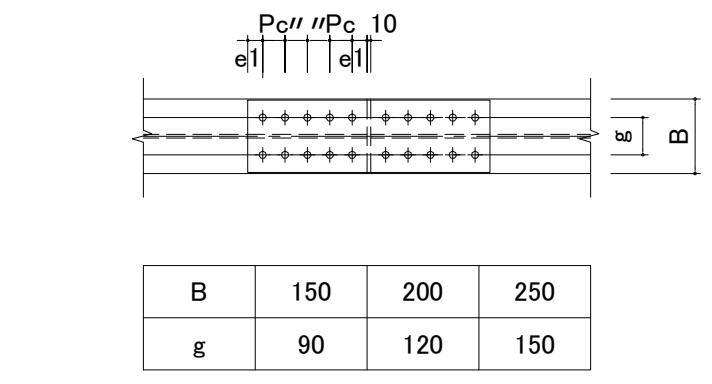


部位			板厚	強度	材種
PL-(1)	通し	梁取合	MAX(上下柱最大厚, 梁フランジ最大厚の5mmアップ以上)	取り合う柱・梁フランジと同強度以上	C材
		ブレース取合	MAX(上下柱最大厚, ブレースフランジ最大厚の5mmアップ以上, ブレースフランジ切断面の鉛直投影厚さ)	取り合う柱・ブレースフランジと同強度以上	C材
PL-(2)	内ダイアフラム	柱梁取合	梁フランジ最大厚の1サイズアップ	取り合う梁フランジと同強度以上	B材
		柱ブレース取合	ブレースフランジ最大厚の1サイズアップ	取り合うブレースフランジと同強度以上	B材
PL-(3)	仕口内柱	梁ブレース取合	ブレースフランジ同厚以上	取り合うブレースフランジと同強度以上	B材
		内ダイア有	上下柱最大厚以上	取り合う柱・梁フランジと同強度以上	C材
PL-(4f)	梁ブラケット	ブレース無	梁フランジ厚と同厚	取り合う柱・梁フランジと同強度以上	C材
		ブレース有	ただし、構造図に端部断面指定がある場合は構造図に従う	取り合う梁・ブレースフランジと同強度以上	C材
PL-(4w)	梁ブラケット	ブレース無	梁ウェブ厚と同厚	取り合う梁・ウェブと同強度以上	B材
		ブレース有	MAX(梁ウェブ厚, ブレースウェブ厚)	取り合う梁・ブレースウェブと同強度以上	B材
PL-(5)	ベースプレート (露出柱脚)		構造図に従う	取り合う柱と同強度以上	C材

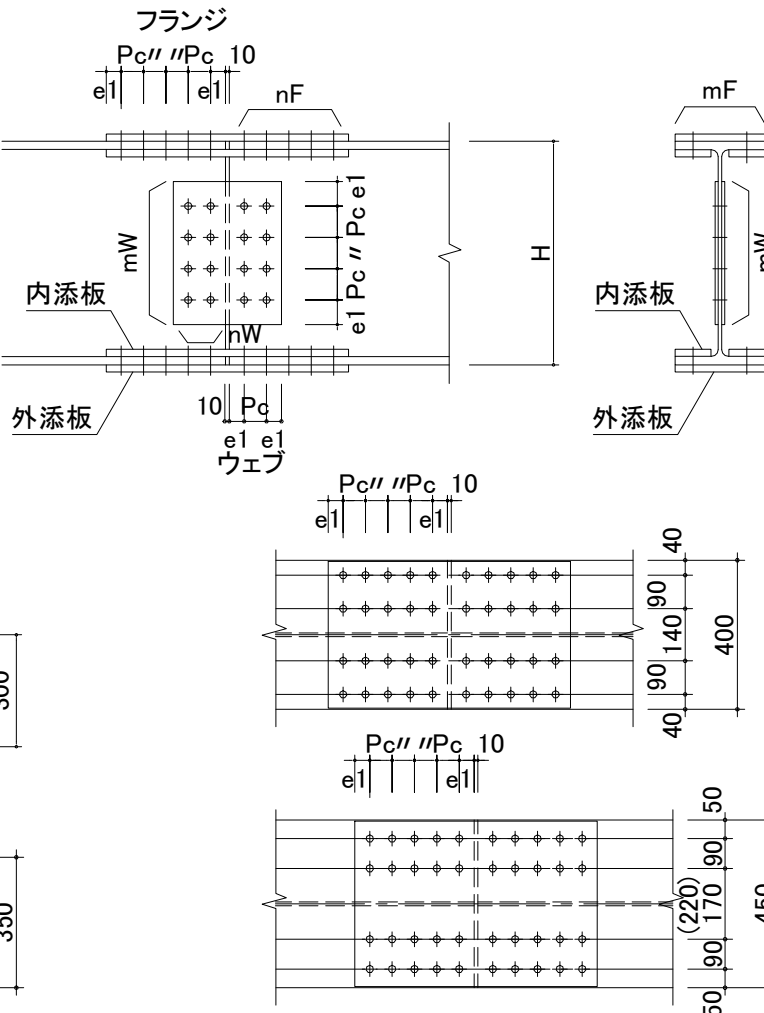
ボルト接合要領

- ・高力ボルトは特記なき限り、「SCSS-H97」(鉄骨構造標準接合部H形鋼編)に準拠する。
- ・ボルトは高力ボルトF10T (S10T) / $\mu \geq 0.45$ 、 μ はスライププレートと挟んで接合される場合、板厚に1mm以上の差があれば FILLER-PLを挿入する。
- ・2枚のスライププレートで挟んで接合される場合、板厚に1mm以上の差があれば FILLER-PLを挿入する。
- ・表示内容については下記による。
- ・nF x mF: フランジボルト配列でnFは材軸方向のボルト列数を、mFはフランジ幅方向のボルト数 (千鳥配筋の場合には、mF=2で表示) を示す。
- ・nW x mW: ウェブボルト配列でmWは梁成方向のボルト数を、nWは材軸方向の列数を示す。
- ・応力方向に3本以上ボルトが並ばない場合の縁端距離は、ボルト公称径の2.5倍とする。但し、SCSS-H97による部材断面はそれに従わなくてもよい。
- ・標準ボルトピッチPc、はしあきe1は下表による。

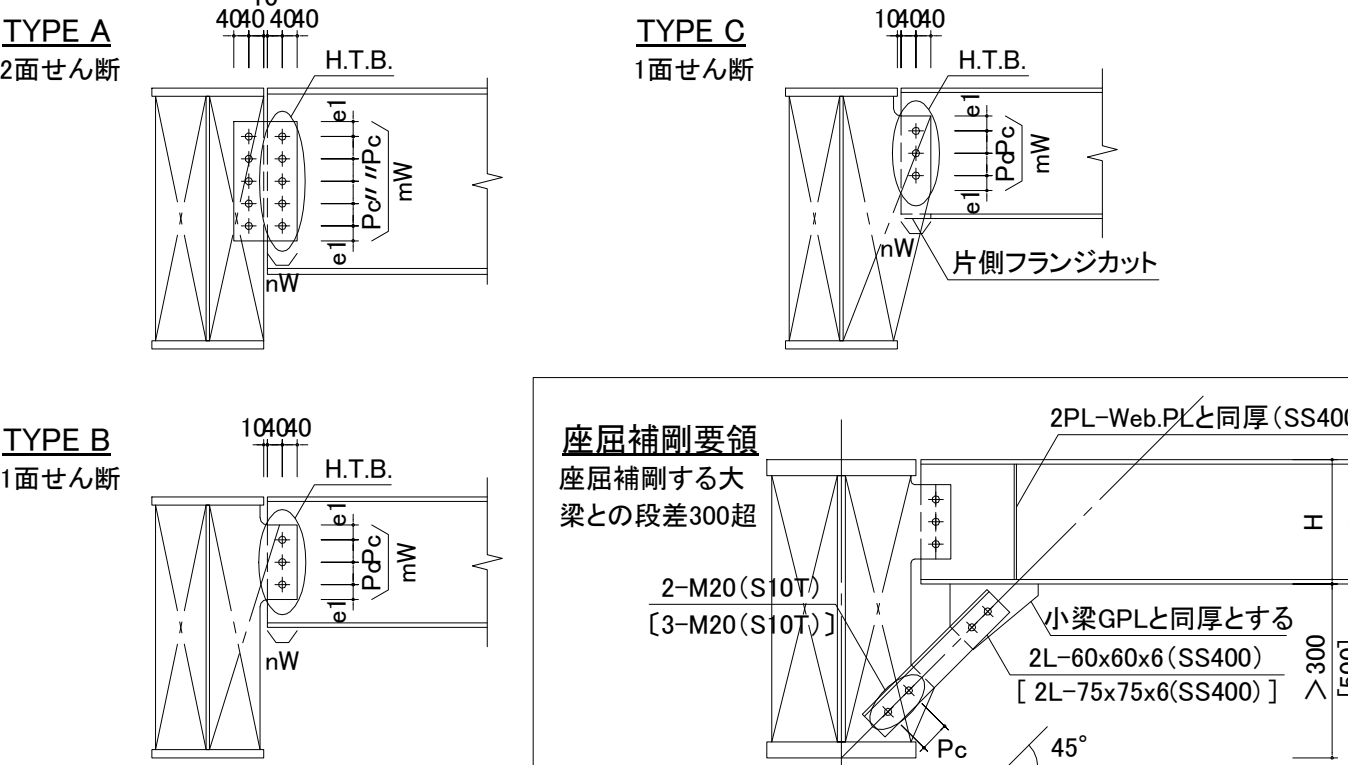
	M16	M20	M22	M24	備 考
Pc	60 (90)	60 (90)	70 (90)	70 (90)	() 内は大梁ウェブボルト打ちに使う場合に限る
e1	40	40	50	50	



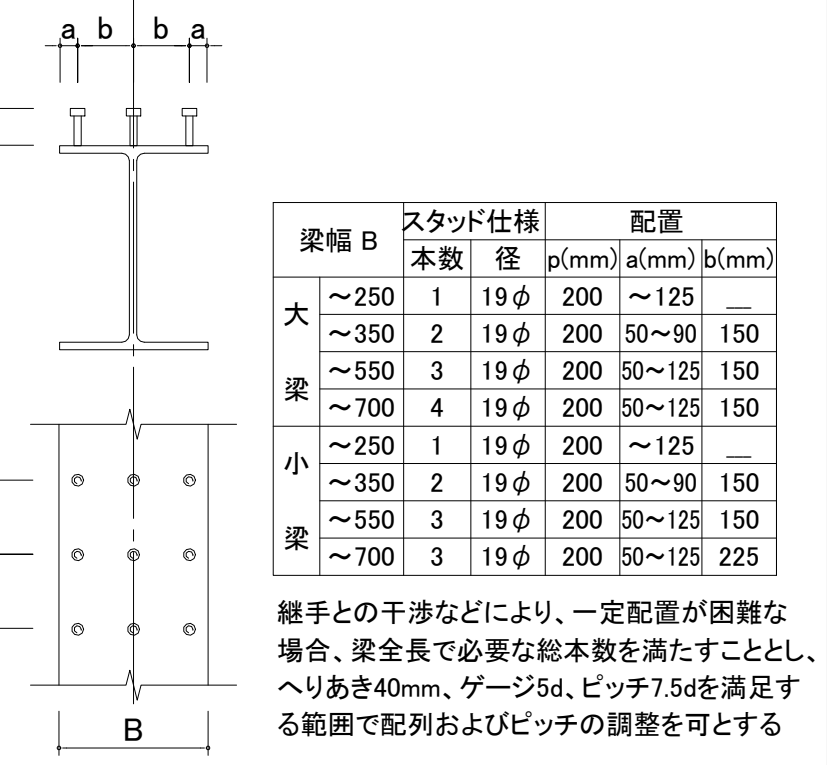
接合部のボルトピッチ・符号表示



小梁 (ピン接合) 接合要領

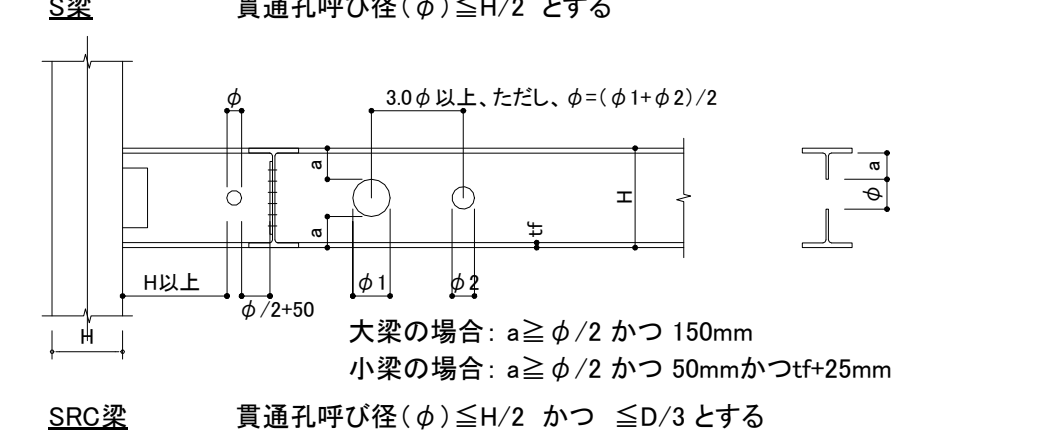


スタッドコネクタ接合要領



梁貫通補強要領

(1) 貫通孔の径と位置

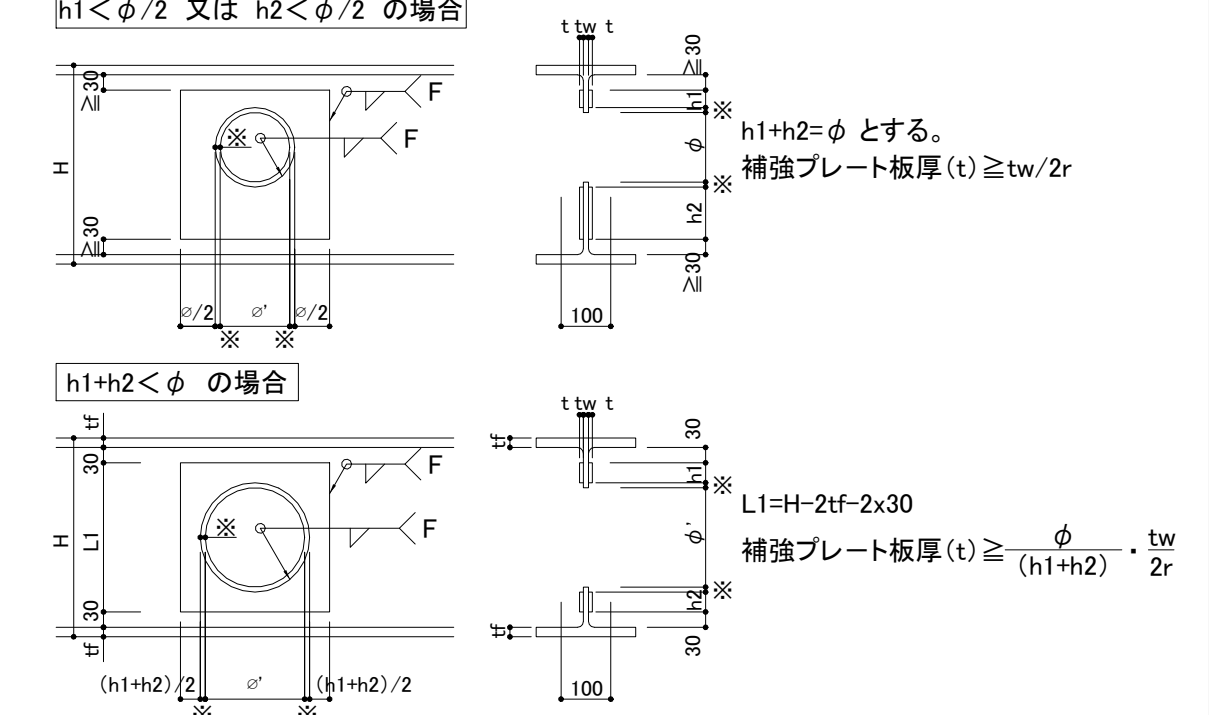


(2) 補強の適用

- 大梁 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強
- 小梁 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強
- 耐風梁 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強 (3)補強要領による補強

(3) 補強要領

- 補強プレートは原則としてウェブと同材質とする。
- a. 貫通孔呼び径 (φ) ≤ 100 かつ H ≥ 500 の場合、補強を省略できる。
- b. 貫通孔呼び径 (φ) > 100 の場合、以下の通りとする。
- c. MIN(h1, h2) ≥ 50mm とする。
- d. ※は10mm以上かつ隅肉溶接脚長+3mm以上とする。



鉄骨梁補強要領 記号凡例	SRC梁鉄骨 補強スリーブ鋼管
H : 鉄骨梁成	貫通孔呼び径 (φ) スリーブ鋼管 (STK400, φ)
φ : 貫通孔の呼び径	100 φ φ-114.3 x 3.2
φ : スリーブ鋼管外径	150 φ φ-165.2 x 4.5
tw : ウェブ板厚	200 φ φ-216.3 x 4.5
tf : フランジ板厚	250 φ φ-267.4 x 6.0
t : 補強プレート板厚	300 φ φ-318.5 x 6.0
	350 φ φ-355.6 x 6.4
	400 φ φ-406.4 x 6.4
	450 φ φ-457.2 x 7.9
	500 φ φ-508.0 x 7.9

- 1. 貫通孔は円形として、梁に対して垂直に付ける。また、楕円形とする場合は、外接円を径とする。
- 2. 補強要領を本図によらずメーカー品による場合は、大臣認定取得品を用い、計算書を添付の上で設計者の承認を得ること。
- 3. 補強プレートのすみ肉溶接は、補強プレートの板厚に対して、すみ肉サイズを適用する。
- 4. スリーブ鋼管のすみ肉溶接は、スリーブ鋼管の板厚に対して、すみ肉サイズを適用する。
- 5. 鉄骨梁の補強は全強補強となっている。

4. 梁上スラブ段差・嵩上げスラブ要領

木造軸組接合部標準図

金物工法—プレッターSU（B X カネシン）

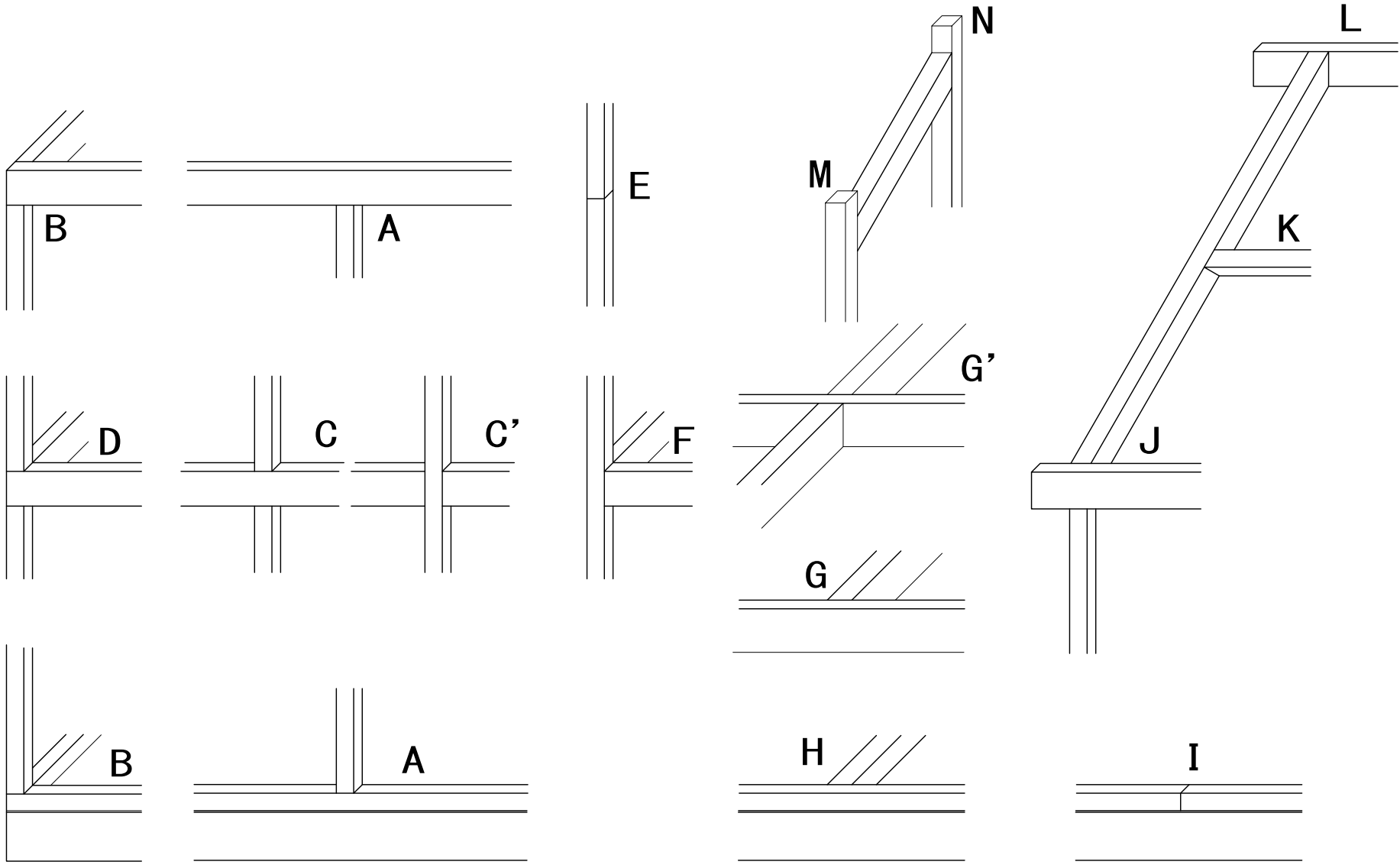
■：採用 □：不採用



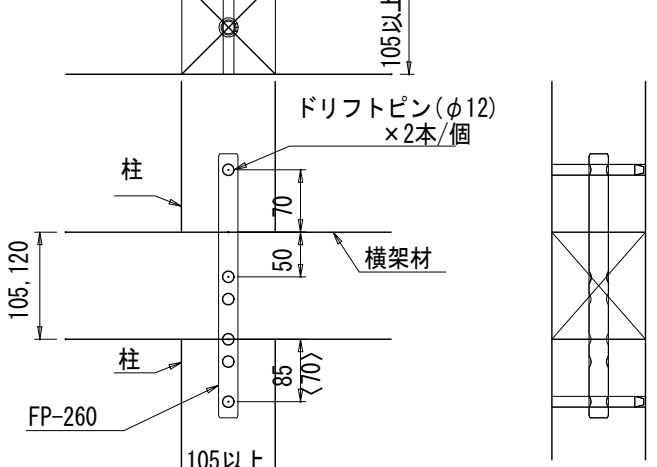
接合金物				土台・柱納まり例				耐力表									
種類・記号		形状	種類・記号	形状	※短期引抜力を負担しない柱脚接合部においては、この仕様に関わらず接合方法を選択することができる。				プレセッターSU梁受金物(柱-梁型) 柱：杉同一等級構成構造用集成材E65-F255 梁：スプルース対称異等級構成構造用集成材E105-F300								
プレセッターSU梁受金物	■ PS-10SU 梁成 105以上180未満		□ PSHD-30CN-II (105用) 土台成105用						短期基準 引張耐力 (kN)	PS-10SU 10.2 (HP)	PS-18SU 14.5 (HP)	PS-24SU 21.8 (HP)	PS-33SU 24.8 (HP)				
	■ PS-18SU 梁成 180以上240未満 ※登梁仕様 勾配0~5/10：180以上 勾配5/10超~10/10：210以上		□ PSHD-30CN-II (120用) 土台成120用						短期基準 剪断耐力 (kN)	8.7 (住木)	19.0 (住木)	31.3 (住木)	35.8 (住木)				
	■ PS-24SU 梁成 240以上330未満								短期基準 逆剪断耐力 (kN)	6.8 (HP)	16.3 (HP)	27.0 (HP)	39.0 (HP)				
	■ PS-33SU 梁成 330以上								プレセッターSU梁受金物(梁-梁型) 梁：スプルース対称異等級構成構造用集成材E105-F300								
和室バリアフリー金物	□ PS-SU10BF 大引金物		柱頭柱脚金物・パイプ系	□ RP-10 □ RP-10(+) ■ PZ-HDP-15 ■ PZ-HDP-20						短期基準 引張耐力 (kN)	PS-10SU 9.2 (HP)	PS-18SU 18.3 (HP)	PS-24SU 25.4 (HP)	PS-33SU 34.6 (HP)			
土台継手金物	□ PS-DJSU 土台継手用		接合員・ナット	□ FP-140 □ FP-260						短期基準 引張耐力 (kN)	中柱 隅角柱 隅柱 柱-柱	11.2 (建試) 11.1 (建試) 13.7 (HP)	11.9 (HP) 10.3 (HP)	21.1 (HP) 16.2 (HP)	24.3 (HP) 16.9 (HP)	12.0 (HP) 11.9 (HP)	11.1 (HP)
	□ PS-OPSU (105用) 土台成105用 □ PS-OPSU (120用) 土台成120用			□ カットスクリュー・Ⅲ G-SW-Ⅲ □ 丸座金 □ バネ付丸座金 □ 角座金 □ バネ付ナット □ 六角ナット □ その他													
柱脚金物	□ PSBP-45 (105用) 土台成105用 □ PSBP-45 (120用) 土台成120用		接合員・ボルト・ドリフトピン	■ ドリフトピン □ MB (中ボルト) □ PZ-MB (プロイズ中ボルト) □ PSZ (PS座付きボルト) □ PZ-PSZ (プロイズPS座付きボルト)						短期基準 引張耐力 (kN)	中柱 隅柱	30.1 (HP) 6.4 (HP)	45.9 (HP) 9.3 (HP)	31.1 (隅) (HP) *1	30.2 (中) (HP) *1		
	□ PSHD-30ST-II (105用) 土台成105用 □ PSHD-30ST-II (120用) 土台成120用																
									■ *1は、柱：杉無垢、土台：桧無垢にて試験をおこなっていますので、杉材での耐力数値運用はできません。 ■試験時使用樹種以上を使用可能推奨樹種としております。 ハイブリッドビームのようなラミナ構成の特殊なものは特にご注意ください。 ■上記試験耐力値は材幅105以上を基本としております。 ■住木：(公財)日本住宅・木造技術センター HP：ハウスプラス確認検査(株) 建試：(一財)建材試験センター 社：榑カネシン社内試験								
									試験データダウンロードURL http://www.kaneshin.co.jp/user/certification.php *ユーザー登録が必要となります。								

木造軸組接合部標準図 金物工法 プレセッターSU (B×カネシン)

キープラン

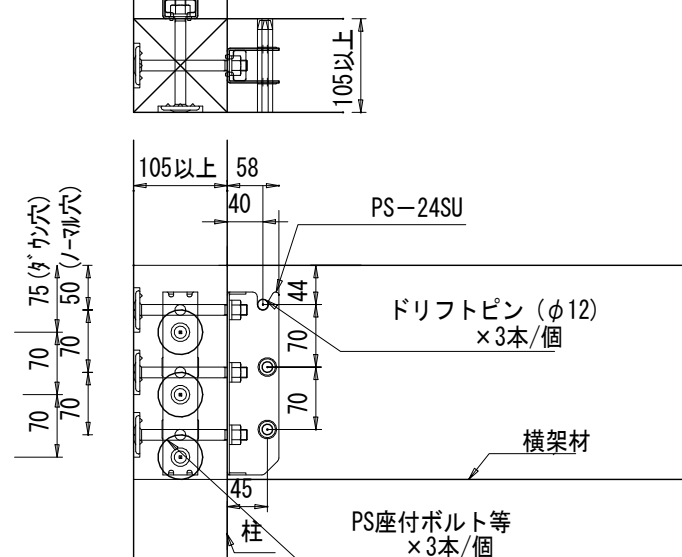


C：中柱 柱頭－梁－柱脚 (FP-260)

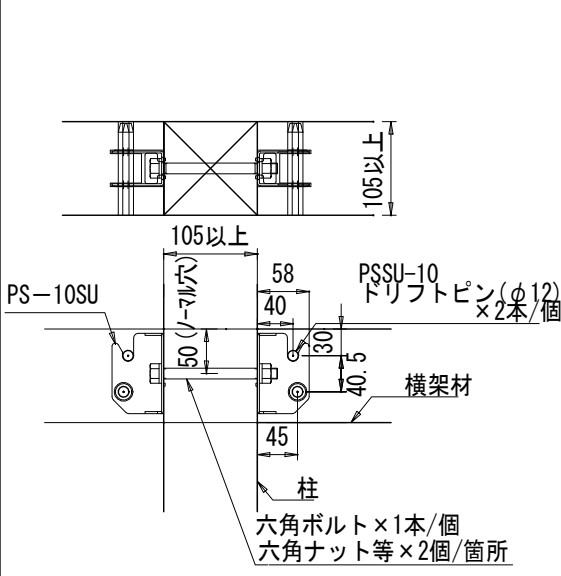


※〈 〉内は横架材成120時の寸法

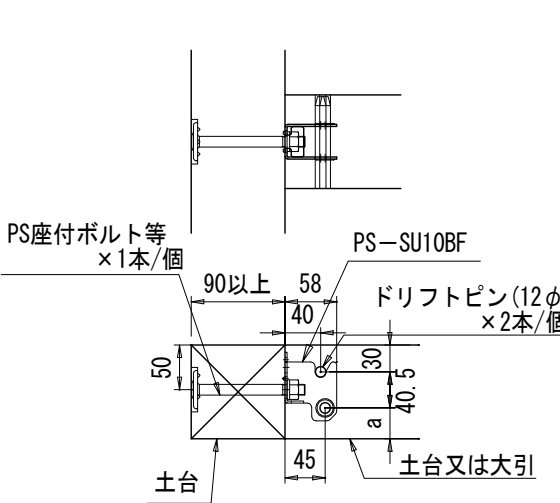
F：通柱－梁 (PS-24SU)



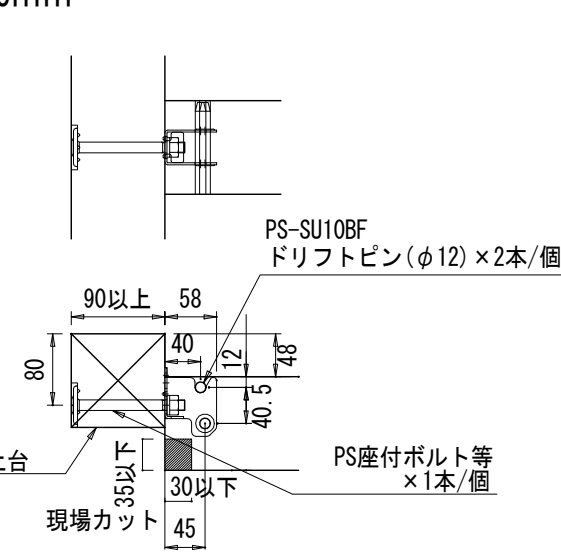
C'：柱-梁両面使い(PS-10SU)



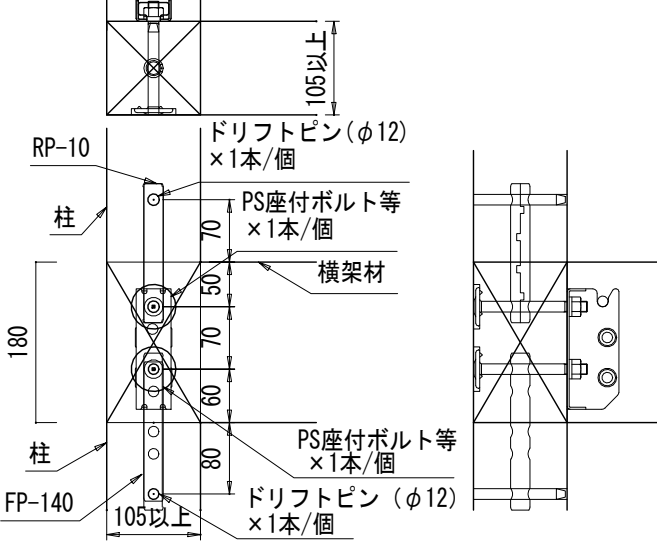
H：土台－大引き (PS-SU10BF)



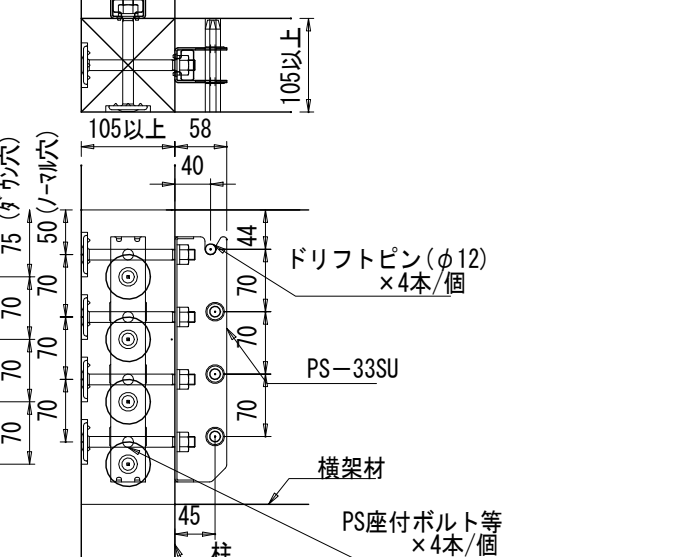
H：土台－大引き (PS-SU10BF)
大引き天端-土台天端-48mm



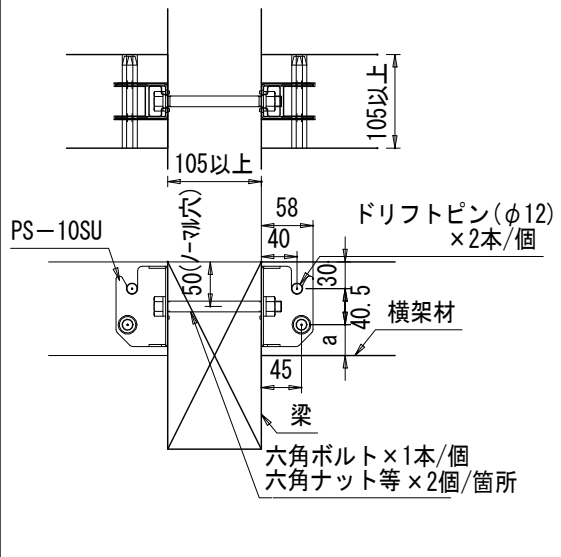
D：隅角部 柱頭－梁－柱脚 (FP-140・RP-10)



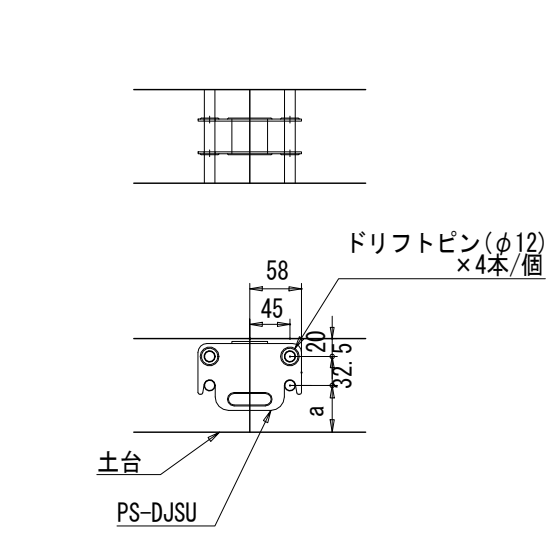
F：通柱－梁 (PS-33SU)



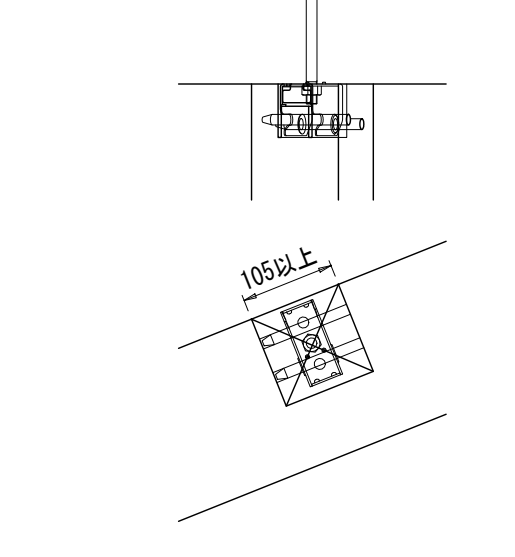
D'：梁々両面使い (PS-10SU)



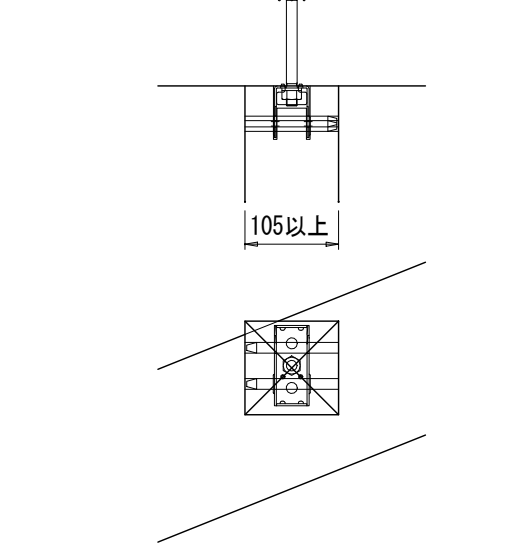
I：土台－継手仕口



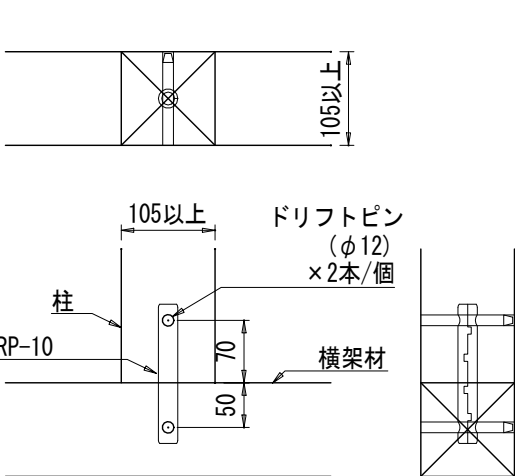
K：登り梁－母屋 (PS-SU10) 勾配



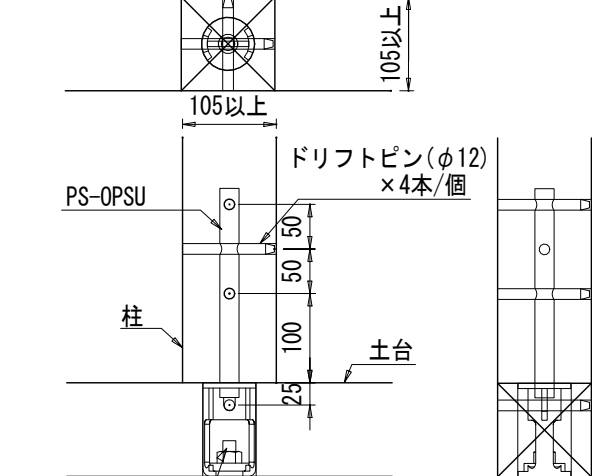
K：登り梁－母屋 (PS-SU10) 水平



A：中柱 (RP-10)

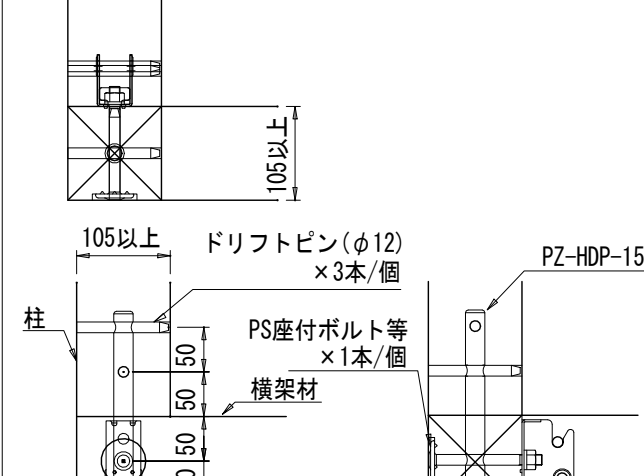


A：中柱 (PS-OPSU)

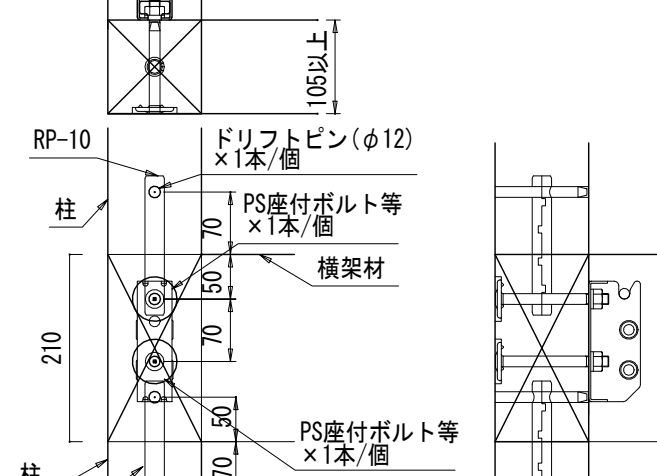


アンカーボルトM16

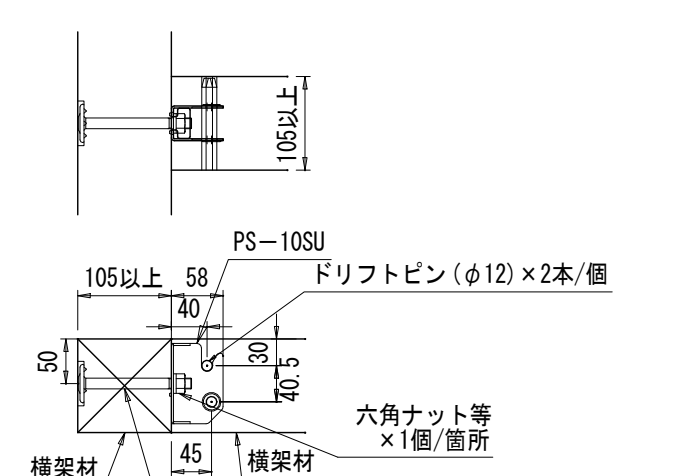
B：PZ-HDP-15 隅角部



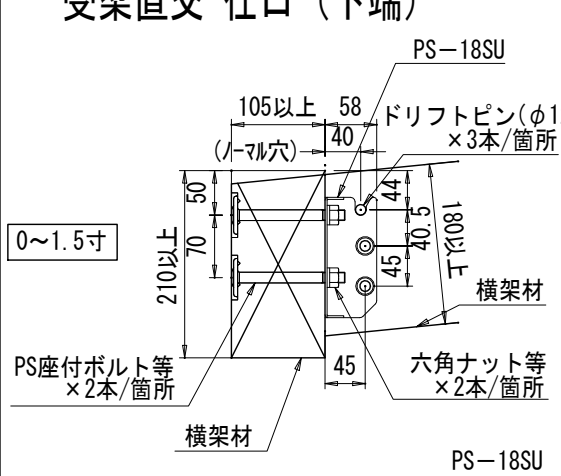
D：隅角部 柱頭－梁－柱脚 (RP-10・RP-10)



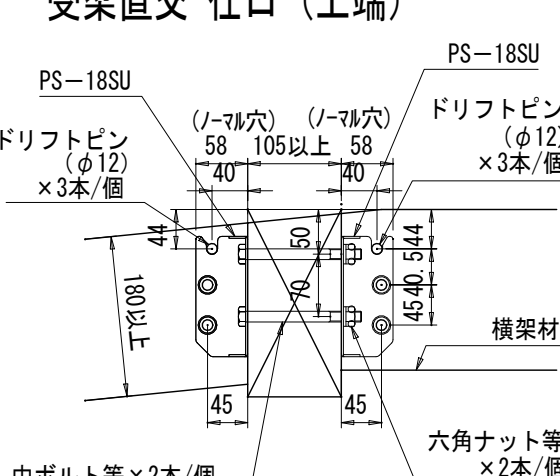
G：梁－梁 (SU-10)



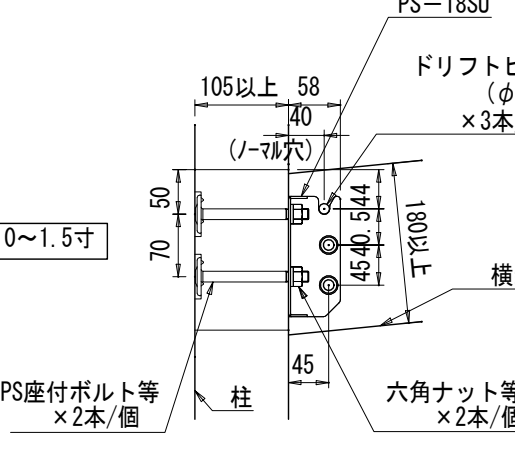
J：登り梁－梁
受梁直交 仕口 (下端)



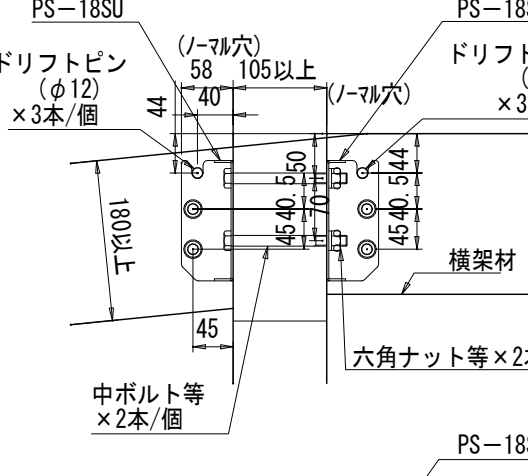
L：登り梁－梁
受梁直交 仕口 (上端)



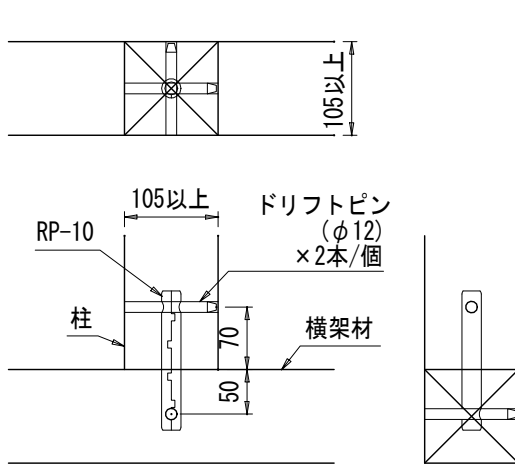
M：登り梁－柱 直交 仕口 (下端)



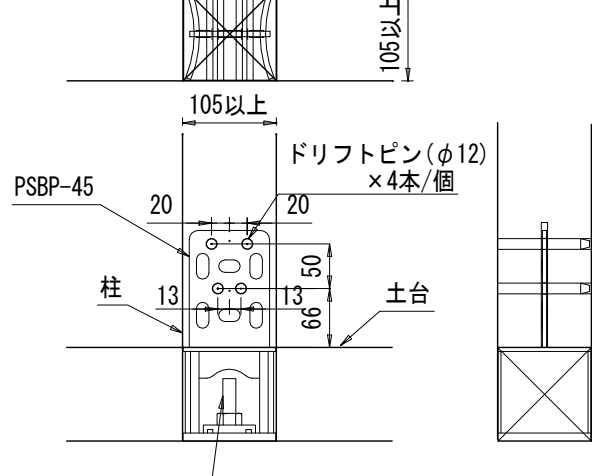
N：登り梁－柱 直交 仕口 (上端)



A：中柱 (RP-10(+))

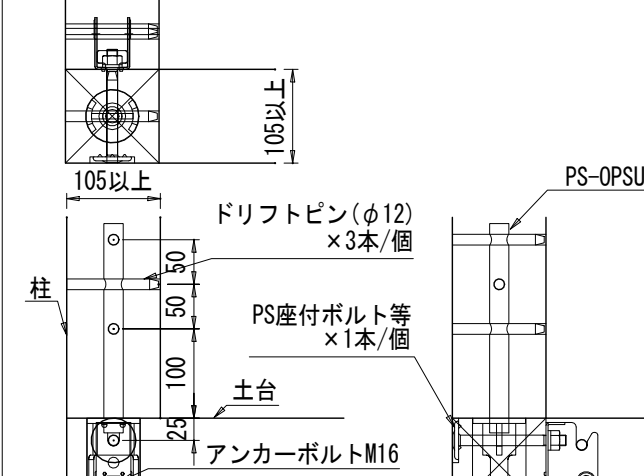


A：中柱 (PSBP-45)

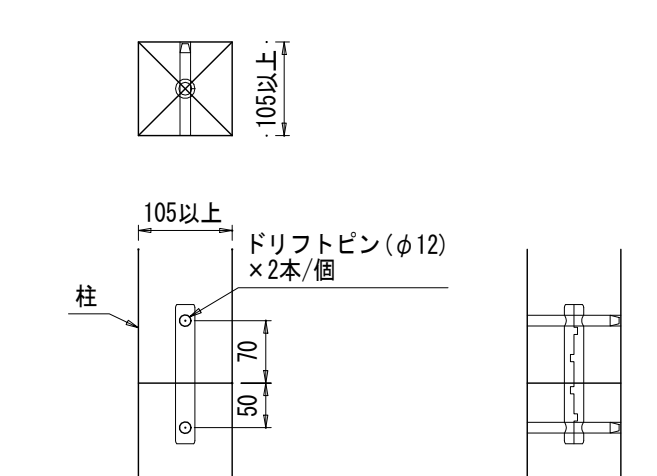


アンカーボルトM16

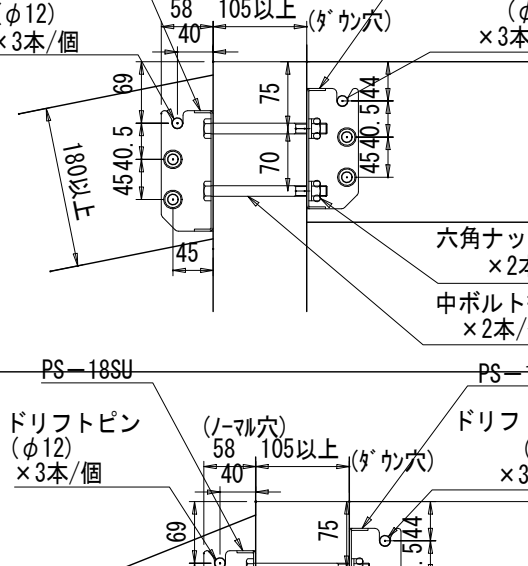
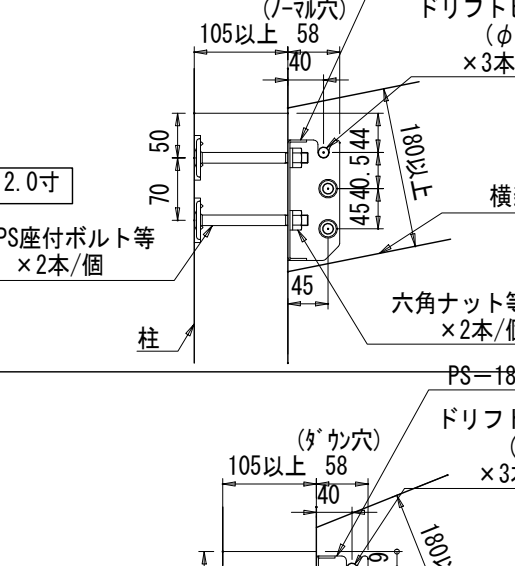
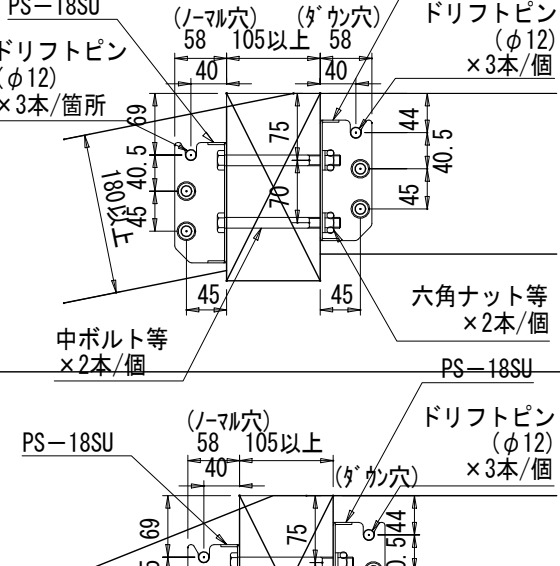
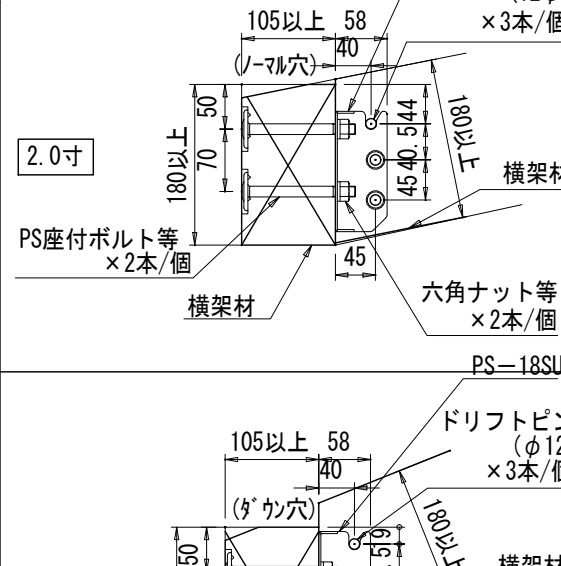
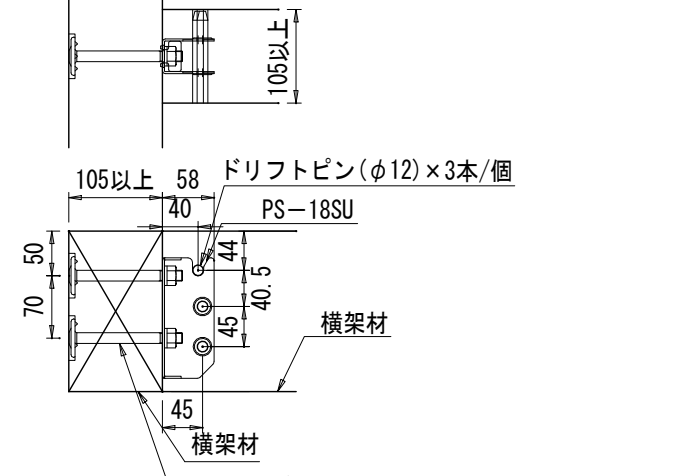
B：PS-OPSU 隅角部



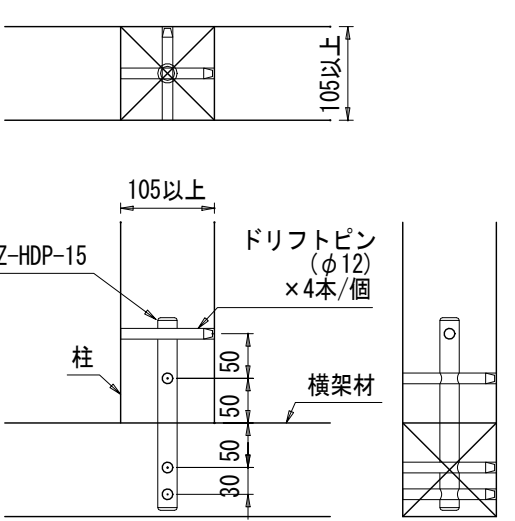
E：柱-柱接続 (RP-10)



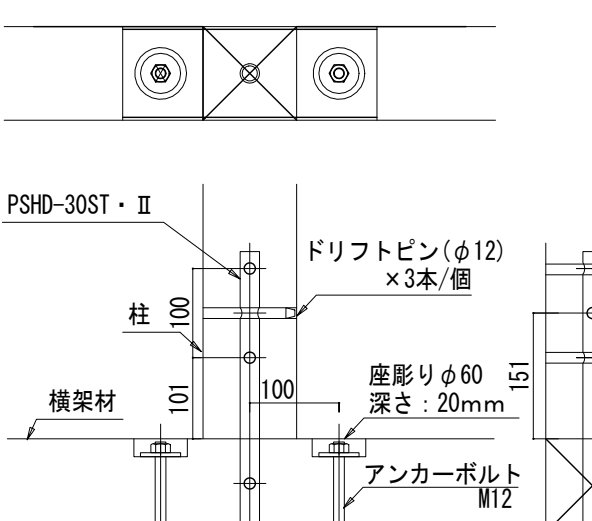
G：梁－梁 (SU-18)



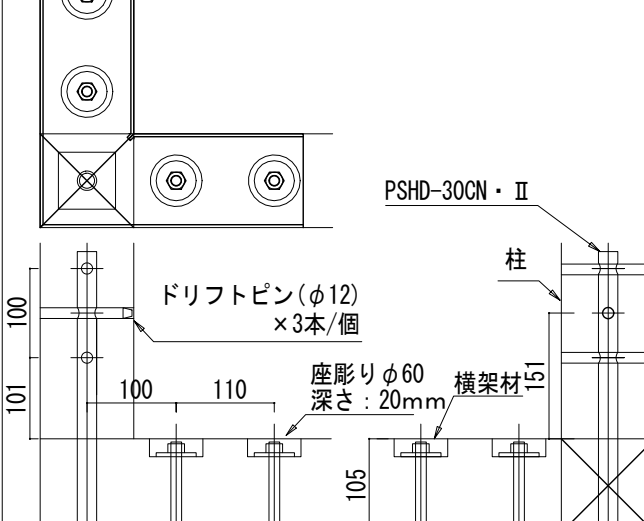
A：中柱 (PZ-HDP-15)



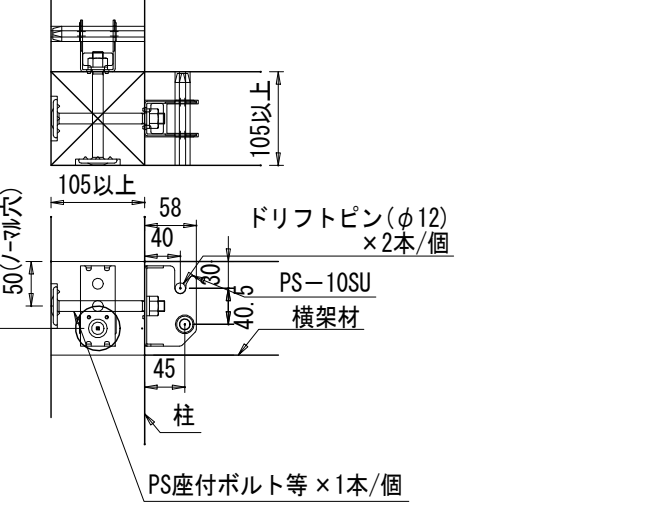
A：中柱 (PSHD-30ST・II)



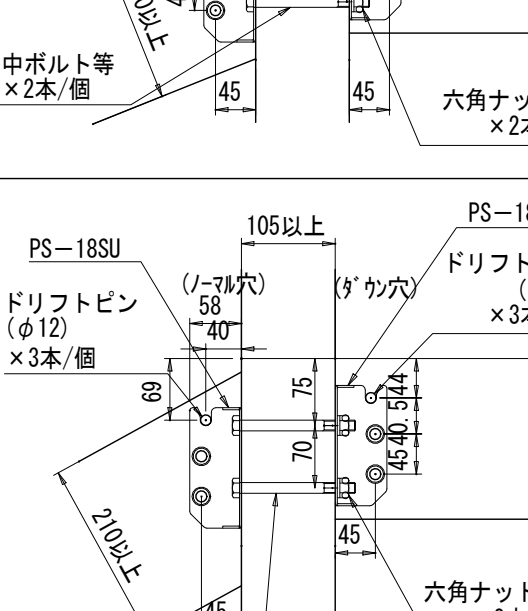
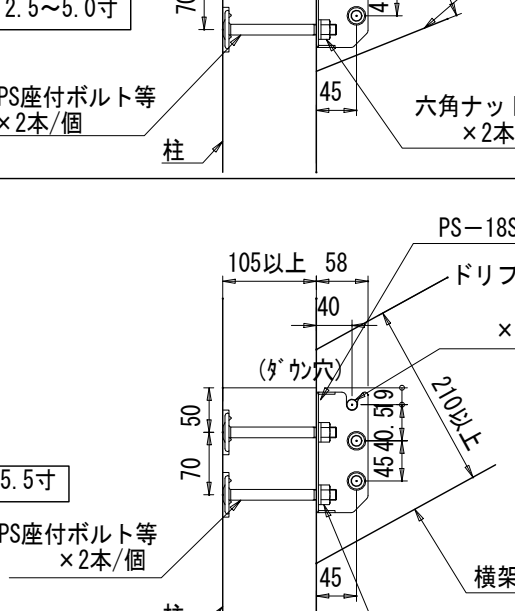
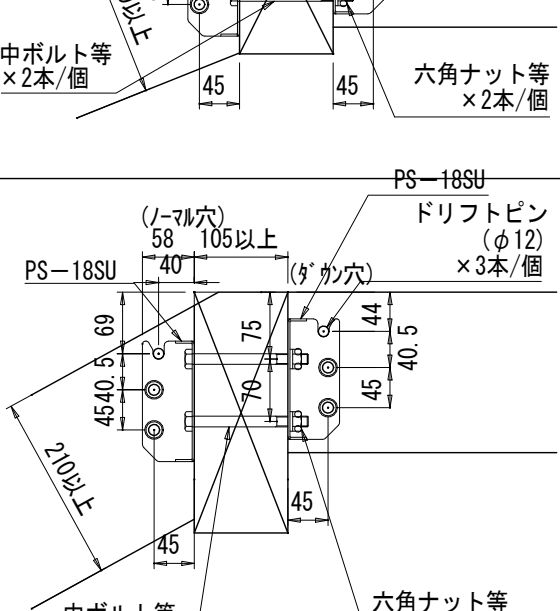
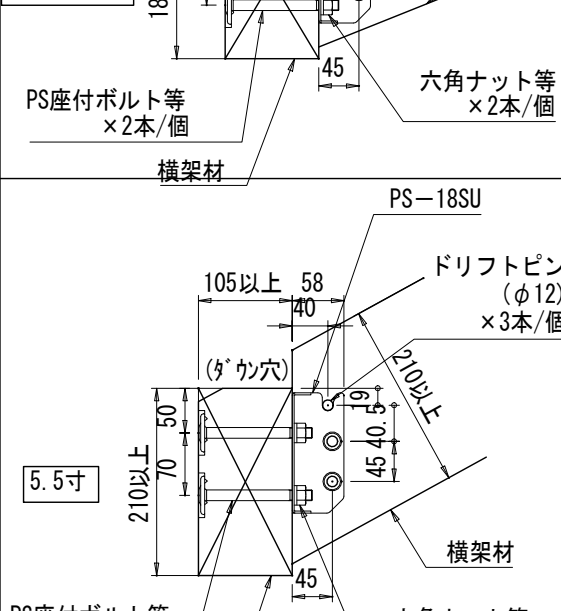
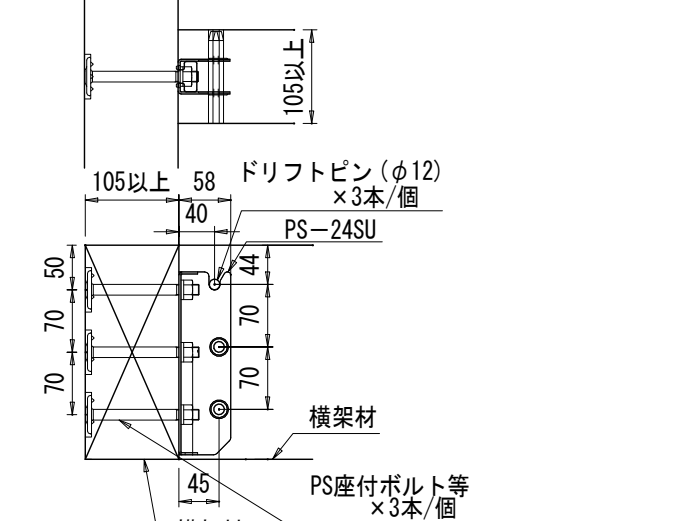
B：隅角 (PSHD-30CN・II)



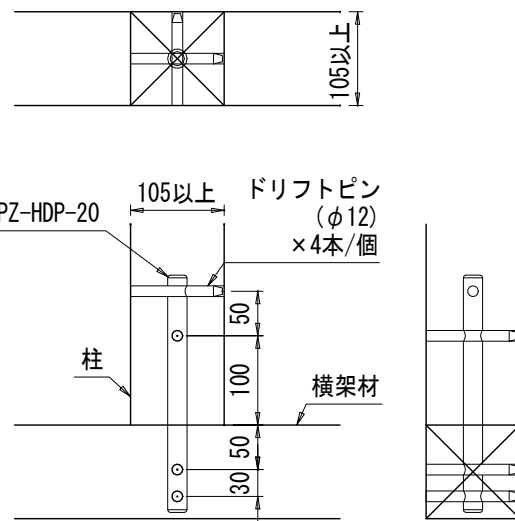
F：通柱－梁 (PS-10SU)



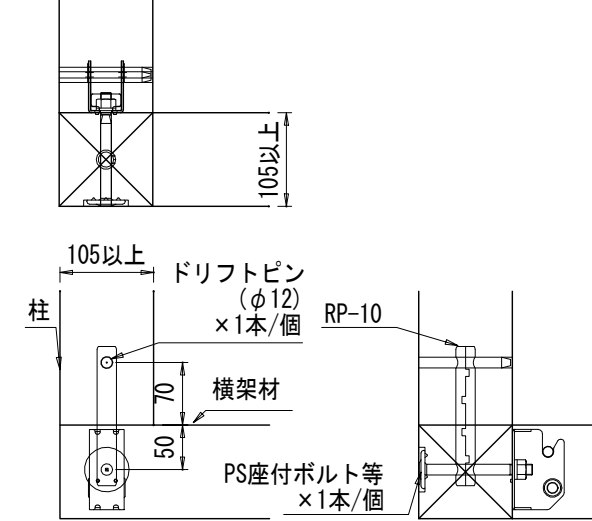
G：梁－梁 (SU-24)



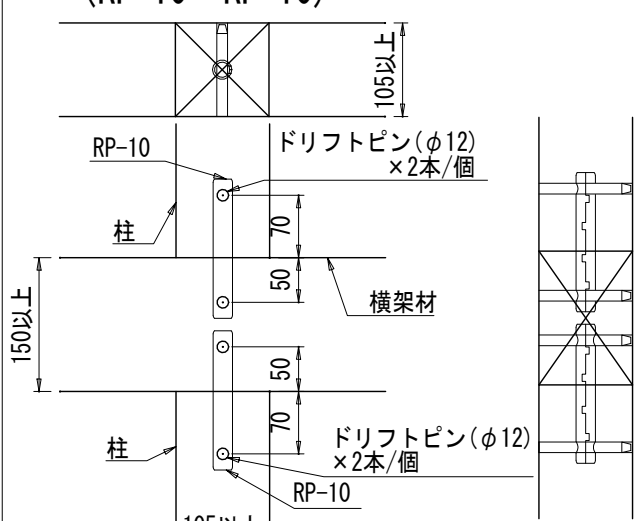
A：中柱 (PZ-HDP-20)



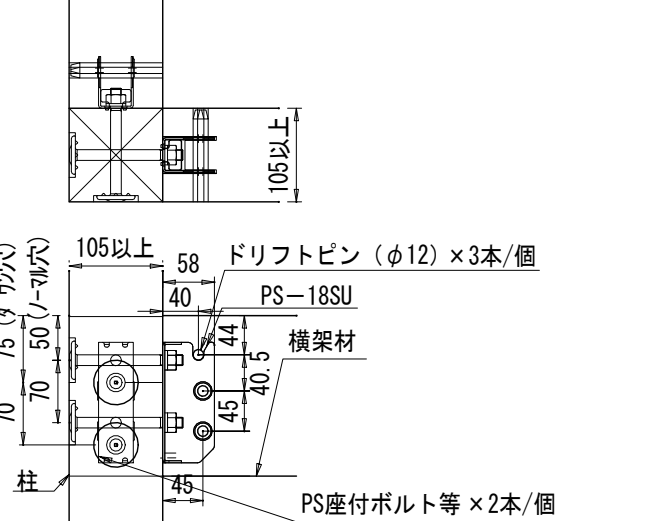
B：隅角部 (RP-10)



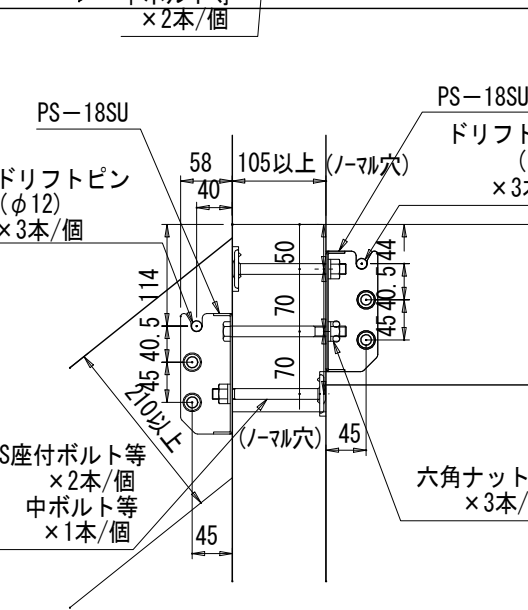
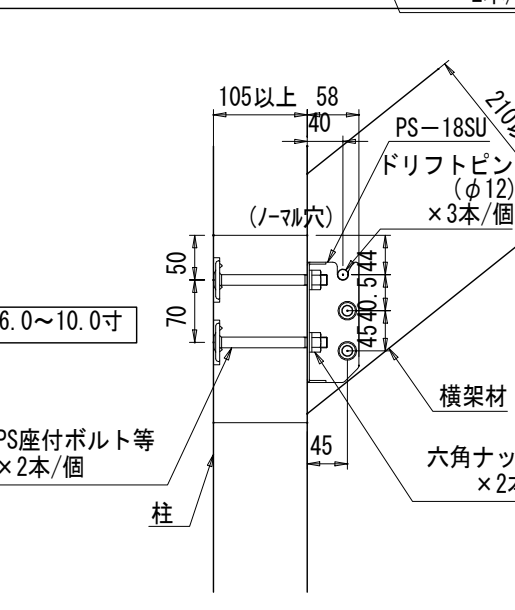
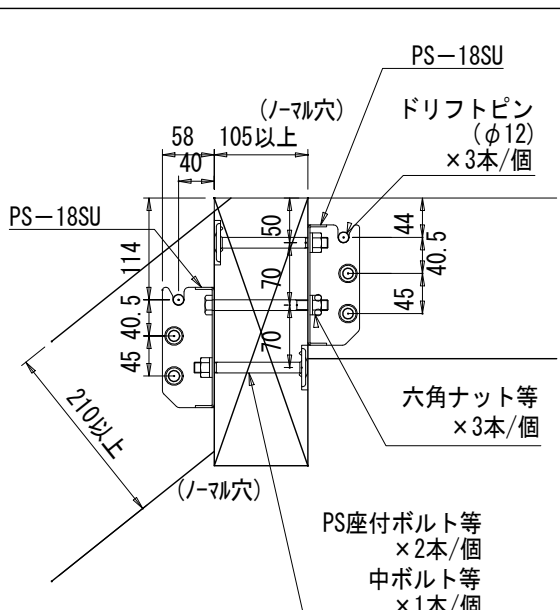
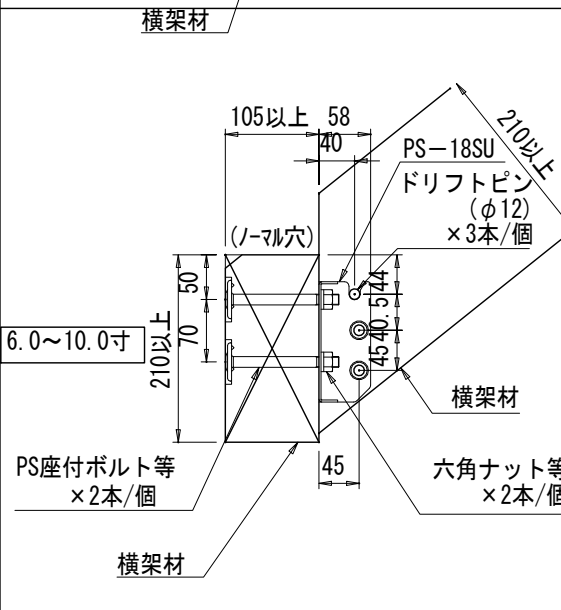
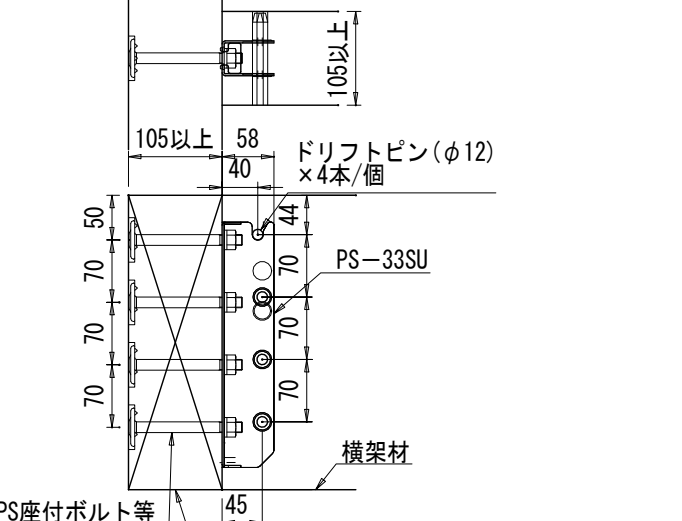
C：中柱 柱頭-横架材-柱脚 (RP-10・RP-10)



F：通柱－梁 (PS-18SU)



G：梁－梁 (SU-33)



木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図

1. 一般事項

- (1) 適用範囲

※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。

木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書

設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 準拠する図書

設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）

「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）

「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）

「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）

「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版）」（日本住宅・木材技術センター）

「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

 - 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
 - 設計図
 - 特記仕様書
 - 本標準図
- (5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける
- (9) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。
- (10) 接合法

本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。

 - 継手仕口による在来工法
 - 梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。

また、本標準図は在来接合法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。

本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。
- (11) 加工部材に関する留意事項

本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

 - ・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と寸方～450mm、及び材長6m以下
 - ・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

2. 材料

- (1) 木材及び木質材料

主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。
- (2) 接合具

a) くぎ

主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。

b) 木質構造用ビス

主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。

使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。
- c) ボルト・ナット・座金

 - 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
 - ・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼
 - ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット
 - 【 Zマーク表示金物 】
 - 【 Dマーク表示金物 】
 - 【 Sマーク表示金物 】
 - ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット
 - 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。
 - ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。

※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。
- d) ドリフトピン・ラグスクリュー

主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。
- e) 木栓・木ダボ

主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。

樹種・径等については、特記仕様書で指定する。

節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。
- (3) 接合金物

a) 規格金物

構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。

 - ・JIS A 5531 ; 木構造用金物
 - ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物 ;
 - Zマーク表示金物 、又は Cマーク表示金物
 - ・同等認定金物 ; Dマーク表示金物
 - ・性能認定金物 ; Sマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。

使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。
- b) 製作金物

製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。
- (4) 接着剤

原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。

建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。
- (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理

防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。

土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。

適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

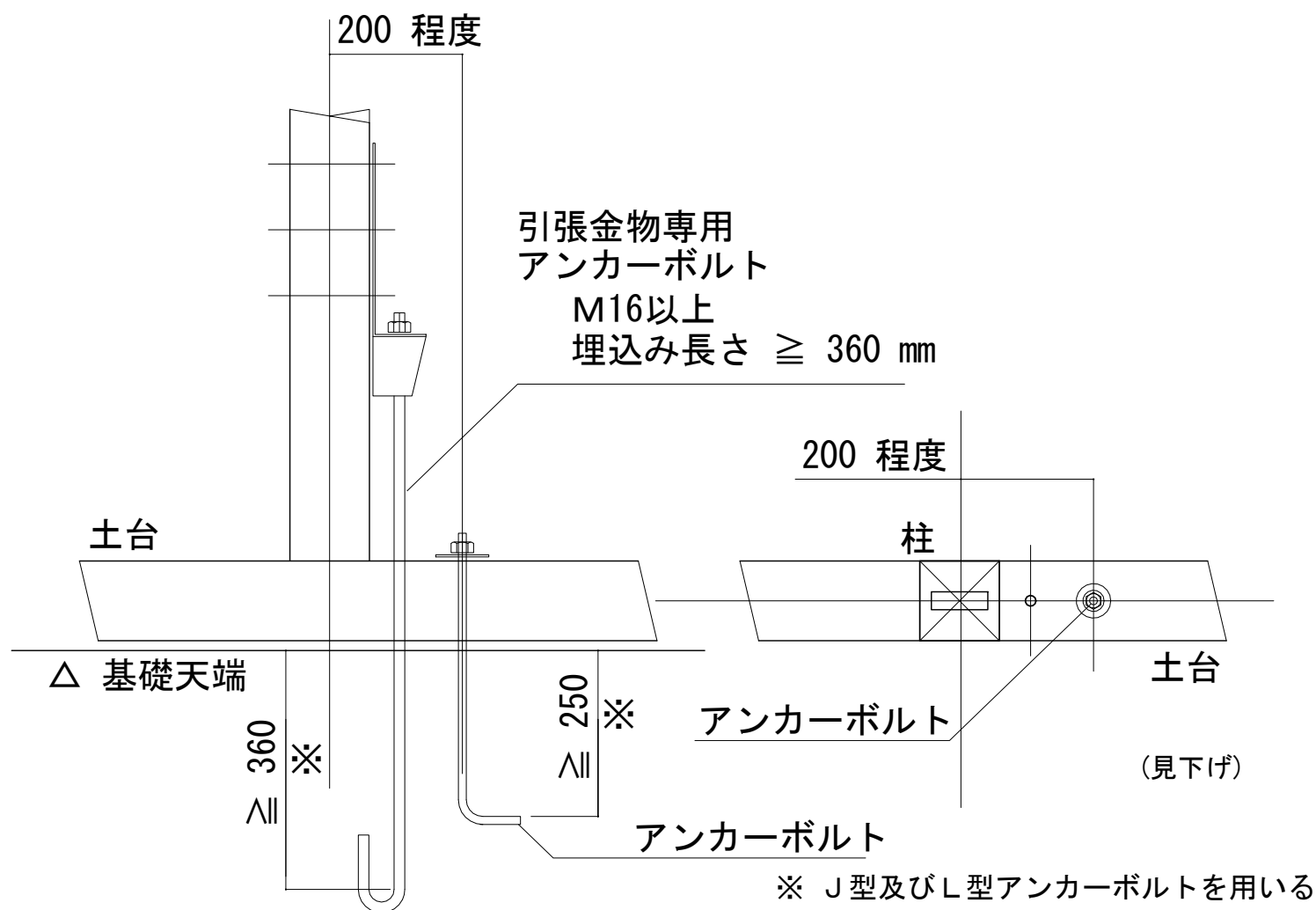
3. アンカーボルト

- ※共通事項
- ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。
- (1) 土台固定用アンカーボルト

a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。

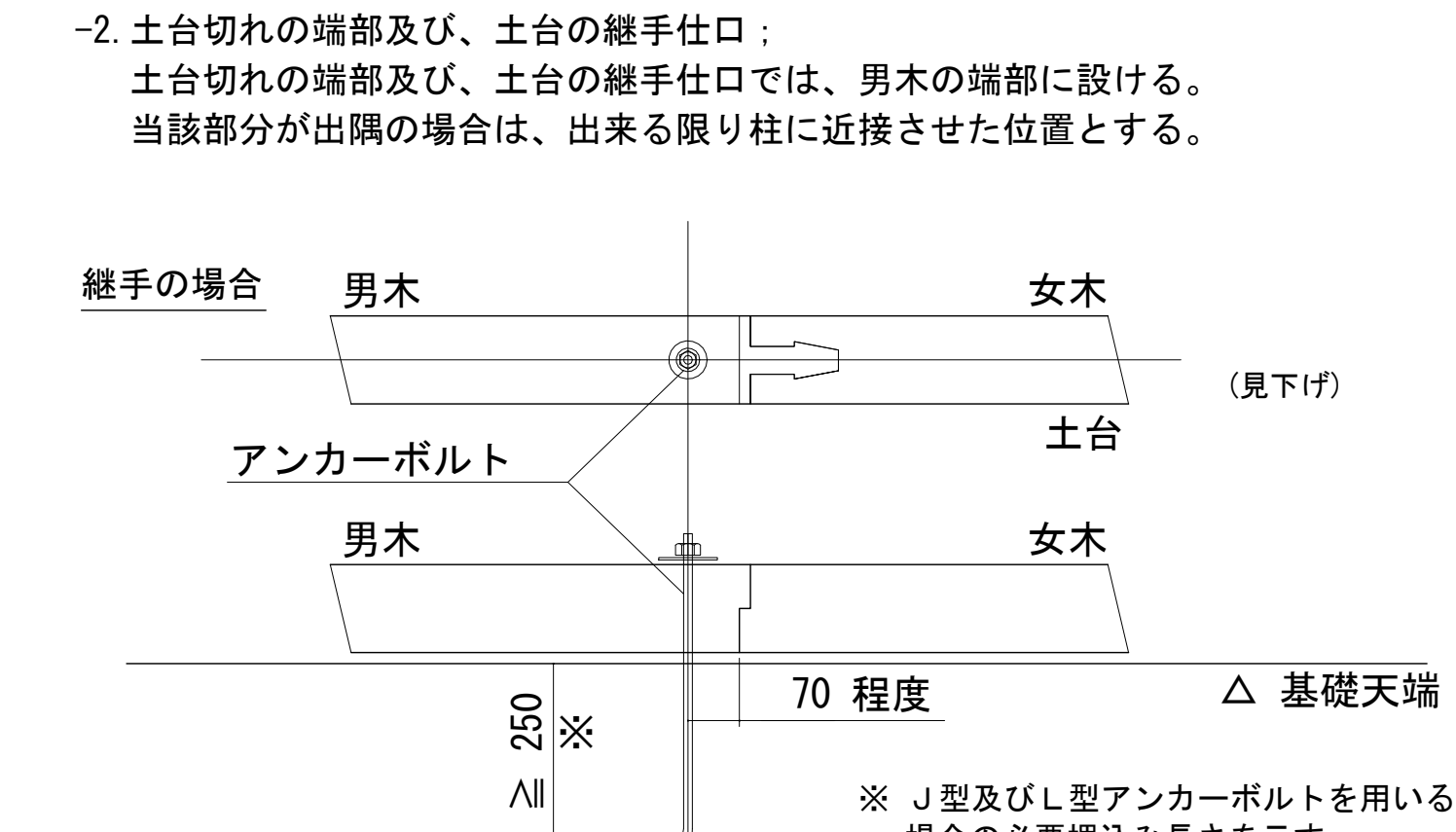
-1. 耐力壁（筋交い, 合板仕様共通）の下部；

耐力壁（筋交い, 合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。

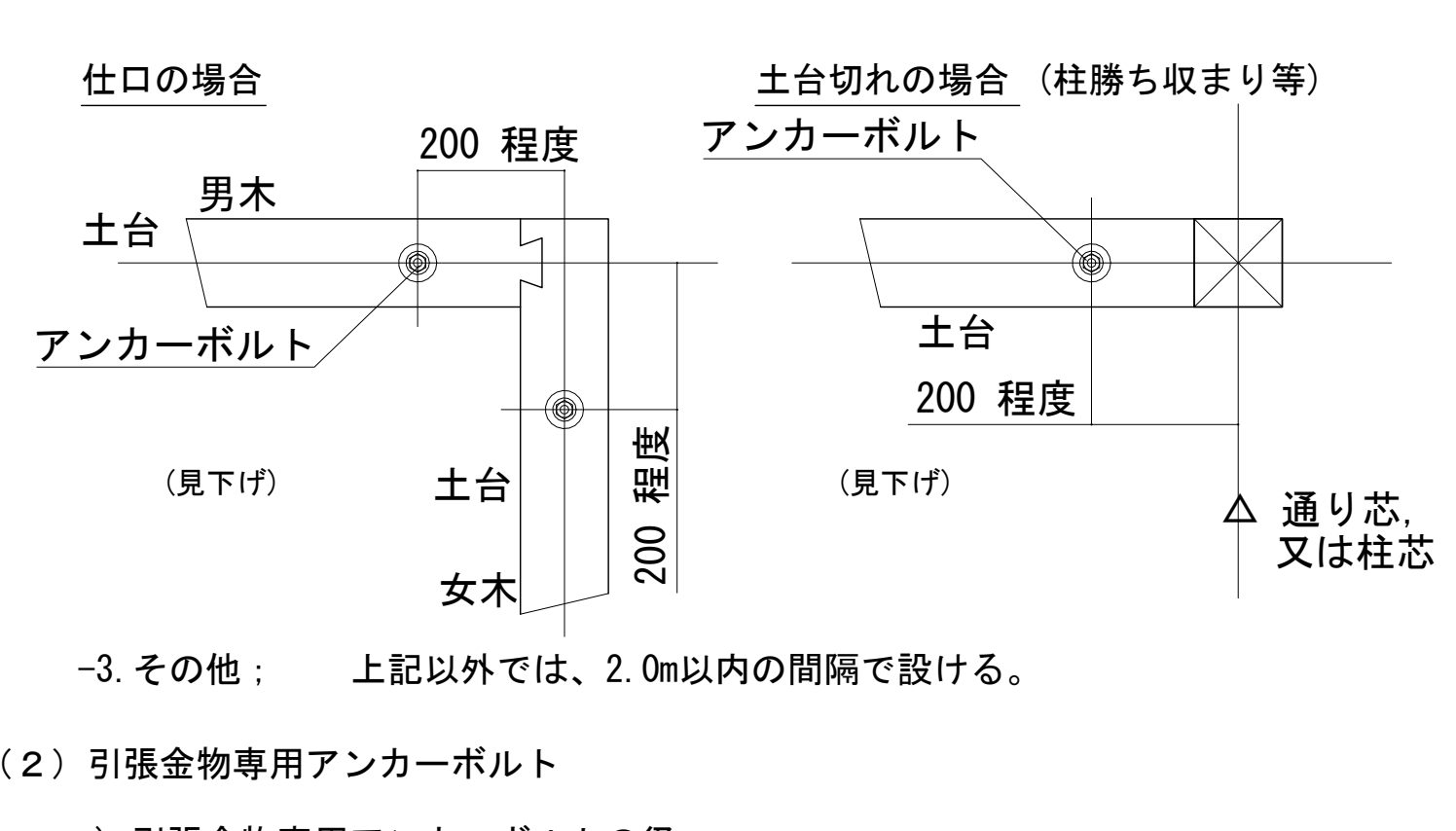


-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口；

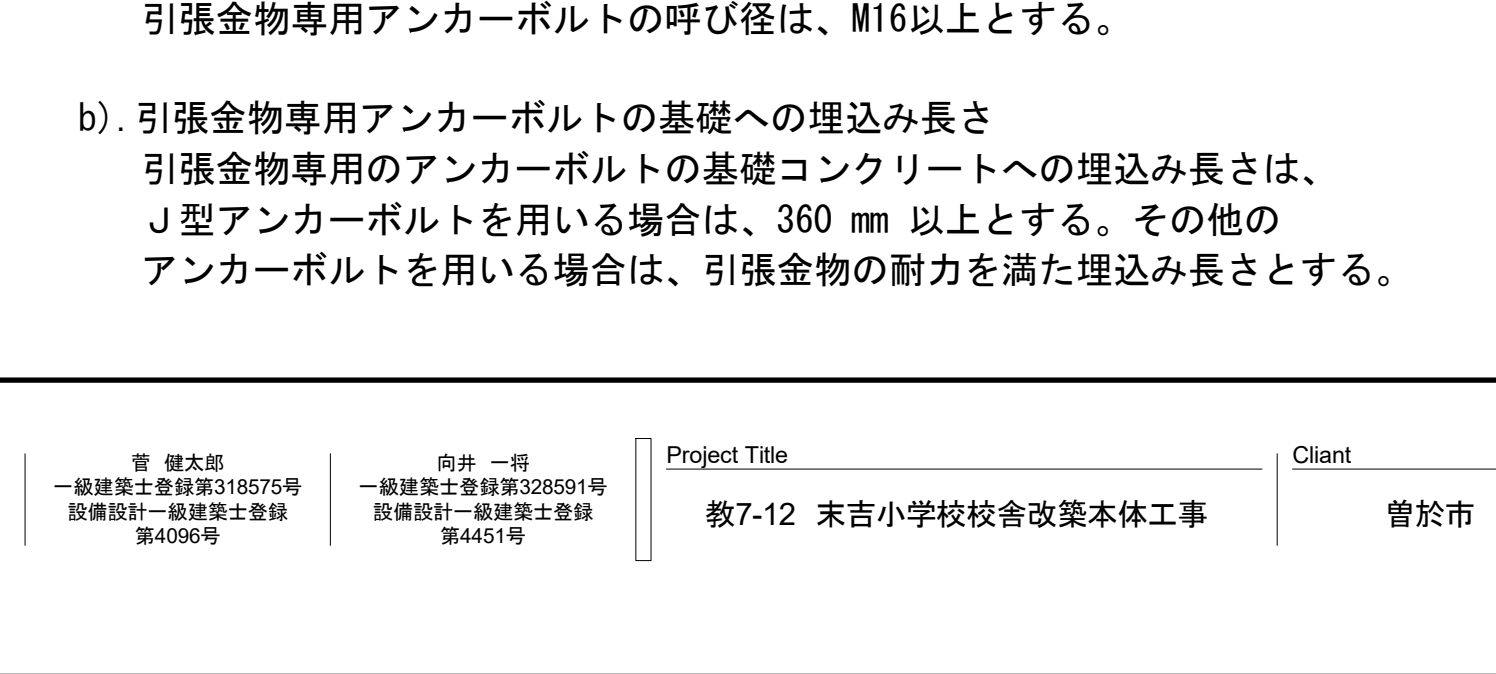
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。



継手の場合



仕口の場合



土台切れの場合（柱勝ち取り等）

-3. その他；

上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。
- (2) 引張金物専用アンカーボルト

a). 引張金物専用アンカーボルトの径

引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。

b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ

引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。

4. 接合一般

- (1) 釘接合

 - ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
 - ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
 - ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
 - ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
 - ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- (2) 木質構造用ビス接合

 - ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
 - ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 ;
 - 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %
 - 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。
- (3) ボルト接合

 - ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
 - ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。
 - ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。
 - ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。
- (4) ラグスクリュー接合

 - ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
 - ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。
 - ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 ;
 - 比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %
 - 上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。
 - ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
 - ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
 - ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。
 - ・呼び径 M12以下；+1.0mm
 - ・呼び径 M16以上；+1.5mm
- (5) ドリフトピン接合

 - ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
 - ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
 - ・施工に際しては、孔に対しテーバーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。
- (6) 木栓接合

 - ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
 - ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
 - ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。
 - ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。
- (7) グルードインロッド接合

 - ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。
 - ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
 - ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

木造軸組接合部標準図

7. 水平構面

(注) (単位)mm

7.1共通事項

- ・各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- ・木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- ・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

(1)木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

- (a)日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m
- (b)川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m

※ 合板は、横架材に対し
直交方向に長辺を配置

※実付き

1)各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - ② 甲乙梁: 幅 45mm 以上 $\times$ せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- 2)各部仕口形状及び性能
- Ⓐ 各仕口部分:
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - Ⓑ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - Ⓒ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - Ⓓ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3)各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@150mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
 - ⑧ 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- ※ 構造用合板は、実付きとする。

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
撓み等に注意する事

告示耐力壁-床納まり 大壁合板耐力壁-床構面 (壁勝)

真壁合板耐力壁-床構面 (壁勝)

筋違耐力壁-床構面 (筋違勝)

認定仕様(例示)日合連(JPMA)仕様耐力壁-床勝納まり 大壁合板耐力壁-床勝 認定番号: FRM-0296

真壁合板耐力壁-床勝 認定番号: FRM-0298

筋違金物による床勝ち納まり 筋違耐力壁-床構面 (床勝:大臣認定仕様)

会社名 ()
認定番号 ()

(2)木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

- (a)登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)

- (b)垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)

ひねり金物

転び止め

注意事項: ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけ
でなく垂木・母屋の接点全てに使用する

注意事項: 転び止めを使用する際、軒先・棟だけ
でなく垂木・母屋の接点全てに使用する
N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)
斜め打ち
@:(垂木ピッチ)

1)各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
- ② 登梁: 幅 105mm 以上 $\times$ せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ③ 甲乙梁: 幅 45mm 以上 $\times$ せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ④ 小屋耐力壁: 15mm 以上 $\times$ 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)

2)各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- Ⓑ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- Ⓒ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線以上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

1)各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=9\text{mm} \sim 15\text{mm}$ (横置)
- ② 垂木: 幅 45mm 以上 $\times$ せい $45\text{mm} \sim 90\text{mm}$ @500mm以下
- ③ 小屋耐力壁: 15mm 以上 $\times$ 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め: $45\text{mm} \times 60\text{mm}$ 程度

2)各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 母屋ピッチ: 1000mm 以下
- Ⓑ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線以上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

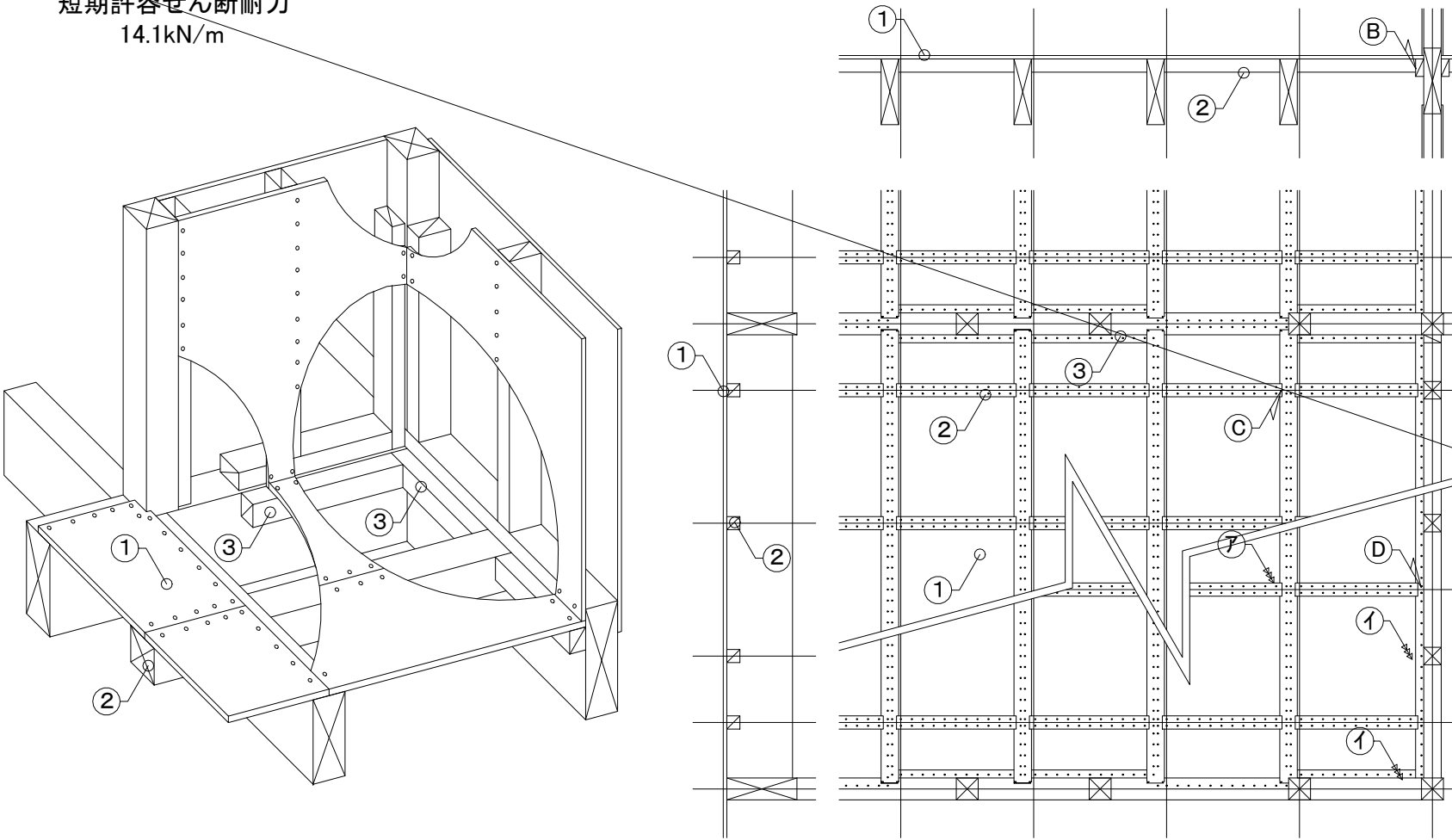
3)各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

- a: 面材上下端まで 10mm
b: 面材左右端まで 10mm
c: 軸材端まで(最小値) 12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1)2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



1)各部材料

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
 - ② 甲乙梁: $90\text{mm} \times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm} \times$ 成 120mm 製材を平使い
 - ③ 大梁側面に取り付ける床受材: 幅 $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
- 2)各部仕口形状及び性能
- Ⓐ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - Ⓑ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - Ⓒ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
 - Ⓓ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm} \times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3)各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@75mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
 - ⑧ 大梁側面へ取り付けの床受材は木質構造用ビス $\phi 6, L130 \sim 150$ を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2)屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
13.5kN/m(合板釘ピッチ75mm)
19.1kN/m(合板釘ピッチ50mm)

側面図

立面図

1)各部材料

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
- ② 母屋: 幅 $120\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm} \times$ 成 150mm の製材
- ③ 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm} \times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
- ④ 軒先転び止めの外面に直張りする構造用合板 $t=12\text{mm}$

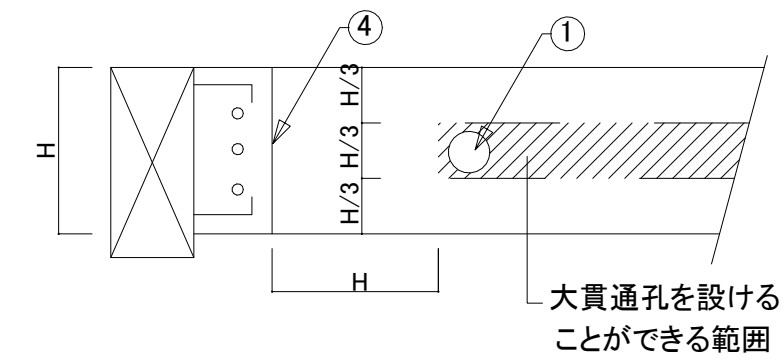
2)各部仕口形状及び性能

- Ⓐ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
 - Ⓑ 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
 - Ⓒ 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- 3)各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 13.5kN/m仕様: 構造用合板はN75@75mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
19.1kN/m仕様: 構造用合板はN75@50mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - ⑧ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5, L150$ (頭部径 $\phi 12.5$ 以上)ねじ部長さ 50 以上)1本を斜め打ちとする
 - ⑨ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、N50くぎを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

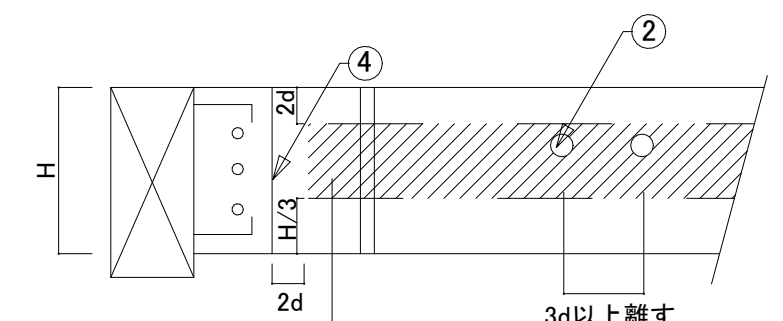
8. 貫通孔

8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

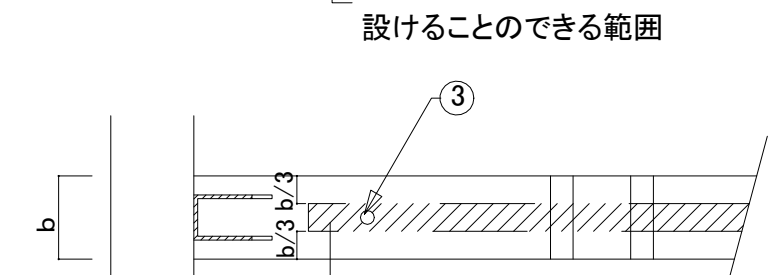
- ① 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



大貫通孔を設ける
ことのできる範囲



3d以上離す
梁の側面に小貫通孔を
設けることのできる範囲



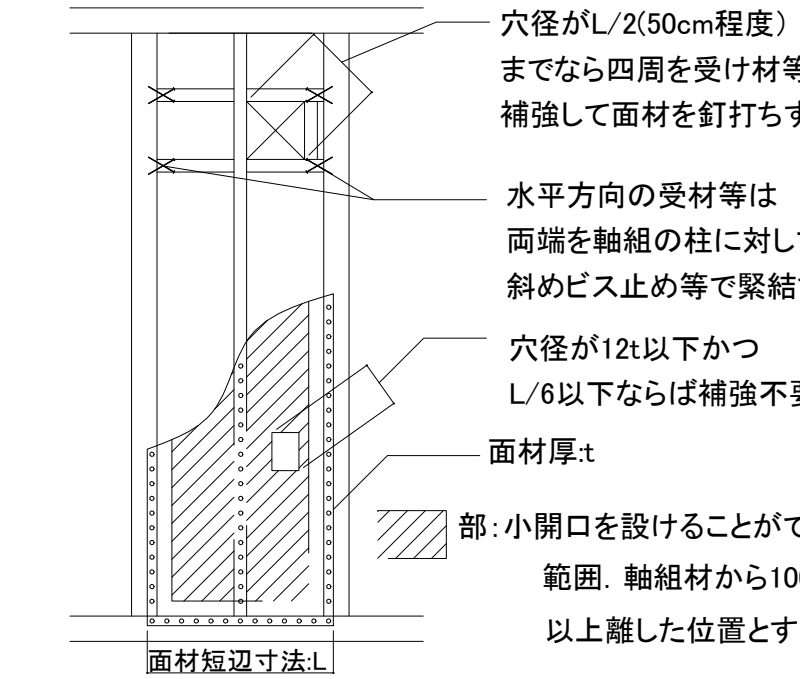
梁の上下面に小貫通孔を
設けることのできる範囲
(大貫通孔は不可)

8.2 耐力壁貫通孔

(1)小開口付耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)

※壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



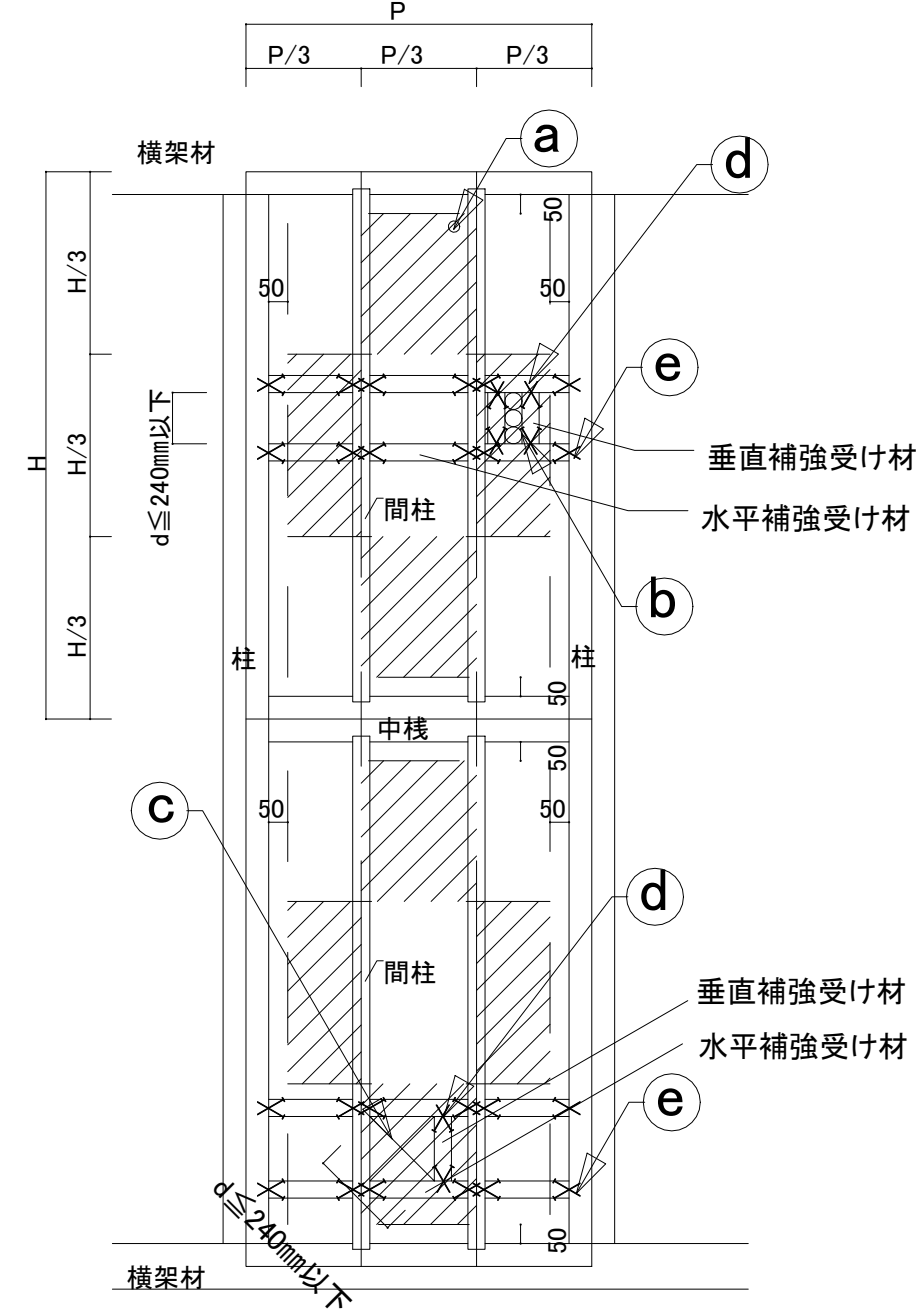
面材短辺寸法L

a)貫通孔基準

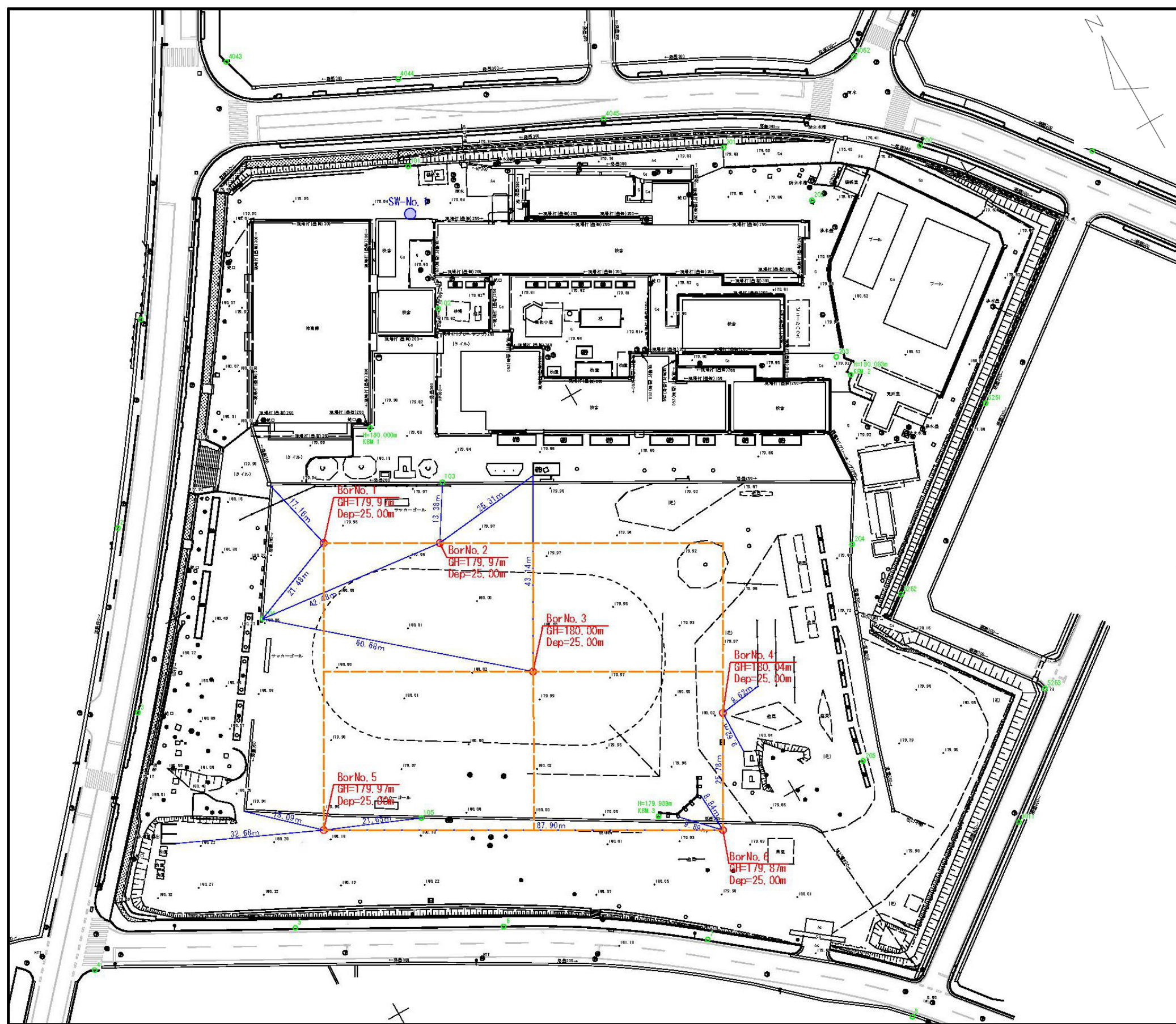
- a) 小貫通孔($d \leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
- b) 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- c) 大貫通孔($d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- d) 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち
補強受材は間柱と寸法以上の断面
- e) 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め

(2)高耐力仕様合板貼耐力壁(JISA3301標準仕様)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール(JISA3301仕様)

部: 小開口を設けることが
できる範囲



調査位置平面図

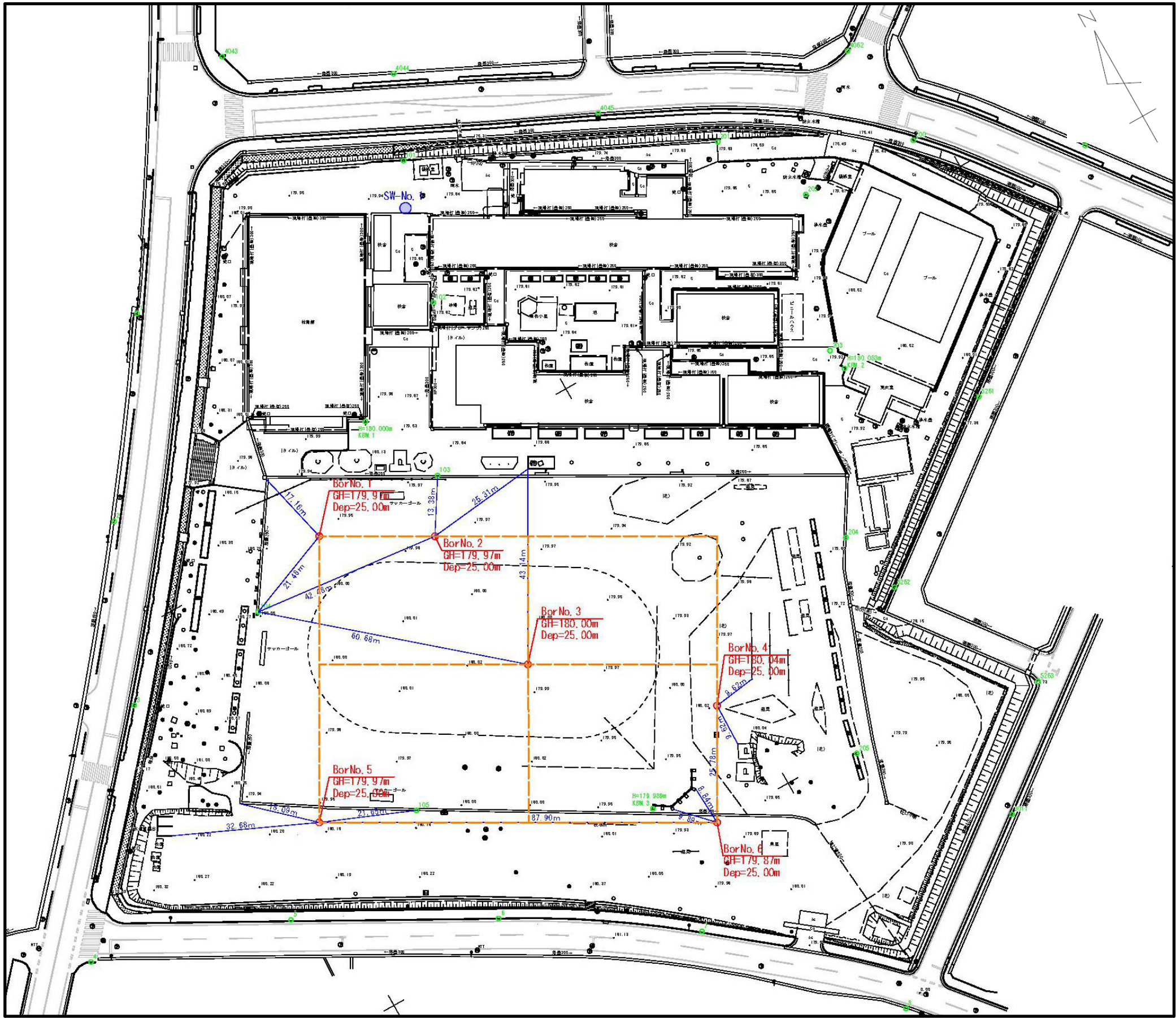


▽ 設計GL(=T.P.+182.75)

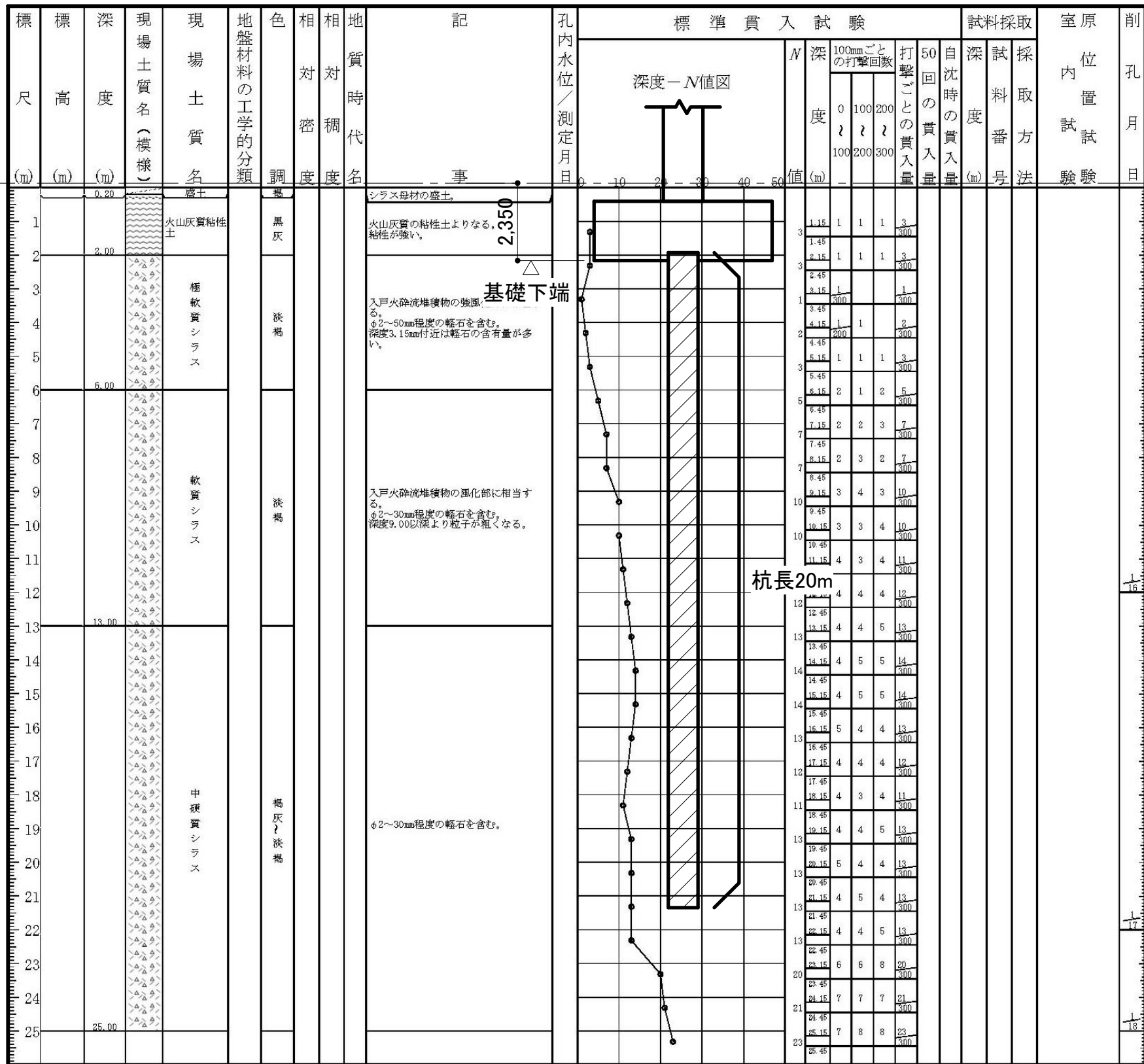
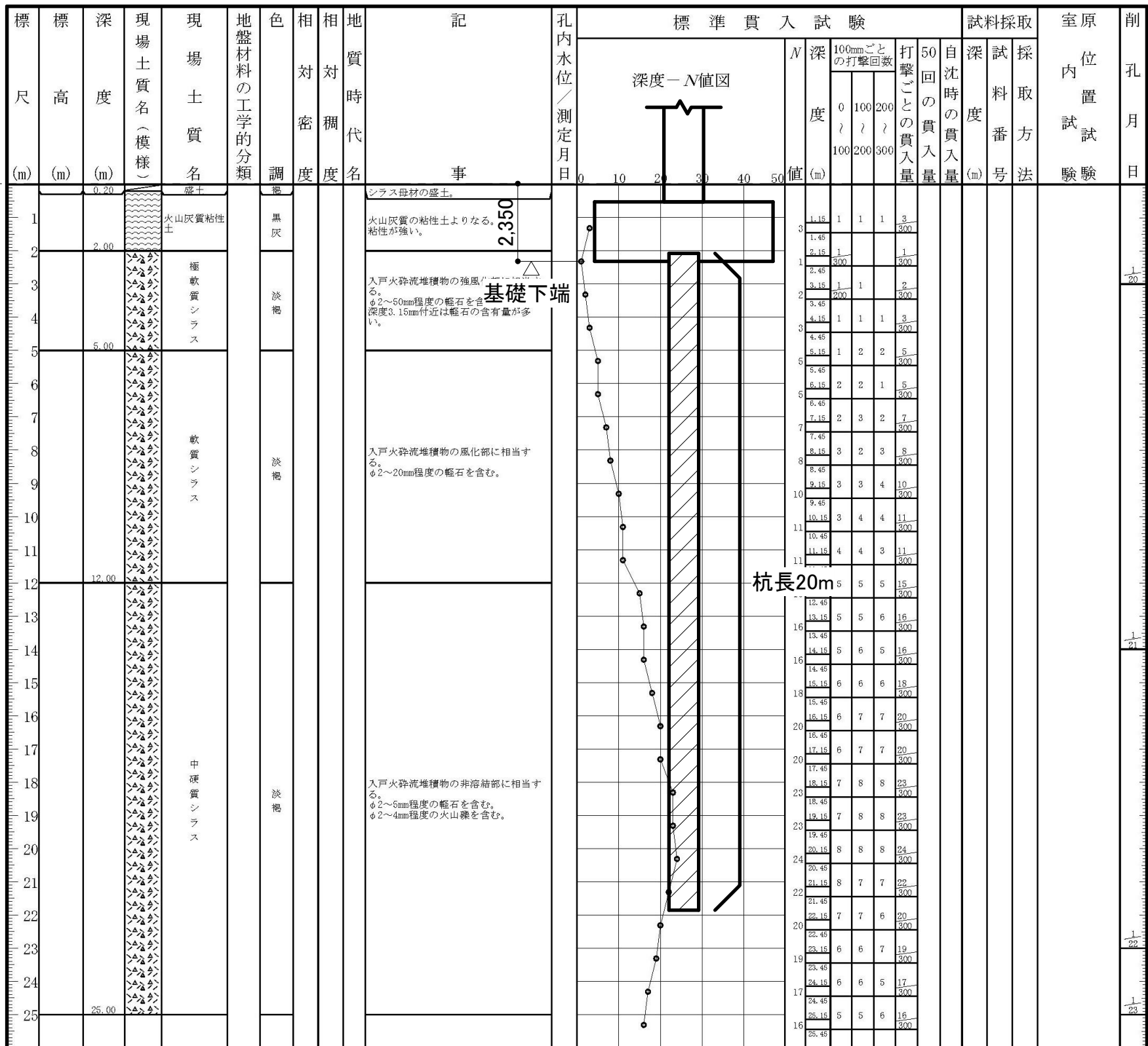
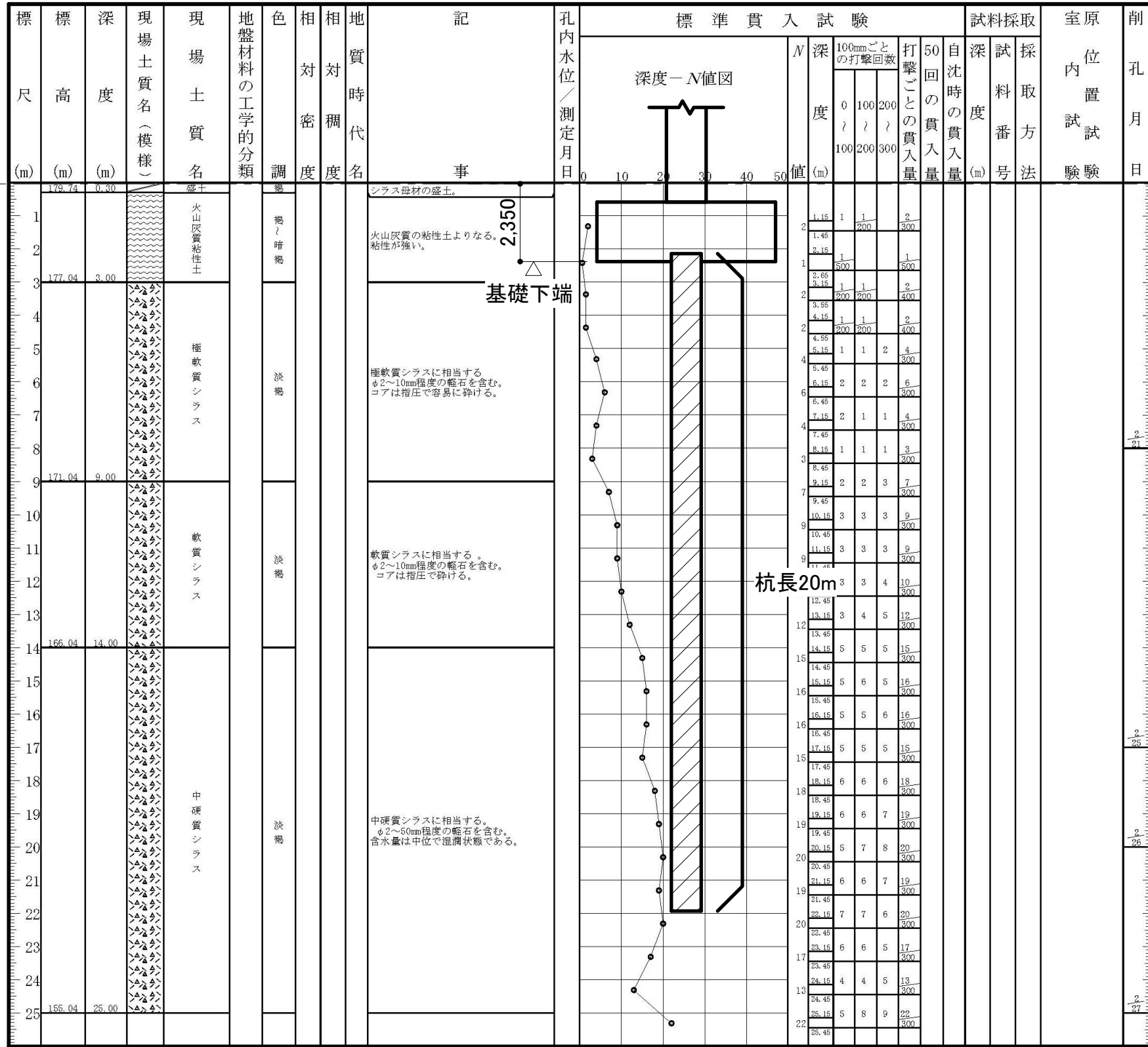
標高	深	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対湿度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験	試験採取	室内	判
尺	高	度	土質名	調	度	度	事		深	深	位置	孔
(m)	(m)	(m)	様	度	度	度			度	度	置	月
			型						値 (kg)	回	方	日
									50回の貫入量	番	法	
									50回の貫入量	号		
1	17.7	3.0	点山層状土	砂 / 砂			シラス層の直上		10 15 20 25 30 35 40 45 50			
2							火山灰質の軟性土よりなる。粘性が強い。	2.350	10 15 20 25 30 35 40 45 50			
3	17.92	3.0						基礎下端	10 15 20 25 30 35 40 45 50			
4			軟弱シラス	砂			軟弱シラスに相当する。50×100mm貫入の観察を要す。		10 15 20 25 30 35 40 45 50			
5									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
6	17.97	6.0							10 15 20 25 30 35 40 45 50			
7									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
8									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
9			軟弱シラス	砂			軟弱シラスに相当する。50×100mm貫入の観察を要す。		10 15 20 25 30 35 40 45 50			
10									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
11									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
12									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
13									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
14									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
15	16.97	16.0							10 15 20 25 30 35 40 45 50			
16									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
17									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
18									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
19			中硬質シラス	砂			中硬質シラスに相当する。50×100mm貫入の観察を要す。深家は50m測定で完了する。		10 15 20 25 30 35 40 45 50			
20									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
21									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
22									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
23									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
24									10 15 20 25 30 35 40 45 50			
25	15.97	25.0							10 15 20 25 30 35 40 45 50			
26									10 15 20 25 30 35 40 45 50			

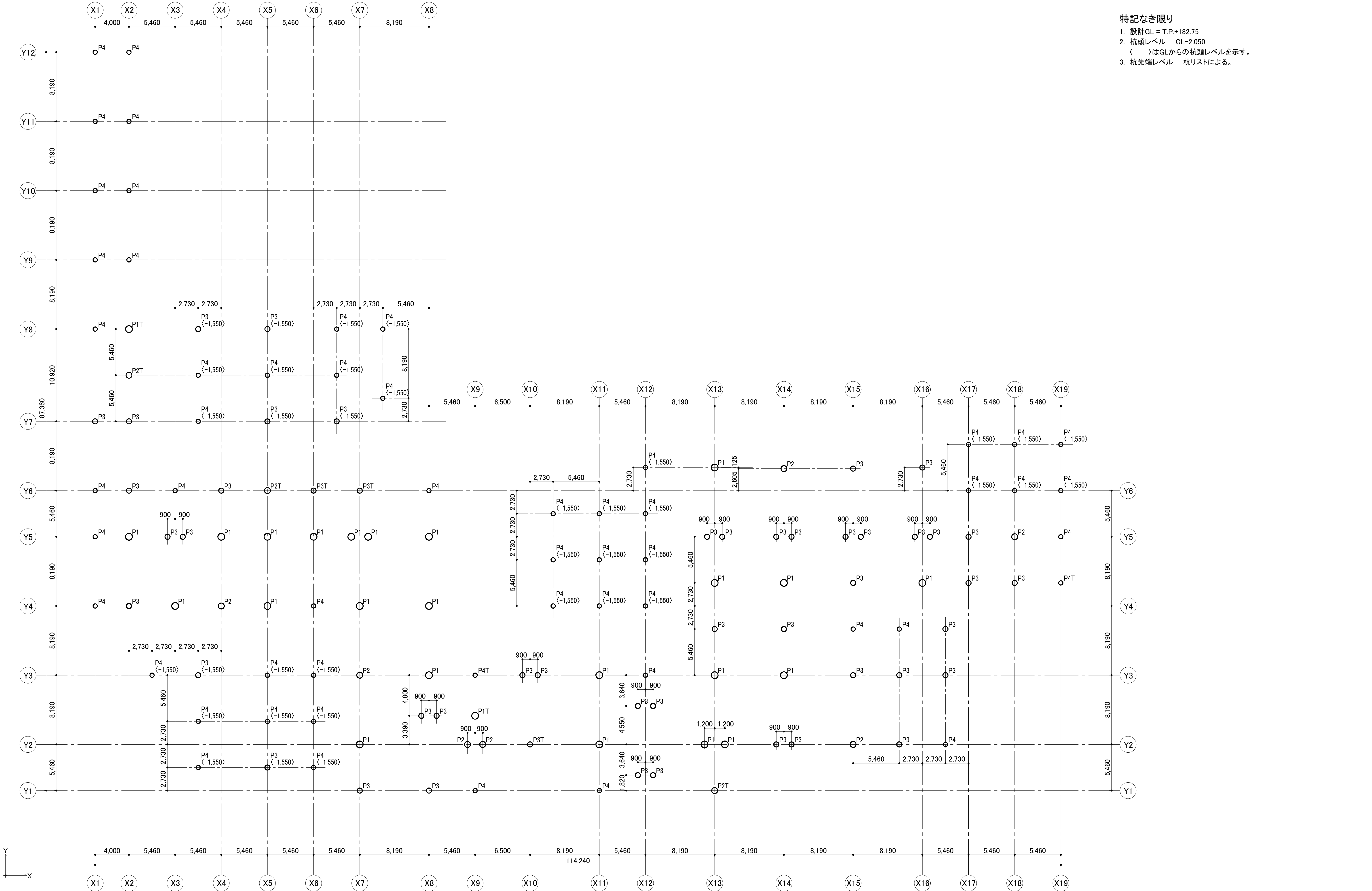
[illegible][illegible]

調査位置平面図



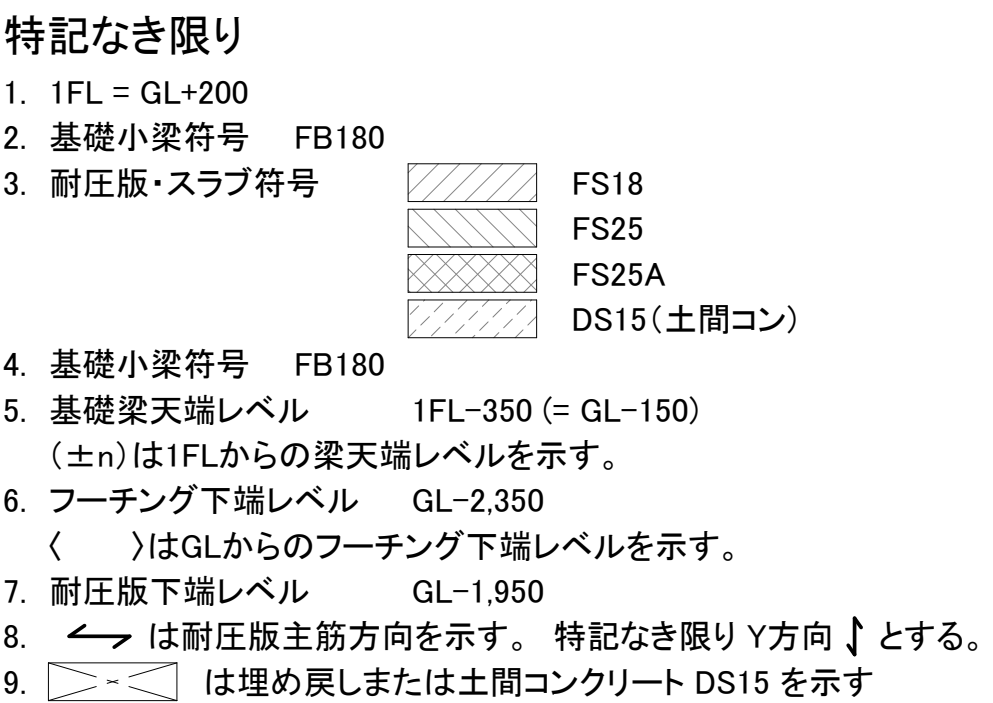
▽ 設計GL(=T.P.+182.75)





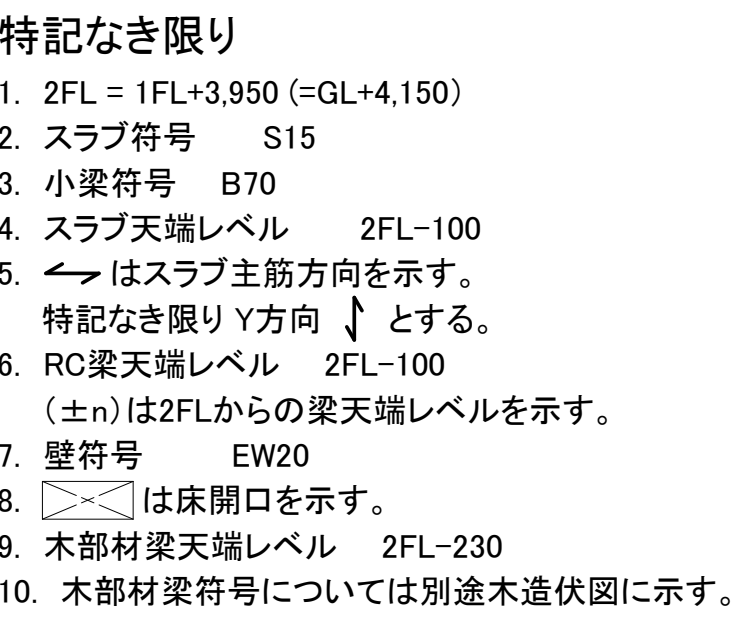
特記なき限り

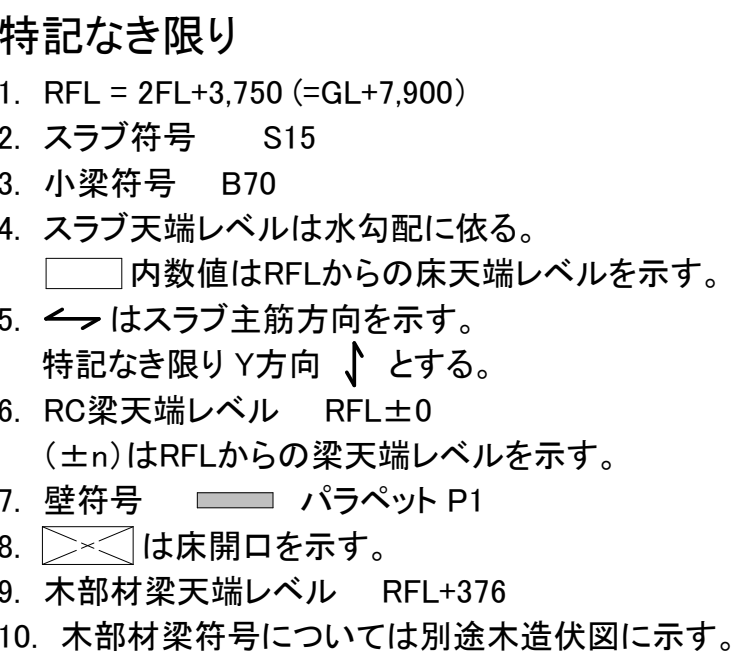
1. 設計GL = T.P.+182.75
2. 杭頭レベル GL-2.050
()はGLからの杭頭レベルを示す。
3. 杭先端レベル 杭リストによる。

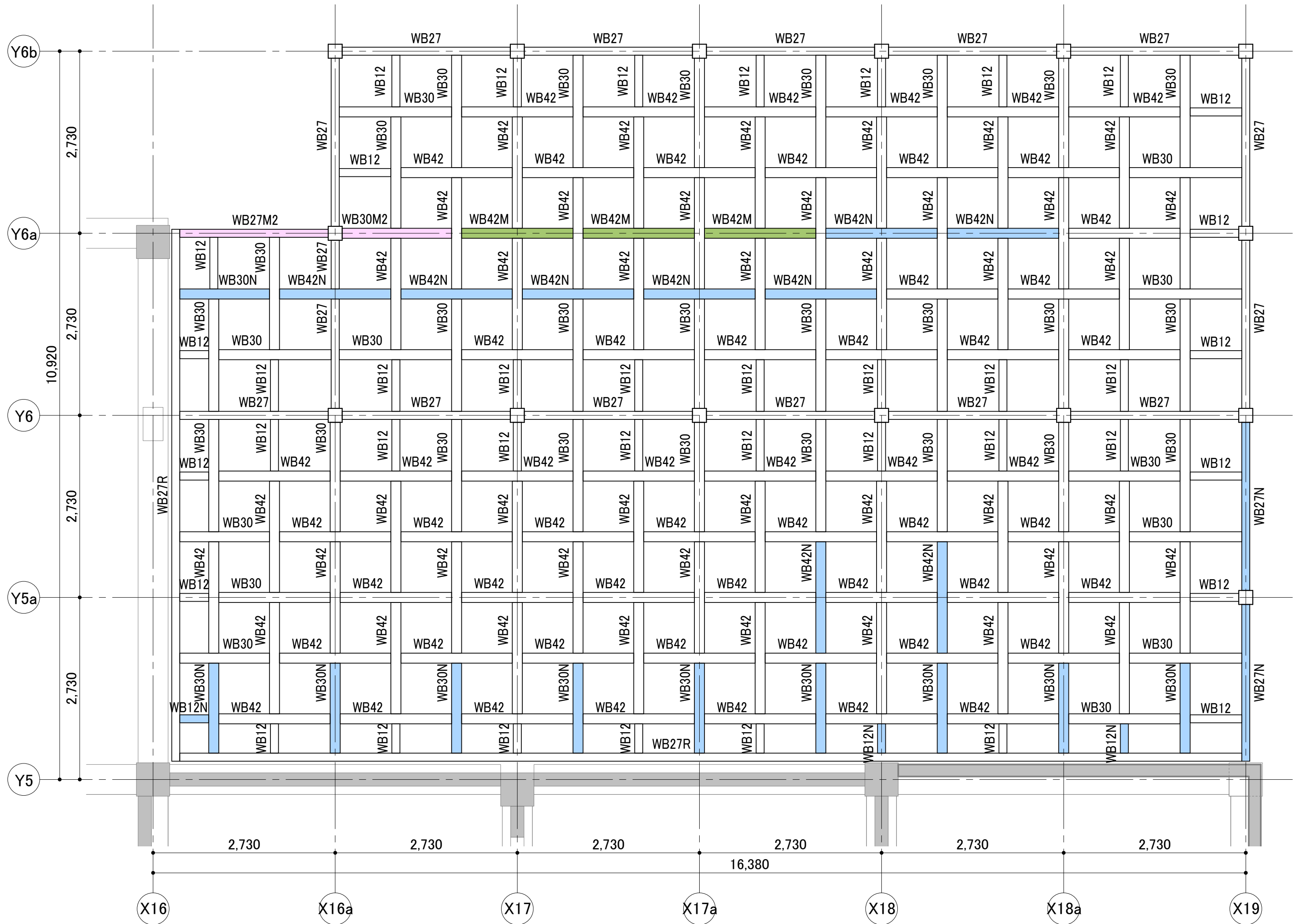




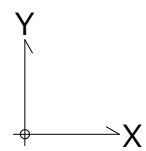
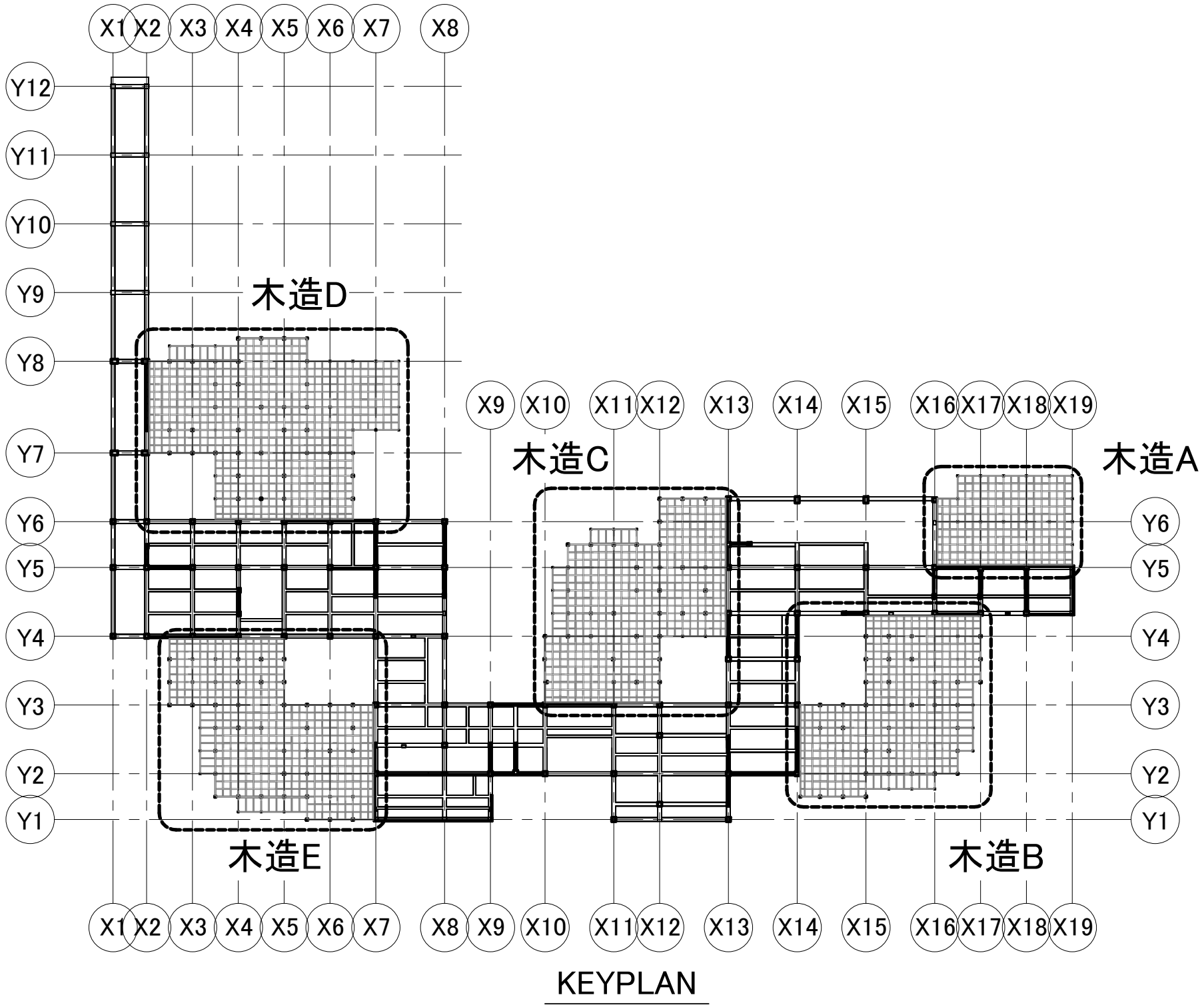
- 特記なき限り
- 1FL = GL+200
 - スラブ符号 S15
 - 小梁符号 B70
 - スラブ天端レベル 1FL-200
 - ↔はスラブ主筋方向を示す。
特記なき限りY方向 ↓とする。
 - RC梁天端レベル 1FL-350
(±n)は1FLからの梁天端レベルを示す。
 - 壁符号 EW20
 - 立ち上がり壁天端 1FL+200 (GL+400)
 - ⊠は床開口を示す。
 - スラブは置きスラブとし、スラブ下端とRC梁天端にギャップがある場合は
梁上を増し打ちするものとする。

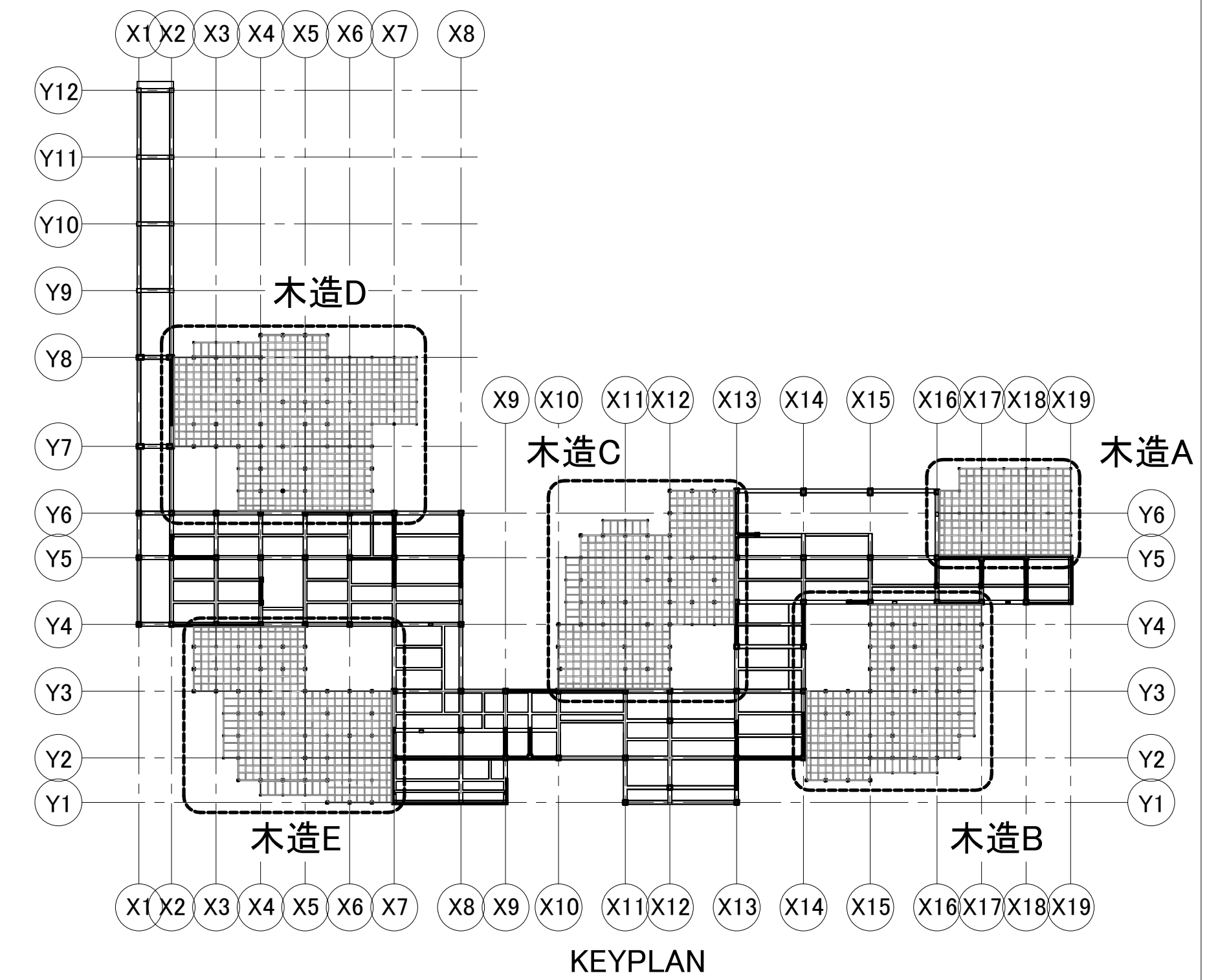
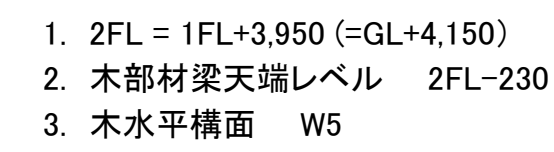


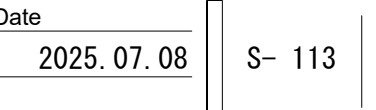
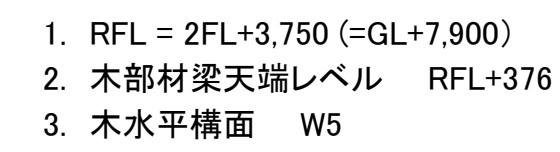


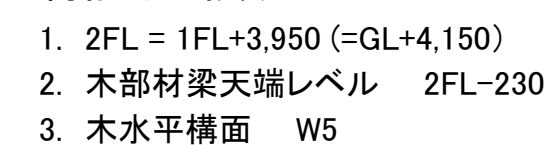


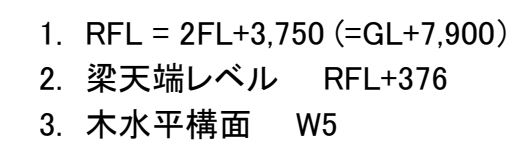
2階伏図 1 : 50
特記なき限り
1. 2FL = 1FL+3.950 (=GL+4.150)
2. 木部材梁天端レベル 2FL-230
3. 木水平構面 W5

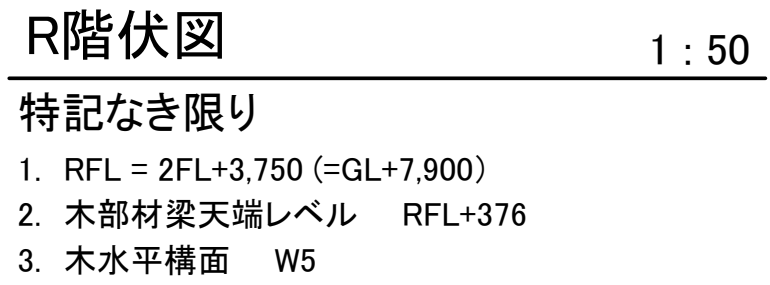


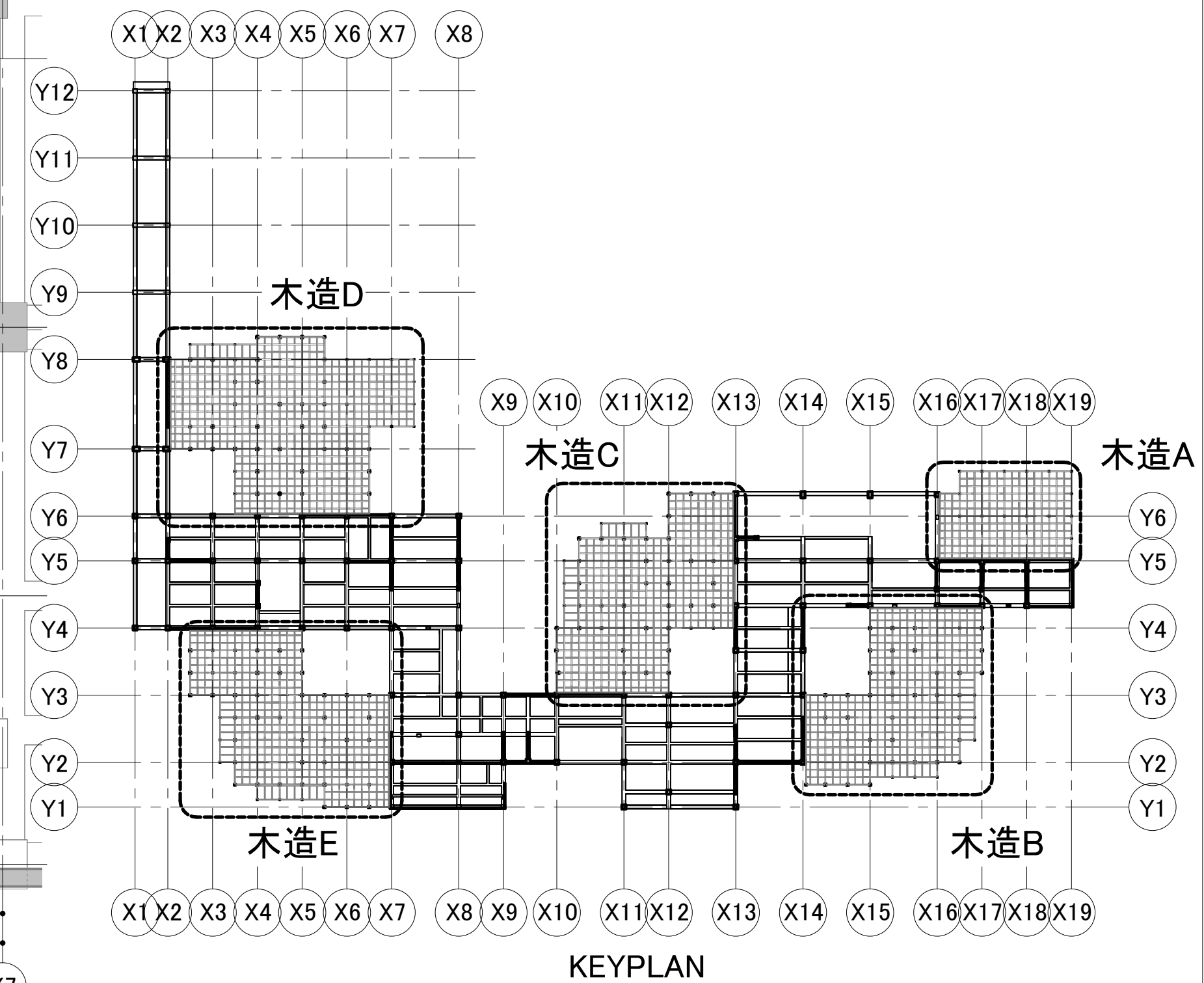
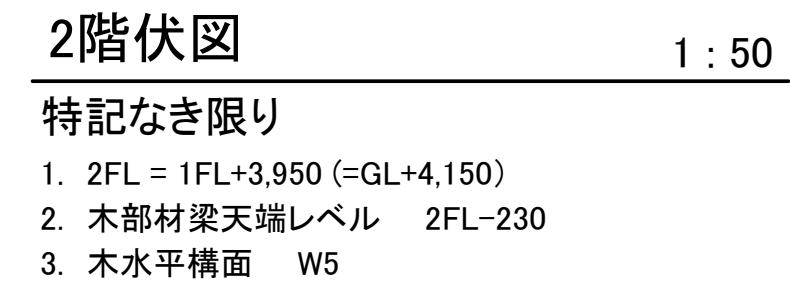


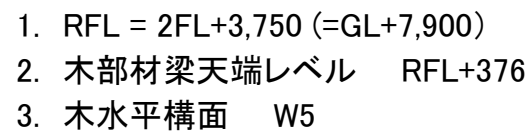


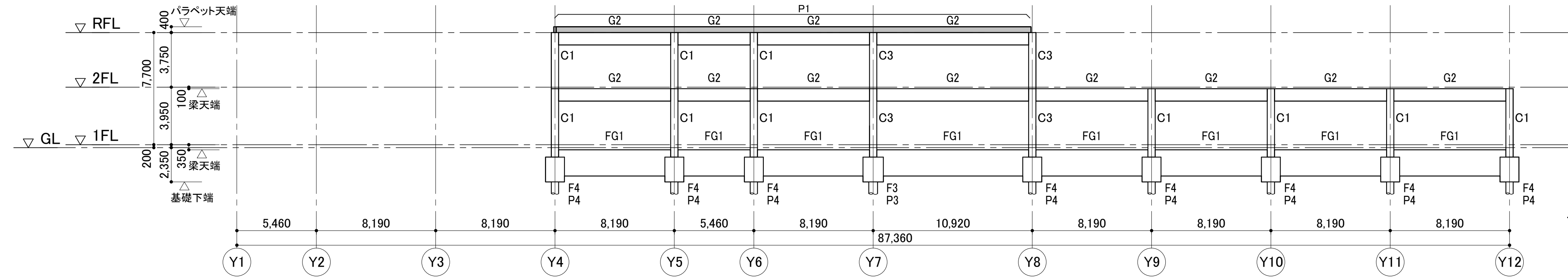




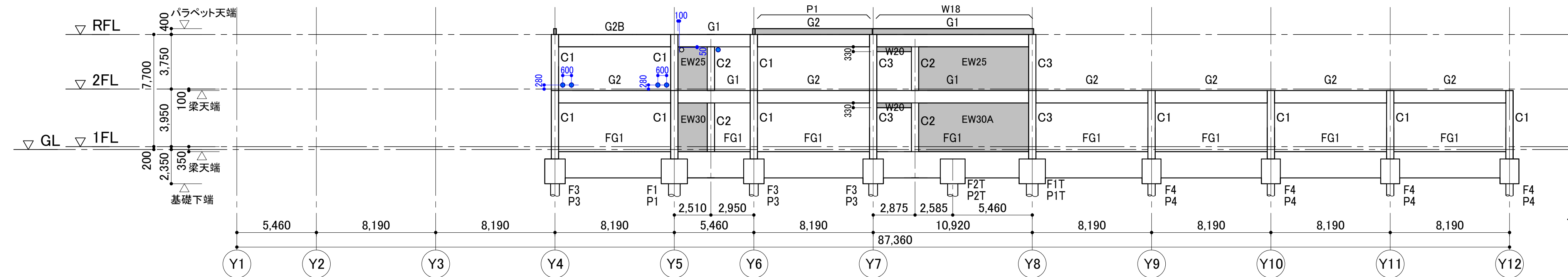




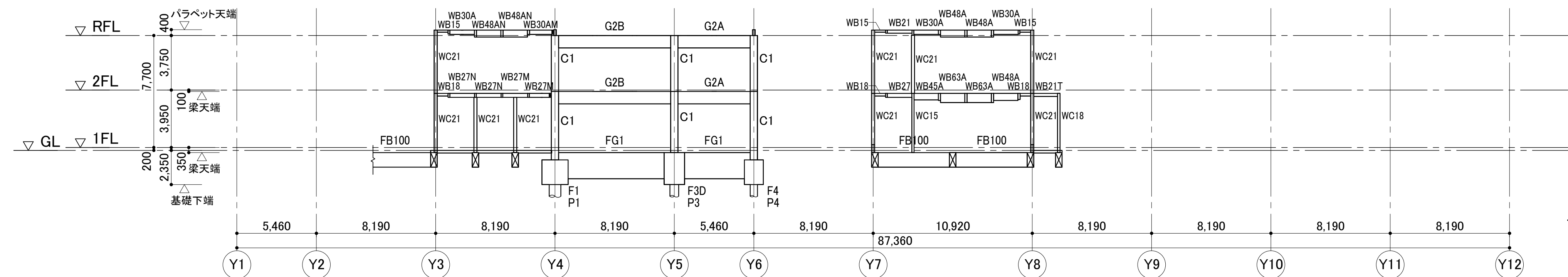




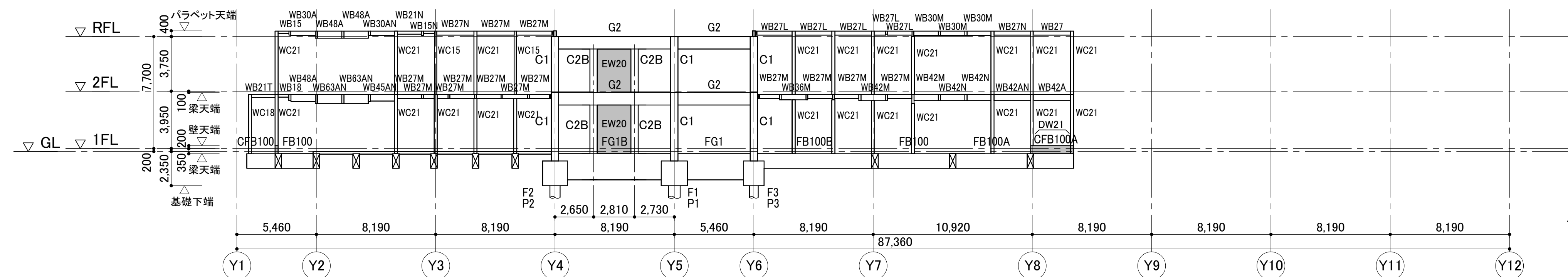
X1 軸組図 1 : 200



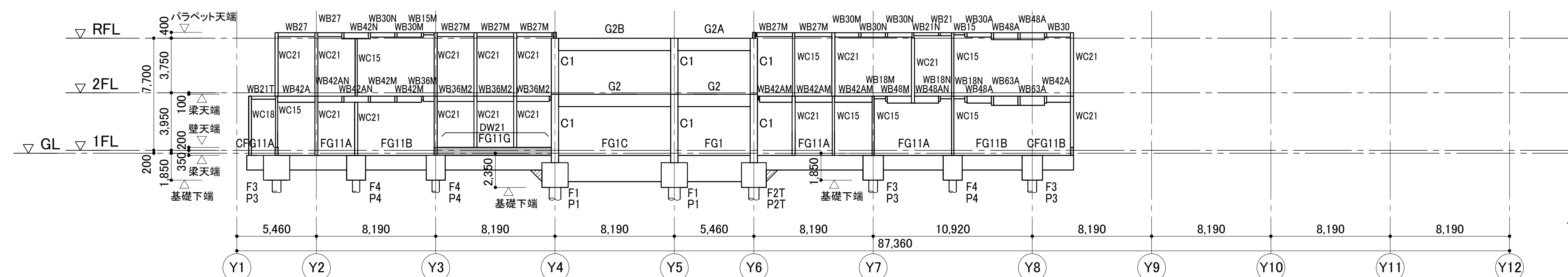
X2 軸組図 1 : 200



X3 軸組図 1 : 200

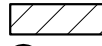
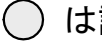


X4 軸組図 1 : 200

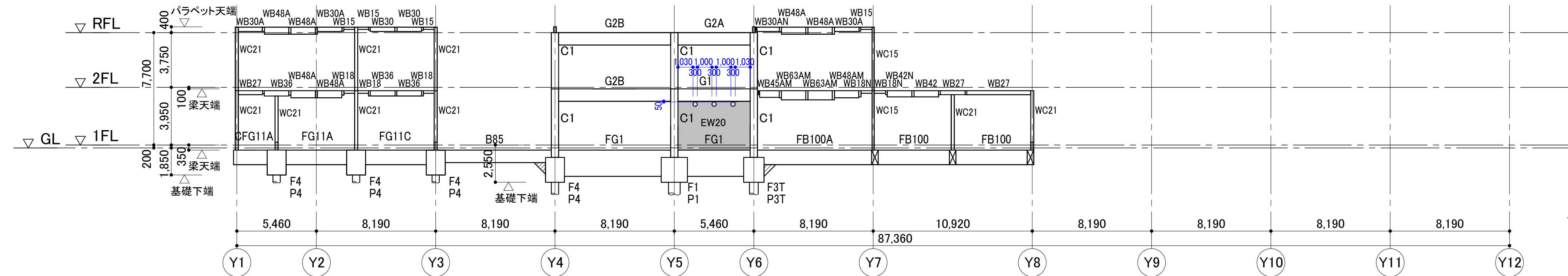


X5 軸組図 1 : 200

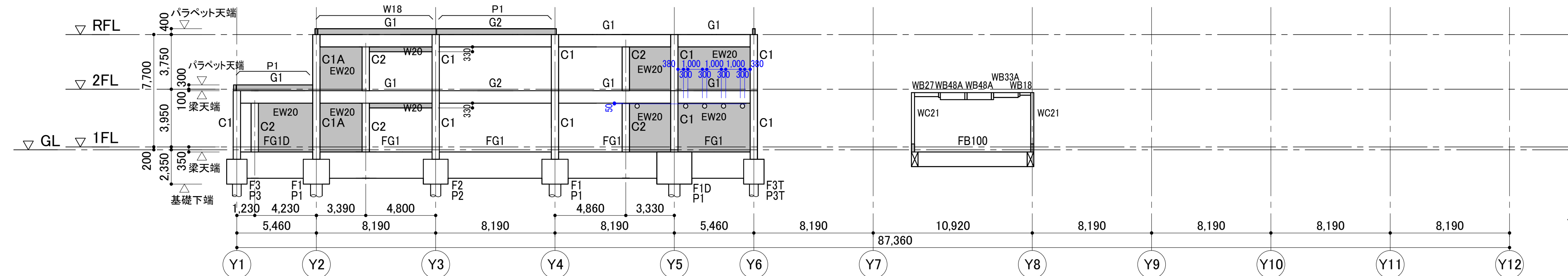
特記なき限り

- 基礎天端とスラブ下端間はフカンを設けること。
-  はフカンを示す。
-  は設備開口φ300を示す。

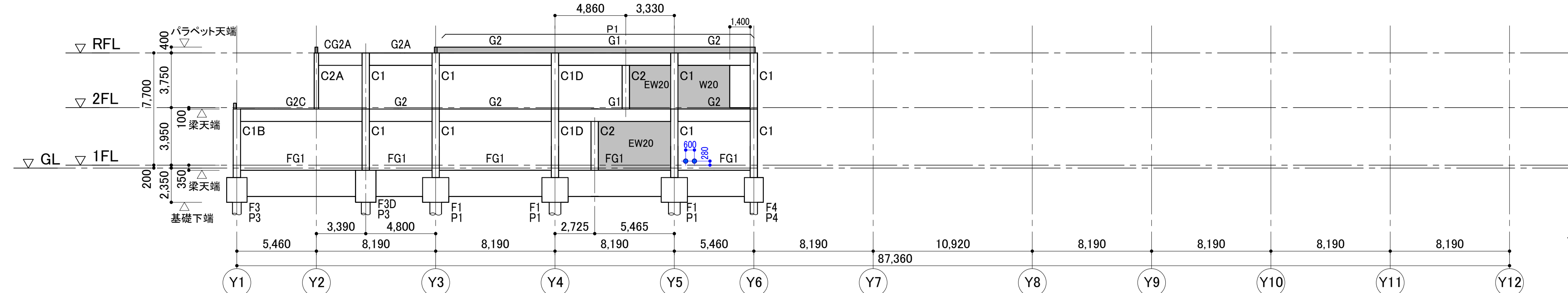
ただし、複数開口のある耐力壁について寸法の記載のないものは、
l≧1.5hかつ≧1mを満たす開口であり、面積等価の開口部とみなす。
(l:設備開口間距離、h:複数開口のうち耐力壁内最上部開口位置天端から
最下部開口位置下端までの距離)



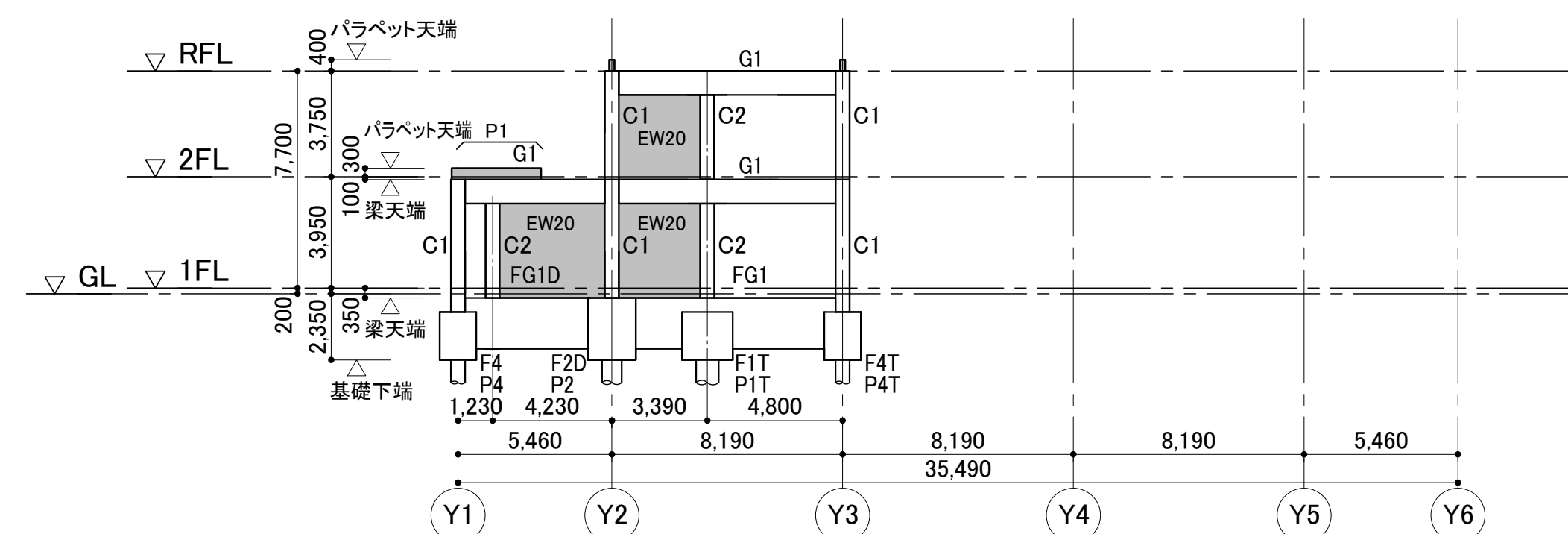
X6 軸組図 1 : 200



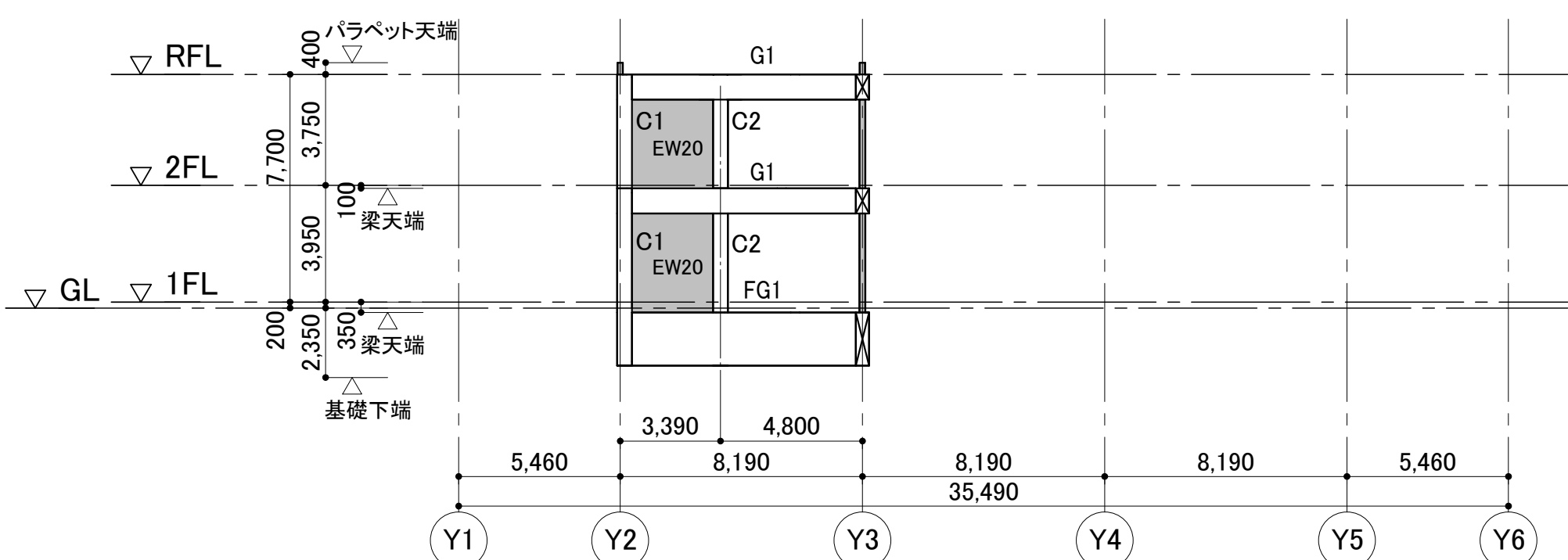
X7 軸組図 1 : 200



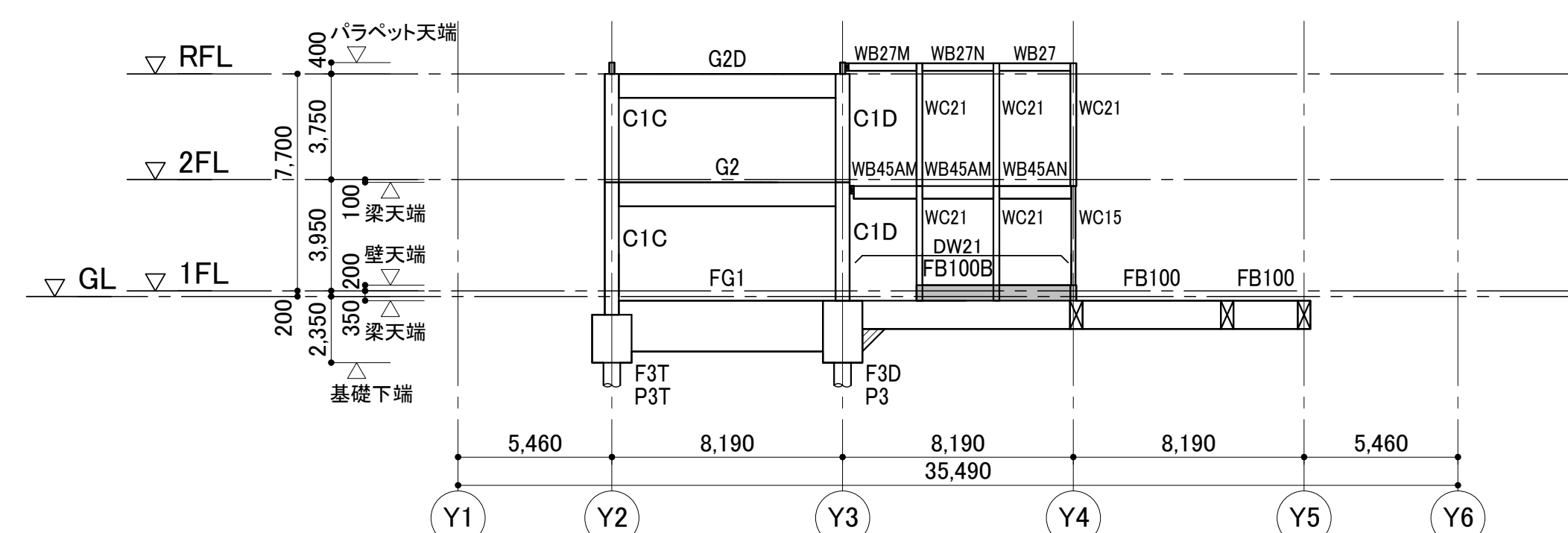
X8 軸組図 1 : 200



X9 軸組図 1 : 200



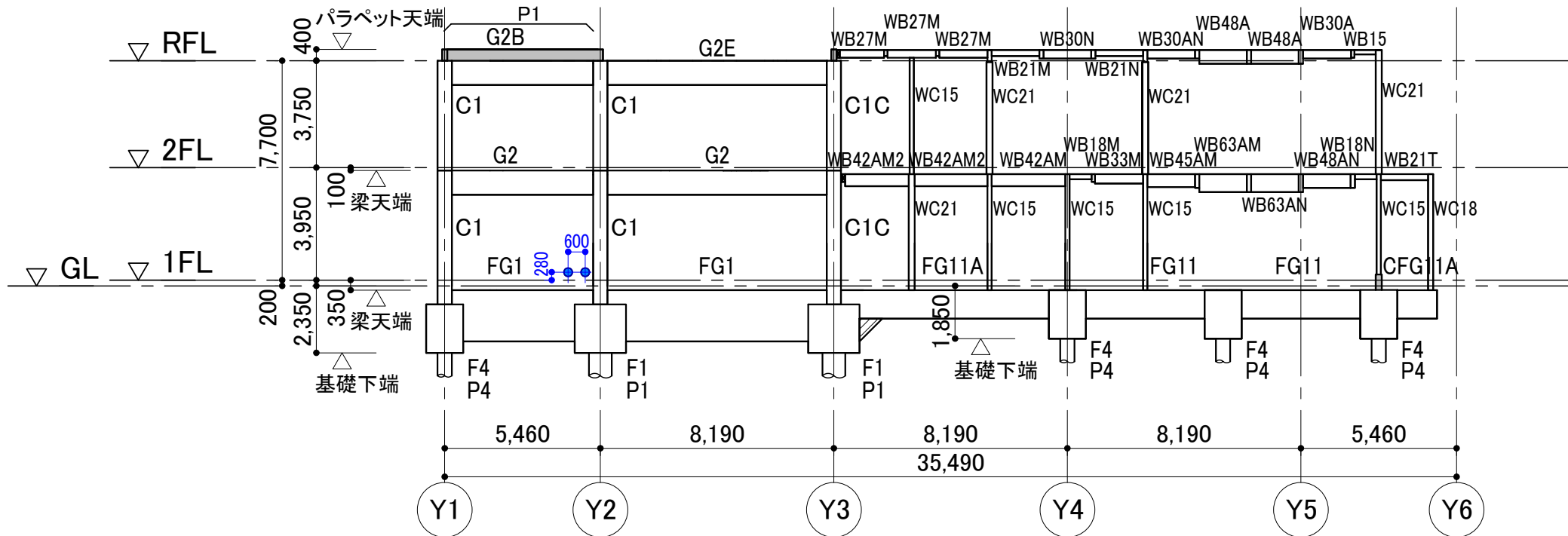
X9+3,000 軸組図 1 : 200



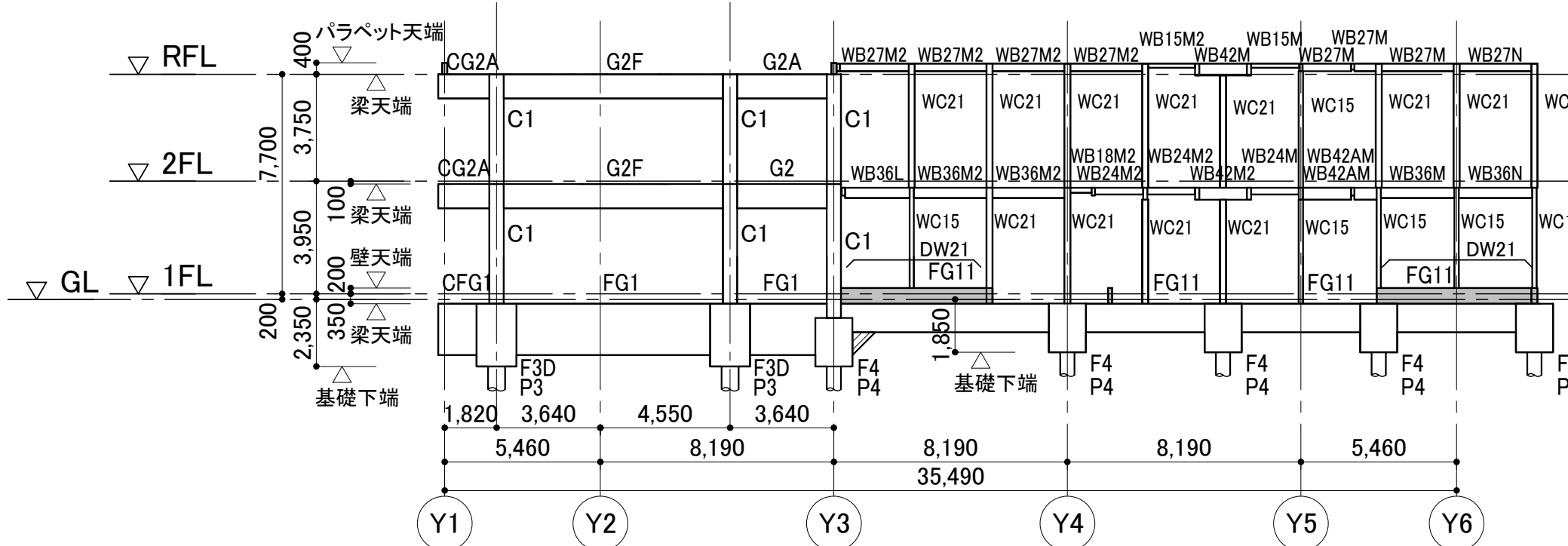
X10 軸組図 1 : 200

特記なき限り

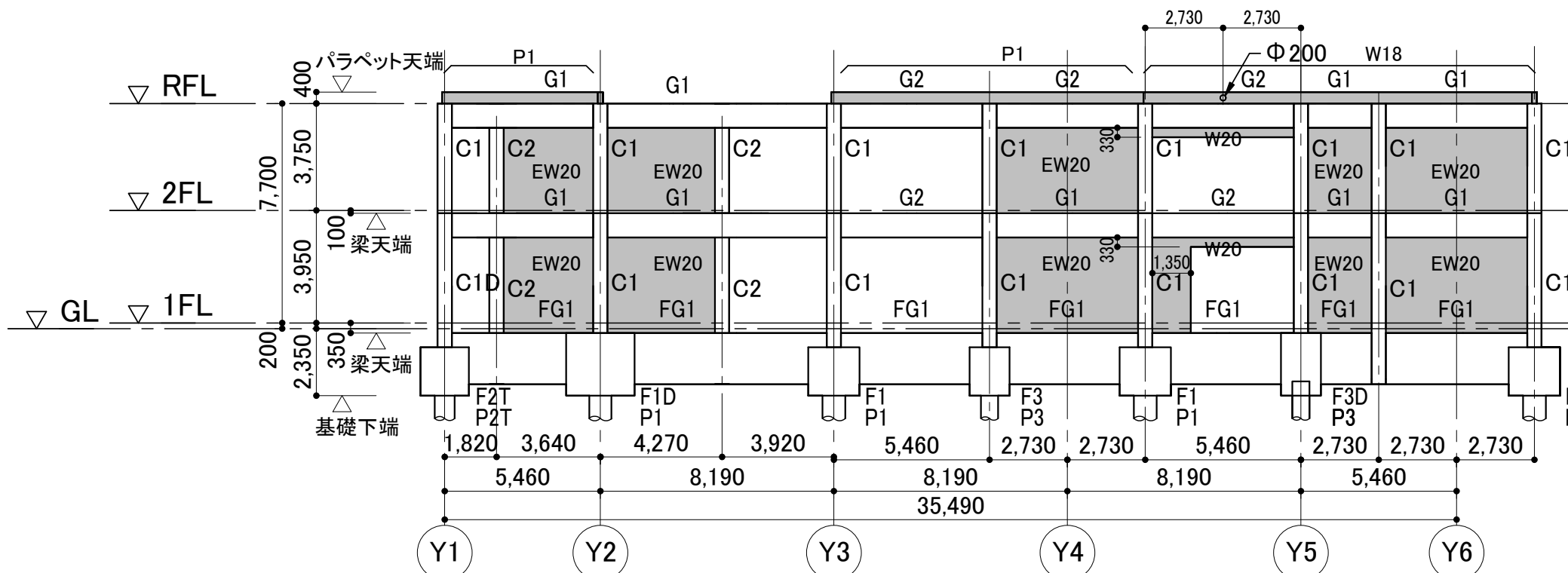
- 基礎天端とスラブ下端間はフカンを設けること。
- はフカンを示す。
- は設備開口φ300を示す。
ただし、複数開口のある耐力壁について寸法の記載のないものは、
l≧1.5hかつ≧1mを満たす開口であり、面積等価の開口部とみなす。
(l:設備開口間距離、h:複数開口のうち耐力壁内最上部開口位置天端から
最下部開口位置下端までの距離)



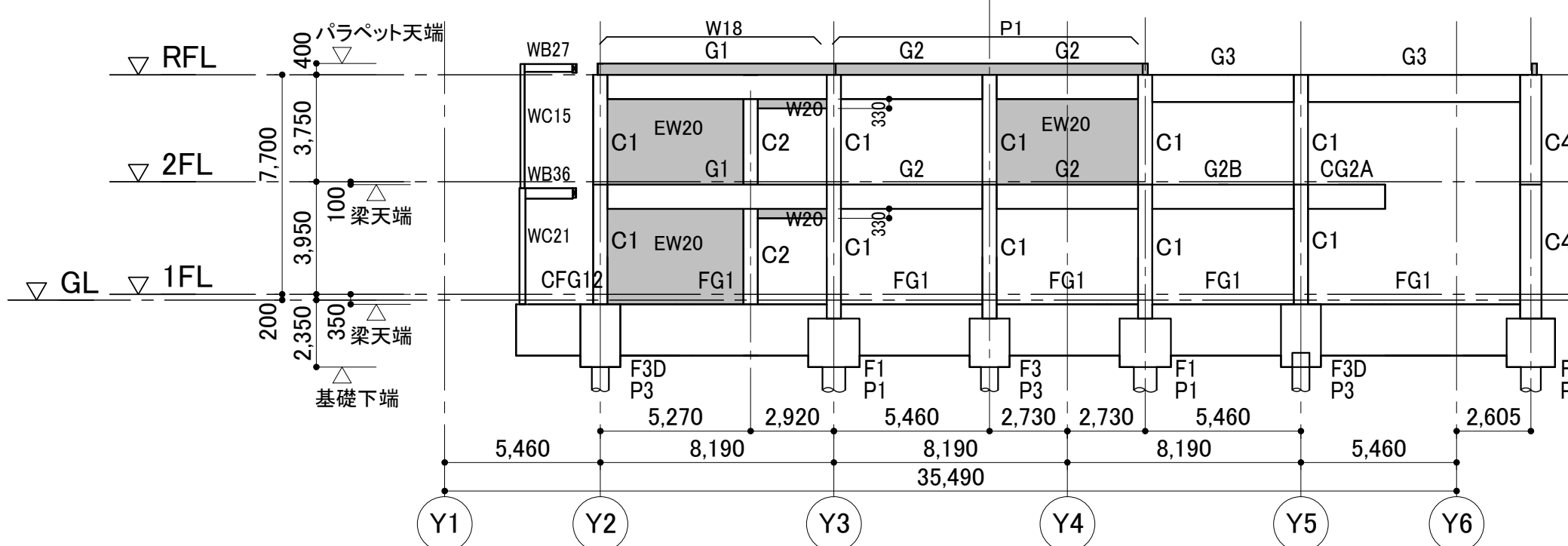
X11 軸組図 1 : 200



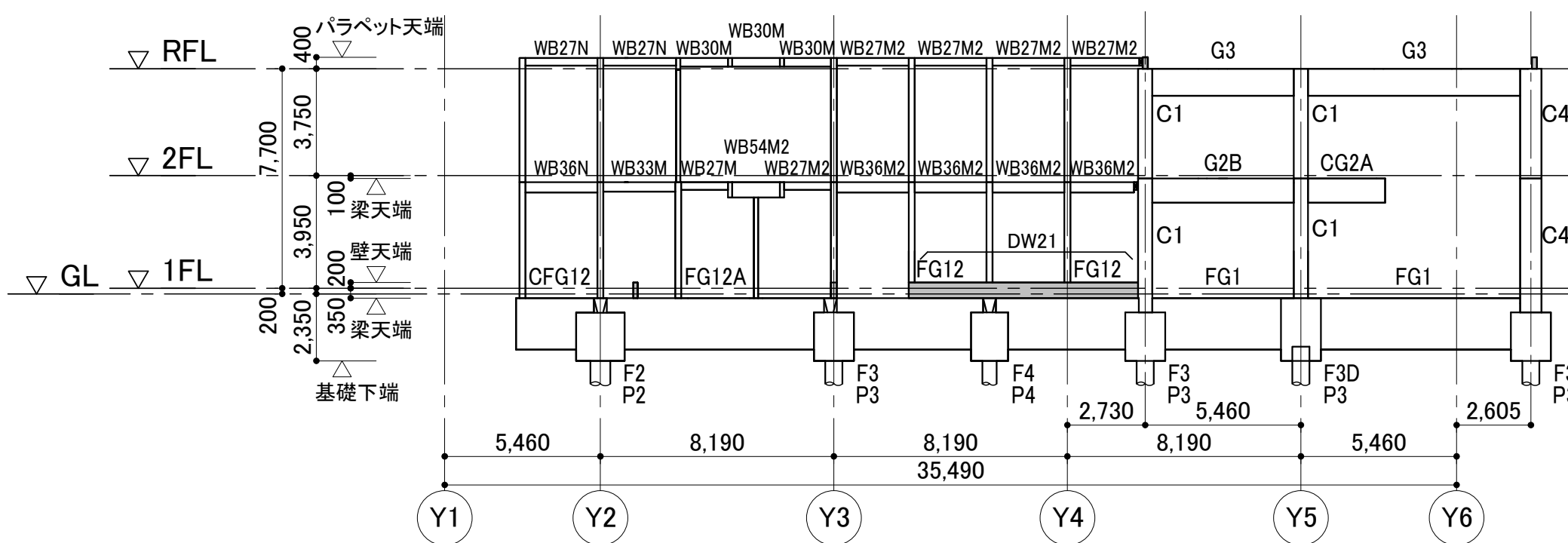
X12 軸組図 1 : 200



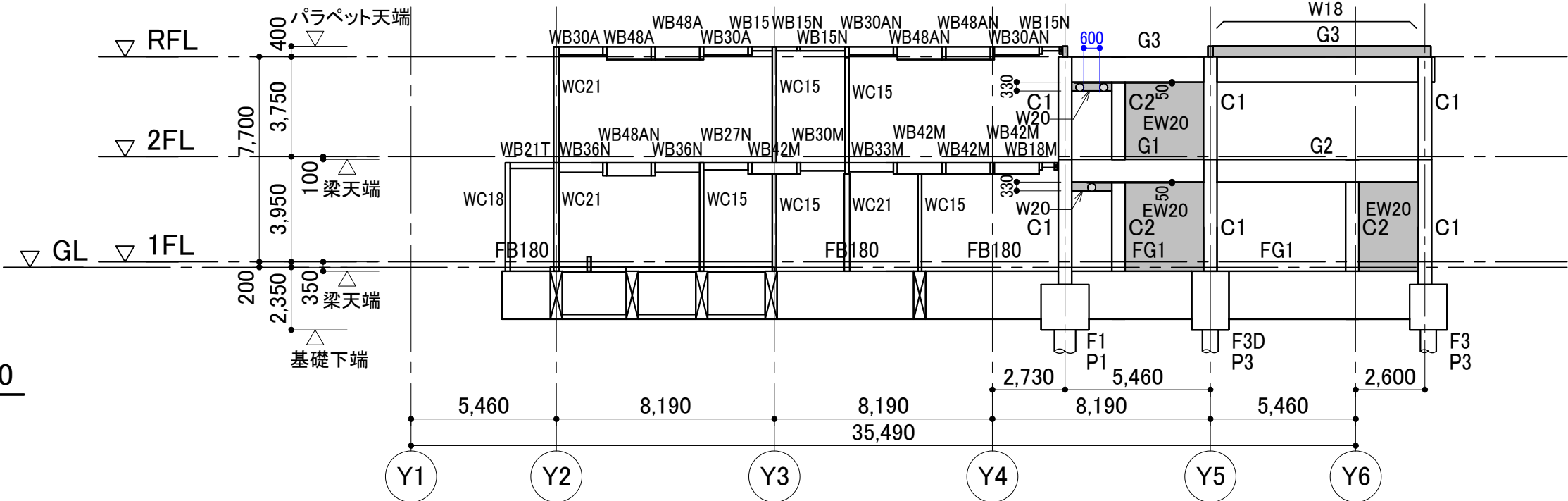
X13 軸組図 1 : 200



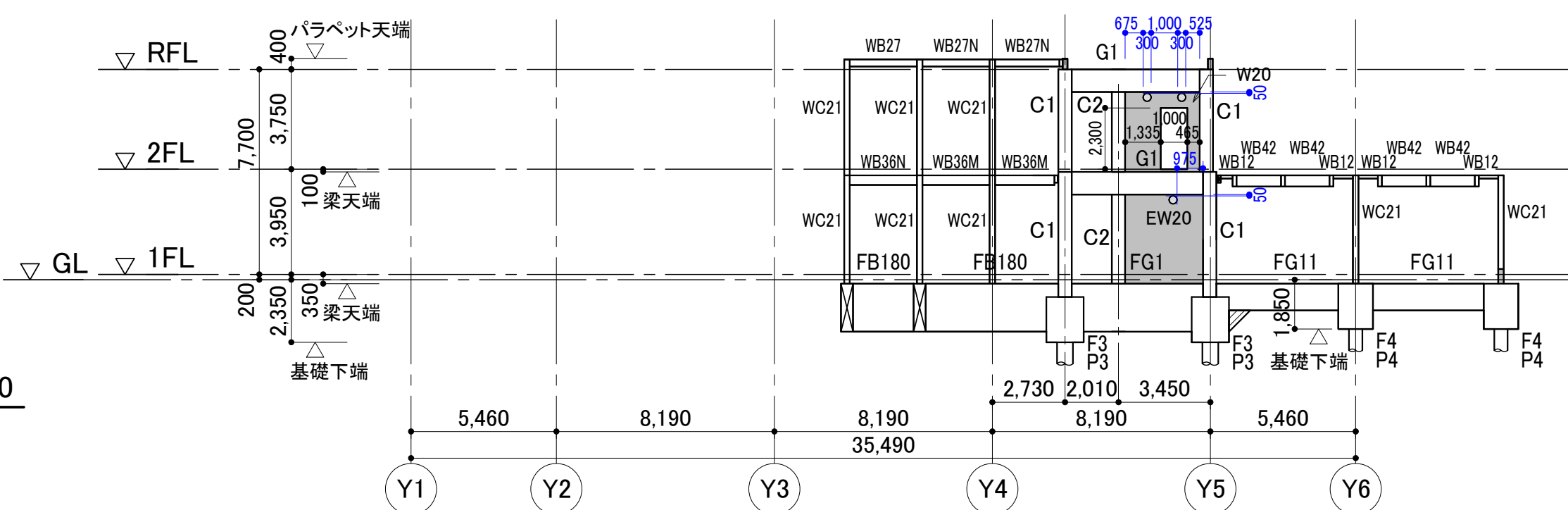
X14 軸組図 1 : 200



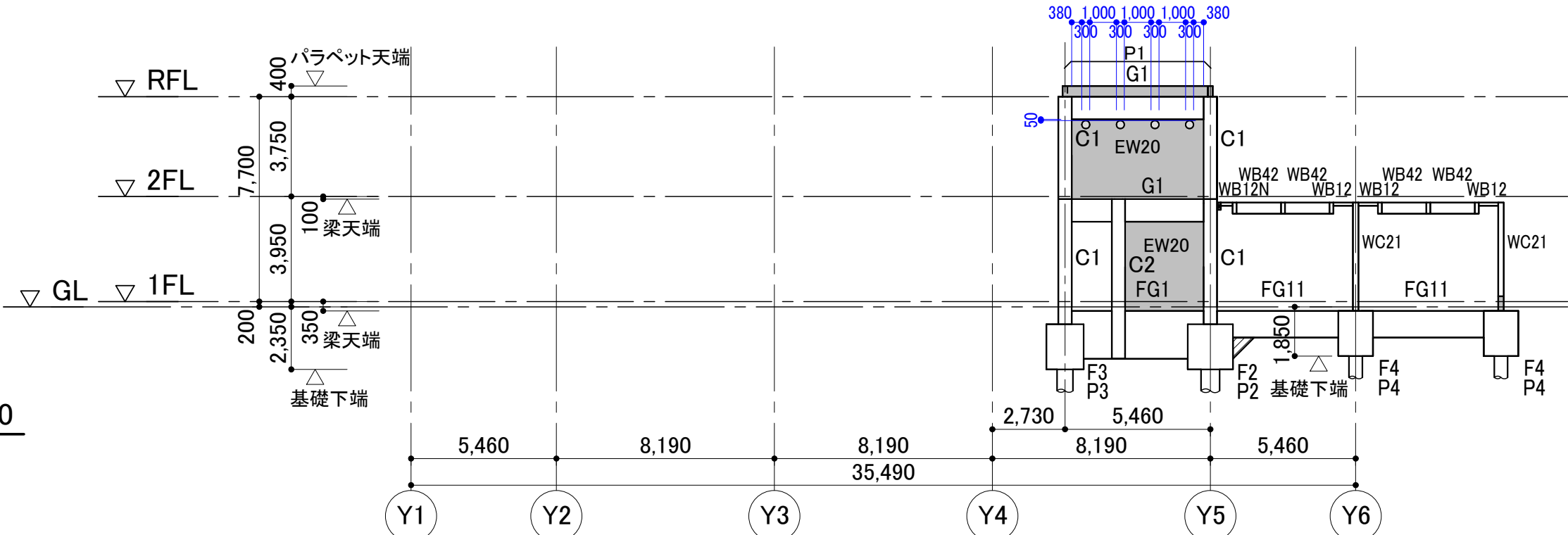
X15 軸組図 1 : 200



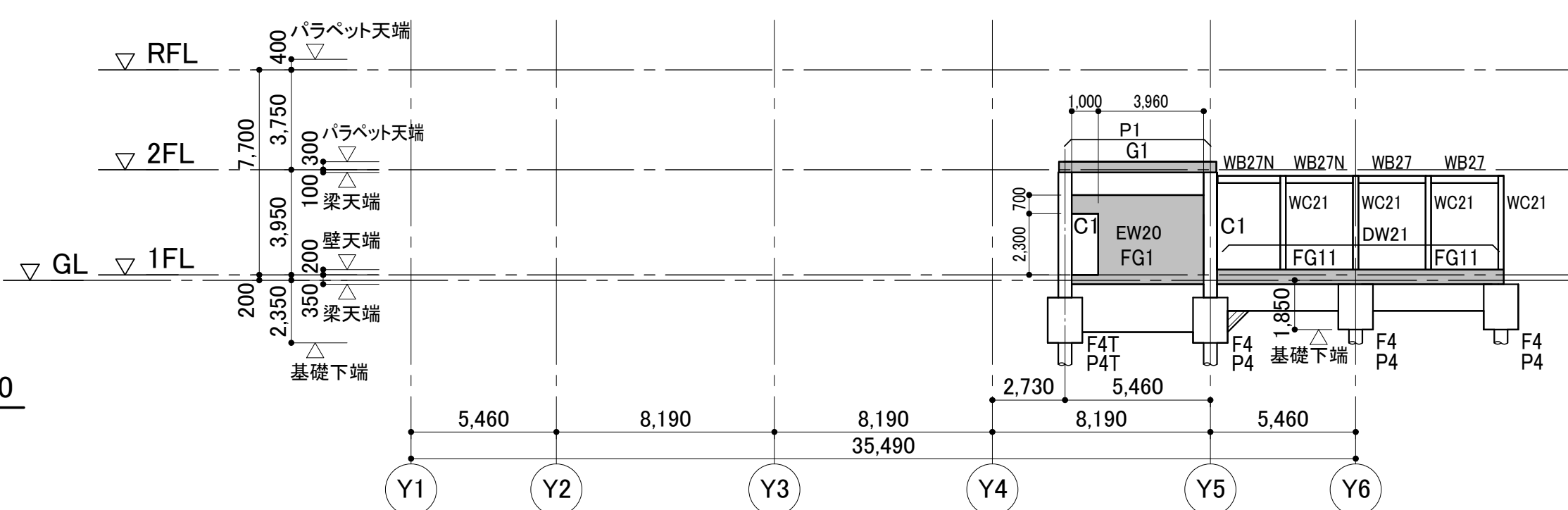
X16 軸組図 1 : 200



X17 軸組図 1 : 200

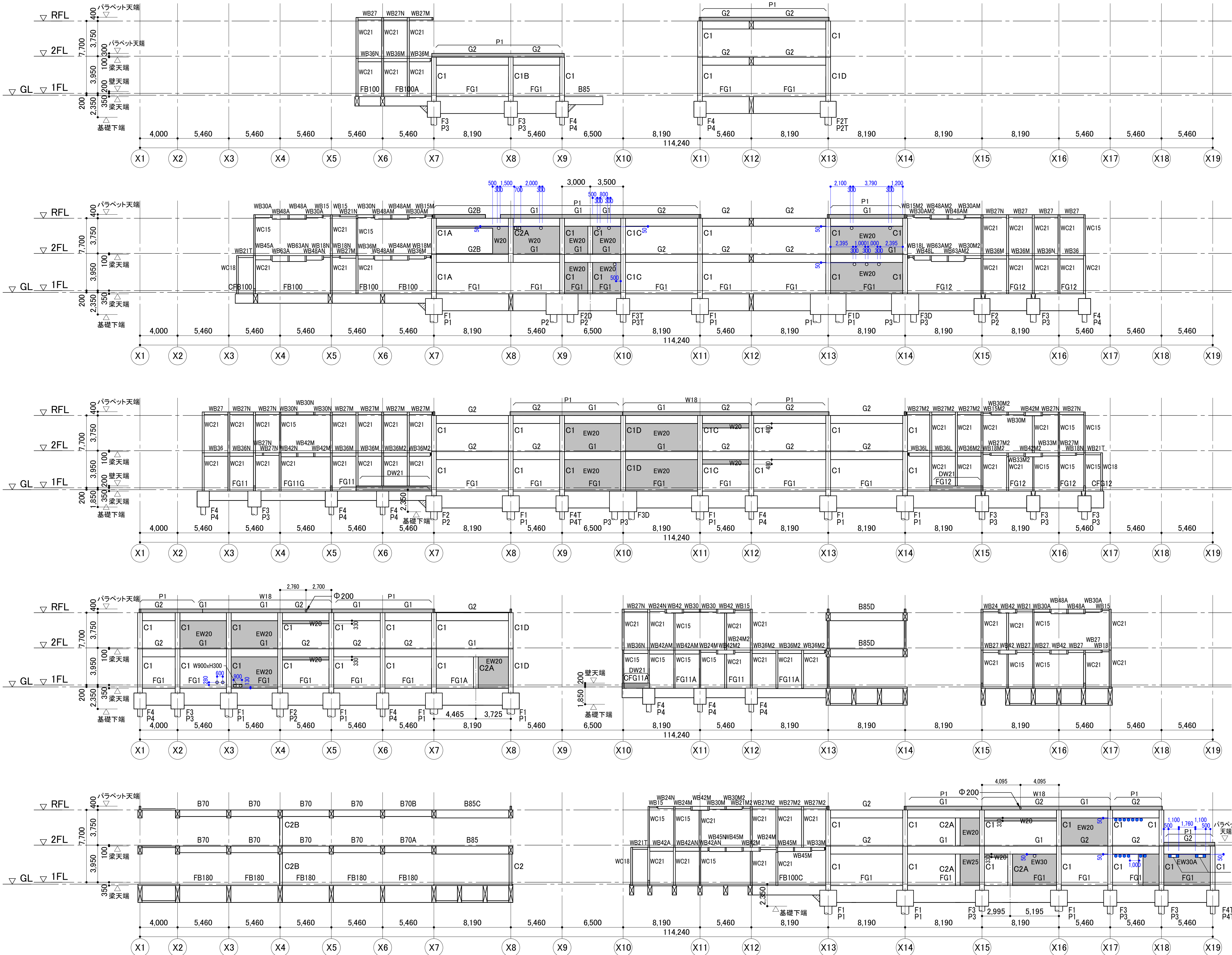


X18 軸組図 1 : 200



X19 軸組図 1 : 200

特記なき限り
1. 基礎天端とスラブ下端間はフカンを設けること。
2. はフカンを示す。
3. は設備開口φ300を示す。
ただし、複数開口のある耐力壁について寸法の記載のないものは、
l≧1.5hかつ≧1mを満たす開口であり、面積等価の開口部とみなす。
(l:設備開口間距離、h:複数開口のうち耐力壁内最上部開口位置天端から
最下部開口位置下端までの距離)



- 特記なき限り
1. 基礎天端とスラブ下端間はフカシを設けること。
 2. はフカシを示す。
 3. は設備開口の300を示す。
ただし、複数開口のある耐力壁について寸法の記載のないものは、
l≧1.5hかつl≧1mを満たす開口であり、面積等価の開口部とみなす。
(l:設備開口間距離、h:複数開口のうち耐力壁内最上部開口位置天端から
最下部開口位置下端までの距離)

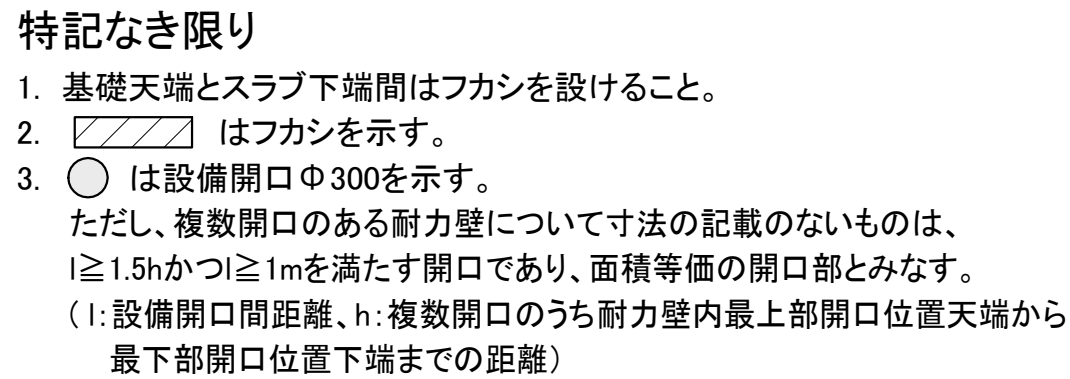
Y1 軸組図 1 : 200

Y2 軸組図 1 : 200

Y3 軸組図 1 : 200

Y4 軸組図 1 : 200

Y4+2,730 軸組図 1 : 200



Y5 軸組図 1 : 200



- 杭リスト
- 特記なき限り
1. 設計GL = T.P.+182.75m = 1FL-200mm

2. 杭仕様
 - ・周面摩擦型プレボーリング拡大根固め工法(Smart-MAGNUM工法または監理者が承認した工法)とする。
 - ・杭頭レベルは杭伏図による。

3. 継手
 - ・使用している杭種に適用可能な無溶接工法（認定工法）とする。

4. 杭頭補強
 - ・ひげ筋は以下のいずれかとする。
 - ・J型開先異形鋼棒NewJ-BAR(WSD390)
 - ・同等な認定品
 - ・中詰めコンクリートは基礎コンクリートと同強度とし、杭頭から基礎下端まで設けるものとする。

符号			P1	P2	P3	P4	P1T	P2T	P3T	P4T
杭全長 (m)			20m	20m	20m	20m	20m	20m	20m	20m
杭頭補強	ひげ筋	配筋	8-D38	6-D38	6-D38	6-D38	14-D38	10-D38	8-D38	6-D38
		溶接長さ	160mm	160mm	160mm	160mm	160mm	160mm	160mm	160mm
		定着長さ	1,140mm	1,140mm	1,140mm	1,140mm	1,140mm	1,140mm	1,140mm	1,140mm
	中かご鉄筋	配筋	－	－	－	－	－	－	－	－
		定着長さ	－	－	－	－	－	－	－	－
上杭	杭径 (mm)		Φ 800	Φ 700	Φ 600	Φ 500	Φ 800	Φ 700	Φ 600	Φ 500
	杭種		JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=12)	JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=9)	JP-HSC (SKK490 t=9)
	杭長		7m	7m	7m	7m	7m	7m	7m	7m
下杭 (節杭)	杭径 (mm)		Φ 1,000-800	Φ 900-700	Φ 800-600	Φ 650-500	Φ 1,000-800	Φ 900-700	Φ 800-600	Φ 650-500
	杭種		JP-NPH (A種)	JP-NPH (A種)	JP-NPH (A種)	JP-NPH (A種)	JP-NPH (C種)	JP-NPH (C種)	JP-NPH (C種)	JP-NPH (C種)
	杭長 (m)		13m	13m	13m	13m	13m	13m	13m	13m
拡大掘削部径 Des (mm)			1,100	1,000	900	800	1,100	1,000	900	800
拡大根固め部径 Den (mm)			1,300	1,000	900	800	1,300	1,000	900	800
根固め部の拡大比 $\omega \rho$			1.23	1.05	1.05	1.14	1.23	1.05	1.05	1.14
拡翼掘削部長 Le (m)			11.0	—	—	—	11.0	—	—	—
杭下根固め部長さ LL (m)			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
長期許容支持力 (kN)			2,550	1,850	1,500	1,250	2,550	1,850	1,500	1,250
本数			23本	7本	46本	53本	2本	3本	3本	2本
備考										

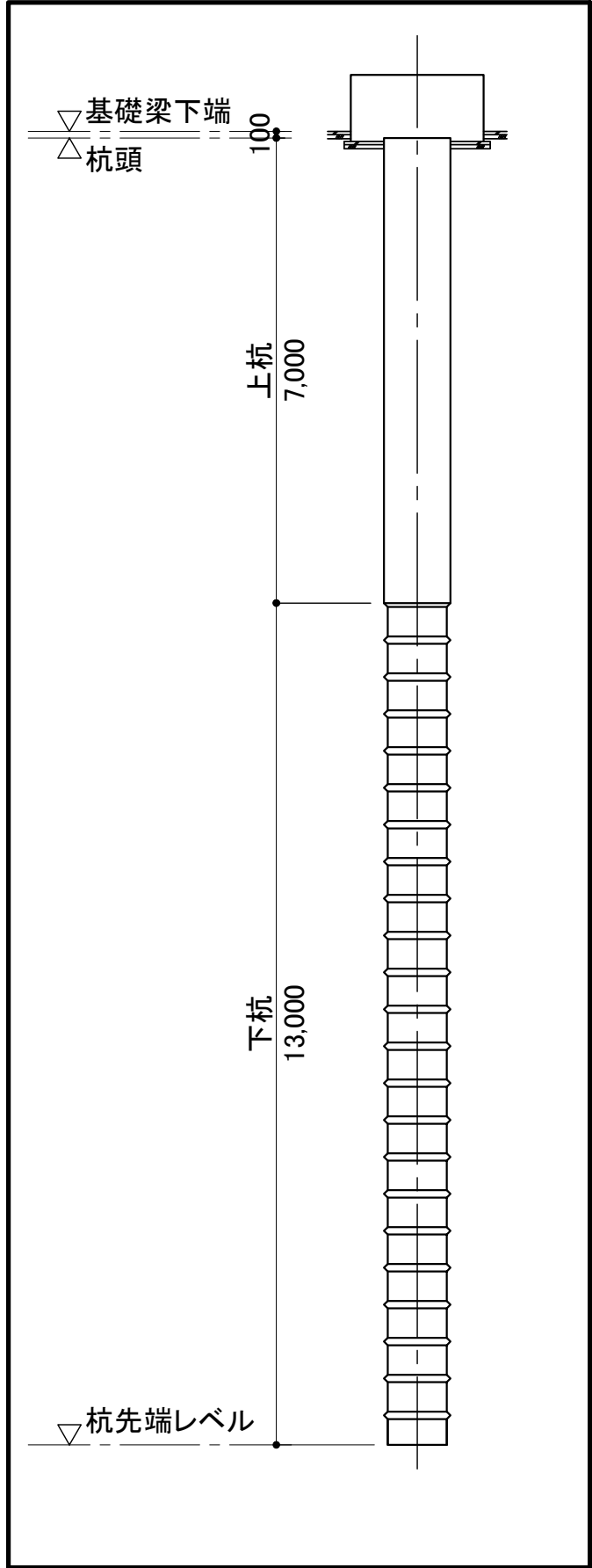
基礎リスト

特記なき限り

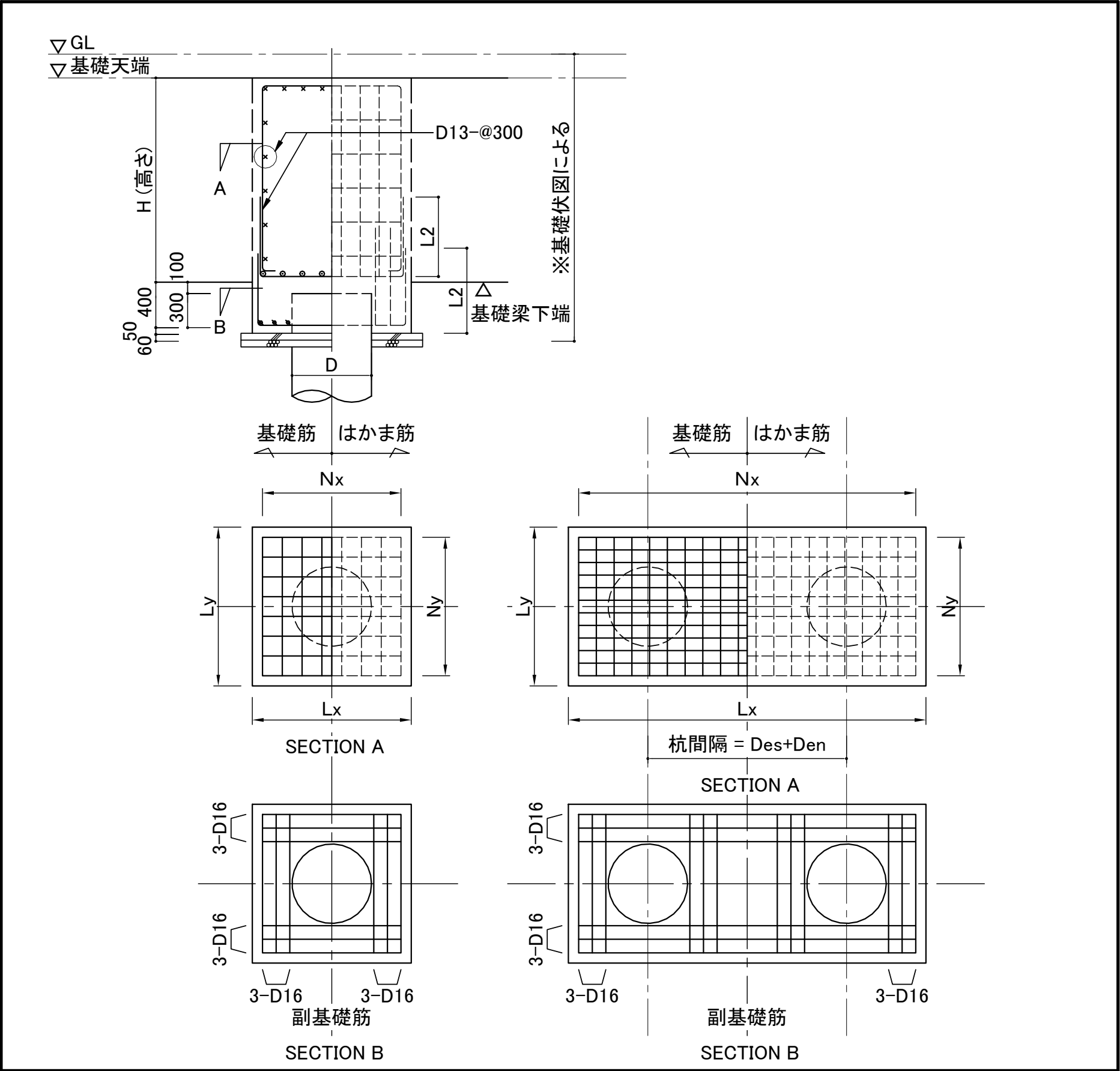
1.

符号			F1	F1D	F2	F2D	F3	F3D	F4	F1T	F2T	F3T	F4T
杭径D×本数			Φ800×1	Φ800×2	Φ700×1	Φ700×2	Φ600×1	Φ600×2	Φ500×1	Φ800×1	Φ700×1	Φ600×1	Φ500×1
Lx (mm)			2,000	4,400	1,750	3,800	1,500	3,750	1,300	2,000	1,750	1,400	1,300
Ly (mm)			2,000	1,800	1,750	1,750	1,500	1,500	1,300	2,000	1,750	1,400	1,300
H (mm)			1,300	1,800	1,300	1,800	1,300	1,800	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
配筋	はかま筋	Nx	10-D13	22-D13	9-D13	19-D13	8-D13	16-D13	7-D13	10-D19	9-D19	8-D19	7-D19
		Ny	10-D13	13-D13	9-D13	9-D13	8-D13	8-D13	7-D13	10-D19	9-D19	8-D19	7-D19
	基礎筋	Nx	10-D19	22-D25	9-D19	19-D25	8-D19	16-D25	7-D19	10-D19	9-D19	8-D19	7-D19
		Ny	10-D19	13-D25	9-D19	9-D25	8-D19	8-D25	7-D19	10-D19	9-D19	8-D19	7-D19
	副基礎筋		基礎配筋要領による										
	はかま帯筋		基礎配筋要領による										
備考													

杭姿図



基礎配筋要領図



耐圧盤リスト

特記なき限り

1. 地 業

砂利 60mm + 捨てコンクリート 50mm

符 号	板 厚	位 置	短 辺		長 辺		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
FS18	180	上端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D10.D13-@200	D10.D13-@200	D10-@200	D10-@200	
FS25	250	上端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D10.D13-@200	D10.D13-@200	D10-@200	D10-@200	
FS25A	250	上端筋	D16-@200	D16-@200	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D16-@200	D16-@200	D10-@200	D10-@200	
DS15	150	主筋	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@200	土間コン

基礎大梁リスト

特記なき限り

1. 幅止め筋
2. 腹筋

D10-@1,000
2-D13-@300以下(断面リストより優先してよい)

3. 地業
4. ただし、Y軸方向梁は図面下を左端、図面上を右端とする

砂利 60mm + 捨てコンクリート 50mm

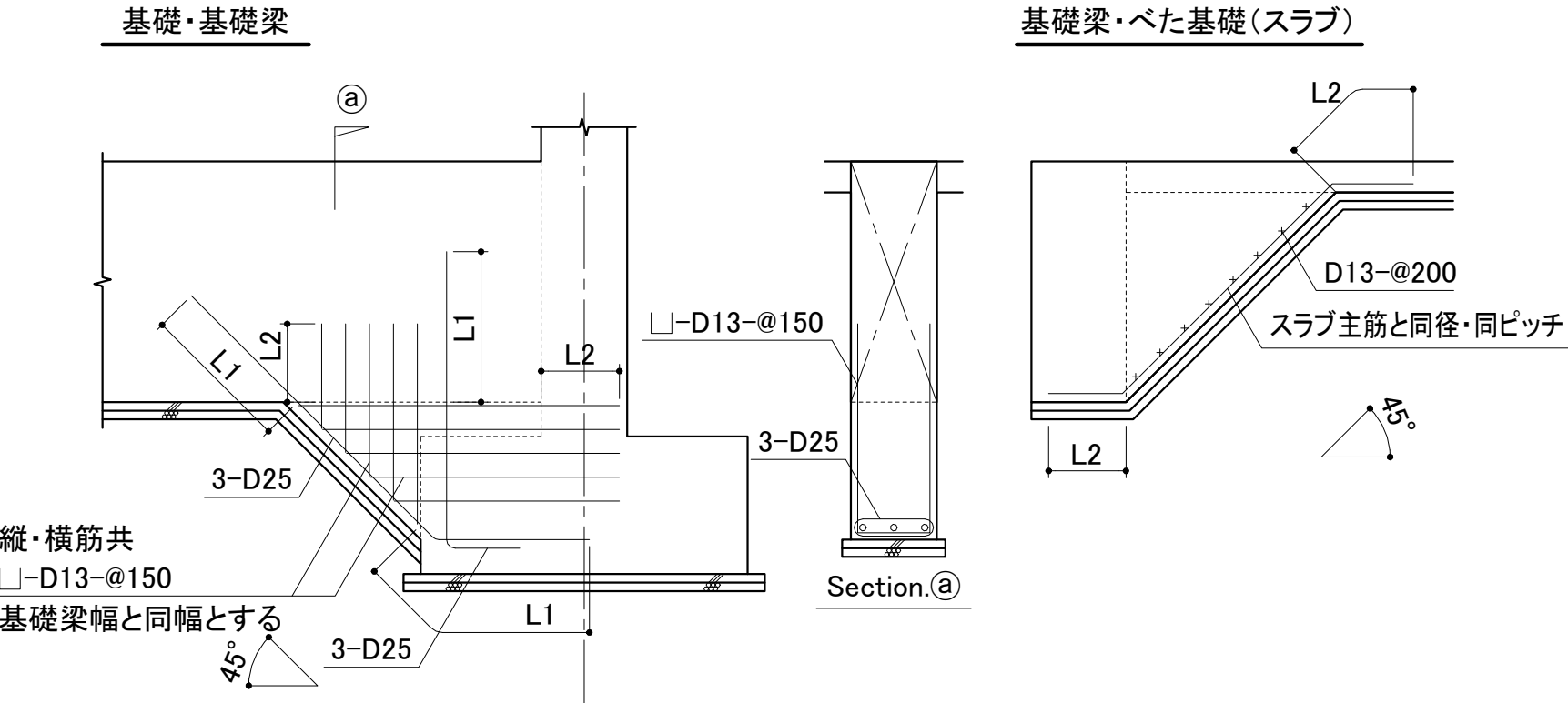
符 号	FG1	FG1A		FG1B		FG1C		FG1D
位 置	全断面	端部	中央	端部	中央	左端	中央・外端	全断面
断面								
上端筋	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 4 - D25	4 / 4 - D25	4 / 3 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25
下端筋	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 4 - D25	4 / 4 - D25	4 / 4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25
肋筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		3 - D13 @ 100
腹筋	10 - D10	10 - D10		10 - D10		10 - D10		10 - D10
備 考	-	-		-		-		-

符 号	FG11	FG11A		FG11B		FG11C		FG11D		FG11E		FG11F			FG11G	
位 置	全断面	左端	中央・右端	右端	中央・左端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	左端	中央	右端	端部	中央
断面																
上端筋	4 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 / 4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 4 / 4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25
下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 / 4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 / 4 / 2 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25
肋 筋	2 - D13 @ 200	3 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		3 - D13 @ 100		3 - D13 @ 100			2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200
腹 筋	4 - D10	4 - D10		4 - D10		4 - D10		4 - D10		4 - D10		4 - D10			4 - D10	4 - D10
備 考	-	-		-		-		-		-		-			-	-

符 号	FG12	FG12A	
位 置	全断面	左端	中央・右端
断面			
上端筋	4 / 2 - D25	4 / 4 - D25	4 / 2 - D25
下端筋	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25
肋筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	
腹筋	10 - D10	10 - D10	
備 考	-	-	

符 号	CFG1	CFG11	CFG11A	CFG11B	CFG12
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
上端筋	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 3 - D25	4 / 2 - D25
下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25
肋筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200
腹筋	10 - D10	4 - D10	4 - D10	4 - D10	10 - D10
備 考	-	-	-	-	-

バットレス配筋要領図 1/40



基礎小梁リスト

特記なき限り

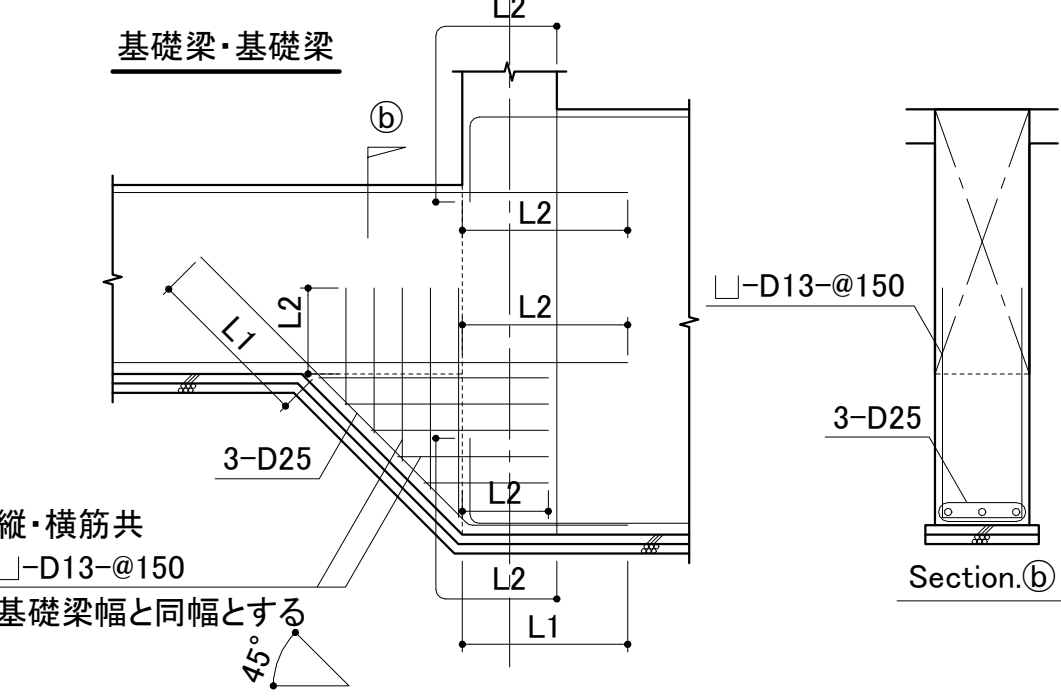
1. 幅止め筋
2. 腹筋

D10-@1,000
2-D13-@300以下(断面リストより優先してよい)

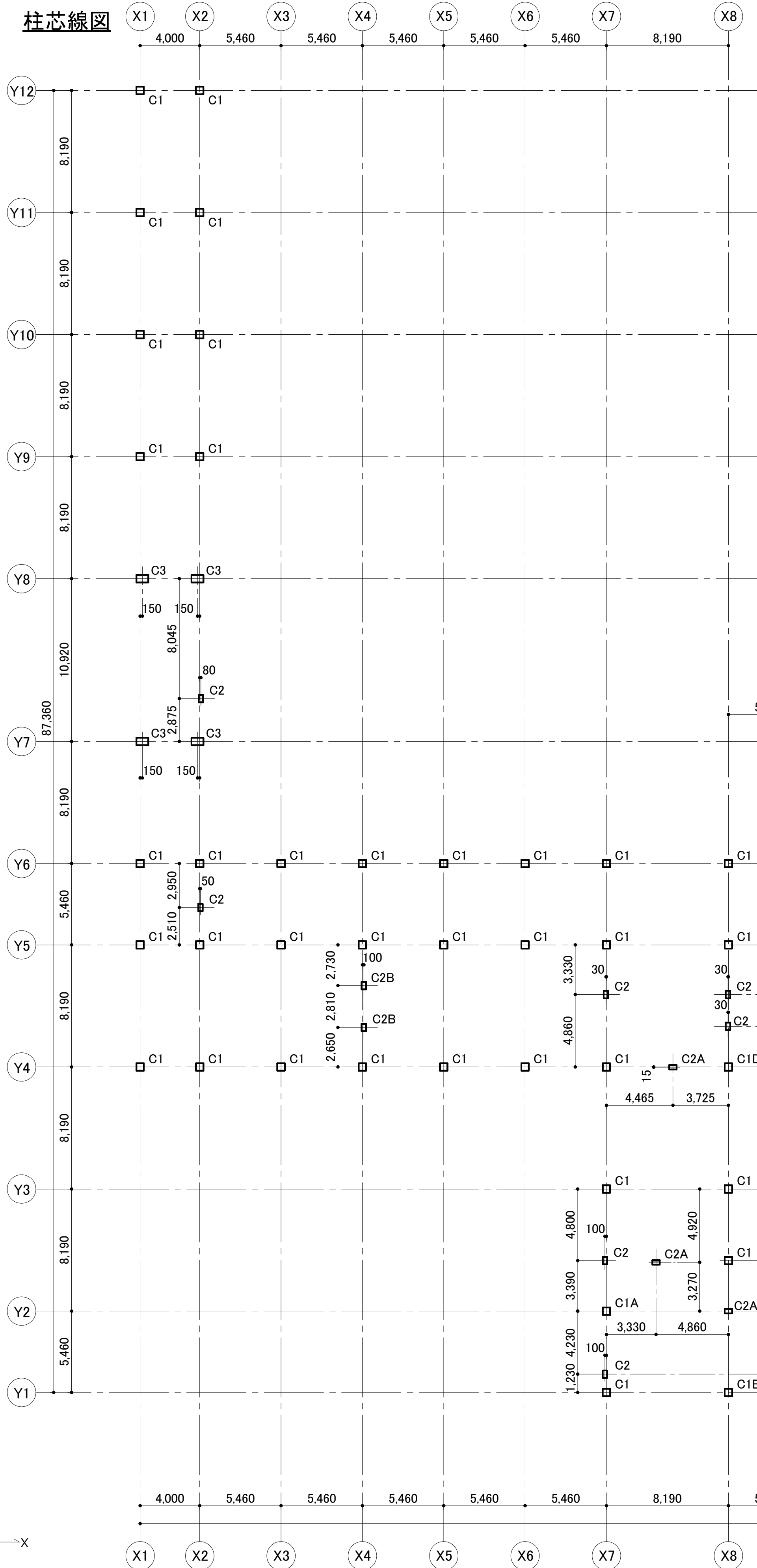
3. 地業

砂利 60mm + 捨てコンクリート 50mm

符 号	FB100	FB100A	FB100B		FB100C		FB100D	FB180	FB180A	CFB100	CFB100A	CFB180
位 置	全断面	全断面	中央・外端	内端	中央・外端	内端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面												
上端筋	4 - D22	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 / 2 - D22	4 / 2 - D25	4 - D22	4 - D25	4 / 2 - D22
下端筋	4 - D22	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D22	4 / 2 - D25	4 - D22	4 - D25	4 / 2 - D22
肋筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200
腹筋	4 - D10	4 - D10	4 - D10		4 - D10		4 - D10	10 - D10	10 - D10	4 - D10	4 - D10	10 - D10
備 考	-	-	-		-		-	-	-	-	-	-



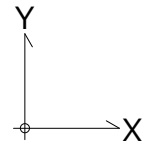
柱芯線図



RC柱リスト

特記なき限り 1. 仕口内フープ 隣接する柱フープと同径・同本数で3/2ピッチ以内 2. へは寄せ筋を示す。

	符 号	C1	C1A	C1B	C1C	C1D	C2	C2A	C2B	C3	C4
2F	断面										
	主筋	8-D25	10-D25		10-D25	12-D29	6-D25	6-D25	8-D25	12-D25	14-D29
	フープ	2-2-D13@100	2-2-D13@100		2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100
	備 考										
1F	断面										
	主筋	8-D25	10-D25	10-D25	10-D25	12-D29	6-D25	6-D25	8-D25	12-D25	14-D29
	フープ	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100	2-2-D13@100
	備 考										



RC大梁リスト

特記なき限り

1. 幅止め筋
2. 腹筋

D10-@1,000
2-D13-@300以下(断面リストより優先してよい)

3. 地業

砂利 60mm + 捨てコンクリート 50mm
4. ただし、Y軸方向梁は図面下を左端、図面上を右端とする

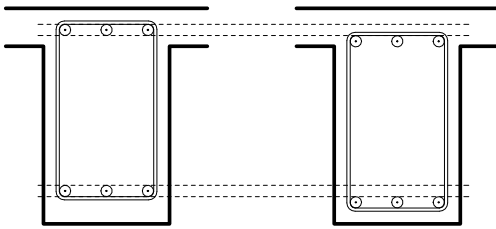
R階	符 号	G1	G2	G2A		G2B		G2C		G2D		G2E			G2F		G3						
	位 置	全断面	全断面	内端	中央・外端	中央・内端	外端	中央・他端	端	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	中央	端部					
	断面																						
	上端筋	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25				4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 4 - D25				
	下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25				4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 / 2 - D25			
	肋 筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200						2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200			2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200				
	腹 筋	4 - D10	4 - D10	4 - D10		4 - D10						4 - D10		4 - D10			4 - D10		4 - D10				
	備 考	-	-	-		-						-		-			-		-				
2階	断面																						
	上端筋	4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25	4 - D25	4 - D25	4 / 4 - D25	4 - D25	4 / 2 - D25											4 / 2 - D25	4 - D25		
	下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25											4 - D25	4 - D25		
	肋 筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200											2 - D13 @ 200			2 - D13 @ 200	
	腹 筋	4 - D10	4 - D10	4 - D10		4 - D10		4 - D10											4 - D10			4 - D10	
	備 考	-	-	-		-		-											-			-	

R階	符 号	CG2A
	位 置	全断面
	断面	
	上端筋	4 / 2 - D25
	下端筋	4 - D25
	肋筋	2 - D13 @ 200
	腹筋	4 - D10
	備 考	-
2階	断面	
	上端筋	4 / 4 - D25
	下端筋	4 - D25
	肋筋	2 - D13 @ 200
	腹筋	4 - D10
	備 考	-

共通事項

梁せいが同じ場合主筋の組み方は、
X方向を上、Y方向を下とする

X方向大梁 Y方向大梁



RC小梁リスト S=1/50 特記なき限り 1. 幅止め筋 D10-@1,000

符 号	B40	B70	B70A		B70B		B70D	B85	B85A		B85B	
位 置	全断面	全断面	内端・中央	外端	内端・中央	外端	全断面	全断面	外端・中央	内端	内端	外端・中央
断面												
上端筋	2 - D19	3 - D22	3 - D22	3 / 1 - D22	3 - D22	3 / 2 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 / 2 - D22	3 / 2 - D22	3 - D22
下端筋	2 - D19	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22
肋 筋	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200	2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200	
腹 筋	2 - D10	2 - D10	2 - D10		2 - D10		2 - D10	4 - D10	4 - D10		4 - D10	
備 考	-	-	-		-		-	-	-		-	

符 号	B85C			B85D		B85E			B85Ec		B85F	
位 置	内端	中央	外端	端部	中央	内端	中央	外端	端部	中央	端部	中央
断面												
上端筋	3 / 2 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	4 / 2 - D22	4 / 2 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22
下端筋	3 - D22	3 / 1 - D22	3 - D22	4 - D22	4 / 1 - D22	4 - D22	4 / 1 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	3 / 2 - D22
肋 筋	2 - D13 @ 200			2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200			2 - D13 @ 200		2 - D13 @ 200	
腹 筋	4 - D10			4 - D10		4 - D10			4 - D10		4 - D10	
備 考	-			-		-			-		-	

RC壁リスト S=1/20 特記なき限り 1. 幅止め筋 D10-@1,000

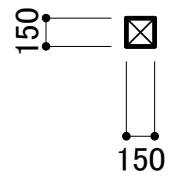
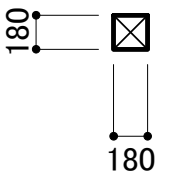
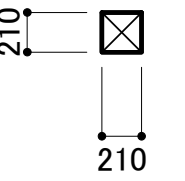
符 号	W18	W20	EW20	EW25	EW30	EW30A	P1	DW21
鉛直断面								
縦 筋	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D16 - @200 (ダブル)	D16 - @100 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)
横 筋	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D16 - @200 (ダブル)	D16 - @100 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)	D13 - @200 (ダブル)
開口部	縦横筋	2 - D13	2 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	-
	斜め筋	2 - D13	2 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	-
曲げ補強筋	2 - D13	2 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	3 - D13	2 - D13	-
備 考								木造部立ち上がり壁

スラブリスト 特記なき限り 1.

符 号	板 厚	位 置	短 辺		長 辺		備 考
			端 部	中 央	端 部	中 央	
S15	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10,D13-@200	D10,D13-@200	在来型枠
		下端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	D10-@200	D10-@200	
S15A	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10,D13-@200	D10,D13-@200	在来型枠
		下端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	D10-@200	D10-@200	
S15B	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10,D13-@200	D10,D13-@200	在来型枠
		下端筋	D10,D13-@200	D10,D13-@200	D10-@200	D10-@200	
S18	180	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10,D13-@200	D10,D13-@200	在来型枠
		下端筋	D13-@200	D13-@200	D10-@200	D10-@200	
CS15	150	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10,D13-@200	D10,D13-@200	在来型枠
		下端筋	D13-@200	D13-@200	D10-@200	D10-@200	

木柱リスト S=1/40

特記なき限り 1. 1階柱柱脚金物は別途詳細図による。

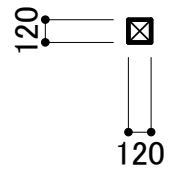
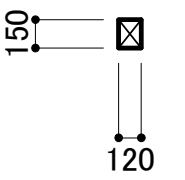
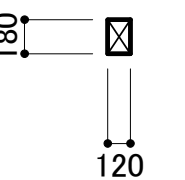
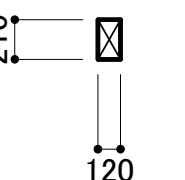
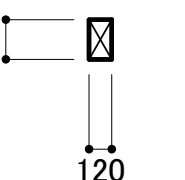
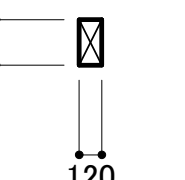
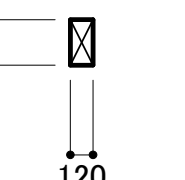
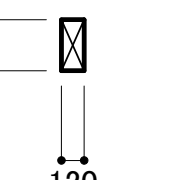
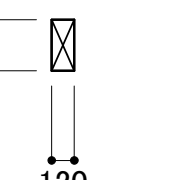
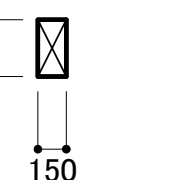
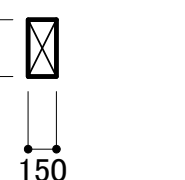
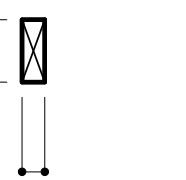
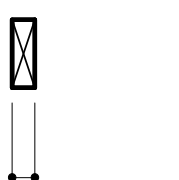
階	符 号		WC15	WC18	WC21
2F	断面				
1F	木材		ヒノキ 同一構成集成材 E105-F345	ヒノキ 同一構成集成材 E105-F345	ヒノキ 同一構成集成材 E105-F345
	接合 金物	柱頭	PZ-ホールダウンパイプ	PZ-ホールダウンパイプ	PZ-ホールダウンパイプ
		柱脚	PZ-ホールダウンパイプ	PZ-ホールダウンパイプ	PZ-ホールダウンパイプ
	備 考		屋内メンブレン柱	屋外テラス柱 燃え代設計	屋内柱 燃え代設計

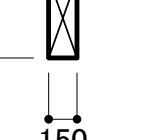
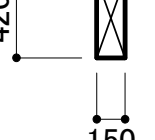
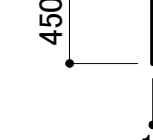
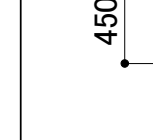
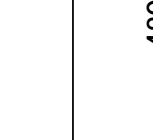
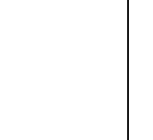
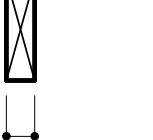
木梁リスト S=1/40

特記なき限り 1. 可能な限り、南九州産材を用いること。 3. 梁受け金物はカネシン製梁受け金物または同等耐力以上の金物とする。

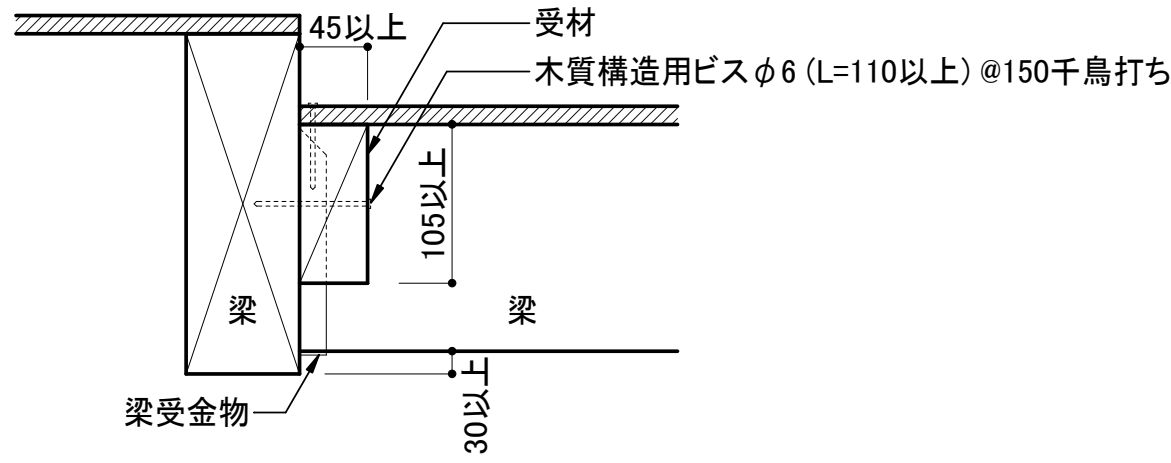
2. RC-木接合部金物は別途詳細図による。 4. 軸力伝達金物は、下記接合金物又は同等耐力以上の金物とする。

接尾符号L :カネシン製MPホールダウン金物108
接尾符号M2 :タナカ製羽子板HD35kN <両引きセット> x2本
接尾符号M :タナカ製羽子板HD35kN <両引きセット>
接尾符号N :タナカ製羽子板HD15kN <両引きセット>

階	符 号		WB12 (M,N)	WB15 (M,N)	WB18 (M,N)	WB21 (L,M,N)	WB21T	WB24 (L,M,N)	WB24T	WB27 (L,M,N)	WB27R	WB30 (L,M,N)	WB30A (L,M,N)	WB33 (M,N)	WB36 (M,M2,N)			
2F	断面																	
			木材		スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	
			接合 金物	端部梁受け金物	PU-10SU	PU-10SU	PU-18SU	PU-18SU	PU-18SU (燃え代仕様)	PU-24SU	PU-24SU (燃え代仕様)	PU-24SU	—	PU-24SU	PU-24SU	PU-24SU	PU-33SU	PU-33SU
				端部軸力伝達金物	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ	W羽子板ボルト -Ⅱ
		備 考	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	屋外テラス梁 燃え代設計	メンブレン梁	屋外テラス梁 燃え代設計	メンブレン梁	メンブレン梁 3～4mごとに継手を設ける	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁			

階	符 号		WB42 (L,M,M2,N)	WB42A (L,M,N)	WB45 (M,N)	WB45A (L,M,N)	WB48A (M,N)	WB54 (M,N)	WB63A (M,N)
2F 1F	断面								
	木材		スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E65-F225	スギ 異等級構成集成材 E105-F300
	接合 金物	端部梁受け金物	PU-39SU	PU-39SU	PU-39SU	PU-39SU	PU-39SU	PU-54SU	TS63
		端部軸力伝達金物	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II	W羽子板ボルト - II
	備 考		メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁	メンブレン梁

木梁段差部要領 1：10



木水平構面リスト

符 号	部 材	備 考
W5	24mm構造用合板 (2級、特類) N75釘-@150 4周釘打ち 床倍率5倍相当 (短期許容せん断耐力 9.8kN)	1. 水平構面外周部横架材接合部には、指定がない限り カネシン製ビスどめ短ざくS (短期基準耐力 10.8kN) または、同等品以上のものを1点設ける。 2. 柱頭引張対応金物に指定のない限り、小梁端部接合においては カネシン製エンボス羽子板ボルト片面付け (短期基準耐力 7.6kN) または、同等品以上のものを1点設ける。



有限会社マル・アーキテクチャ
一級建築士事務所
東京都知事登録第59575号

高野 達平
一級建築士
東京都知事登録
第329239号



株式会社Dai建築DESIGN
一級建築士事務所
鹿児島県知事登録第1-6-1号

松澤 謙志夫
一級建築士
東京都知事登録
第141001号



オーブ・アラブ・アンド・パートナーズ・ジャパンリミテッド
一級建築士事務所
東京都知事登録第35571号

富岡 良太
一級建築士登録第355621号
構造設計一級建築士登録
第10495号

菅 健太郎
一級建築士登録第318575号
設備設計一級建築士登録
第4096号

向井 一将
一級建築士登録第328591号
設備設計一級建築士登録
第4451号

Project Title

教7-12 末吉小学校校舎改築本体工事

Client

曾於市

Name of Drawing

木部材リスト

Scale

A1:1/40
A3:1/80

Architect

Drawn by

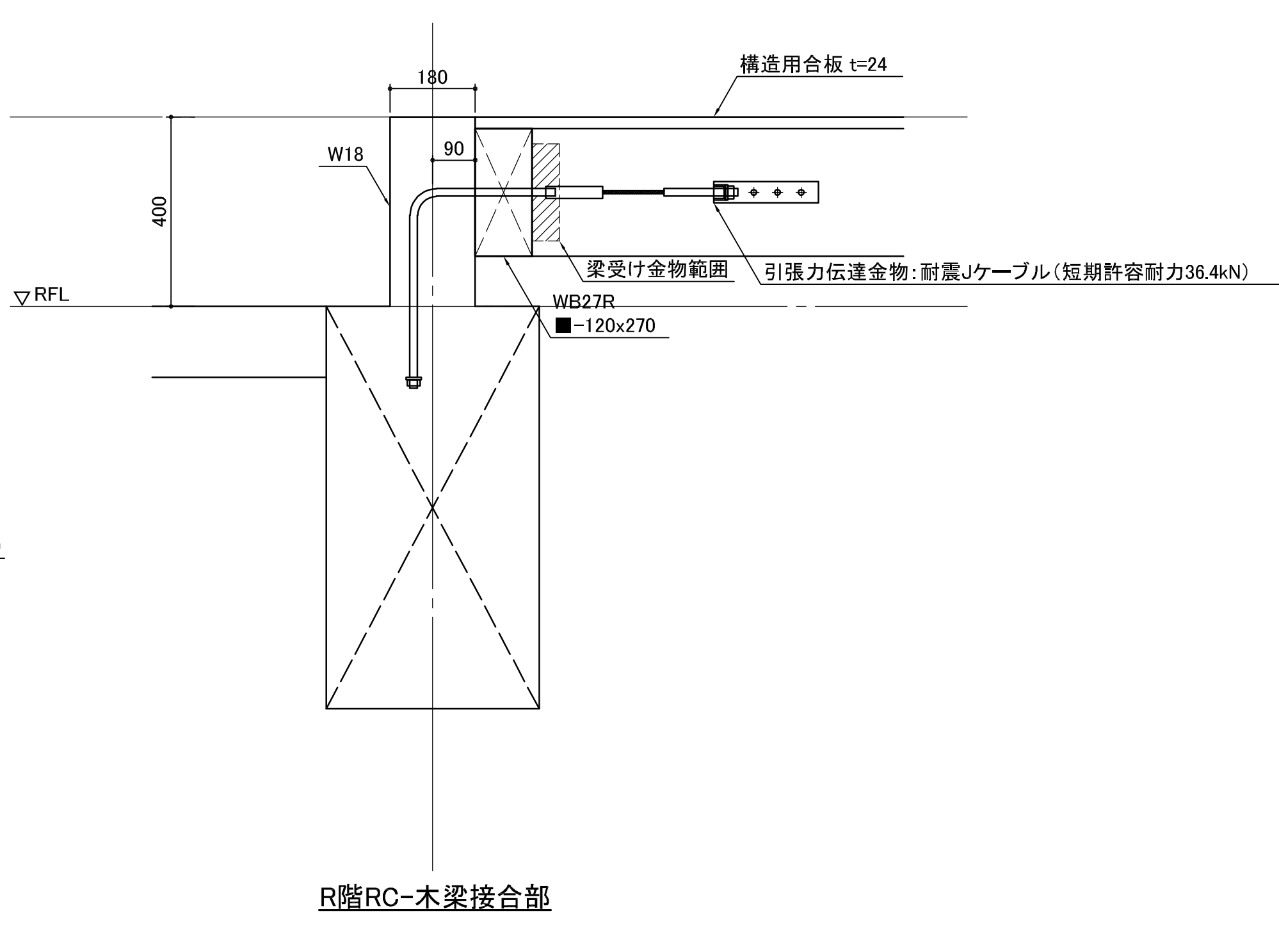
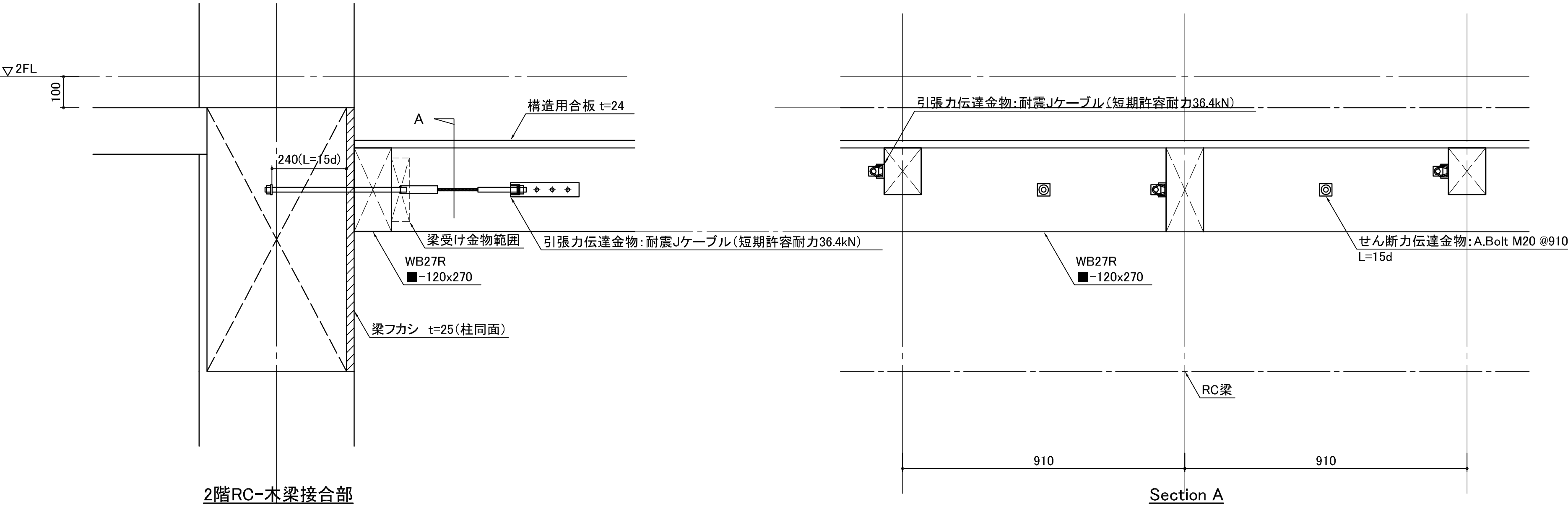
Checked by

Date

2025. 07. 08

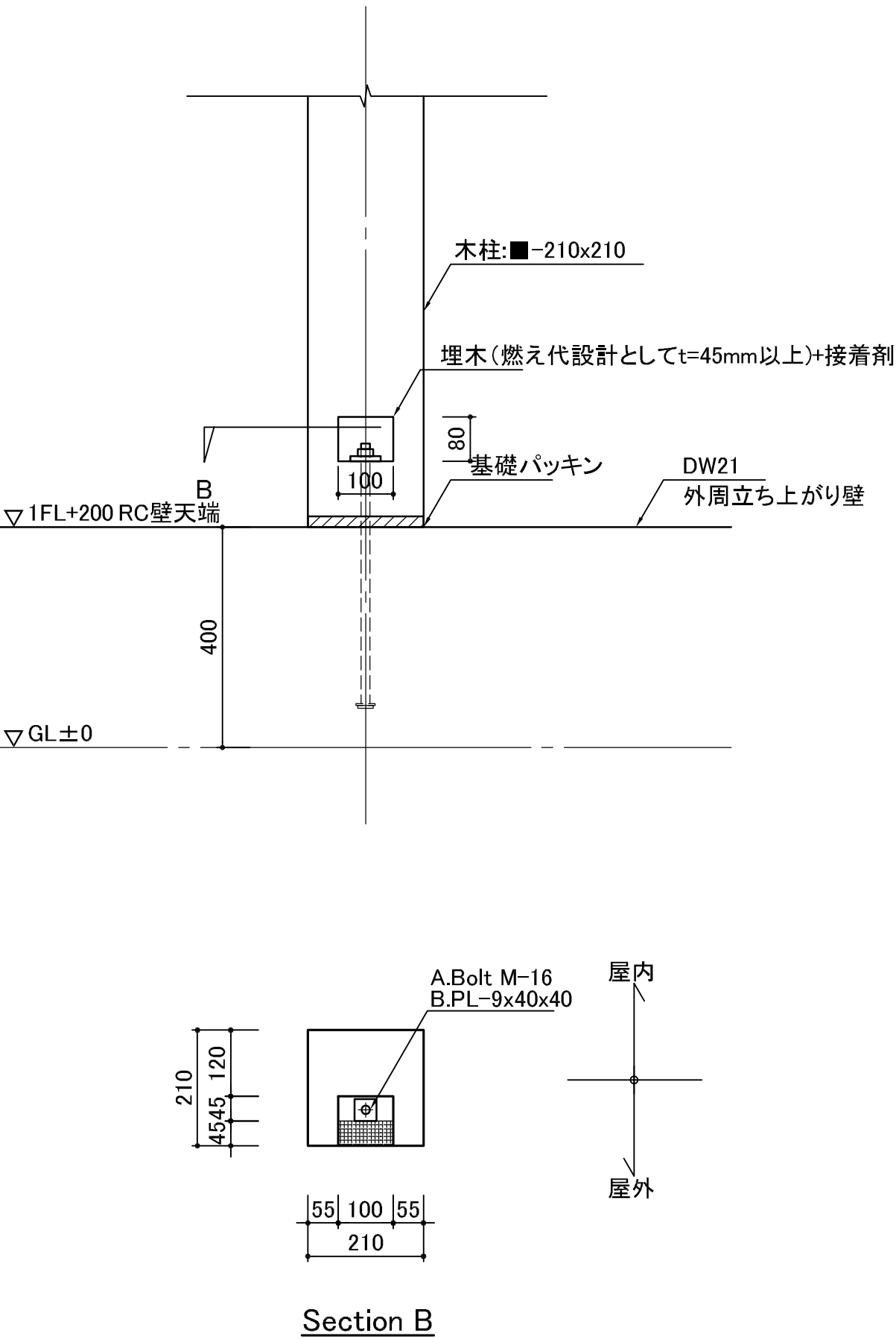
RC-木梁接合部 S=1/10

- 特記なき限り
- | | |
|--------------|-------|
| 1. アンカーボルト材質 | SS400 |
| 2. アンカーボルト長さ | L=20d |
3. 軸力伝達金物は、下記接合金物又は同等耐力以上の金物とする。
接尾符号L : カネシン製高耐力フレックスホールダウン60(kN) 2個使い
接尾符号M2: カネシン製耐震Jケーブル(36.4kN) 2個使い
接尾符号M,N: カネシン製耐震Jケーブル(36.4kN)



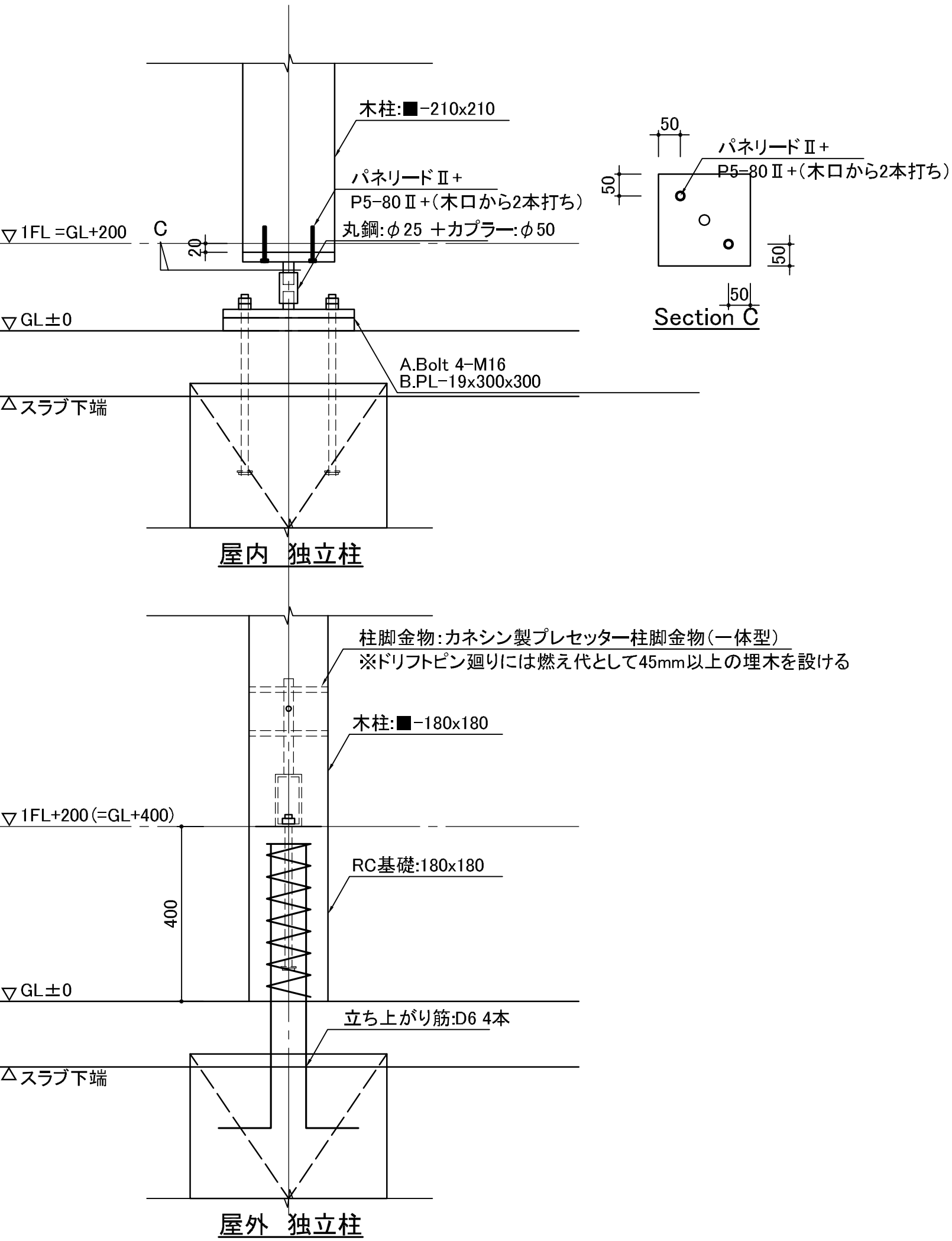
建物外周柱 柱脚詳細図 S=1/10

- 特記なき限り
- | | |
|--------------|-------|
| 1. アンカーボルト材質 | SS400 |
| 2. アンカーボルト長さ | L=20d |
| 3. B.PL材質 | SS400 |



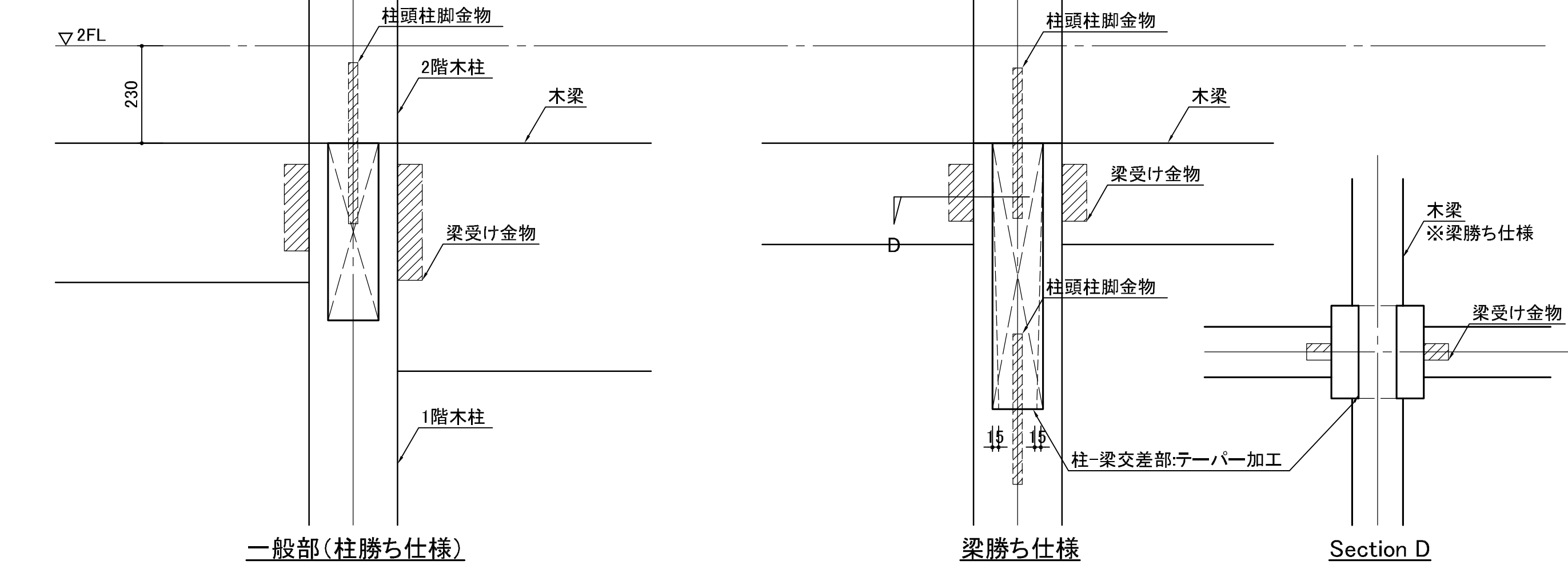
独立柱 柱脚詳細図 S=1/10

- 特記なき限り
- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. アンカーボルト材質 | SS400 |
| 2. アンカーボルト長さ | L=20d |
| 3. 鋼材材質 | SS400 |
| 4. 短期許容耐力が同等以上の金物であれば金物仕様の変更は可能とする | |



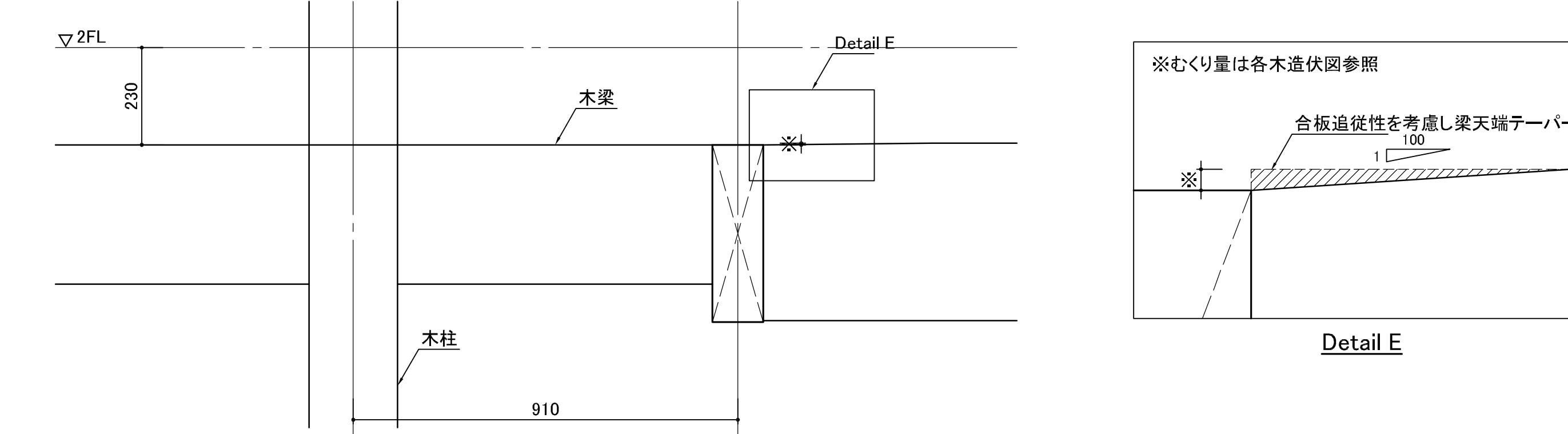
柱頭 接合部詳細図 S=1/10

- 特記なき限り
- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. アンカーボルト材質 | SS400 |
| 2. アンカーボルト長さ | L=20d |
| 3. 短期許容耐力が同等以上の金物であれば金物仕様の変更は可能とする | |



井桁梁 むくり構成詳細図 S=1/10

- 特記なき限り
- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. アンカーボルト材質 | SS400 |
| 2. アンカーボルト長さ | L=20d |
| 3. 短期許容耐力が同等以上の金物であれば金物仕様の変更は可能とする | |



1. 可能な限り、南九州産材を利用する。
スギ製材E70以上の部材を用いること。
2. 束材
3. 勾配構面合板範囲
4. 屋根勾配構面合板
5. 垂木材はY方向(↓)とする。

3)各部への釘打及びビス止め

㊦	構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
㊩	転び止めに梁に2-N75斜め釘止め
㊪	垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

